

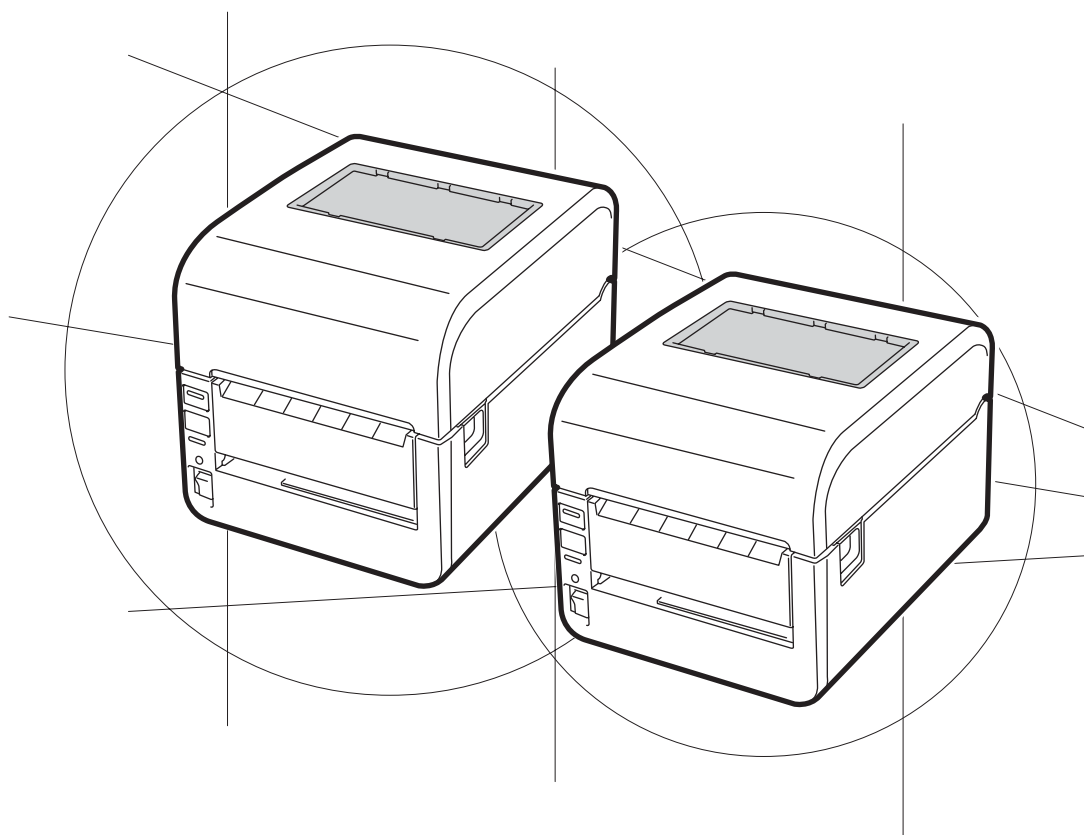
MultiCoder 500Lシリーズ

ラベルプリンター ユーザーズマニュアル

MultiCoder 500L3Dシリーズ

MultiCoder 500L3Tシリーズ

MultiCoder 500L6Tシリーズ



このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。

このユーザーズマニュアルにはプリンターのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、プリンター内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	指示を守らないと、 <u>人が死亡する、または重傷を負う</u> おそれがあることを示します。
 注意	指示を守らないと、 <u>火傷やけがのおそれ、および物的損害</u> の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起 注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	<u>発煙または発火</u> のおそれがあることを示します。		<u>けが</u> をするおそれがあることを示します。
	<u>感電</u> のおそれがあることを示します。		<u>指などがはさまれる</u> おそれがあることを示します。
	<u>火傷を負う</u> おそれがあることを示します。		<u>体内に入れると有害な物質</u> であることを示します。
	<u>けが</u> をするおそれがあることを示します。		<u>特定しない一般的な注意・警告</u> を示します。

行為の禁止 行為の禁止は「⊘」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		お子様を近づけないでください。 <u>けが</u> をするおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。 <u>感電</u> や <u>火傷</u> などの <u>傷害</u> が起こるおそれがあります。		電源プラグを中途半端に差し込まないでください。 <u>火災</u> のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。 <u>けが</u> をするおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。		たこ足配線にしないでください。 <u>発火</u> のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。 <u>感電</u> や <u>発火</u> のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。
	製品の近くで火器類を扱わないでください。 <u>火災</u> の原因となるおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。
	直射日光を避けてください。 <u>発火</u> のおそれがあります。		手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて <u>けが</u> をするおそれがあります。
	破損した電源コードは使わないでください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の禁止を示します。

行為の強制 行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。 <u>火災</u> や <u>漏電</u> のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		アース線を接続してください。万一漏電した場合に <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。
	電源コードは添付のものを使ってください。専用品を使わないと <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の強制を示します。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内 容	記号	内 容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。	チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴは日本電気株式会社の登録商標です。

MultiCoderはNECエンベデッドプロダクツ株式会社の登録商標です。

PrinterSignalStationはNECソフト株式会社の登録商標です。

BarStar、LabelStarはアイニックス株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Windows NT、Visual Basicは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

Windows VistaはMicrosoft Windows Vista Ultimate operating systemおよびMicrosoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Home Basic operating systemの略です。

Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。

Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。

Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのラベルプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、NECラベルプリンター「MultiCoder 500Lシリーズ」を正しくお使いいただくための手引きです（以降、「本プリンター」と呼びます）。本マニュアルにはプリンターの設置、操作、保守に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。

また、本プリンターにはユーザーズマニュアルのほかに同梱のCD-ROMに収録された「オンラインマニュアル」があります。併せてご活用ください。

本書で説明する製品について

このユーザーズマニュアルは次の製品について説明しています。

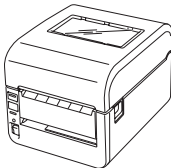
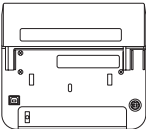
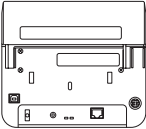
また、それぞれのモデルを代表する説明は、MultiCoder 500L〇〇タイプと表記します。MultiCoder 500L3DXシリーズ、MultiCoder 500L3TXシリーズは、モデル名を以下に読み替えてマニュアルをご使用ください。

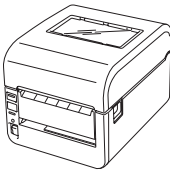
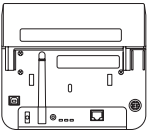
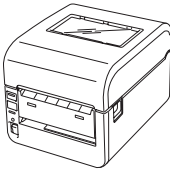
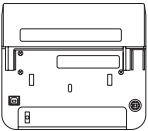
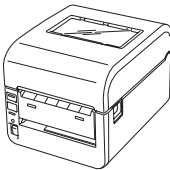
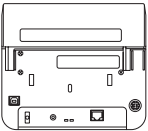
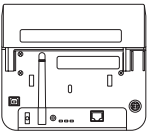
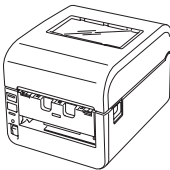
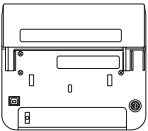
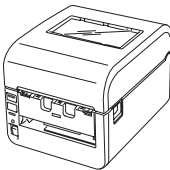
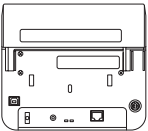
読み替え前のモデル名	読み替え後のモデル名
MultiCoder 500L3DC	MultiCoder 500L3DX
MultiCoder 500L3DCL	MultiCoder 500L3DXL
MultiCoder 500L3TC	MultiCoder 500L3TX
MultiCoder 500L3TCL	MultiCoder 500L3TXL
PR-T500L-01（フルカット方式 / パーシャルカット方式のカッターユニット）が標準で装備されているモデル	PR-T500L-11（ラベル糊部をカットするための専用カッターユニット）が標準で装備されているモデル

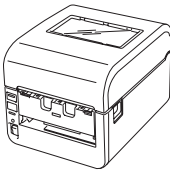
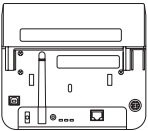
〈感熱タイプ：MultiCoder 500L3Dシリーズ〉

感熱紙に印刷するタイプです（リボンは使用しません）。

医療現場や物流などで印刷結果をそれほど長期間保存しなくてもよい場合の使用に適しています。

モデル名（型番）	構成	特長	前面	背面
MultiCoder 500L3D （PR-T500L3D） タイプ代表	標準モデル	－ 305dpi（12ドット/mmの印刷解像度） － USB インターフェース標準装備		
MultiCoder 500L3DL （PR-T500L3DL）	標準+ LANモデル	－ 305dpi（12ドット/mmの印刷解像度） － USB インターフェース標準装備 － IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備		

モデル名 (型番)	構 成	特 長	前 面	背 面
MultiCoder 500L3DW (PR-T500L3DW)	標準+ 無線LAN モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 無線規格IEEE802.11b/g 準拠Ethernetインターフェース標準装備		
MultiCoder 500L3DC (PR-T500L3DC)	カッター モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - 自動用紙切り離し機構 (カッターモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L3DCL (PR-T500L3DCL)	カッター + LANモデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 自動用紙切り離し機構 (カッターモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L3DCW (PR-T500L3DCW)	カッター + 無線LAN モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 無線規格IEEE802.11b/g 準拠Ethernetインターフェース標準装備 - 自動用紙切り離し機構 (カッターモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L3DS (PR-T500L3DS)	ハクリ モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L3DSL (PR-T500L3DSL)	ハクリ+ LANモデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装着		

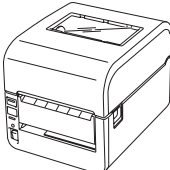
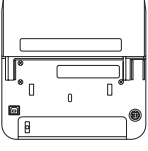
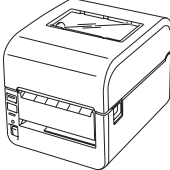
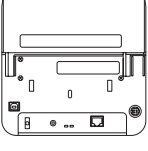
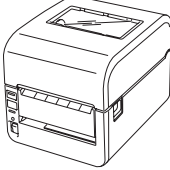
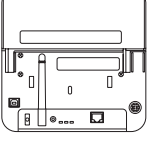
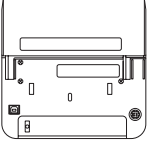
モデル名 (型番)	構 成	特 長	前 面	背 面
MultiCoder 500L3DSW (PR-T500L3DSW)	ハクリ+ 無線LAN モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 無線規格IEEE802.11b/g 準拠Ethernetインターフェース標準装備 - 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装着		

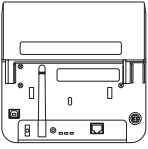
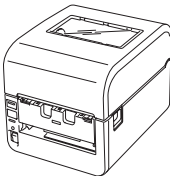
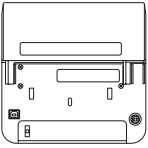
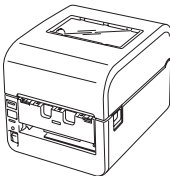
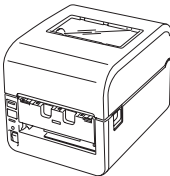
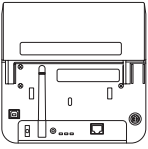
〈熱転写+感熱タイプ：MultiCoder 500L3Tシリーズ〉

リボンを使用して熱転写印刷するタイプです。

工場の生産ラインや物流など印刷結果を長期間保ちたい場合の使用に適しています。

また病院などでの用途としては、リストバンドに印刷して患者さんの腕に着けるなどの利用方法もあります。

モデル名 (型番)	構 成	特 長	前 面	背 面
MultiCoder 500L3T (PR-T500L3T) タイプ代表	標準モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備		
MultiCoder 500L3TL (PR-T500L3TL)	標準+ LANモデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備		
MultiCoder 500L3TW (PR-T500L3TW)	標準+ 無線LAN モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 無線規格IEEE802.11b/g 準拠Ethernetインターフェース標準装備		
MultiCoder 500L3TC (PR-T500L3TC)	カッター モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - 自動用紙切り離し機構 (カッターモジュール) 標準装着		

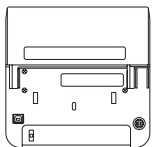
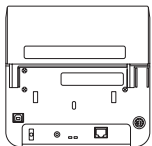
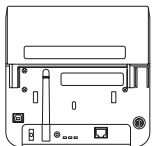
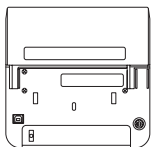
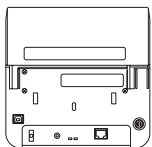
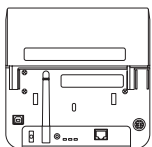
モデル名 (型番)	構 成	特 長	前 面	背 面
MultiCoder 500L3TCL (PR-T500L3TCL)	カッター + LANモデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 自動用紙切り離し機構 (カッターモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L3TCW (PR-T500L3TCW)	カッター + 無線LAN モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 無線規格IEEE802.11b/g 準拠Ethernetインターフェース標準装備 - 自動用紙切り離し機構 (カッターモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L3TS (PR-T500L3TS)	ハクリ モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L3TSL (PR-T500L3TSL)	ハクリ + LANモデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L3TSW (PR-T500L3TSW)	ハクリ + 無線LAN モデル	305dpi (12ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 無線規格IEEE802.11b/g 準拠Ethernetインターフェース標準装備 - 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装着		

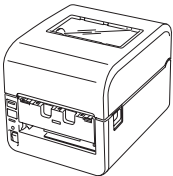
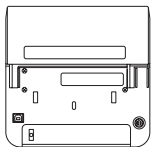
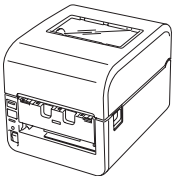
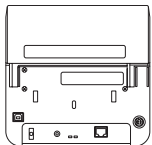
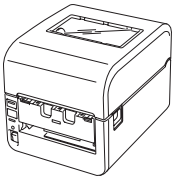
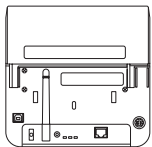
〈熱転写+感熱タイプ：MultiCoder 500L6Tシリーズ〉

リボンを使用して熱転写印刷するタイプです。

工場の生産ラインや物流などきれいな印刷結果を長期間保ちたい場合の使用に適しています。

印刷解像度がMultiCoder 500L3Tシリーズの倍となるため、きれいな印刷結果が得られます。

モデル名 (型番)	構 成	特 長	前 面	背 面
MultiCoder 500L6T (PR-T500L6T) タイプ代表	標準モデル	610dpi (24ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備		
MultiCoder 500L6TL (PR-T500L6TL)	標準+LANモデル	610dpi (24ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3 準拠 Ethernet インターフェース標準装備		
MultiCoder 500L6TW (PR-T500L6TW)	標準+無線LANモデル	610dpi (24ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3 準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 無線規格IEEE802.11b/g 準拠Ethernetインターフェース標準装備		
MultiCoder 500L6TC (PR-T500L6TC)	カッターモデル	610dpi (24ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - 自動用紙切り離し機構 (カッターモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L6TCL (PR-T500L6TCL)	カッター + LANモデル	610dpi (24ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3 準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 自動用紙切り離し機構 (カッターモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L6TCW (PR-T500L6TCW)	カッター + 無線LANモデル	610dpi (24ドット/mmの印刷解像度) - USB インターフェース標準装備 - IEEE802.3 準拠 Ethernet インターフェース標準装備 - 無線規格IEEE802.11b/g 準拠Ethernetインターフェース標準装備 - 自動用紙切り離し機構 (カッターモジュール) 標準装着		

モデル名 (型番)	構 成	特 長	前 面	背 面
MultiCoder 500L6TS (PR-T500L6TS)	ハクリ モデル	－ 610dpi (24ドット/mmの印刷解像度) － USB インターフェース標準装備 － 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L6TSL (PR-T500L6TSL)	ハクリ+ LANモデル	－ 610dpi (24ドット/mmの印刷解像度) － USB インターフェース標準装備 － IEEE802.3 準拠 Ethernet インターフェース標準装備 － 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装着		
MultiCoder 500L6TSW (PR-T500L6TSW)	ハクリ+ 無線LAN モデル	－ 610dpi (24ドット/mmの印刷解像度) － USB インターフェース標準装備 － IEEE802.3 準拠 Ethernet インターフェース標準装備 － 無線規格IEEE802.11b/g 準拠Ethernetインターフェース標準装備 － 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装着		

マニュアルの構成

このユーザーズマニュアルは、初めて本プリンターをお使いになる方が始めから順序よくお読みになれば、本プリンターを正しく使用できるように書かれています。また日常お使いになる上でわからないことが起こったり、故障かなと思ったりしたときは随時このマニュアルを活用してください。

本書では熱転写+感熱タイプの標準モデルである「MultiCoder 500L3T」を中心に説明しています。モデルによって異なる場合は、それぞれのモデルごとの説明をしています（モデルに関する説明はvページをご覧ください）。

第1章 初めてお使いになるとき

本プリンターの取り扱い上の注意など、お使いになる前に知っておきたい情報や、本体を箱から出して印刷の準備が整うまでの手順を説明しています。また別売品の紹介もあります。

第2章 プリンターソフトウェアのインストール

本プリンターに添付の「ソフトウェアCD-ROM」を使用してお使いになるコンピューターに本プリンターのプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明しています。

第3章 用紙の取り扱いと印刷

本プリンターで使用できる用紙と印刷範囲の説明、用紙の取り扱いに関する注意事項、および印刷の手順について説明しています。

第4章 リストバンドの印刷方法

リストバンドの印刷方法を説明しています。リストバンドは、病院などで患者さんの腕に着けるなどさまざまな用途で使うことができます。

第5章 操作部とプリンターの設定

操作部のスイッチやランプの機能、ディスプレイの表示内容や本プリンターが持っているさまざまな機能を説明しています。

第6章 オプション

本プリンター用のオプションの取り付け手順について説明しています。

第7章 日常の保守

リボンなどの消耗品の交換や本体の清掃手順を説明しています。

第8章 故障かな？と思ったときは

プリンターが思うように動作しなかったり、印刷の状態がよくなかったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。保証や修理の依頼、本体を運搬するときの準備についても記載しています。

仕 様 本プリンターの仕様を記載しています。



LANと無線LANが搭載されているプリントサーバーのマニュアルは、プリントサーバー専用の箱またはプリンターに同梱されているセットアップガイドおよびプリントサーバーソフトウェアCD-ROM内のマニュアルをご覧ください。

本プリンターの特長

高画質の実現

小型プリンターでの高解像度(610dpi)を実現しました。*1

小型・省スペース設計

装置幅(188mm)の小型化を実現しました。使いやすい前面と右側面操作で本プリンターの状態の確認や設定が行えます。また、左側面に機器などを設置可能な省スペースなデザインを採用し、カバーを開けたときでも奥行をとらない形状となっています。本体にはリボン*2、用紙、カッターモジュール*3、またはハクリモジュール*3がすべて収まり、人通りや荷動きの多い現場でのホコリ、チリの侵入を防止します。

自動用紙先頭位置合わせ機能

用紙交換後、トップカバーを閉じると、印刷時に自動で用紙先端を印刷位置に合わせます。*4

高速印刷

小型タイプで152.4mm/秒(6インチ/秒)の高速印刷モードを備えています。*5

手軽な操作

扱いやすいフロントオープン構造により、リボン交換*2はカバーを開けるだけで、用紙交換はカバーを開け、用紙ガイドから外すだけで簡単にできます。また、用紙の残量が分かる便利な窓付きです。

2方式の印刷をサポート

印刷方式は熱転写(リボン転写)*2と感熱(直接発色)の2つ方式を採用しています。

各種用紙に印刷可能

一般感熱紙やコート紙、PETなどのさまざまな用紙に印刷することができます(用紙については1章の「用紙一覧」(19ページ)を参照してください)。

短ラベル対応

長さが3mmのラベル、ラベルギャップ(ラベルとラベルの間の長さ)が2mmへの印刷が可能です(連続印刷時)。

高品位印刷

サーマルヘッドの温度を参照する熱履歴制御を行う機能を持ち、高品位印刷を実現します。

バーコード印刷*6

添付のソフトウェアCD-ROM内のBarStar Proをインストールすることにより、さまざまなバーコードや2次元コードをWindows環境で印刷することができます。

*1 MultiCoder 500L6Tシリーズのみ。

*2 熱転写+感熱タイプのみ。

*3 モデルによって構成が異なります。「本書で説明する製品について」(vページ)を参照してください。また、オプションとしても用意されています。

*4 自動用紙位置先頭合わせを有効にしている場合。

*5 MultiCoder 500L3シリーズのみ。

*6 本プリンターはバーコードフォントを含むプリンターフォントを内蔵していないため、アプリケーション上で使用できるフォントおよび「LabelStar Lite」または「BarStar Pro」に搭載されているバーコードを使用してください。バーコード/二次元コードの読み取りについてはあらかじめ使用されるバーコードスキャナーでの評価が必要です。

自動用紙カット機能/自動剥離機能

「カッターモジュール*3」によって印刷済みの用紙を自動でカットします。また「ハクリモジュール*3」は印刷済みのラベル紙を台紙から自動で剥離させます。

センサーしきい値調整機能

各種用紙に応じた印刷位置の調整を行うことができる機能です。

ネットワーク環境に対応

TCP/IPなどのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバー(有線または無線)*3をサポートしています。

ブザー音

リボン未装着やリボン切れ、用紙なし、またはエラーが発生するとブザー音が鳴ります(ON/OFF切り替えあり)。

状態監視ソフトウェア

コンピューターの画面上で本プリンターの状態を遠隔監視することができます。PrinterSignalStationの詳細についてはオンラインマニュアルをご覧ください。

プリンタードライバー

Windows専用ドライバーにより、Windows環境で簡単に印刷することができます。

リモートパネル

プリンターの各種設定をコンピューターの画面上で行うことができます。リモートパネルの詳細についてはオンラインマニュアルをご覧ください。

LabelStar Lite

各業務で使用するラベルフォームをWindowsの画面上で容易に作成し、そのラベルフォームに可変データを埋め込み(オーバーレイ)印刷することができるラベル作成・印刷ソフトウェアです。本プリンターには機能限定の「Lite」を添付しています。

抗菌仕様

筐体などには抗菌モールド材を適用しています。

省電力機能

プリンターが待機状態の間、消費電力を抑える機能を持っています。

目次

安全にかかわる表示	ii
はじめに	v
本書で説明する製品について	v
マニュアルの構成	xi
本プリンターの特長	xii

安全にお使いいただくために 1

警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2
無線 LAN（電波）について	2
プリンター（プリントサーバー・無線 LAN）について	4

1章 初めてお使いになる とき 11

1 設置場所を用意する	12
本体の設置について	12
正しく使用するために	13
2 箱の中身を確認する	14
別売品	15
オプション	15
消耗部品	17
消耗品	18
3 各部の名前と機能を覚える	21
外 観	21
前 面	21
背 面	22
印刷機構部	23
4 保護用部品を取り除く	28
5 電源コード・ACアダプターを接続する	29
6 電源をONにする（OFFにする）	31
電源をONにする	31
電源をOFFにする	31
7 リボンを取り付ける	32
8 用紙をセットする	35
センターリブの交換	35
用紙とセンターリブの適合表	35
センターリブ（ホホワイト）の取り外し	36
センターリブ（ブラック、グレー）の 取り外し	36
センターリブ（ホホワイト）の取り付け	37
センターリブ（ブラック、グレー）の 取り付け	37

ロール紙のセット	38
ファンフォールド紙のセット	40
感熱タイプ	40
熱転写 + 感熱タイプ	42
9 プリンターの設定をする	44
10 テスト印刷をする	45
11 センサーしきい値を調整する	47
12 コンピューターに接続する	49
USB ケーブルで接続する	49
LAN ケーブルで接続する	50
13 ケーブルカバーを取り付ける	52
14 ネットワークの設定をする	52

2章 プリンターソフトウェアの インストール 53

インストール／アンインストール前の注意事項 ..	54
プリンタードライバのインストール	55
インストーラーを使う	56
プリントサーバーを装着している場合に ついて	56
Windows Vista 日本語版の場合	57
Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 日本語版の場合	61
プラグ・アンド・プレイによるインストール ..	65
Windows Vista 日本語版	65
Windows XP/Windows Server 2003 日本語版	66
Windows 2000 日本語版	68
プラグ・アンド・プレイの注意点	69
プリンタードライバの用紙サイズについて	70
ユーザー定義用紙サイズの登録	71
プリンタードライバの削除 （アンインストール）	73
リモートパネル	75
リモートパネルのインストール	75
リモートパネルの削除（アンインストール） ..	77
PrinterSignalStation for ラベルプリンタ	78
PrinterSignalStation のインストール	79
PrinterSignalStation の削除 （アンインストール）	81
BarStar Pro	83
BarStar Pro のインストール	83
BarStar Pro の削除（アンインストール）	85
LabelStar Lite	86

LabelStar Liteのインストール	86
LabelStar Liteの削除（アンインストール）	88

3章 用紙の取り扱いと印刷89

自動用紙先頭位置合わせ機能	89
使用できる用紙	90
用紙規格と印刷範囲	90
連続印刷（自動カット送り対応）ラベル紙 (MultiCoder 500L3D/500L3DX)	92
連続印刷（自動カット送り非対応）ラベル紙 (MultiCoder 500L3D/500L3DX)	93
連続印刷（自動カット送り対応）タグ紙 (MultiCoder 500L3D/500L3DX)	94
連続印刷（自動カット送り非対応）タグ紙 (MultiCoder 500L3D/500L3DX)	95
カット印刷（フルカット）ラベル紙 (MultiCoder 500L3D/500L3DX)	96
カット印刷（フルカット）タグ紙 (MultiCoder 500L3D/500L3DX)	97
カット印刷（パーシャルカット）タグ紙 (MultiCoder 500L3D)	98
ハクリ印刷ラベル紙 (MultiCoder 500L3D)	99
連続印刷（自動カット送り対応）ラベル紙 (MultiCoder 500L3T/500L3TX/ 500L6T)	100
連続印刷（自動カット送り非対応）ラベル紙 (MultiCoder 500L3T/500L3TX/ 500L6T)	101
連続印刷（自動カット送り対応）タグ紙 (MultiCoder 500L3T/500L3TX/ 500L6T)	102
連続印刷（自動カット送り非対応）タグ紙 (MultiCoder 500L3T/500L3TX/ 500L6T)	103
カット印刷（フルカット）ラベル紙 (MultiCoder 500L3T/500L3TX/ 500L6T)	104
カット印刷（フルカット）タグ紙 (MultiCoder 500L3T/500L3TX/ 500L6T)	105
カット印刷（パーシャルカット）タグ紙 (MultiCoder 500L3T/500L6T)	106
ハクリ印刷ラベル紙 (MultiCoder 500L3T/500L6T)	107
タグ・ラベルの有効印刷部	108
プレ印刷用紙に関する注意	109
印刷濃度推奨設定	110

用紙・リボンの保管上の注意	112
印刷の指示	113
印刷の種類と方法	113
連続印刷をする	114
プリンタードライバーの設定を 使用する場合	114
プリンタードライバーの設定を 使用しない場合	115
自動カット位置送り機能の使用状況	116
カット印刷をする	117
ハクリ印刷をする	117
印刷速度の設定	117

4章 リストバンドの 印刷方法 119

リストバンドに印刷できるモデルと リストバンドの種類	120
リストバンドの印刷方法	121
リストバンドの有効印刷部	122
ユーザー定義用紙サイズの登録	123
リボンを取り付ける	126
リストバンド（用紙）をセットする	128
センターリブの確認	128
リストバンドのセット	128
センサーしきい値を調整する	131
連続印刷でリストバンドに印刷する	133
プリンタードライバーの設定を 使用する場合	133
プリンタードライバーの設定を 使用しない場合	135
リストバンドの印刷濃度推奨設定	136

5章 操作部とプリンターの 設定 137

スイッチ	138
ランプ	138
7セグメントLED	139
ディップスイッチ（DIP SW）	140
ボリューム	143
DIP SW9 調整値の切り替え	143
設定手順	144
リモートパネルで調整する方法	144
調整ボリュームで調整する方法	145
リモートパネル	146
パラメータ設定	146

パーシャルカット	148
薄紙印刷モード	149
微調整設定	150
IP アドレス設定	155
リモートパネルの設定手順	156

6章 オプション 157

カッターモジュール	158
付属品	159
取り付け／取り外し手順	161
用紙のセット	164
プリンターの設定	165
カット印刷をする	165
連続印刷をする	168
ハクリモジュール	170
付属品	170
取り付け／取り外し手順	171
用紙のセット	174
ハクリ印刷の場合	174
連続印刷の場合	175
プリンターの設定	176
ハクリ印刷をする	176
連続印刷をする	178
プリントサーバー	180
LAN ボード	180
無線＋LAN ボード	180

7章 日常の保守 181

清 掃	182
カバーを清掃する	182
サーマルヘッド／リボンローラー／ プラテンを清掃する	183
用紙収納部を清掃する	184
ハクリモジュールを清掃する	185
消耗品の交換	186
消耗部品の交換	186
サーマルヘッドを交換する	186
プラテンブロックを交換する	190

8章 故障かな？と思ったら ときは 193

エラー表示が出ているときは	194
エラー表示が出ていないのにおかしいときは	196
用紙がつまったとき	199
リボンが途中で切れたとき	200
リボンの巻きが乱れたとき	201
保証および修理の依頼について	202
お客様登録の方法	202
保証について	202
修理に出される前に	203
保守サービスについて	203
プリンターの寿命について	204
補修用部品について	204
マニュアルの再購入について	204
情報サービスについて	204
プリンターを運搬するときは	205
プリンターの廃棄とリボンの処理について	206
プリンターの廃棄について	206
リボンの廃棄について	206

9章 仕様 207

索 引	219
-----------	-----



安全にお使いいただくために

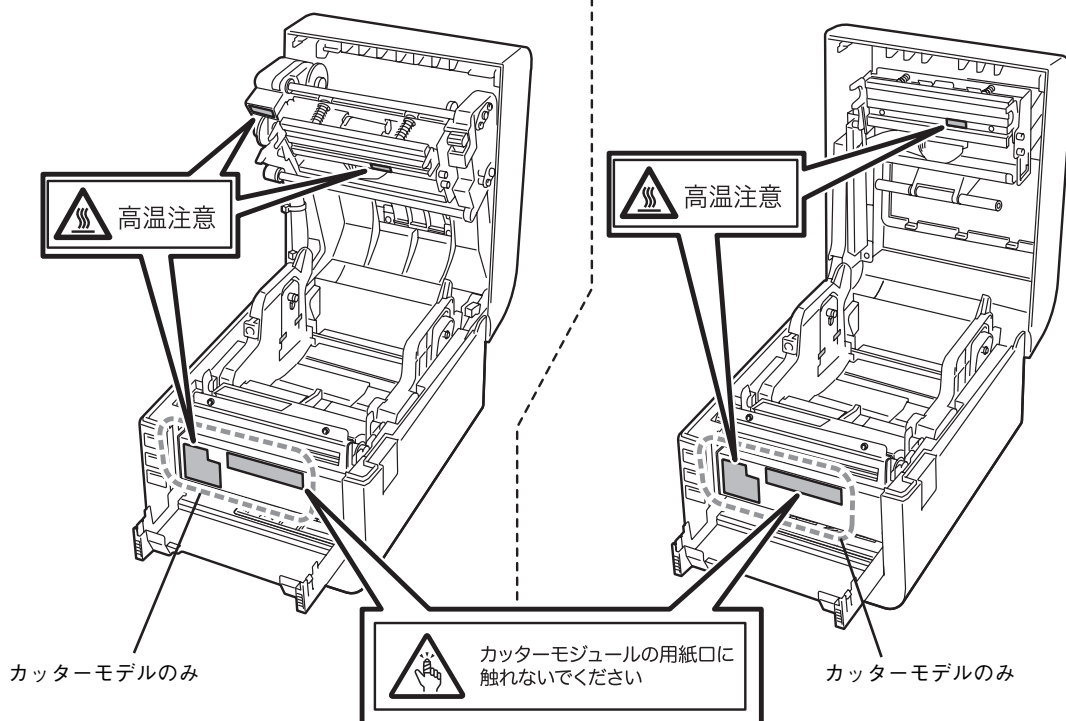
警告ラベルについて

プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、お買い求めの販売店またはNECサービス窓口にご連絡ください。

MultiCoder 500L3T/500L6Tタイプ

MultiCoder 500L3Dタイプ



重要

本製品には無線LANを装着したモデルもあります。無線LANを装着したプリンターは電波を使用する装置^{*1}となります。そのため、使用する用途または場所によっては医用機器に影響を与えるおそれがあります。警告ラベルの表示と併せて「無線LAN（電波）について」（2ページ）に示す注意事項を厳守してください。

*1 無線LANのモデルやオプションとして無線LANを使用した場合のみが対象となります。モデルについては「本書で説明する製品について」（vページ）を参照してください。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。プリントサーバーや無線LANについても記載していますが、装着されていないモデルもあります（vページ参照）。

無線LAN（電波）について

無線LANを装着したプリンター*1 の場合は、電波を使用する装置となります。そのため、使用する用途または場所によっては医用機器に影響を与えるおそれがあります。

無線LAN機能を持つプリントサーバーを搭載したプリンターは、2.4GHz帯域の電波を使用した無線機器として扱われます。2.4GHz帯域は電子レンジなどの産業・化学・医用機器のほか、工場の生産ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定省電力無線局（免許を要しない無線局）で使用されています。

本製品を使用する前に、近くで移動体識別の構内無線局および特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の周波数を変更して、混信を回避してください。（周波数の変更方法についてはプリントサーバーソフトウェアCD-ROM内のオンラインマニュアルの「6 Web Setupの利用」—「無線機能を設定する」の「通信チャンネル」を参照してください。）

その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などは本製品の使用を停止し、お買い求めの販売店または添付の「NEC サービス網一覧表」に記載のサービス窓口までお問い合わせください。



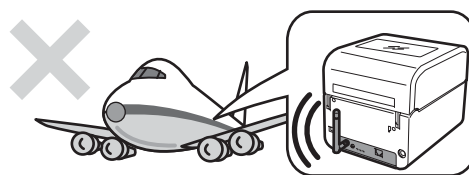
警告

植込み型医用機器を
近づけない



植込み型医用機器を装着されている方は、装着部位をプリンターのアンテナ部より22cm以内に近づけないでください。

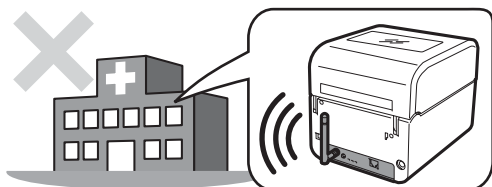
飛行機内では
使用しない



飛行機内では無線LAN（プリントサーバー）を装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、プリントサーバーもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

*1 無線LANのモデルやオプションとして無線LANを使用した場合のみが対象となります。モデルについては「本書で説明する製品について」（vページ）を参照してください。

使用禁止区域では
使用しない



心臓ペースメーカーや補聴器などの医用機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が電波を発生する無線LANの使用を禁止した区域では、本プリンターを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANの使用を認めた区域でも、近くで医用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源はOFFにしてください。

使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。



注意

補聴器のそばで
使用しない



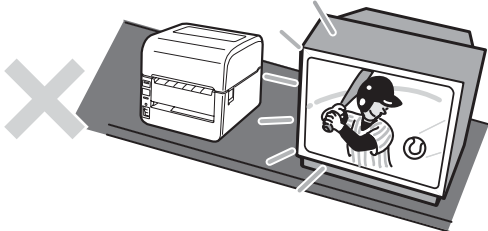
補聴器を装着されている方、またはその近くでプリンターを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くでプリンターを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。



ラジオ、テレビの近くに
設置しない



ラジオやテレビの近くには設置しないでください。そばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

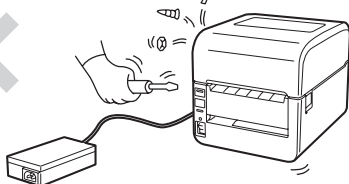


プリンター（プリントサーバー・無線LAN）について



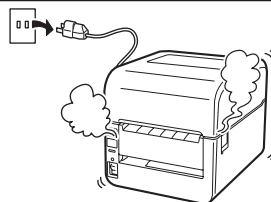
警告

分解・修理・
改造はしない



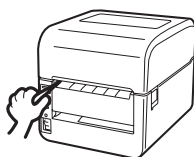
ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。ACアダプターやプリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら
電源をOFFにする



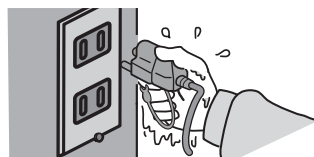
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を
差し込まない



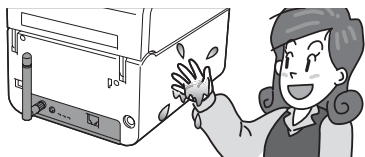
通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を落としたり、差し込んだりしないでください。感電や故障のおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグ
を触らない



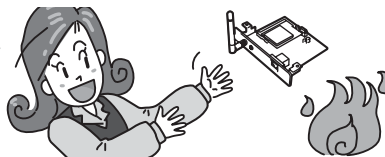
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で触らない



プリントサーバーがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手でプリントサーバーやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

火の中に
投げ入れない



プリントサーバーを火の中に投げ入れないでください。プラスチック部分が溶け出して、有害な成分が発生することがあります。

⚠ 注意

100V以外のコンセントに
差し込まない



100V
専用

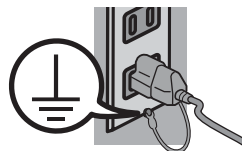
電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお
使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏
電になるおそれがあります。



必ずアース（接地）する



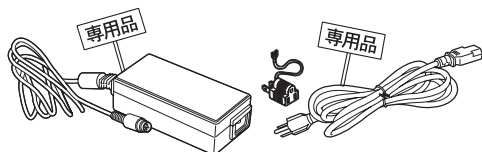
万一漏電した場合、火災・感電のおそれがありま
す。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針など
にはアース（接地）を行わないでください。



変換プラグ・電源コード・
ACアダプターは本体
付属品を使用する



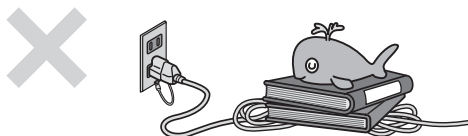
付属品以外を使用すると、火災のおそれがありま
す。



電源コードは
曲げたりねじっ
たりしない



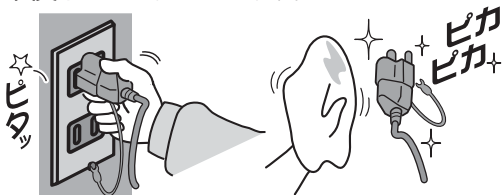
電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ね
たり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないで
ください。またステーブルなどで固定することも
避けてください。コードが破損し、火災や感電の
原因となるおそれがあります。



電源プラグを中途半端
に差し込まない



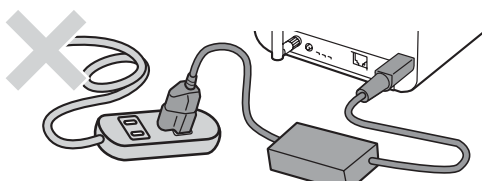
電源プラグはしっかりと差し込んでください。中
途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触
不良の発熱による火災の原因となるおそれがあり
ます。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布
でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこ
りがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、
火災となるおそれがあります。



延長コードは使用しない



添付の専用ACアダプターや変換プラグ、電源コード
だけでコンセントに届かない場所に設置しないでくだ
さい。延長コードの過容量、延長コードへのコンセ
ントの差し込みにより発熱するおそれがあります。



損傷した電源コード
は使わない



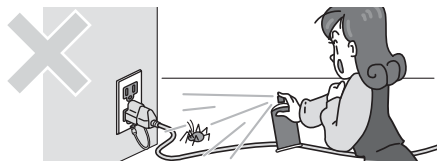
電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



電源コードに薬品類
をかけない



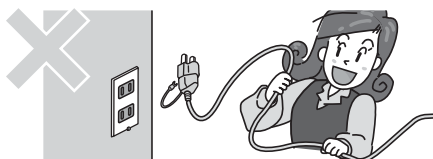
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となるおそれがあります。



電源コードを抜くときは
コードを引っ張らない



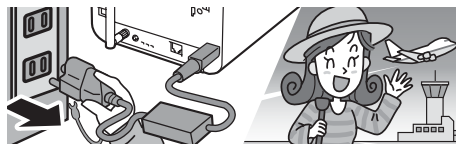
電源コードを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。



長期間使用しないときは
電源プラグを抜く



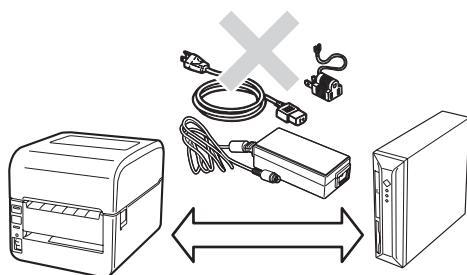
連休などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためプリンター本体および専用ACアダプタの電源プラグを抜いてください。火災の原因となることがあります（電源コードをコンセントから抜くまでプリンター内部は通電状態にあります）。



添付の変換プラグ・電源
コード・ACアダプター
を転用しない



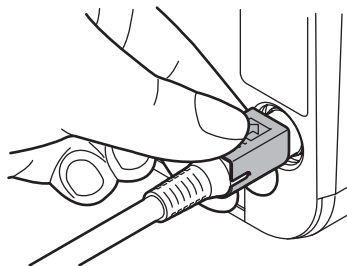
添付の電源コードと変換プラグ、ACアダプターは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。



ACアダプターは電源
コネクター部を持って
抜き差しする



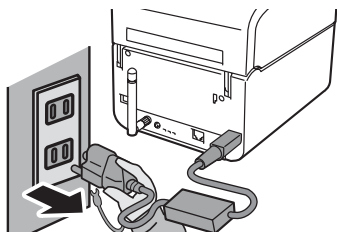
ACアダプターの抜き差しは、電源コネクター部を持って行ってください。ケーブルを引っ張ると、電源コネクター部が破損し、火災や感電のおそれがあります。



電源プラグに手が届きやすい
場所に置く



プリンターの電源スイッチをOFFにしても、電源コードをコンセントから抜くまでプリンター内部は通電状態にあります。万一の事故に備えてコンセントに接続した電源プラグにすぐ手が届くようにしてください。



直射日光が当たるところ、
温度変化の激しいところ
には置かない



プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。また温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）、湿気の多い場所には設置しないでください。温度変化により内部の温度が上がったり、結露現象が起こったりして、故障の原因となるばかりでなく、異常動作したり、火災を引き起こしたりすることがあります。



調理台や加湿器、熱器具
のそばなど、油煙や湯気、
熱が当たる場所に置か
ない



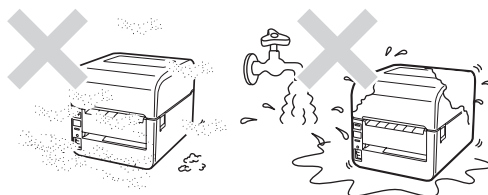
絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が
溶け、火災・感電の原因となるおそれがあります。



ほこり・湿気の多い
場所で使用しない



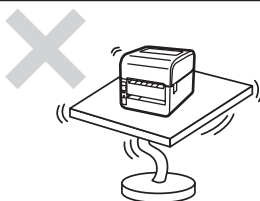
プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。



不安定な場所に
置かない



プリンターを縦型OA
ラックの上段など
不安定な場所には置か
ないでください。けがや
周囲の破損の原因とな
るおそれがあります。



本プリンターを子供に使
わせたり、幼児の手の届
くところに置いたりしない



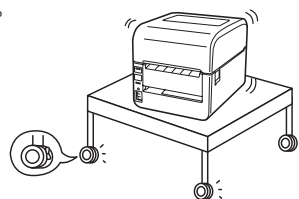
感電・けがの原因となるおそれがあります。



キャスター付きの台に
設置したときは、必ず
キャスター止めをする



動いたり、倒れたりして、けがの原因となるおそれ
があります。

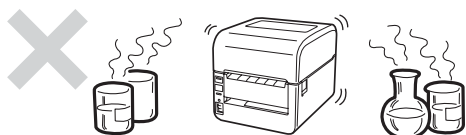


腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない



腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

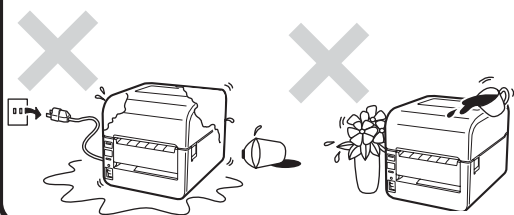
もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



プリンターおよび
プリントサーバー内
に異物を入れない



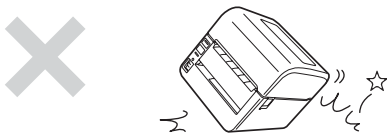
プリンターおよびプリントサーバー内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。



プリンターを落としたり、
強い衝撃を与えたりしない



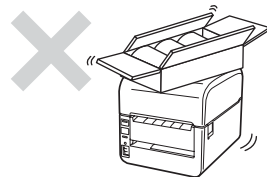
カバーおよびプリントサーバーなどが破損し、火災・感電のおそれがあります。



プリンターの上に重い物を
置かない



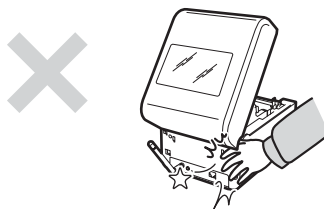
置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となるおそれがあります。



指を挟まない



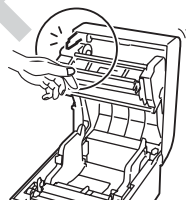
トップカバーを開けたときに指を挟まないように気を付けてください。けがをするおそれがあります。



突起物に手などをぶつけない



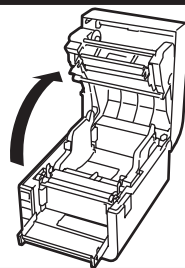
本体内部のロックプレートやトップカバー左側には突起物があります。突起物などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。



トップカバーやリボンフレーム
ユニットは後側へ90度に
全開にする



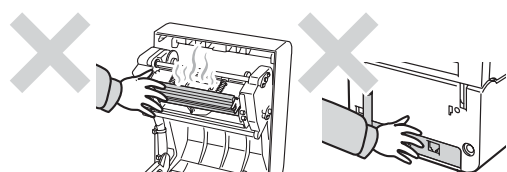
中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。



高温注意



プリンターの内部には、使用中に高温になるサーマルヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。また長時間プリントサーバーを使用した後、取り外したりする場合は、十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。



リボンをなめたりしない



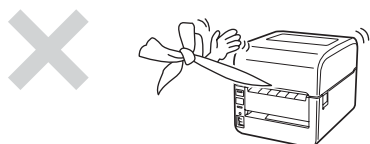
リボンはお子様の手の届かない所に保管してください。インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。



巻き込み注意



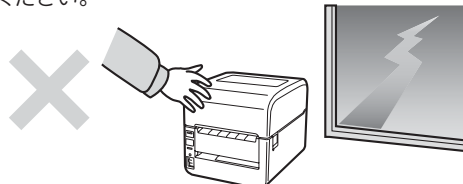
プリンターの動作中、用紙やリボンなどの消耗品を交換するときはプリンターのギヤなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。



雷が鳴りだしたらプリンターに触らない



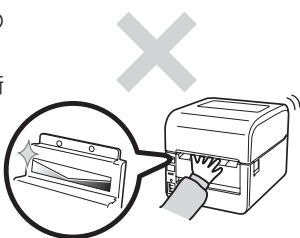
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンターおよびプリントサーバーには触らないでください。



カッターモジュール用紙口には手を触れない



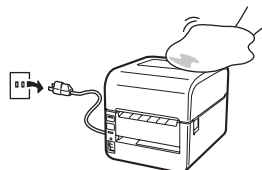
カッターモジュールの用紙口に触れないでください。用紙を切断するカッターが内蔵されており、けがの原因となるおそれがあります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となるおそれがあります。



シンナーやベンジンなどの
薬品類で本プリンターを
拭かない



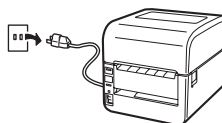
火災の原因となるおそれがあります。



移動するときは、
電源コードや他の
接続コードを抜く



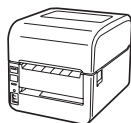
接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・
感電の原因となるおそれがあります。



プリンターの近くで携帯電話
等を使用しない



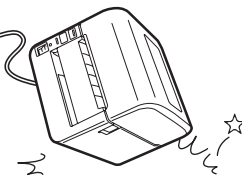
携帯電話、スマートフォン、PHS、ポケットベル、無線通信
機、電子レンジをプリンターの近くで使用しないでくだ
さい。プリンターが異常動作するおそれがあります。



万一、本体を落としたり、
カバーなどを破損した
場合は、電源プラグを
コンセントから抜き、お買い上げの販売店
に連絡する



そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあり
ます。



1章

初めてお使いになるとき

この章では、プリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、コンピューターに接続するまでを以下の手順で説明します。

- | | |
|----------------------|--------|
| 1 設置場所を用意する | →12ページ |
| 2 箱の中身を確認する | →14ページ |
| 3 各部の名前と機能を覚える | →21ページ |
| 4 保護用部品を取り除く | →28ページ |
| 5 電源コード・ACアダプターを接続する | →29ページ |
| 6 電源をONにする（OFFにする） | →31ページ |
| 7 リボンを取り付ける | →32ページ |
| 8 用紙をセットする | →35ページ |
| 9 プリンターの設定をする | →44ページ |
| 10 テスト印刷をする | →45ページ |
| 11 センサーしきい値を調整する | →47ページ |
| 12 コンピューターに接続する | →49ページ |
| 13 ケーブルカバーを取り付ける | →52ページ |
| 14 ネットワークの設定をする | →52ページ |



チェック

オプションの「プリントサーバー」「プリントサーバー+無線LAN」「カッターモジュール」または「ハクリモジュール」を併せて購入した場合も、いったんここに示す手順に従って標準装備の状態ですべてのオプションを完了してからオプションの取り付けを行ってください。

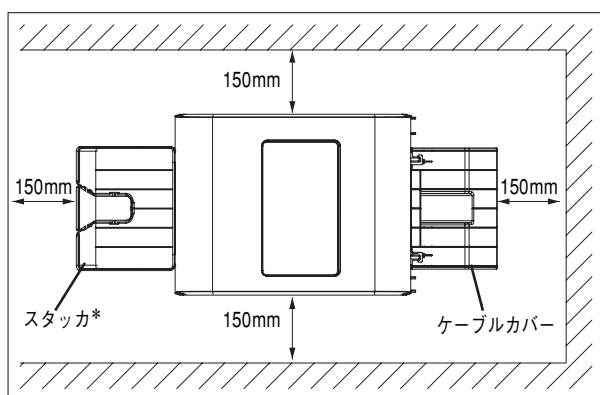
1 設置場所を用意する

設置にふさわしい場所を用意してください。また、ここでは設置準備および日常の運用の際に本プリンターを正しく安全に動作させるための注意事項も記載しています。

ケーブルカバーはケーブルが紙送りのじゃまになる場合に使用します。ロール紙を使用するときもプリンターに装着することをお勧めします。また、ファンフォールド紙を使用する場合は必ず装着してください。

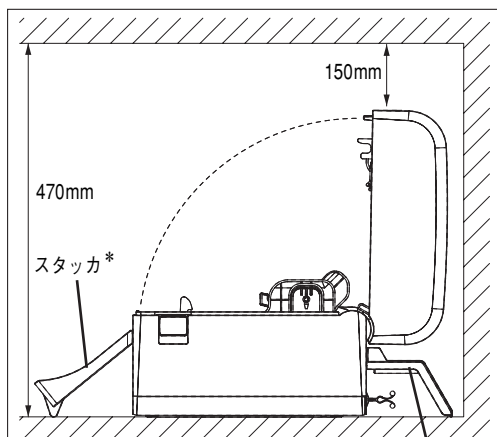
本体の設置について

本プリンターを操作するための十分なスペースが確保でき、風通しが良く、平らで水平な場所に本プリンターを設置してください。また、本プリンターの周辺には、下図のような空間を確保してください。



* オプションです。

プリンター上面

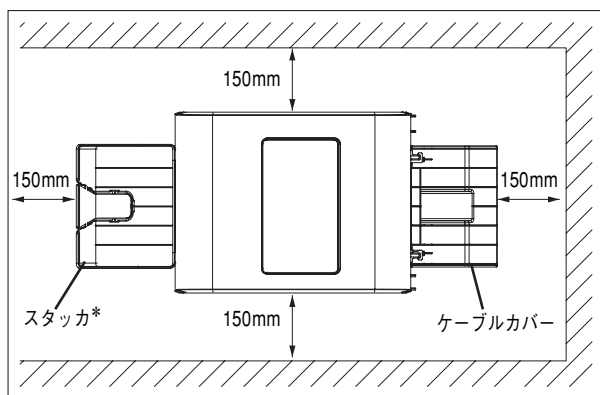


* オプションです。

プリンター右側面

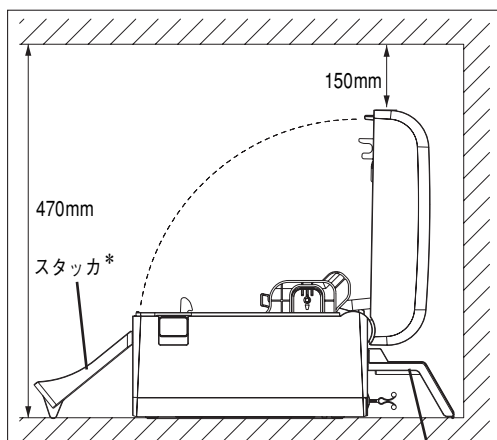
ケーブルカバー

MultiCoder 500L3T/500L6Tタイプ (熱転写+感熱タイプ)



* オプションです。

プリンター上面



* オプションです。

プリンター右側面

ケーブルカバー

MultiCoder 500L3Dタイプ (感熱タイプ)

注意

次のような場所には設置しないでください。火災や感電、けがの原因となるおそれがあります。

- 直射日光が当たる場所
- 高温、多湿な場所
- 急激な温度変化がある場所
- 振動のある場所
- ほこりが多い場所
- 磁気や電磁波を発生する機器の近く
- 火気や水気に近い場所
- 不安定な台の上

重要

油や溶剤が付着するような場所に本プリンターを設置しないでください。カバーなどのプラスチック部品が割れたり、劣化したりする原因となります。

正しく使用するために

本プリンターを正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

- プリンターを動作させる際は必ず用紙をセットしてください。
- 印刷した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。印刷内容の判読不能の原因となります。印刷面の定着性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。
- 本プリンターはNEC指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますため、消耗品はNEC指定品を使用することを推奨します。
- リボンや用紙などの消耗品は、室温で適度な湿度のところに保管してください。直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色したりリボンや用紙を使用すると、印刷品質への悪影響や故障の原因となります。
- オプション類はNECの純正品（指定品）を使用してください。NECの純正品（指定品）以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。
- 使用済みリボンは、各自治体の条例等に従って処分してください。使用済みリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。法律上は「廃プラスチック」に該当します。一般家庭では「プラスチック品」として分別処分してください。
- プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが落下してけがをしたり、破壊による故障・誤動作の原因となります。

2 箱の中身を確認する

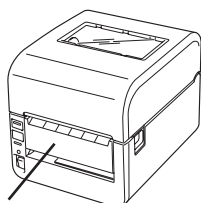
箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



梱包材（箱や緩衝材など）はプリンターを運搬するときに必要となりますので、保管しておいてください。

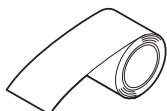
どちらかのタイプ（vページ参照）

- ☐ プリンター本体*1
MultiCoder 500L3Tタイプ
または
MultiCoder 500L6Tタイプ

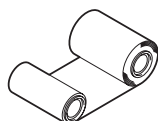


フロントカバー

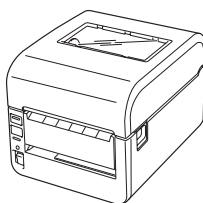
- ☐ 熱転写用テスト用紙



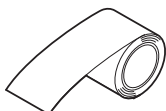
- ☐ テスト用リボン



- ☐ プリンター本体
MultiCoder 500L3Dタイプ



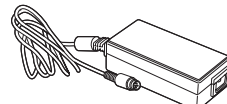
- ☐ 感熱用テスト用紙



- ☐ 電源コード*2



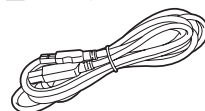
- ☐ ACアダプター*2



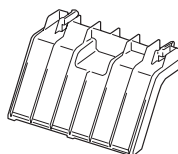
- ☐ 変換プラグ



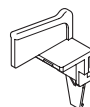
- ☐ USBケーブル



- ☐ ケーブルカバー



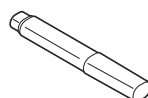
- ☐ センターリブ



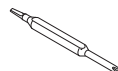
- ☐ ケーブルロック



- ☐ ヘッドクリーナー



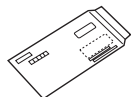
- ☐ 調整ドライバー



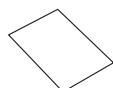
- ☐ ソフトウェア
CD-ROM*3



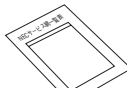
- ☐ 保証書



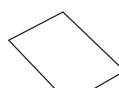
- ☐ ソフトウェアの
ご使用条件



- ☐ NECサービス網
一覧



- ☐ リボン/用紙
取り付けマニュアル



- ☐ ユーザーズマニュアル
（本書）



プリントサーバー標準装備のモデルにのみ添付

- ☐ プリントサーバーソフト
ウェアCD-ROM
（オンラインマニュアル収録）

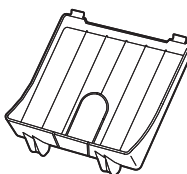


- ☐ セットアップガイド ☐ 無線LAN注意ラベル*4



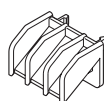
カッターモジュール標準
装備のモデルにのみ添付

- ☐ スタッカ



ハクリモジュール標準
装備のモデルにのみ添付

- ☐ ハクリガイド



*1 MultiCoder 500L3Tタイプはフロントカバーがグリーンです。MultiCoder 500L6Tタイプはフロントカバーがグレーです。

*2 本プリンター以外の用途には絶対にご使用にならないでください。

*3 CD-ROMには、プリンタードライバーおよび「リモートパネル」「PrinterSignalStation for ラベルプリンタ」「LabelStar Lite」「BarStar Pro」のソフトウェアとオンラインマニュアルが収められています。

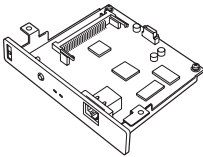
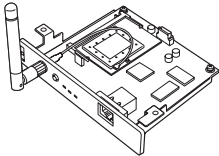
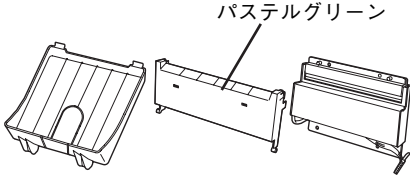
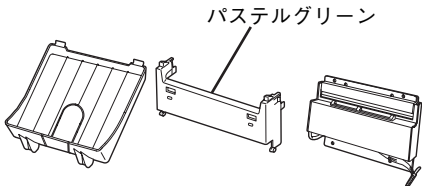
*4 無線LAN標準装備のモデルにのみ添付されています。

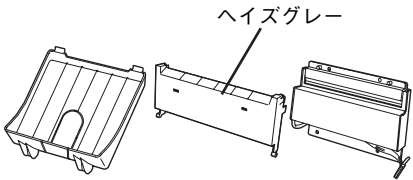
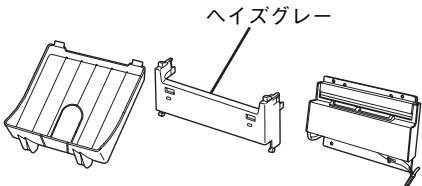
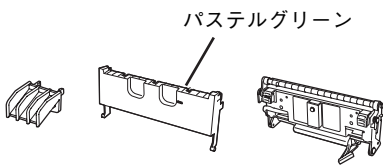
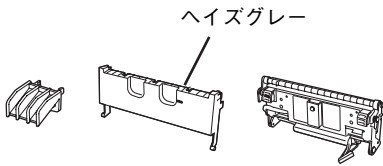
別売品

ご購入にあたりましては、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

オプション

オプションのプリントサーバー（LANボード、無線+LANボード）、カッターモジュール、およびハクリモジュールの取り付け／取り外しをお客様ご自身で行わない場合はお買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。有償で対応します。

形 状	品 名	説 明	参照ページ
	PR-NP-08 プリントサーバー (LANボード)	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース。 TCP/IPのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバーです。	180ページ
	PR-NP-09 プリントサーバー (無線+LANボード)	IEEE 802.11b/g準拠Ethernet（無線LAN）インターフェース。 TCP/IPなどのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバー（無線LAN）です。 有線LANのポートも装備しています。IEEE 802.3準拠Ethernet（有線LAN）インターフェース。 TCP/IPのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバーです。	180ページ
	PR-T500L-01 カッターモジュール	ラベル紙を適切な位置で自動的にカットするユニットです。ラベルのカットは、連続用紙から切り離す方法と、完全に切り離さずに中央をつなげておく方法があります。 ラベル糊（のり）部のカットには適していません。 MultiCoder 500L3シリーズ用。 （リストバンドはカッターモジュールではカットできません。印刷した後、はさみで切ってください。） 寿命（目安）：薄紙30万カット*1	159ページ
	PR-T500L-11 カッターモジュール	ラベル紙を適切な位置で自動的にカットし、連続用紙から切り離します。 ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユニットです。 MultiCoder 500L3シリーズ用。 （リストバンドはカッターモジュールではカットできません。印刷した後、はさみで切ってください。） 寿命（目安）： ラベル糊（のり）部13万カット*1	160ページ

形 状	品 名	説 明	参照ページ
	PR-T500L6-01 カッターモジュール	ラベル紙を適切な位置で自動的にカットするユニットです。ラベルのカットは、連続用紙から切り離す方法と、完全に切り離さずに中央をつなげておく方法があります。ラベル糊（のり）部のカットには適していません。 MultiCoder 500L6シリーズ用。（リストバンドはカッターモジュールではカットできません。印刷した後、はさみで切ってください。） 寿命（目安）：薄紙30万カット*1	159ページ
	PR-T500L6-11 カッターモジュール	ラベル紙を適切な位置で自動的にカットし、連続用紙から切り離します。ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユニットです。 MultiCoder 500L6シリーズ用。（リストバンドはカッターモジュールではカットできません。印刷した後、はさみで切ってください。） 寿命（目安）： ラベル糊（のり）部13万カット*1	160ページ
	PR-T500L-02 ハクリモジュール	ラベルを自動的に台紙から剥離させます。 MultiCoder 500L3シリーズ用。 寿命（目安）：15km*1	170ページ
	PR-T500L6-02 ハクリモジュール	ラベルを自動的に台紙から剥離させます。 MultiCoder 500L6シリーズ用。 寿命（目安）：15km*1	170ページ

* 1 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

プリンターに内蔵することができるオプションは4つあり、装置との組み合わせは次のとおりです。
例えば、カッターモジュールとプリントサーバーを使用していたが、ハクリモジュールと無線LANにしたいときなど、さまざまな組み合わせがあります。



チェック

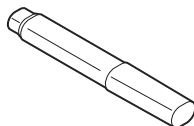
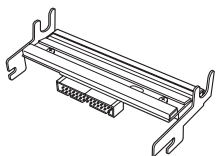
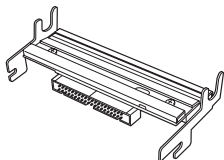
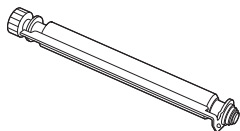
- カッターモジュールとハクリモジュールは同時に装着することはできません。
- プrintサーバー（LANモデル）とPrintサーバー（無線LANモデル）は同時に装着することはできません。

オプションと装置の組み合わせの一覧を下表に示します（MultiCoder 500L3D、MultiCoder 500L3T、MultiCoder 500L6Tとも8通り）。

オプション	組み合わせパターン* 1							
	1	2	3	4	5	6	7	8
カッターモジュール	○	○	○					
ハクリモジュール				○	○	○		
Printサーバー（LANボード）		○			○		○	
Printサーバー（無線+LANボード）			○			○		○

* 1 ○：装着可能

消耗部品

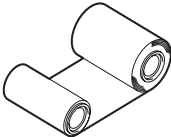
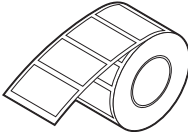
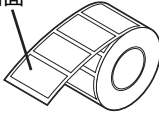
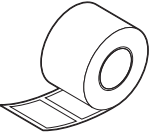
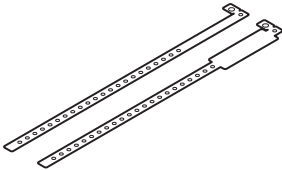
形 状	品 名	説 明
	PR-T500M3-TC01 ヘッドクリーナー	本プリンターのサーマルヘッドを清掃するためのペンです。プリンターに1本標準で添付されています。
	PR-T500L3-TH01 サーマルヘッドブロック	印刷するための機構部品です。 (MultiCoder 500L3シリーズ用) 寿命（目安）：ラベル長約25km分の印刷
	PR-T500L6-TH01 サーマルヘッドブロック	印刷するための機構部品です。 (MultiCoder 500L6シリーズ用) 寿命（目安）：ラベル長約25km分の印刷
	PR-T500L-PB01 ブラテンブロック	用紙の押さえと用紙送りをする機構部品です。 寿命（目安）：ラベル長約25km分の印刷



チェック

本プリンターはNECが指定する消耗部品を使用時に、印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗部品を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、消耗部品はNEC指定品のご使用をお勧めします。

消耗品

形 状	品 名	説 明
	リボン	熱転写をする際に使用する黒色のリボンです。 詳しくは「リボン一覧」(19ページ)を参照してください。
	用紙	本プリンターで利用できる用紙です。 用途に応じたさまざまな用紙を用意しています。 詳しくは「用紙一覧」(19ページ)をご覧ください。なお、用紙には下図のように「外巻き」と「内巻き*1」があります。 本プリンターは「外巻き」を推奨します。  印刷面 【外巻き】  【内巻き】
	リストバンド	本プリンターで利用できるリストバンドです。 用途に応じたサイズを用意しています。詳しくは「リストバンドセット一覧」(20ページ)をご覧ください。

* 1 粘着力の弱い内巻き用紙は、紙づまりの原因となる場合があります。



チェック

- 本プリンターはNECが指定する消耗品を使用時に、印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、消耗品はNEC指定品のご使用をお勧めします。
- 印刷品位を保つためにリボンおよび用紙は使用期限内にお使いください。

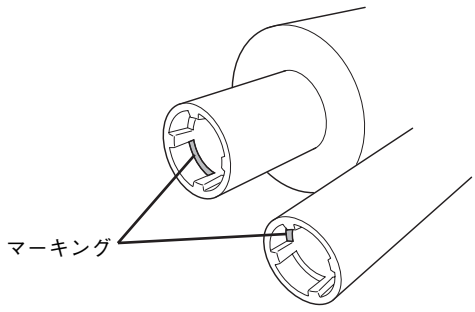
リボン一覧

お客様の仕様に合わせた対応もできます。お買い求めの販売店にご相談ください。

品 名	型 番	仕 様	説 明
ワックスリボン40	PR-T500L-111S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 耐性は低いが、高感度でコストが安いリボン。
ワックスリボン60	PR-T500L-112S	幅：60mm×長さ：100m	
ワックスリボン90	PR-T500L-113S	幅：90mm×長さ：100m	
ワックスリボン112	PR-T500L-114S	幅：112mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン40	PR-T500L-411S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 ワックスより耐性が高く、印刷品位の高いリボン。
ワックスレジンリボン60	PR-T500L-412S	幅：60mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン90	PR-T500L-413S	幅：90mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン112	PR-T500L-414S	幅：112mm×長さ：100m	
レジンリボン40	PR-T500L-711S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 耐性、印刷品位に優れたリボン。
レジンリボン60	PR-T500L-712S	幅：60mm×長さ：100m	
レジンリボン90	PR-T500L-713S	幅：90mm×長さ：100m	
レジンリボン112	PR-T500L-714S	幅：112mm×長さ：100m	

リボン種類マーキング色一覧表

リボンには種類によって色分けがされています。マーキングされている場所は次のとおりです。



リボン種類	色
ワックスリボン	赤
ワックスレジンリボン	青
レジンリボン	黒
リストバンドリボン	なし (マーキングはされていません。)

用紙一覧

各種材質、サイズ、加工仕様、印刷仕様に対応しています。詳細はMultiCoderのホームページ（<http://www.nec.co.jp/products/label>）を参照するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

印刷方式	品 名	説 明
感熱	一般感熱紙	安価な感熱紙で、ラベルとタグを用意しています。
	耐保存感熱紙	保存性に優れたラベルです。
	合成紙	合成樹脂を主原料とした、パルプを使用しないラベルです。
熱転写	コート紙	安価な熱転写用のラベルです。
	タグ紙	安価な熱転写用のタグです。
	合成紙	合成樹脂を主原料とした、パルプを使用しないラベルです。
	白PET	PETフィルムのラベルです。
	銀PET	

用紙とリボンの適合表

下表は一般的な目安であり、ラベルの表面加工や使用条件によって異なるため、あらかじめ印刷品質を評価する必要があります。

◎ 非常に適している ○ 適している × 適していない

リボン	用 紙			
	コート・タグ	合成紙	白 PET・銀 PET	リストバンド
ワックスリボン	◎	×	×	×
ワックスレジンリボン	◎	◎	○	×
レジンリボン*1	×	○	◎	×
リストバンドリボン	×	×	×	◎

* 1 レジンリボンでの細線（0.1～0.2mm幅）は、かすれる場合がありますので注意してください。

リボン幅と用紙幅の適合表

リボン幅	対応可能な用紙幅 (台紙含む)
40mm	25～35mm
60mm	25～55mm
90mm	55～85mm
112mm	85～118mm

リストバンドセット一覧

リストバンドは、病院などで患者さんの腕に着けるなどさまざまな用途で使うことができます。詳細はMultiCoderのホームページ（<http://www.nec.co.jp/products/label>）を参照するか、お買い求めの販売店にご相談ください。リストバンドは、リストバンド専用の「リストバンドリボン」をご使用ください。

セット*1	内 容	品 名	型 番	リストバンド仕様（1本）	説 明
Bセット	リストバンド リボン（2本）*2	リストバンド・ リボンセットB	PR-T500-SAAA001	（印刷部幅×印刷部長さ） 26*3×70mm	リボンと印刷部 が太いバンドの セットです。 リストバンドを 留めるホック （白）も同梱して います。
	リストバンド Bタイプ（10ロール （500本））			（バンド部幅×全体の長さ） 13×288mm	
Nセット	リストバンド リボン（2本）*2	リストバンド・ リボンセットN	PR-T500-SAAA002	（印刷部幅×印刷部長さ） 13*3×70mm	リボンと印刷部 が細いバンドの セットです。 リストバンドを 留めるホック （白）も同梱して います。
	リストバンド Nタイプ（10ロール （500本））			（バンド部幅×全体の長さ） 13×288mm	

* 1 セットでの販売の他、リストバンド Bタイプ /N タイプ、リボン、ホックをそれぞれ個別で販売しています。詳しくは、MultiCoder のホームページ（<http://www.nec.co.jp/products/label>）を参照するか、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

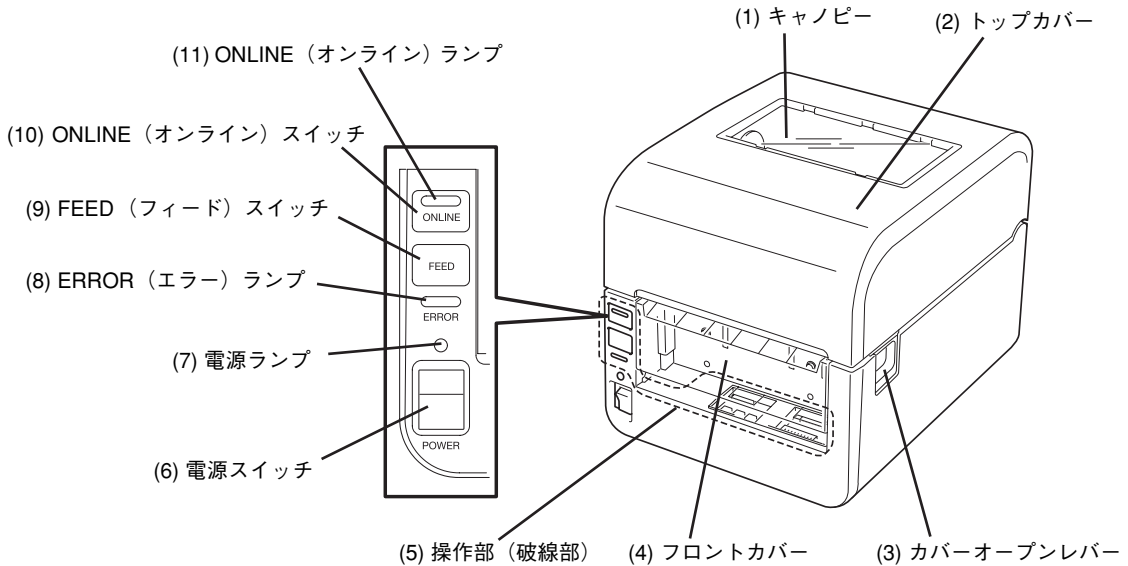
* 2 リボン 1本に対してリストバンドは 5 ロールが使用目安です。

* 3 印刷部の幅です。印刷内容を保証する幅ではありません。

3 各部の名前と機能を覚える

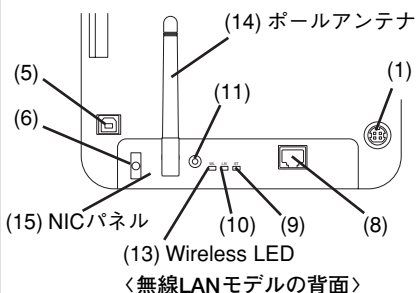
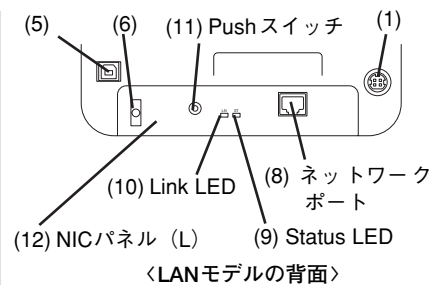
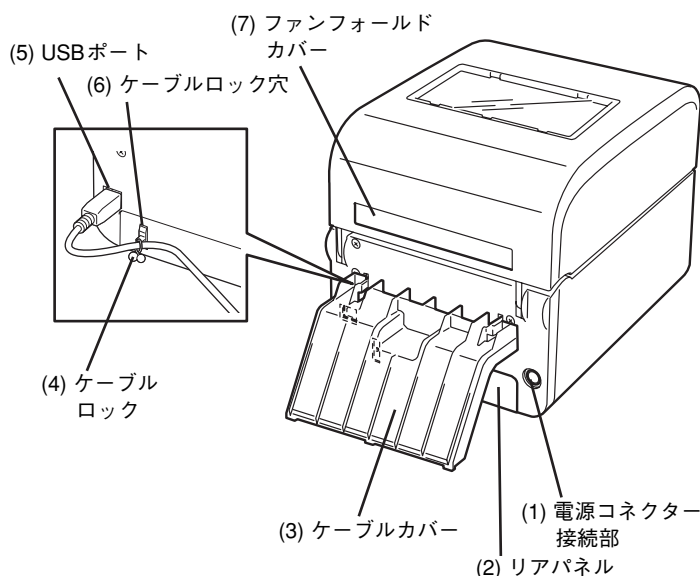
外 観

前 面



番 号	部品名	機 能
(1)	キャノピー	用紙の残量を確認する窓です。
(2)	トップカバー	用紙およびリボンを取り外すときや交換、紙づまりの処理をするときに開閉します。
(3)	カバーオープンレバー	トップカバーを開けるときに押します。
(4)	フロントカバー	前面のカバーです。プリンターのスイッチやボリュームを操作する際に開きます。
(5)	操作部	プリンターのさまざまな設定を行う場所です。詳しくは5章の「操作部とプリンターの設定」(137 ページ) を参照してください。
(6)	電源スイッチ	本プリンターの電源をON/OFFします。 : ON ○ : OFF
(7)	電源ランプ	プリンターの電源の状態を表示するランプです。 点灯 : 電源がONの状態です。 消灯 : 電源がOFFの状態です。
(8)	ERROR (エラー) ランプ	エラーが発生したときに点灯・点滅するランプです。
(9)	FEED (フィード) スイッチ	用紙を送るスイッチです。スイッチは放したときに有効になります。オフライン状態時のみ機能するスイッチです。
(10)	ONLINE (オンライン) スイッチ	押すたびにデータを受信できる状態 (オンライン状態) と受信できない状態 (オフライン状態) を交互に切り替えるスイッチです。スイッチは放したときに有効になります。
(11)	ONLINE (オンライン) ランプ	印刷可能な状態や印刷の一時停止中に点滅・点灯するランプです。

背面



番 号	部品名	機 能
(1)	電源コネクタ接続部	添付のACアダプターの電源コネクタを接続するところです。
(2)	リアパネル	プリントサーバーまたはプリントサーバー +WL-LANボードを取り付ける際に取り外すパネルです。
(3)	ケーブルカバー	ファンフォールド紙をスムーズに送るための部品です。ケーブルが紙送りのじゃまになる場合にも利用できます。
(4)	ケーブルロック	USBケーブルをUSBポートから抜けにくくするために通す部品です。
(5)	USBポート	添付のUSBケーブルを接続するポートです。
(6)	ケーブルロック穴	装置に添付のケーブルロックを差し込む穴です。
(7)	ファンフォールドカバー	ファンフォールド紙を使用するときを開けるカバーです。

＜LANモデル／無線LANモデルのみ＞

番 号	部品名	機 能
(8)	ネットワークポート	ネットワークケーブルを接続します (10BASE-T/100BASE-TX)。
(9)	Status LED	通信中に点滅します。
(10)	Link LED	10BASE-T/100BASE-TXまたは無線 (Infrastructureモード) で接続が確立されると点灯します。
(11)	Pushスイッチ	自己診断印刷や出荷時の状態へのリセットを行うことができます。

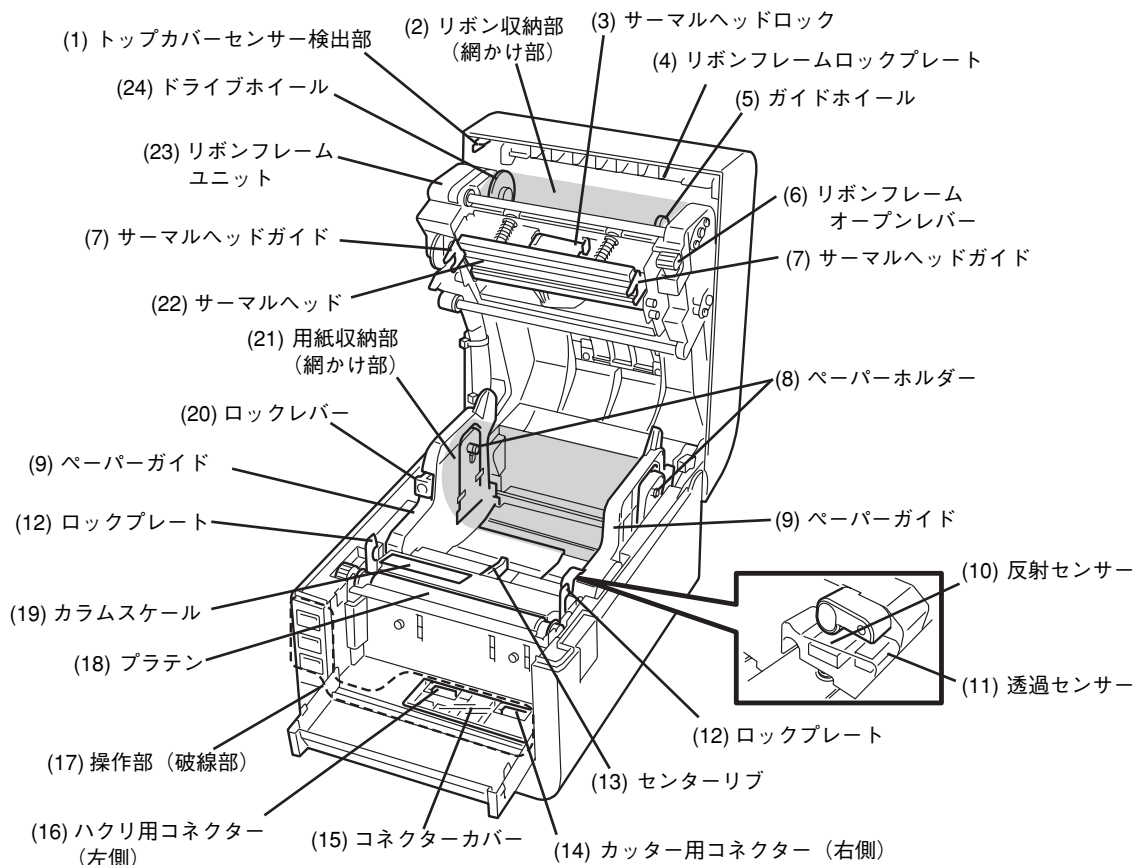
＜LANモデルのみ＞

番 号	部品名	機 能
(12)	NICパネル (L)	LANモデル専用のパネルです。

＜無線LANモデルのみ＞

番 号	部品名	機 能
(13)	Wireless LED	AdHocモードで接続が確立されると、2秒周期で点滅します。Infrastructureモードで接続が確立すると、点灯します。
(14)	ボールアンテナ	無線LAN用のアンテナです。
(15)	NICパネル	無線LAN+LANモデル専用のパネルです。

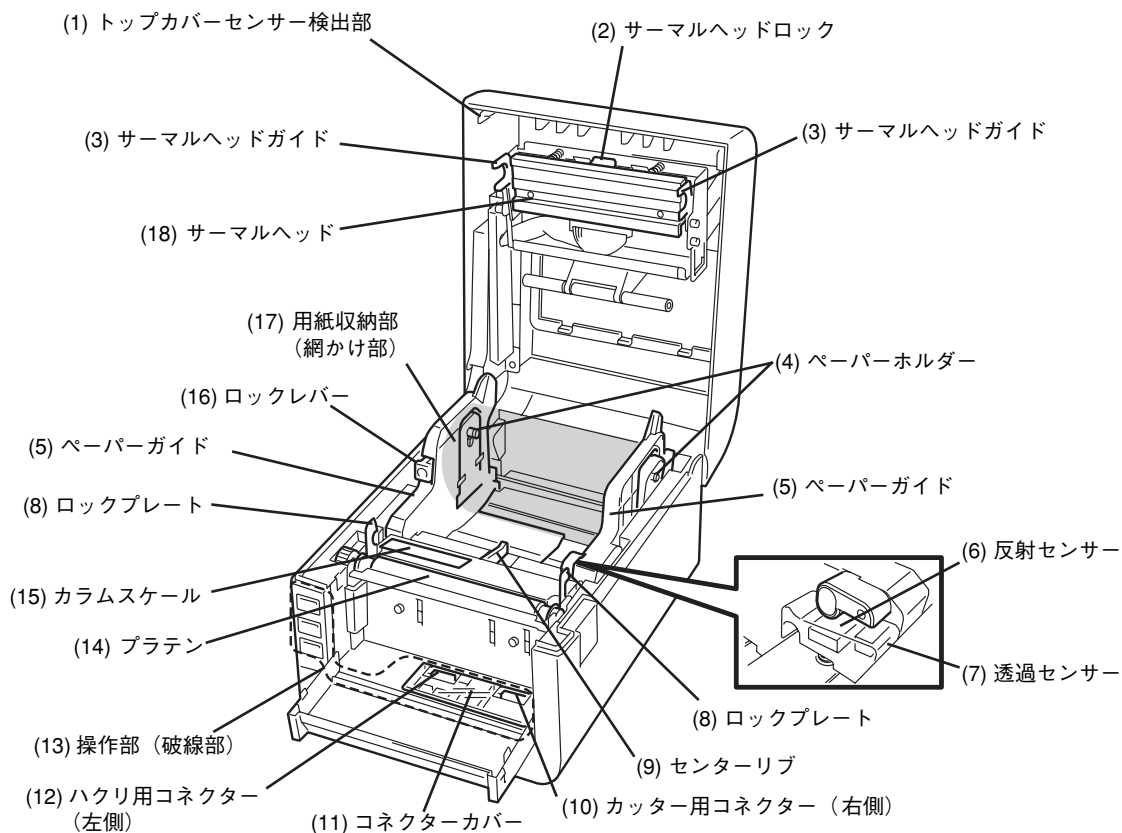
〈MultiCoder 500L3T/500L6T（熱転写+感熱タイプ）〉



番 号	部品名	機 能
(1)	トップカバーセンサー検出部	トップカバー開閉時、センサーを検出するための部分です。
(2)	リボン収納部	リボンを収納する場所です（手前：巻き取り側／奥：供給側）。
(3)	サーマルヘッドロック	サーマルヘッドを本体から取り外すためのレバーです。
(4)	リボンフレームロックプレート	リボンを入れるときにリボンフレームユニットを解除する部品です。
(5)	ガイドホイール	リボンを保持します。
(6)	リボンフレームオープンレバー	リボンフレームを下げるときに押すレバーです。
(7)	サーマルヘッドガイド	ブラテンとサーマルヘッドを固定させる部品です。
(8)	ペーパーホルダー	用紙を保持する可動式のガイドと軸です。
(9)	ペーパーガイド	用紙を保持するガイドです。
(10)	反射センサー	用紙の位置を感知するセンサーです（用紙裏の黒マーク感知用）
(11)	透過センサー	用紙の位置を感知するセンサーです（用紙間のギャップ（すき間）感知用）
(12)	ロックプレート	トップカバーを留める部品です。
(13)	センターリブ	用紙を保持するガイドです。外巻き用と内巻き用があり、購入時は外巻き用が取り付けられています。内巻き用は本プリンターに添付されています。

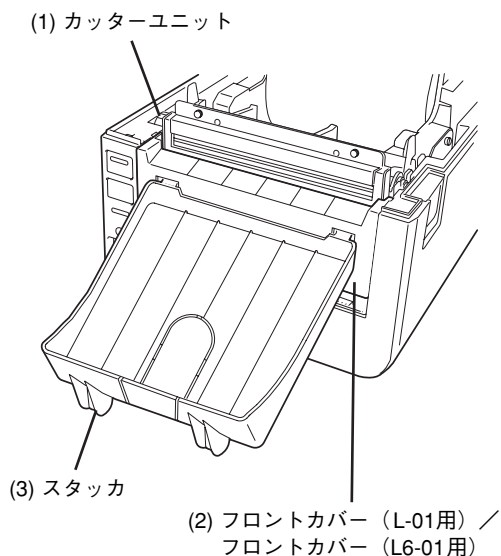
番 号	部品名	機 能
(14)	カッター用コネクタ（右側）	カッターユニットのケーブルを接続するコネクタです。
(15)	コネクタカバー	コネクタを保護するカバーです。
(16)	ハクリ用コネクタ（左側）	ハクリユニットのケーブルを接続するコネクタです。
(17)	操作部	プリンターのさまざまな設定を行う場所です。詳しくは5章の「操作部とプリンターの設定」（137 ページ）を参照してください。
(18)	プラテン	用紙を送ります。
(19)	カラムスケール	用紙をセットする際にペーパーホルダーの位置合わせの目安となるメモリです。
(20)	ロックレバー	用紙幅を調整するときに押すレバーです。
(21)	用紙収納部	用紙を収納する場所です。
(22)	サーマルヘッド	熱を加えて印刷する部品です。
(23)	リボンフレームユニット	リボンを収めるユニットです。
(24)	ドライブホイール	リボンを巻き取り側へ送ります。

〈MultiCoder 500L3D (感熱タイプ)〉



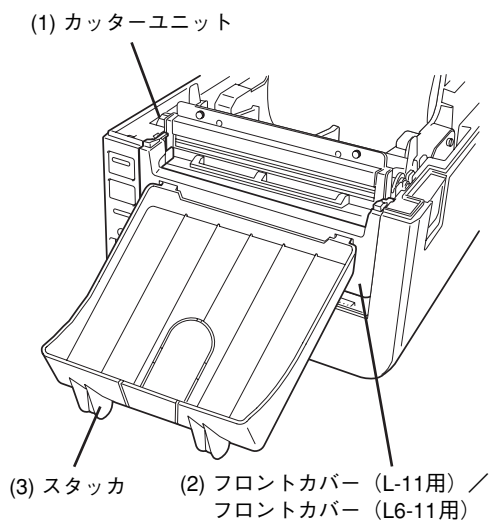
番 号	部品名	機 能
(1)	トップカバーセンサー検出部	トップカバー開閉時、センサーを検出するための部分です。
(2)	サーマルヘッドロック	サーマルヘッドを本体から取り外すためのレバーです。
(3)	サーマルヘッドガイド	ブラテンとサーマルヘッドを固定させる部品です。
(4)	ペーパーホルダー	用紙を保持する可動式のガイドと軸です。
(5)	ペーパーガイド	用紙を保持するガイドです。
(6)	反射センサー	用紙の位置を感知するセンサーです (用紙裏の黒マーク感知用)
(7)	透過センサー	用紙の位置を感知するセンサーです (用紙間のギャップ (すき間) 感知用)
(8)	ロックプレート	トップカバーを留める部品です。
(9)	センターリブ	用紙を保持するガイドです。外巻き用と内巻き用があり、購入時は外巻き用が取り付けられています。内巻き用は本プリンターに添付されています。
(10)	カッター用コネクター (右側)	カッターユニットのケーブルを接続するコネクターです。
(11)	コネクターカバー	コネクターを保護するカバーです。
(12)	ハクリ用コネクター (左側)	ハクリユニットのケーブルを接続するコネクターです。
(13)	操作部	プリンターのさまざまな設定を行う場所です。詳しくは5章の「操作部とプリンターの設定」(137 ページ) を参照してください。
(14)	ブラテン	用紙を送ります。
(15)	カラムスケール	用紙をセットする際にペーパーホルダーの位置合わせの目安となるメモリです。
(16)	ロックレバー	用紙幅を調整するときに押すレバーです。
(17)	用紙収納部	用紙を収納する場所です。
(18)	サーマルヘッド	熱を加えて印刷する部品です。

〈カッターモデル／オプション：PR-T500L-01、PR-T500L6-01のみ〉



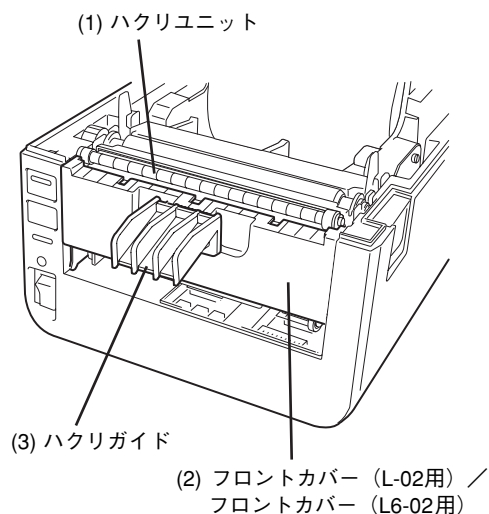
番号	部品名	機 能
(1)	カッターユニット	- 印刷済みの用紙を切り離します（フルカット方式）。 - 印刷済みの用紙の中央部分が次の用紙と部分的につながった状態でカットします（パーシャルカット方式）。 - 連続して用紙に印刷をします（ただしカットはしません）。
(2)	フロントカバー（L-01用）	MultiCoder 500L3シリーズのカッターモデル／PR-T500L-01専用のフロントカバーです。 色：パステルグリーン
	フロントカバー（L6-01用）	MultiCoder 500L6シリーズのカッターモデル／PR-T500L6-01専用のフロントカバーです。 色：ヘイズグレー
(3)	スタッカ	カットした用紙をためておく部品です。

〈糊（のり）対策カッターモデル／オプション：PR-T500L-11／PR-T500L6-11のみ〉



番号	部品名	機 能
(1)	カッターユニット	- ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユニットです。印刷済みの用紙を切り離します（フルカット方式）。パーシャルカットはできません。 - 連続して用紙に印刷をします（ただしカットはしません）。
(2)	フロントカバー（L-11用）	PR-T500L-11専用のフロントカバーです。 色：パステルグリーン
	フロントカバー（L6-11用）	PR-T500L6-11専用のフロントカバーです。 色：ヘイズグレー
(3)	スタッカ	カットした用紙をためておく部品です。

〈ハクリモデル／オプション：PR-T500L-02、PR-T500L6-02のみ〉



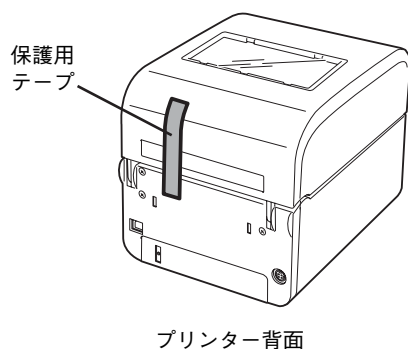
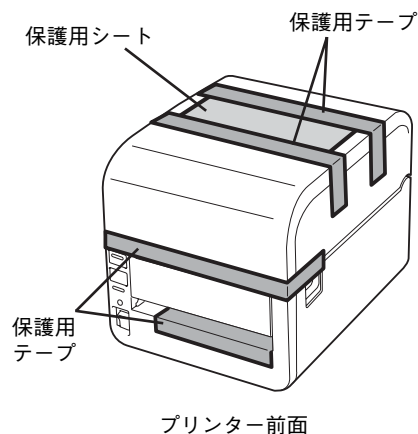
番号	部品名	機 能
(1)	ハクリユニット	- 印刷済みの用紙を台紙から剥離します。 - 連続して用紙に印刷をします（ただし剥離はしません）。
(2)	フロントカバー (L-02用)	MultiCoder 500L3シリーズのハクリモデル／PR-T500L-02専用のフロントカバーです。 色：パステルグリーン
	フロントカバー (L6-02用)	MultiCoder 500L6シリーズのハクリモデル／PR-T500L6-02専用のフロントカバーです。 色：ヘイズグレー
(3)	ハクリガイド	剥離した用紙をガイドするユニットです。

1 初めてお使いになるとき

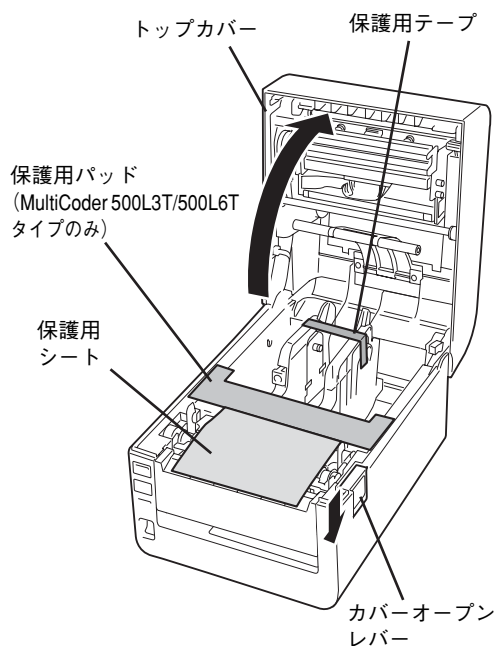
4 保護用部品を取り除く

プリンター本体には運搬時の衝撃からプリンターを守るためにテープが貼り付けられています。また印刷機構部には保護用シートと保護用パッドが入っています。これらはプリンターを使用するときは必要ありません。

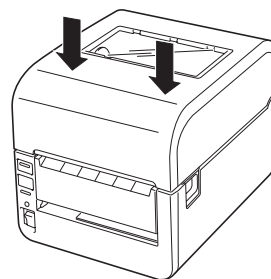
- ① プリンターを箱から取り出した後、保護用テープと保護用シートを取り除きます。



- ② カバーオープンレバーを押して、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にします。
- ③ プリンター内部の保護用テープ、保護用シートおよび保護用パッドを取り除きます。



- ④ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

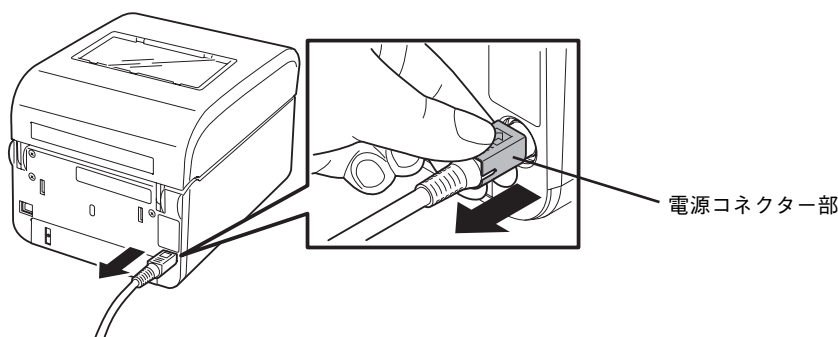


5 電源コード・ACアダプターを接続する

⚠ 注意

電源コードを接続するときは次のことを守ってください。守らないと火災や感電の原因となります。

- 電源コードは電流容量10アンペア（A）以上の壁付きコンセントに接続してください。
- 本プリンターに添付の電源コードを使用してください。
- コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。
- 延長コードを使った配線はしないでください。
- 電源コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- アース線は必ずアース端子に接続してください。
- 電源コードのプラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源コードが損傷した場合は、すぐにお近くの販売店または保守サービス会社に修理を依頼してください。
- 電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないようにしてください。
- めれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。
- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。電源の供給を完全に停止するためには電源プラグを抜く必要があります。電源スイッチをOFF「○」にしても電源の供給は停止しません。
- プリンターから電源コネクターを取り外すときは、電源コネクター部を持って抜いてください。電源コネクター部を持って抜かないと接続のロックが解除できません。ケーブルを持って引っ張るとコネクター部が破損し、火災や感電のおそれがあります。



🔑 重要

- アース線は切断しないでください。切断するとアース端子に接続できなくなり、故障の原因となります。
- アース線は、キャップを外してからアース端子に接続してください。
- アース線をコンセントと一緒に差し込まないでください。
- プラグを差し込む前にプリンターの電源がOFFになっていることを確認してください。
- 電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大容量の電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- 添付の電源コード、変換プラグ、およびACアダプターを他の装置で使用しないでください。

① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

「○」側がOFFです。

② ACアダプターの電源コネクターをプリンターの電源コード接続部に接続します。

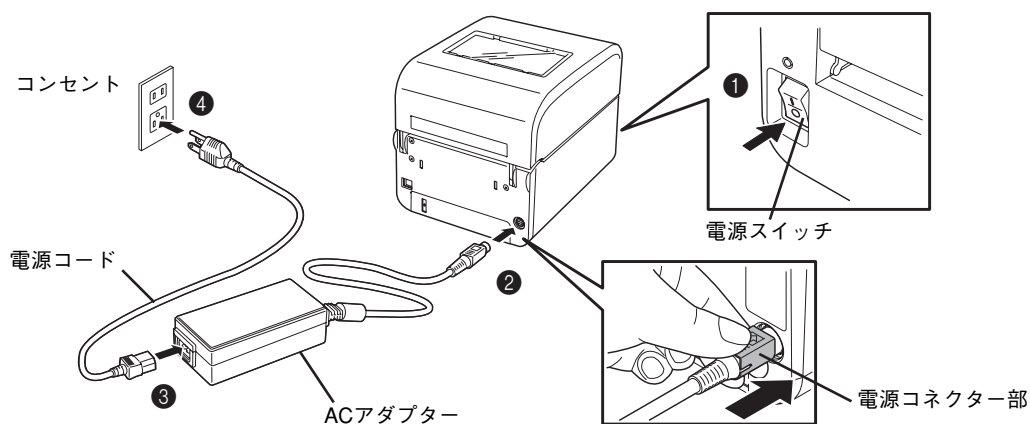


電源コネクター部を持って「カチッ」と音がするまでプリンターの接続部に押し込んでください。コネクターの接続がロックされ、容易に抜けなくなります。

③ 電源コードをACアダプターに接続します。

④ 〈コンセントが3極の場合〉

電源コードをそのままコンセントに接続します。



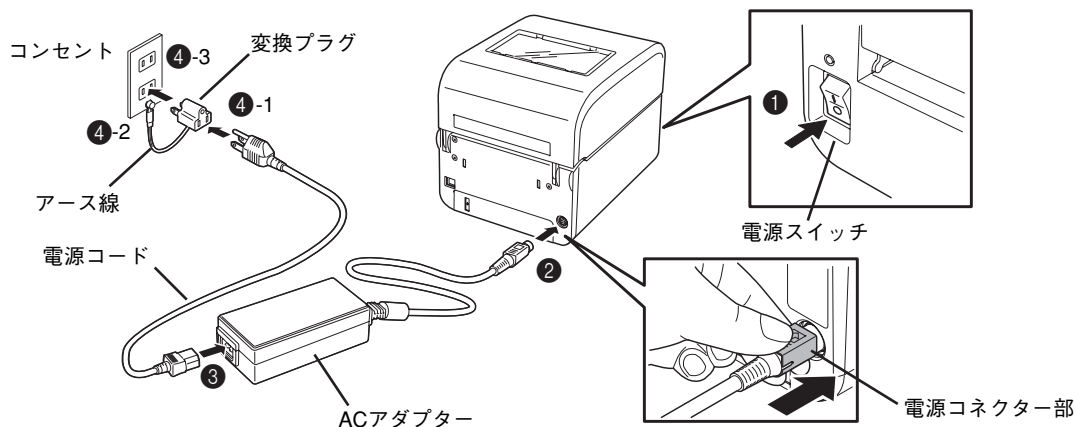
添付の変換プラグは使用しません。大切に保管してください。

〈コンセントが2極の場合〉

④-1 電源コードのプラグに変換プラグを取り付けます。

④-2 変換プラグのアース線をコンセントにあるアースプラグに接続します。

④-3 変換プラグをコンセントに接続します。



6 電源をONにする (OFFにする)

本プリンターは電源ON時にサーマルヘッドやメモリーのチェックを行います。

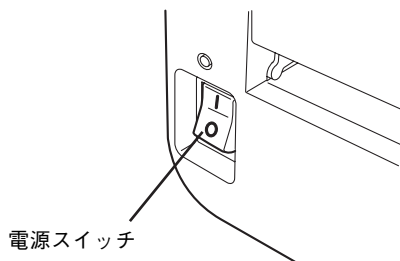
重要

電源のON/OFFは電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜き差ししてON/OFFすると、故障の原因となります。

電源をONにする

プリンターの電源スイッチをONにします。

「I」側がONです。



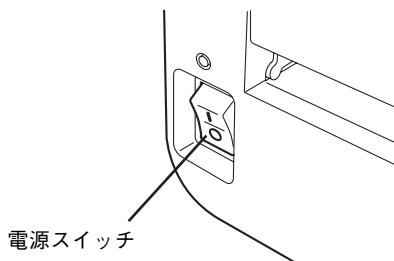
操作部のONLINE ランプ (緑)、ERROR ランプ (赤)、および電源ランプ (緑) が点灯し、コネクターカバー下の7セグメントLED (以降、「7セグメントLED」と呼びます) には「E」が表示されます。(7セグメントLEDについては5章の「操作部とプリンターの設定」(137 ページ) を参照してください。)

電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示したときは、8章の「エラー表示が出ているときは」(194 ページ) を参照してください。

電源をOFFにする

プリンターの電源スイッチをOFFにします。

「O」側がOFFです。



重要

用紙の印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。紙づまりや故障の原因となります。ただし、プリンターから異臭がしたり発煙しているときは、ただちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

7 リボンを取り付ける

MultiCoder 500L3Dタイプは印刷方式が感熱方式のため、この項目を飛ばして次へ進んでください。

本プリンターは「熱転写」と「感熱」という2種類の印刷方式に対応しています。熱転写方式とは、サーマルヘッドの熱でリボンのインクを溶かし、用紙に定着させる印刷方式です。感熱方式とは、発色剤を含んだ用紙にサーマルヘッドで熱を加え、発色させる印刷方式です。

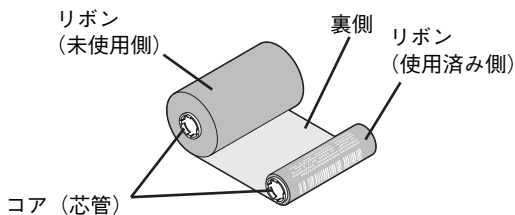
本プリンターに取り付けることのできるリボンについては「リボン一覧」（19ページ）を参照してください。また使用する用紙とリボンの適合については「用紙とリボンの適合表」（20ページ）を参照してください。ここでは、初めて本プリンターにリボンを取り付ける手順について説明します。

⚠ 注意

- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。
- インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。

🔑 重要

- 本プリンターは NEC 指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、リボンはNEC指定品を使用することを推奨します。
- 感熱方式で印刷するときは、リボンを取り付けしないでください。リボンを取り付けて印刷した場合、印刷に汚れが出たり、サーマルヘッドが破損したり、サーマルヘッドに溶けたリボンが付着したりして、サーマルヘッドの交換（有償）が必要になります。
- リボンには裏と表（インク面）がありますので、注意して取り付けてください。逆に取り付けて印刷すると、印刷できないばかりか、サーマルヘッドの交換（有償）が必要になります。
- 途中まで使用したリボンの未使用側／使用済み側の見分け方は、下図を参照してください。新しいリボンの場合は、径の太い方が未使用側です。
- リボン幅と用紙幅の差が大きい場合、シワが発生するおそれがあります。下表を参考に用紙幅に合ったリボンを使用してください。



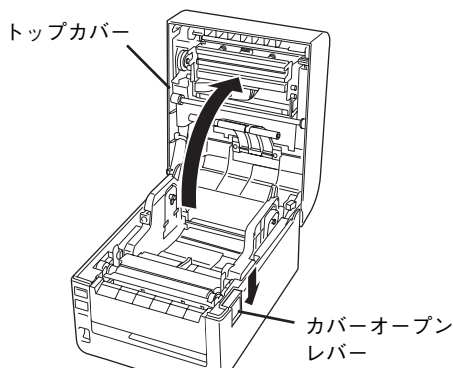
リボン幅	対応可能な用紙幅（台紙含む）
40mm	25～35mm
60mm	25～55mm
90mm	55～85mm
112mm	85～118mm

- 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。
- リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。お客様の判断において廃棄してください。リボンに残る印刷内容について、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

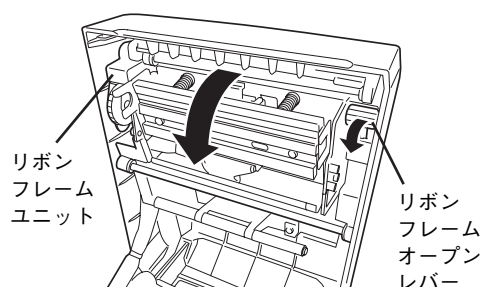
✓ チェック

- NEC指定以外のリボンを取り付けて印刷した場合、その結果に対しては責任を負いかねます。
- リボンから用紙に転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあります。特にプリンタードライバーの「ネガイメージ」を選択して印刷する際はご注意ください。

- ① カバーオープンレバーを押して、トップカバーを開きます。



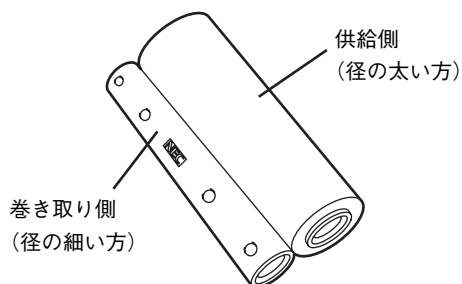
- ② リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



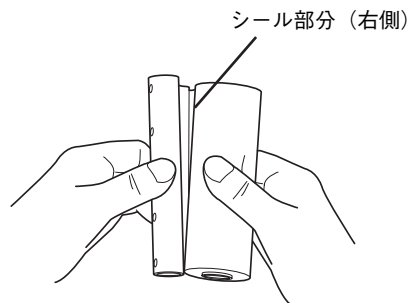
- ③ リボンを袋から取り出します。

リボンの種類によって色分けがされています（「リボン種類マーキング色一覧表」（19ページ）参照）。

リボンを袋から出したときは下図のようになっています。

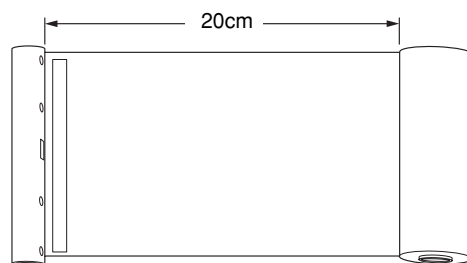


- ④ 両手で供給側のシール部分（右側）を離します。

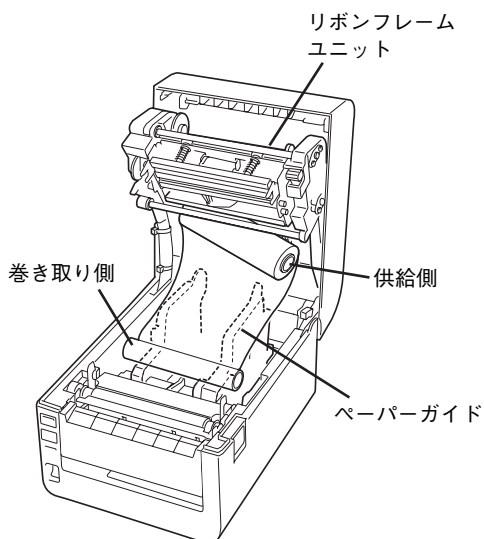


巻き取り側のシール部分は離さないでください。

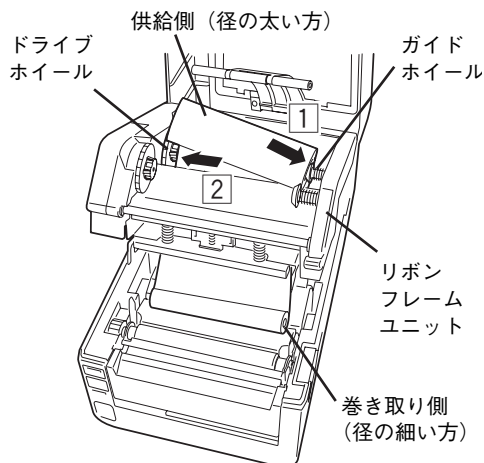
- ⑤ 透明な部分を20cmくらい広げます。



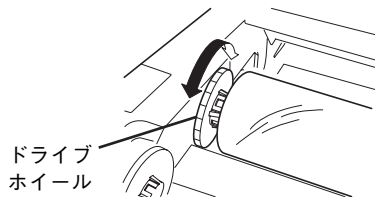
- ⑥ 巻き取り側をペーパーガイド手前の上に仮置きして、供給側をリボンフレームユニットの下にくぐらせます。



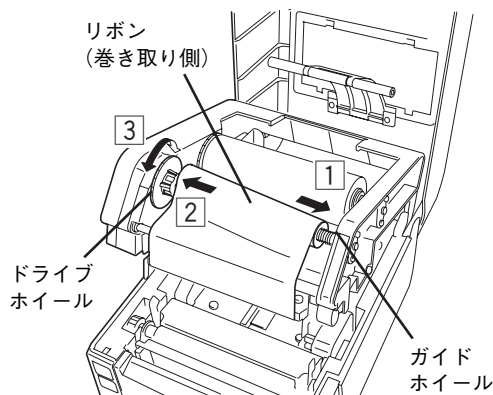
- ⑦ 右側のガイドホイールにリボンを取り付けます。
- ⑧ 左側のドライブホイールにリボンを取り付けます。



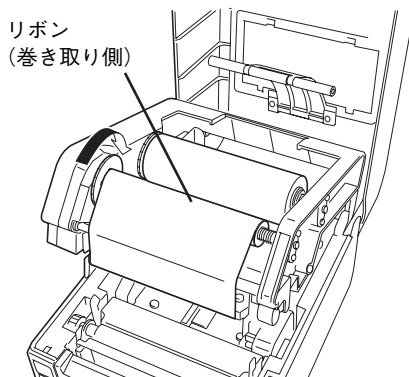
ドライブホイールに入らないときは前後に回しながら入れます。



- ⑨ リボンの巻き取り側をガイドホイールに取り付けた後、ドライブホイールに取り付けます。
- 前述の「チェック」と同じようにドライブホイールに入れづらいときは前後に回しながら入れてください。

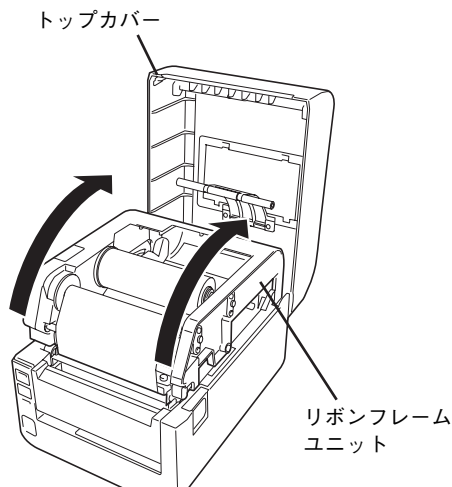


- ⑩ ドライブホイールをプリンター奥側へ回して印刷できる部分（黒い部分）までリボンを巻き取ります。

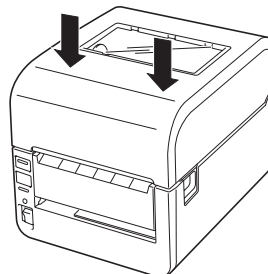


途中まで使用していたリボンを取り付ける場合は、たるみがなくなるまで巻き取ってから使用してください。

- ⑪ リボンフレームユニットをトップカバーにロックします。



- ⑫ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



以上で完了です。

8 用紙をセットする

ここでは、初めて本プリンターに用紙を取り付ける手順について説明します。

- プリンターの中に入れて使用するロール紙の場合 38ページ
- プリンターの外で使用するファンフォールド紙の場合 40ページ

本プリンターではラベルとタグを使用することができます。用紙はNEC指定の純正品を推奨します（3章の「用紙の取り扱いと印刷」（89 ページ）を参照）。

用紙の購入および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

注意

- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの間に指を挟まないように注意してください。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。

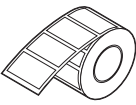
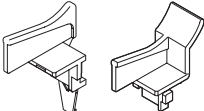
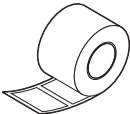
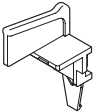
重要

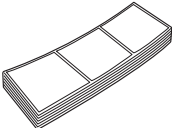
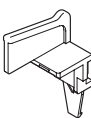
- 本プリンターは NEC 指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、用紙はNEC指定品を使用することを推奨します。
- ご使用になる用紙の種類に合わせてセンサーの感度調整を行ってください。「11 センサーしきい値を調整する」（47ページ）を参照して補正設定を行ってください。

センターリブの交換

使用する用紙に合わせてセンターリブを交換してください。取り外したセンターリブは大切に保管してください。センターリブを交換後、センサーしきい値調整を行ってください。（「11 センサーしきい値を調整する」（47 ページ）参照。）

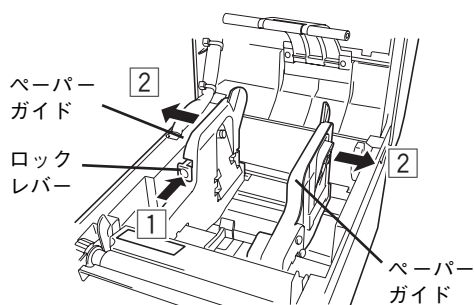
用紙とセンターリブの適合表

用 紙	センターリブ	色	説 明
外巻き 		ホワイ または ブラック	装置にどちらかが装着されています。
内巻き 		グレー	装置に添付されています。

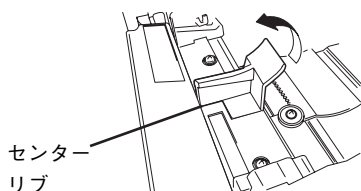
用 紙	センターリブ	色	説 明
ファンフォールド紙 		グレー	装置に添付されています。

センターリブ（ホワイト）の取り外し

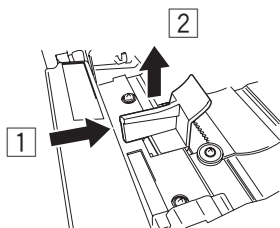
- ① カバーオープンレバーを押してトップカバーを開き、ロックレバーを押しながらペーパーガイドを両端まで広げます。



- ② センターリブの先端側を指でつまみ持ち上げながら手前側に引き上げます。

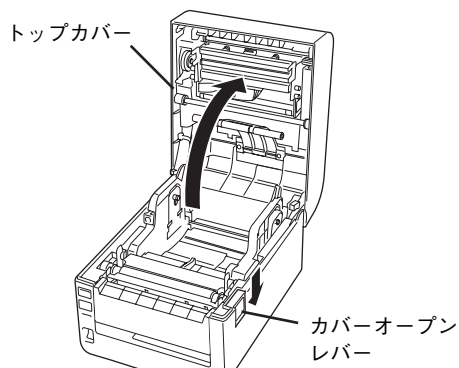


- ③ センターリブの位置をロール紙側へずらし、上方へ引き上げます。

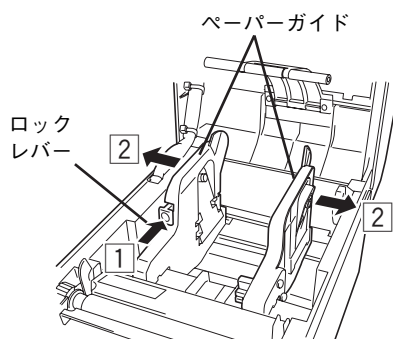


センターリブ（ブラック、グレー）の取り外し

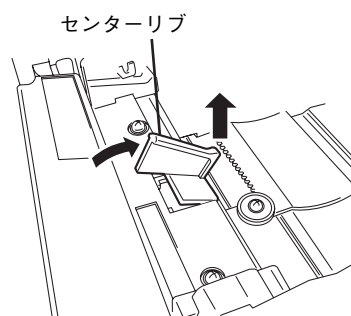
- ① カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



- ② ロックレバーを押しながらペーパーガイドを両端まで広げます。

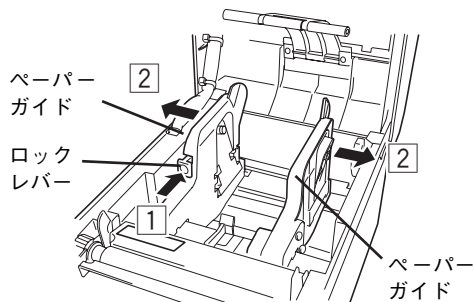


- ③ センターリブを上へ回転させた後、上方向へ取り外します。

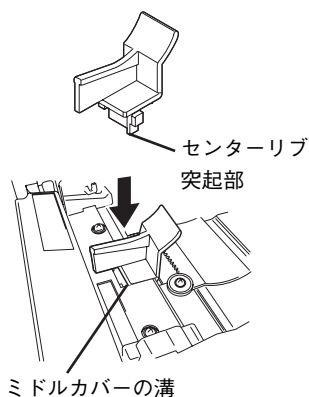


センターリブ（ホワイト）の取り付け

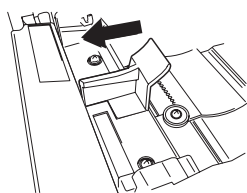
- ① カバーオープンレバーを押してトップカバーを開き、ロックレバーを押しながらペーパーガイドを両端まで広げます。



- ② センターリブの突起部をミドルカバーの溝に位置を合わせ上方から挿入します。



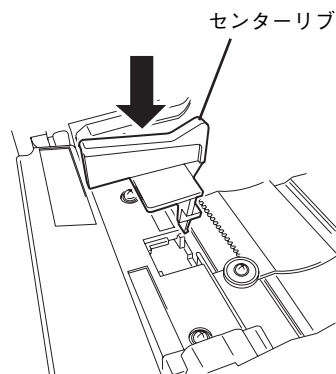
- ③ センターリブの先端側を指で押さえ「カチッ」となるまで手前側に引きます。



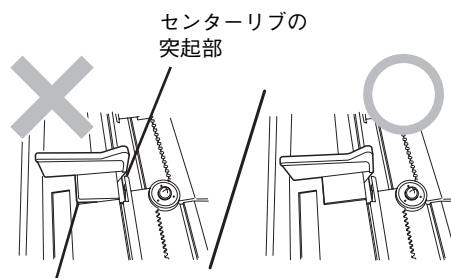
センターリブ（ブラック、グレー）の取り付け

- ① 取り外し手順①～②を行います。
- ② センターリブをまっすぐに差し込みます。
- ③ センターリブをしっかりと押します。

「カチッ」と音がしてプリンターにロックされます。



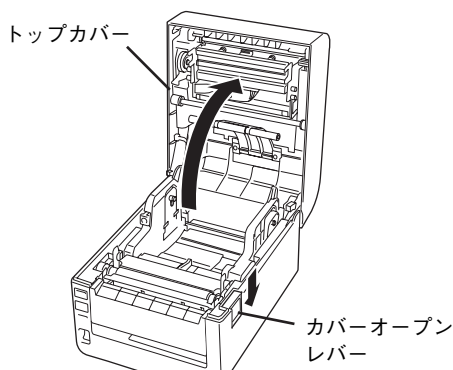
センターリブの突起部がプリンター内部のフレームの切り欠きの上に位置していることを確認してください。センターリブが下図のように浮き上がっている場合はもう一度取り付け直してください。



取り付け不良による
浮き上がり

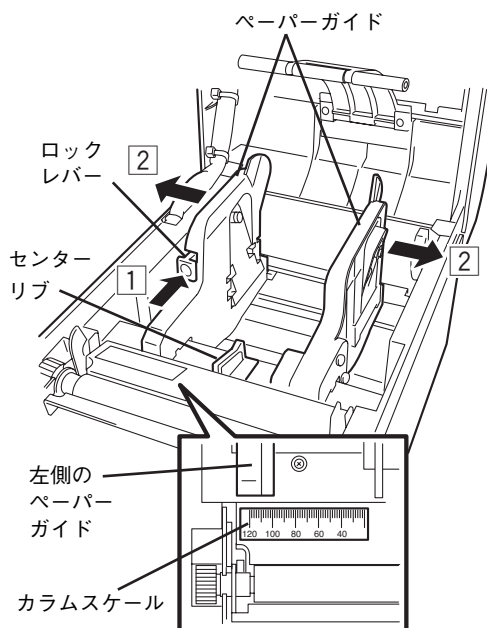
ロール紙のセット

- ① プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

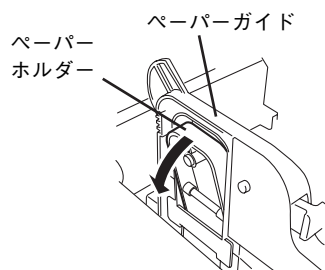


- ③ ロックレバーを押しながらペーパーガイドを上げます。

カラムスケールを参照して、左側のペーパーガイドの内側をセットする用紙の幅と同じ値の目盛りに合わせます。
左右のガイドは中央にあるセンターリブを基準に両側に伸縮します。

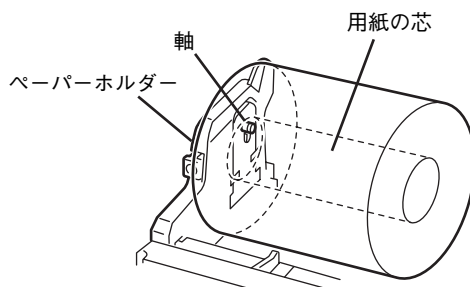
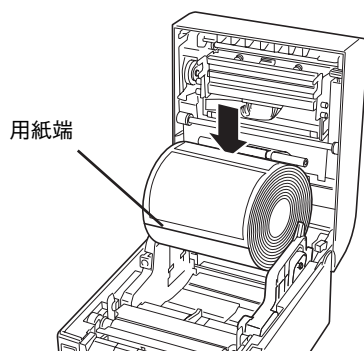


左右のペーパーガイドにあるペーパーホルダーを手で外側に倒します。



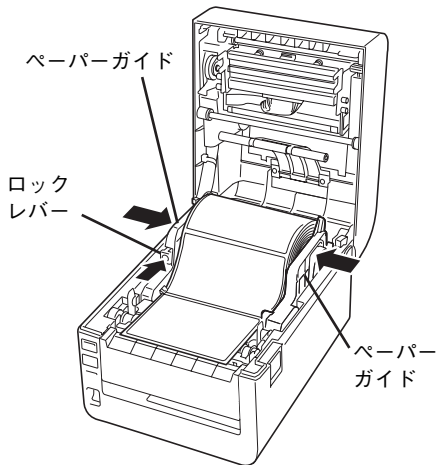
- ④ 用紙端が手前側にくるようにして用紙を持ちます。
- ⑤ 用紙をそのまま垂直に下ろしてペーパーホルダーの軸が用紙の芯に入るようにセットします。

ペーパーホルダーが内側に格納されます。格納されなかったり、軸から外れたりした場合はもう一度やり直してください。



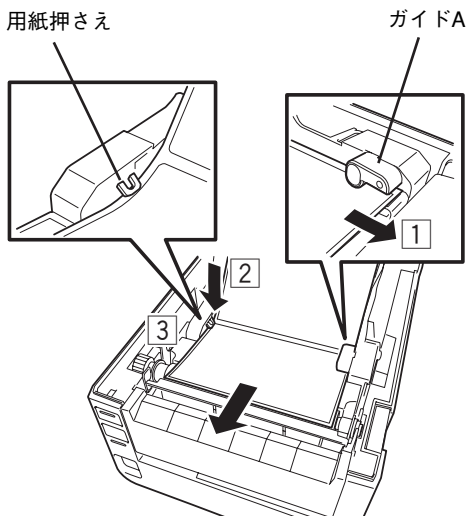
〈ロール紙外径が小さい場合〉
ロール紙の芯にペーパーホルダーの軸が入らない場合はペーパーホルダーを外側から押しつけてセットしてください。

- ⑥ ロックレバーを押しながらペーパーガイド内側と用紙がぴったりと付くように用紙幅を合わせます。



用紙が左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑦ 用紙をガイドAの下にくぐらせた後 (①)、用紙押さえの上から用紙を押して (②)、用紙押さえの下に用紙が通るようにセットします (③)。



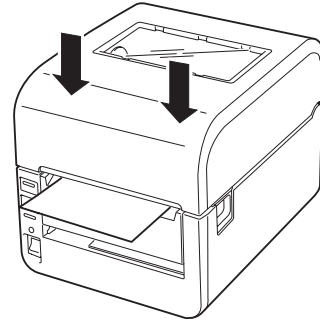
- ⑧ 用紙を引き出します。

用紙はフロントカバーより手前側になるように引き出します。



用紙が左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑨ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



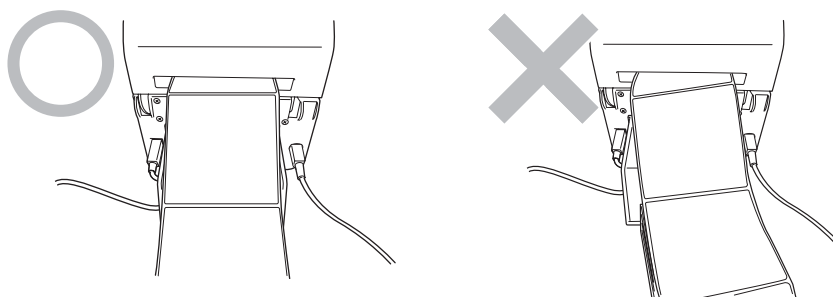
以上でロール紙のセットは完了です。

ファンフォールド紙のセット

感熱タイプと熱転写+感熱タイプではセット方法が異なります。

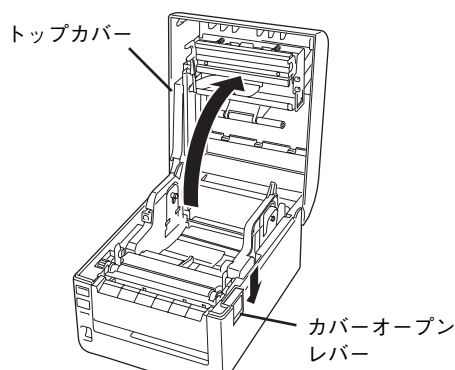
重要

- ファンフォールド紙を使用するときは、必ず内巻き用センターリブ（グレー）に変更してご使用ください。外巻き用センターリブをそのまま使用すると、用紙が外れるなどの障害につながります。
- ファンフォールド紙を使用するときは必ずケーブルカバーを取り付けてください。ケーブルカバーの取り付け方は52ページを参照してください。ケーブル類を接続した後に取り付けてください。
- <ファンフォールド紙を置くときの注意>
 - － 装置内のペーパーガイドに対してまっすぐになるように置いてください。
 - － プリンターに対して斜めに置かないでください。

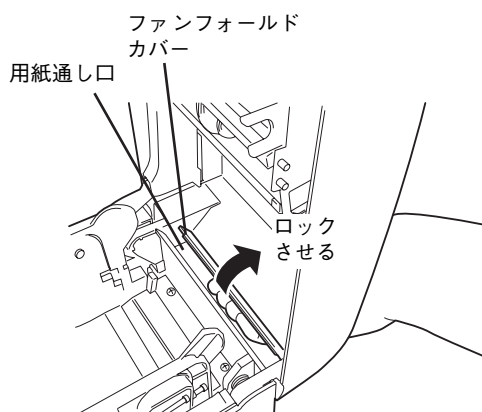


感熱タイプ

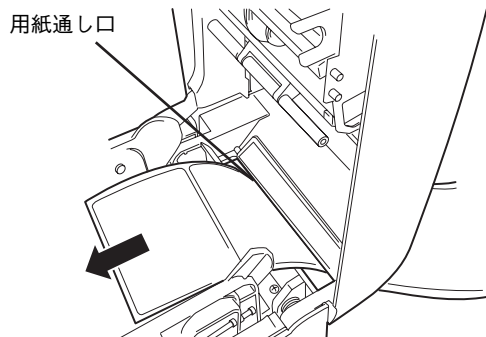
- ① プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



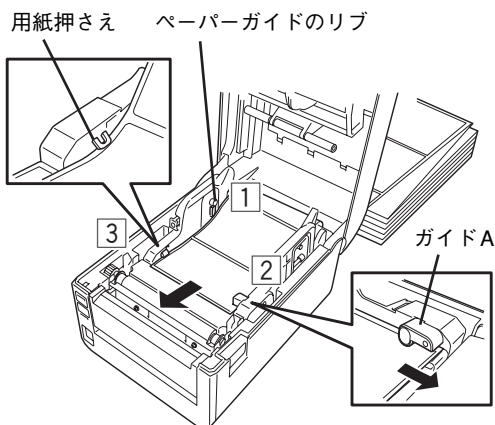
- ③ プリンター背面から手を回してファンフォールドカバーを上に戻り、ロックします。



- ④ 印刷面を上にして、用紙をプリンター背面の用紙通し口から内部へ通します。



- ⑤ 左右のペーパーガイドの下にあるリブの下をくぐらせて (①)、ガイドAの下を通した後 (②)、用紙押さえの上から用紙を押して用紙押さえの下に用紙が通るようセットします (③)。

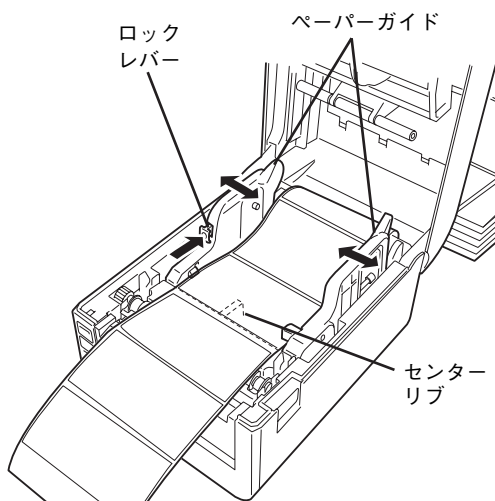


- ⑥ 用紙を引き出します。

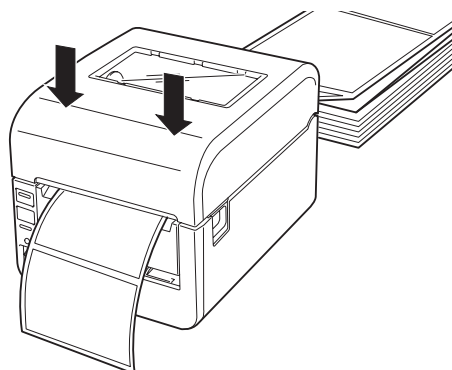
用紙はフロントカバーより手前側になるように引き出します。

- ⑦ ロックレバーを押しながらペーパーガイドを伸縮させ、用紙幅を調整します。

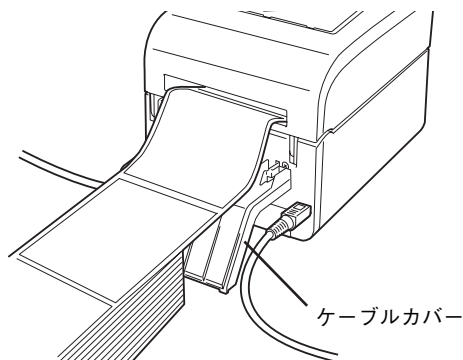
センターリブを基準に伸縮します。



- ⑧ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



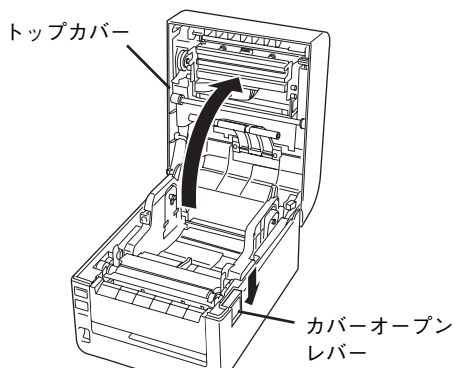
- ⑨ プリンター背面のケーブルカバー穴 (2か所) にケーブルカバーの突起部を水平に差し込み、ケーブルカバーをファンフォールド紙の下に取り付けます。



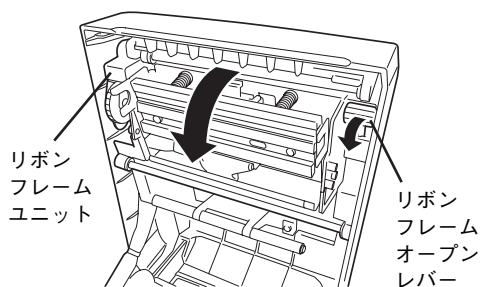
以上でファンフォールド紙のセットは完了です。

熱転写+感熱タイプ

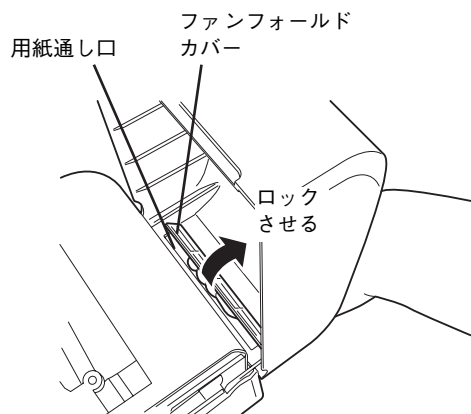
- ① プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



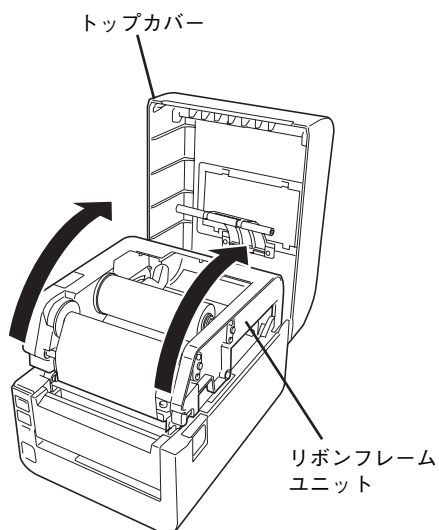
- ③ リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



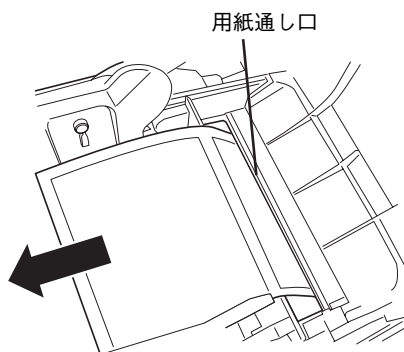
- ④ プリンター背面から手を回してファンフォールドカバーを上回転させ、ロックします。



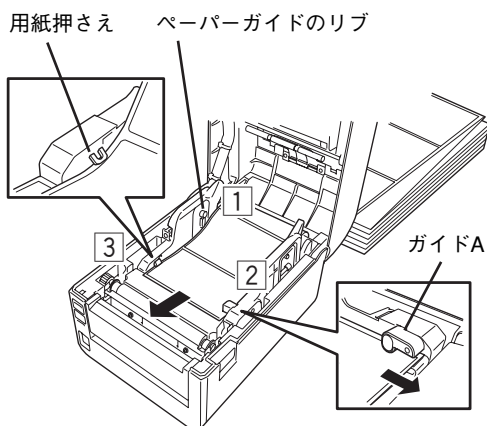
- ⑤ リボンフレームユニットをトップカバー側に入れ、固定させます。



- ⑥ 印刷面を上にして、用紙をプリンター背面の用紙通し口から内部へ通します。



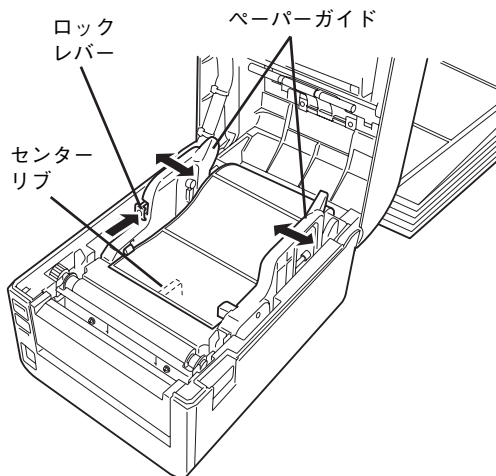
- ⑦ 左右のペーパーガイドの下にあるリブの下をくぐらせて (①)、ガイドAの下を通した後 (②)、用紙押さえの上から用紙を押して用紙押さえの下に用紙が通るようセットします (③)。



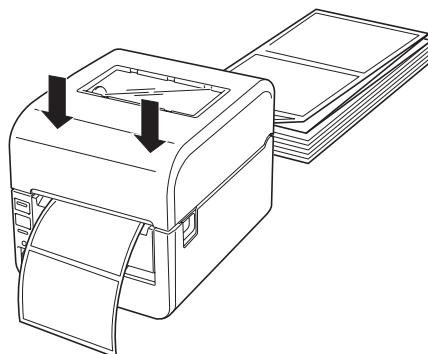
- ⑧ 用紙を引き出します。

- ⑨ ロックレバーを押しながらペーパーガイドを伸縮させ、用紙幅を調整します。

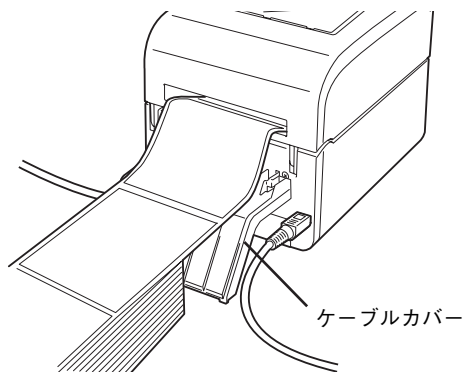
センターリブを基準に伸縮します。



- ⑩ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



- ⑪ プリンター背面のケーブルカバー穴 (2か所) にケーブルカバーの突起部を水平に差し込み、ケーブルカバーをファンフォールド紙の下に取り付けます。



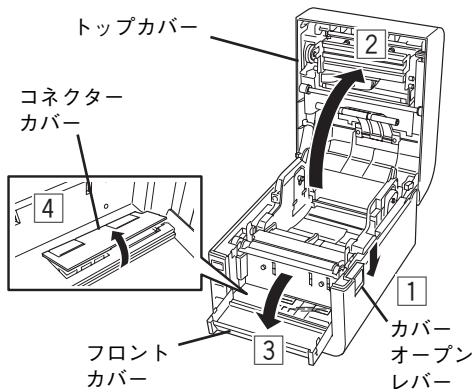
以上でファンフォールド紙のセットは完了です。

9 プリンターの設定をする

本プリンターにはプリンターの機能を設定するディップスイッチ（DIP SW）があります。DIP SWの設定をお使いなる状態に正しく設定してください。DIP SWの詳しい説明については5章の「ディップスイッチ（DIP SW）」（140 ページ）を参照してください。またそれぞれの設定をするときにプリンタードライバーを使用する方法と使用しない方法がありますが、プリンタードライバーを使用する方法を推奨します。

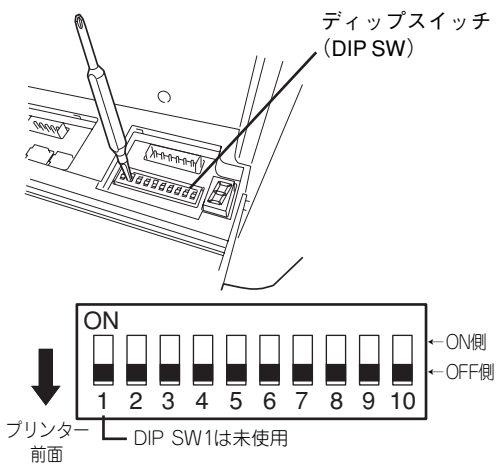
- ✓
チェック
- DIP SW の設定を変更するときはプリンターの電源がOFFになっていることを確認してください。
 - DIP SW で設定を変更した場合は、設定を有効にするために電源をONにしてください。

- 1
- プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します（31ページ参照）。
- 2
- カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



コネクターカバー下には、プリンターの設定を変更するディップスイッチ（DIP SW）があります。装置に添付の調整ドライバーを使ってスイッチを変更してください。

- ✓
チェック
- 添付の調整ドライバー以外でスイッチを変更するとスイッチが破損するおそれがあります。



DIP SW	機 能	設 定	DIP SW	機 能	設 定
SW1	未使用	OFF側固定でご使用ください。	SW6・SW7*1	用紙頭出しセンサーの選択	OFF・OFF：センサー無視 ON・OFF：反射センサー OFF・ON：透過センサー ON・ON：設定禁止
SW2	プリンタードライバー設定の有効／無効	OFF：有効 ON：無効	SW8	自動カット位置送り機能の有効／無効	OFF：有効にする ON：無効にする
SW3・SW4*1	発行モードの選択	OFF・OFF：連続印刷 OFF・ON：ハクリ印刷 ON・OFF：ハクリ印刷 ON・ON：カット印刷	SW9	ボリューム調整方法の選択	OFF：リモートパネル ON：操作部のボリューム
SW5*1,*2	印刷方式の選択	OFF：感熱方式 ON：熱転写方式	SW10*3	インターフェースの選択	OFF：プリントサーバー ON：USBインターフェース

* 1 DIP SW2 が“ON”の場合に機能します。DIP SW2 は DIP SW3～7 に割り当てられた 3 つの機能の有効／無効を切り替えるスイッチです。これら 3 つの機能はプリンタードライバーからも設定できるため、DIP SW2 でどちらの設定を有効にするか指定します。

* 2 感熱タイプの 9 モデルはこの設定を無視して常に感熱式で動作します。

* 3 プリントサーバーを装着している場合に機能します。装着していない場合は、この設定を無視して、常に USB インターフェースで動作します。

10 テスト印刷をする

プリンターが正常に動作することを確認するために、テスト印刷を行います。

このテスト印刷は8章の「故障かな？と思ったときは」(193 ページ) の処置が済んだ後にも実行することをお勧めします。

テスト印刷に使用する用紙は装置に添付のテスト用 ラベルまたは用紙幅が105mm以上のタグ紙をプリンターにセットしてください。

✓チェック

プリンターを動作させる際は「8 用紙をセットする」(35ページ) を参照して必ず用紙をセットしてください。

- 1 プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

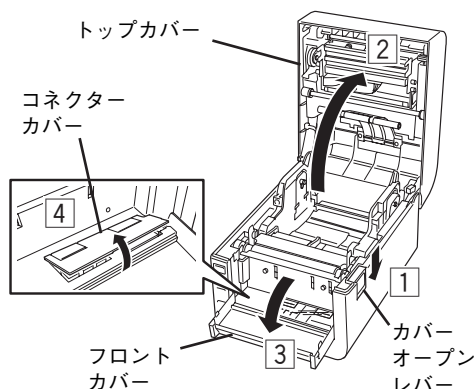
「○」側がOFFです。

- 2 プリンターに用紙がセットされていることを確認します。

✓チェック

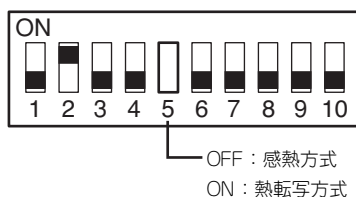
熱転写方式で印刷する場合は、リボンが正しくセットされていることを確認してください(「7 リボンを取り付ける」(32ページ) 参照)。

- 3 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



- 4 DIP SW2をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。

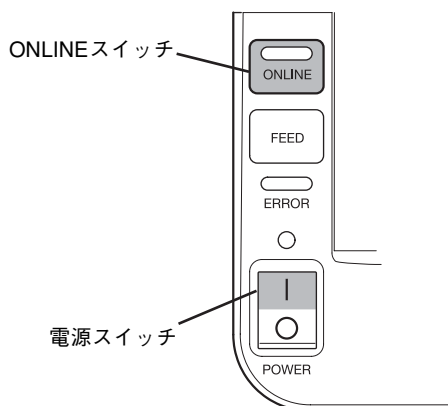
DIP SW5 (印刷方式) のみお使いの環境に合わせた設定をしてください。



- 5 コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

- 6 ONLINEスイッチを押しながら電源スイッチをONにします。

「I」側がONです。



7セグLEDには、「P」が点滅表示します。

その他のコードを表示している場合は、8章の「エラー表示が出ているときは」(194 ページ) を参照して問題を取り除いてください。

- 7 FEEDスイッチを押してテスト印刷の種類を選択します。



3種類のテスト印刷を選択することができます。

FEEDスイッチを押すたびに7セグLEDの点滅表示が切り替わります。

■: プリンターの設定情報

■: プリンターが内蔵しているテスト印刷パターン1

■: プリンターが内蔵しているテスト印刷パターン2

8 ONLINEスイッチを押します。



7セグLEDの表示が点滅から点灯に変わります。
はじめに、サーマルヘッドの断線チェックやプリンター内部のチェックした後、印刷を開始します。

```
<PRINTER>
MODEL          PR-T500L3
RESOLUTION     305dpi
```

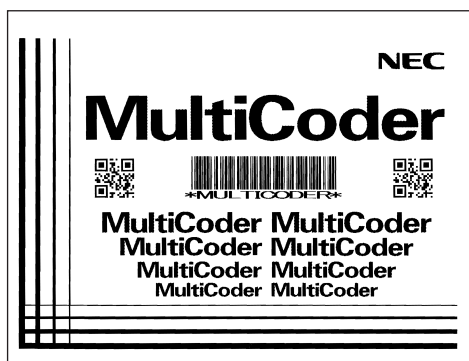
```
<OPTION>
LAN BOARD      NONE
LAN WIRELESS   NONE
CUTTER MODULE  NONE
PEELER MODULE  NONE
```

```
<Diagnostic>
THERMAL HEAD   OK
```

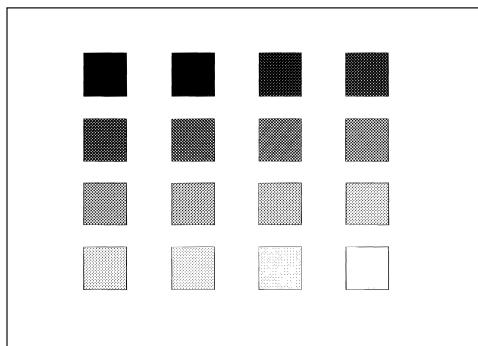
```
<DIP SWITCH>
SW1 : OFF
SW2 : ON
SW3 : OFF
SW4 : OFF
SW5 : OFF
SW6 : OFF
SW7 : OFF
SW8 : OFF
SW9 : OFF
SW10: OFF
```

～以下省略～

□ の場合のテスト印刷結果例



■ の場合のテスト印刷結果例



■ の場合のテスト印刷結果例

テスト印刷を終了すると、エラーがなければ7セグLEDの表示が点灯から点滅に変わります。

エラーを検出した場合は、テスト印刷後にエラー表示をします。8章の「エラー表示が出ているときは」(194 ページ)を参照して問題を取り除いてください。



サーマルヘッド断線チェックエラーを検出した場合は、「■」を表示します。ONLINEスイッチを1回押すと、テストを続けることができます。ただし、印刷結果の一部が欠けることがあります。

■□ テスト印刷の結果 □■

ラベル紙をセットしている場合は、ギャップ間（例えば台紙）に印刷され、印刷結果が正しく読みとれない場合もあります。

9 テスト印刷を終了させるために、電源をOFFにします。

「○」側がOFFです。

■□ ネットワーク設定の印刷 □■

ここで説明しているテスト印刷はインターフェースを除いたプリンター単体テストを行います。プリントサーバー（有線または無線）内蔵の場合は、プリントサーバーのパネルにあるスイッチを使ってIPアドレスやMACアドレスなどの設定を印刷させることができます。詳しくはプリントサーバーのマニュアルで説明しています。

10 テスト印刷を終了したら、DIP SWの設定を使用する際の設定に戻します。

「9 プリンターの設定をする」(44ページ)を参照して正しく設定してください。

11 センサーしきい値を調整する

印刷の際、印刷位置を一定に保つために本プリンターはセンサーを使用しています。

- 透過センサー.....ラベル間のすき間（ギャップ）で用紙の頭出し位置を検出します。
- 反射センサー.....用紙の裏面の黒マークで用紙の頭出し位置を検出します。

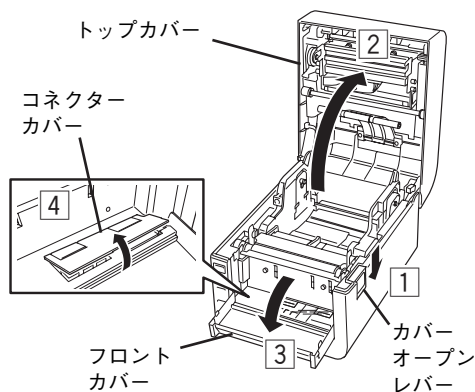


ラベル紙の種類によって台紙の色や台紙の厚さが異なる場合があります。使用する用紙を変更した場合は、センサーしきい値の調整をしてください。

ここでは、使用する用紙に合わせたセンサーのしきい値調整をする手順を説明します。

- 1 プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



- 3 DIP SW2をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。

DIP SW5（印刷方式）はお使いの環境に合わせた設定をしてください。

DIP SW6とSW7（用紙頭出しセンサーの選択）は、使用する用紙に合わせた設定をしてください。



SW6 : ON ・ SW7 : OFF

→ 反射センサー

SW6 : OFF ・ SW7 : ON

→ 透過センサー

SW5 : OFF → 感熱方式

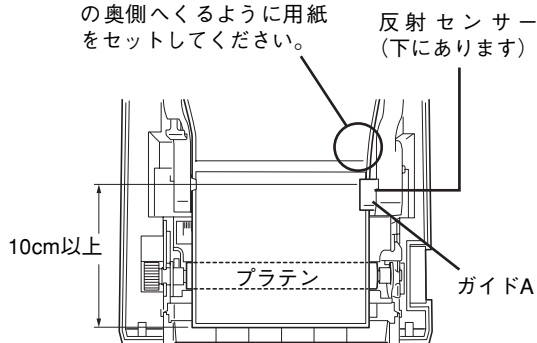
ON → 熱転写方式

- 4 用紙をセットします。

ハクリ印刷のときは用紙を台紙排出口に通さずいったんセンサーしきい値を調整します。

用紙がプラテンから落ちないようにプラテン付近と反射センサー付近の間は10cm以上にして用紙をセットしてください。

ラベルのギャップまたは黒マークは反射センサーの奥側へくるように用紙をセットしてください。



プリンター前面

- 5 コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

- 6 プリンターの電源スイッチをONにします。

- 7 ONLINEスイッチを押してプリンターをオフライン状態にします。

ONLINEランプが消灯した状態です。



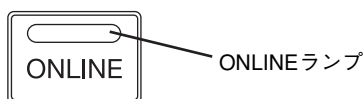
8 ONLINEスイッチを押しながらFEEDスイッチを2回押して調整します。

用紙がフィードされます。フィード中にしきい値が調整されます。



9 フィードが止まったら、ONLINEスイッチを押してONLINE状態にします。

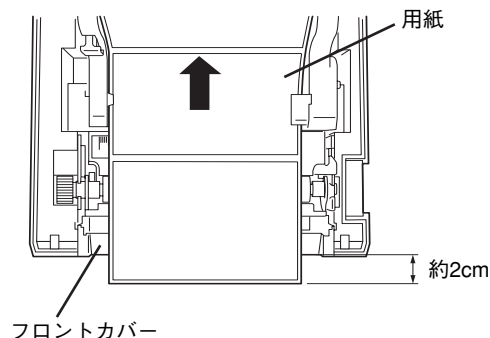
ONLINEランプが点灯した状態です。



10 フィードした用紙を取り除きます。

- 手で巻き取る場合は、電源をONにしたままトップカバーを開きます（ブザーが鳴ります）。その後、用紙を巻き取ります。
- 用紙を切り取る場合は、はさみなどを使って、ていねいに切り取ってください。

用紙を取り除く際、フロントカバーより約2cmほどプリンター前面側にはみ出る程度にしてください。



11 DIP SWの設定を使用する際の設定に戻します。

DIP SWの設定を変更する前にプリンターの電源をOFFにしてください。

詳しくは、「9 プリンターの設定をする」（44ページ）を参照して設定してください。

12 コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

以上で設定は完了です。コンピューターから印刷を実行すると、自動用紙先頭位置合わせ機能により、用紙先頭から印刷を行うことができます。

✓ チェック

- しきい値が設定できなかった場合は、7セグLEDに“E”を表示し、エラーランプが点滅します（ブザーを鳴らす設定をしている場合はブザーも鳴ります）。
- ラベルのギャップ（透過センサーの場合）または黒マーク（反射センサーの場合）がはっきり認識できるように用紙のプレ印刷の内容を薄い色にすることを勧めます。

12 コンピューターに接続する

プリントサーバー（無線+LANボード）を内蔵したモデルで無線LANをお使いの場合はここで説明する手順を行う必要はありません。無線+LANボードをお使いの場合は6章の「無線+LANボード」（180 ページ）を参照してください。

✓チェック

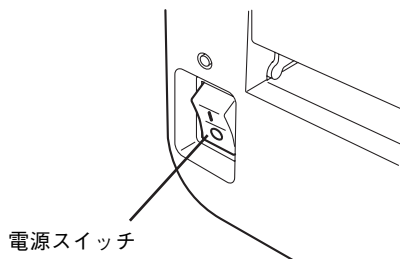
- コンピューター本体とプリンターの接続は、本プリンターに付属のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用すると、プリンターの機能が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合はネットワークケーブルが必要です。
- 対応コンピューターについての最新情報はカタログや情報サービスで提供しています。

USBケーブルで接続する

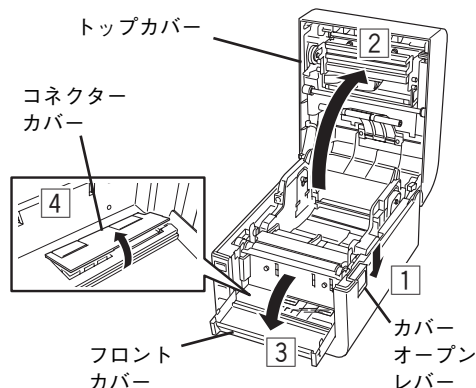
本プリンターのUSBインターフェースは、USB2.0（Full Speed）に準拠しています。装置に添付のUSBケーブルで接続してください。また、ケーブルの抜けを防止するケーブルロックも取り付けてください。

- ① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

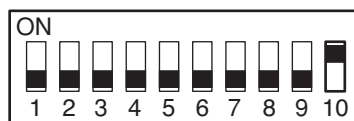
「○」側がOFFです。



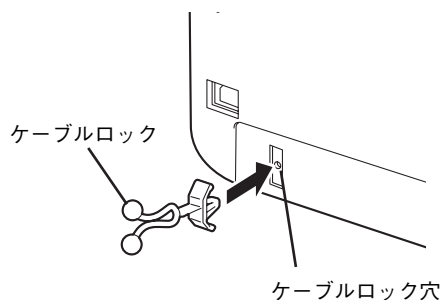
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



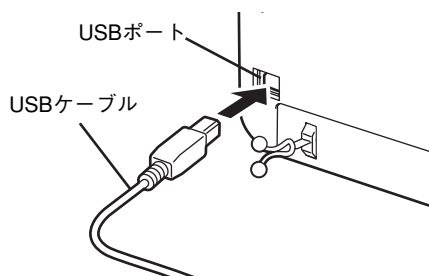
- ③ プrintサーバーを装着している場合は、DIP SW10をONにしてUSBを有効にします。



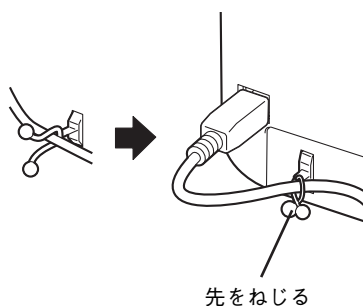
- ④ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- ⑤ プリンター背面のケーブルロック穴へ装置に添付のケーブルロックをしっかりと差し込みます。



- ⑥ 背面のUSBポートにUSBケーブルのコンネクターを接続します。

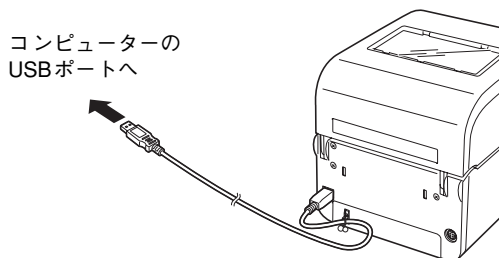


- ⑦ USBケーブルをケーブルロックの間に通し、先をねじります。



- ⑧ USBケーブルのもう一方のコンネクターをコンピューターのUSBポートに接続します。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。



重要

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを取り外すときは、コンピューターの「ハードウェアの安全な取り外し」などに従って取り外してください。

LANケーブルで接続する

プリンターに内蔵のプリントサーバー（以降、「LANボード」と呼びます）で接続する方法は以下のとおりです。

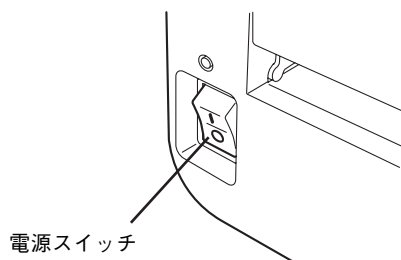


チェック

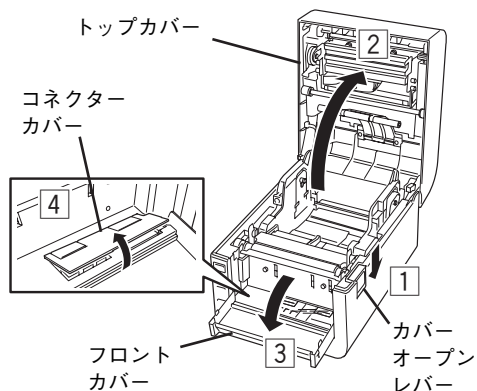
100BASE-TX環境でお使いの場合は、100BASE-TX対応のイーサネットハブ（HUB）とカテゴリ5以上のネットワークケーブル、10BASE-T環境でお使いの場合は、カテゴリ3以上のネットワークケーブルをご用意ください。

- ① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

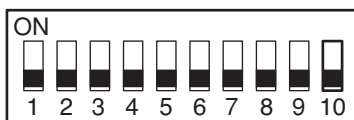
「○」側がOFFです。



- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。

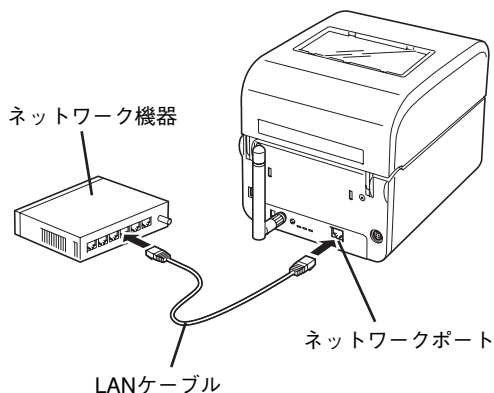


- ③ DIP SW10をOFFにしてプリントサーバーを有効にします。



- ④ コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

- ⑤ 本体背面のネットワークポートにLANケーブルのコネクターを接続します。
- ⑥ LANケーブルのもう一方のコネクターをハブなどのネットワーク機器に接続します。



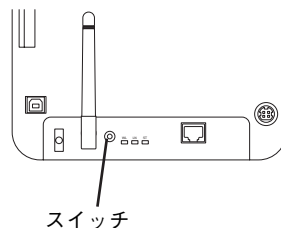
詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。LANボードに関する詳しい説明はプリンターまたはLANボードに同梱されているセットアップガイドなどのマニュアルを参照してください。TCP/IPの設定などが詳しく記載されています。

✓ チェック

LAN (有線/無線) インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備 (ADSL モデムやCATV など) へ直接接続することは許可されていません。

■□ ネットワーク設定の印刷 □■

プリントサーバーにあるスイッチ (下図参照) を使ってIPアドレスやMACアドレスなどの設定を印刷させることができます。詳しくはプリントサーバーのセットアップガイドで説明しています。



13 ケーブルカバーを取り付ける

プリンターの背面にはさまざまなケーブルが接続されます。

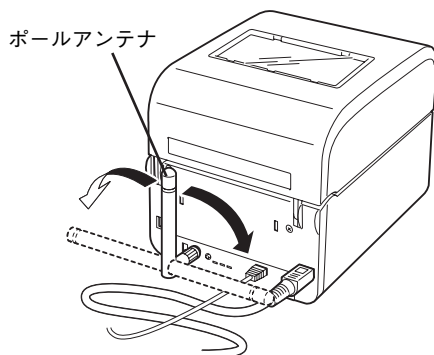
そのケーブルを保護する目的と、用紙送りの妨げにならないようにする目的でケーブルカバーを取り付けます。

ロール紙を使用する場合も取り付けることをお勧めします。

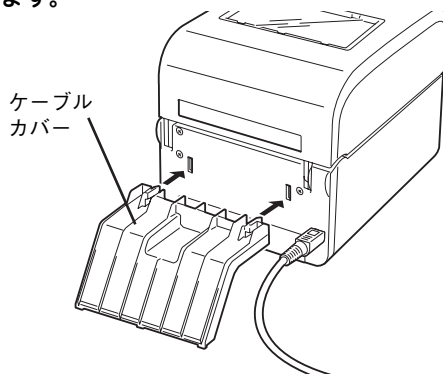
次の手順で取り付けます。

① 電源コードやインターフェースケーブルの接続が完了していることを確認します。

② 無線LANを装着している場合は、ポールアンテナを横に倒します。



③ プリンター背面のケーブルカバー穴（2か所）にケーブルカバーの突起部を水平に差し込みます。



これで取り付けは完了です。

14 ネットワークの設定をする

LANボードを装着して使用する場合は、IPアドレスなどお使いのネットワーク環境に合った設定をします。

ネットワークの設定はプリントサーバーに添付のマニュアルを参照してください。IPアドレスの設定は添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「リモートパネル」からWindowsの画面上で行うこともできます（ただし、プリンタードライバーとリモートパネルがインストールされている必要があります）。リモートパネルについては2章の「リモートパネル」(75 ページ)またはオンラインマニュアルを参照してください。

2章

プリンターソフトウェアのインストール

この章では本プリンター用のプリンターソフトウェアのインストール方法とアンインストール方法を以下の項目に分けて説明しています。

- **プリンタードライバのインストール (→55ページ)**
お使いのコンピュータでMultiCoderをご使用になるためにはコンピュータにプリンタードライバをインストールしてください。プリンタードライバは添付のソフトウェアCD-ROMのメニューやWindowsの「プラグ・アンド・プレイ」を利用してインストールすることができます。またプリンタードライバのアンインストール方法も説明しています。
- **リモートパネル (→75ページ)**
本プリンターに添付のユーティリティソフトウェア「リモートパネル」について簡単な説明とインストール/アンインストールの手順を説明しています。詳しくは添付のソフトウェアCD-ROMにあるオンラインマニュアルをご覧ください。
- **PrinterSignalStation for ラベルプリンタ (→78ページ)**
本プリンターの状態をコンピュータ上から監視するためのユーティリティソフトウェアである「PrinterSignalStation」について簡単な説明とインストール/アンインストールの手順を説明しています。
- **BarStar Pro (→83ページ)*1**
Windows上で動作するバーコード作成・印刷ソフトウェアです。プリンターの解像度に合わせてバーコードを生成するため、精度の高いバーコードを印刷することができます。
- **LabelStar Lite (→86ページ)*2**
Windows上で動作するラベル作成・印刷ソフトウェアです。各種バーコードを高精度に生成、印刷します。

それぞれの項を参照する前に次ページの「インストール/アンインストール前の注意事項」に示す注意事項をよくお読みください。また、この章で説明しているプリンターソフトウェアの使用方法については添付のソフトウェアCD-ROM内にある「オンラインマニュアル」またはREADME.TXTを参照してください。

*1 LabelStar Lite、BarStar Proの使用方法はインストール後にそれぞれのヘルプを参照してください。

*2 LabelStar LiteはLabelStar Proのオートメーションサーバー機能を制限したソフトウェアです。オートメーションサーバー機能を利用する場合は、LabelStar Proを購入してください。

インストール／アンインストール前の 注意事項

添付のソフトウェアCD-ROMに収録されたプリンターソフトウェアのインストールまたはアンインストールをする前の注意事項について説明しています。

基本的な操作およびセットアップについては各OSに添付のマニュアルなどをご覧ください。

- Windows Vistaで操作中に「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または「許可」（または「続行」）の操作をして先に進んでください。

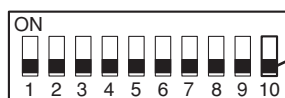


コンピューターの管理者の場合の
表示例



標準ユーザーの場合の
表示例

- Windows XPで他のユーザーがお使いのコンピューターにログオンしている場合、プリンターソフトウェアのインストールは行えません。各ユーザーに切り替えてログオフしてからインストールを行ってください。
- Windows XPにプリンターソフトウェアをインストール（またはアンインストール）する場合は、実施者が「コンピュータの管理者」である必要があります。
- Windows 2000またはWindows Server 2003にプリンターソフトウェアをインストール（またはアンインストール）する場合は、実施者が「Administrators」「DomainAdmins」または「Power User」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、インストール（またはアンインストール）を行うことはできません。
- プリンタードライバをインストール（またはアンインストール）する前にすべてのアプリケーションを終了させてください。
- 添付のソフトウェアCD-ROMは、CD-ROMをドライブにセットするだけで自動的にメニュープログラムを起動させる機能を持っています。自動的にメニュープログラムが起動しない場合は、CD-ROM内のルートディレクトリーにあるMCSETUP.EXEを実行してください。
- プリンタードライバは印刷中にアンインストールを行うことはできません。印刷が終了してからアンインストールを行ってください。
- プリントサーバーを装着している場合は、プリンターのDIP SWの設定を確認してください。



DIP SW10
OFF：プリントサーバーを使用する（工場出荷時の設定）
ON：本体のUSBインターフェースを使用する

プリンタードライバーのインストール

装置に添付の「ソフトウェアCD-ROM」を使ってお使いになるコンピューターにソフトウェアをインストールする手順およびアンインストールをする手順について説明します。

本プリンターのプリンターソフトウェアはこのプリンターとUSBおよびネットワークで接続されているPC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）にインストールすることができます（NECのPC-9800シリーズにはインストールできません）。

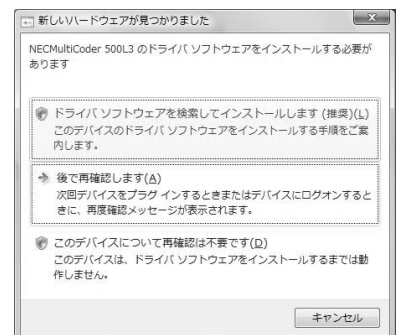
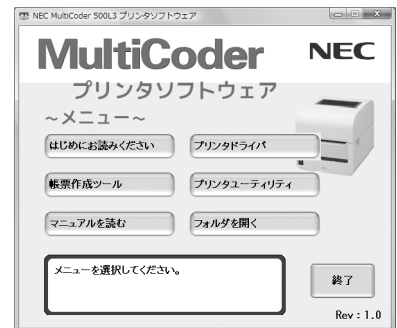
また、お使いのコンピューターには次のWindows OSがインストールされている必要があります。

- Microsoft Windows Vista 日本語版
- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版

新しいOSに対応したソフトウェアがWebにて公開されている場合があります。NECコーポレートサイト（<http://www.nec.co.jp/>）をご確認ください。

添付のソフトウェアCD-ROMを使ったインストール方法には次の2つの方法があります。

- **インストーラーを使う（→56ページ）**
インストールメニューの「プリンタドライバ」ボタンをクリックすると、「プリンタの追加ウィザード」が起動します。このウィザードに従って作業を進めることでプリンタードライバーがインストールされます。
プリントサーバーを装着したプリンターでLANインターフェースを使用する場合は、またはプラグ・アンド・プレイが起動しなかった場合に使用します。
なお、LANインターフェースを使用する場合は、あらかじめプリントサーバーのセットアップが必要です。プリントサーバーのマニュアルを参照してあらかじめセットアップを完了させておいてください。
- **プラグ・アンド・プレイ機能を使う（→65ページ）**
プリンターとお使いになるコンピューターがUSBケーブル接続されている場合、プリンター、コンピューターの順に電源をONにすると自動的に起動するWindowsのプラグ・アンド・プレイ機能を使用します。



■□ Windowsの【プリンタのインストール】（または【プリンタの追加】）機能の利用 □■

Windows OSの【プリンタ】（または【プリンタとFAX】）フォルダーから操作できる【プリンタのインストール】（または【プリンタの追加】）を使ってインストールすることもできます。「インストーラーを使う」（56ページ）以降で説明している【プリンタの追加】または【プリンタの追加ウィザードの開始】ダイアログボックス以降の手順を参照してください。

インストーラーを使う

添付のソフトウェアCD-ROMを起動すると、コンピュータの画面にダイアログボックスが表示されます。画面の指示に従ってプリンタードライバをインストールしてください。

ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになる場合も次の手順でプリンタードライバをインストールしてください。

なお、インストール手順はWindowsのバージョン別に手順を説明します。

- Windows Vista 日本語版 (→57ページ)
- Windows XP/2000/Server 2003 日本語版 (→61ページ)

プリントサーバーを装着している場合について

プリントサーバーを装着したプリンターにプリンタードライバをインストールする手順は次の順序で進めます。

順番	作業	使用する CD-ROM	参照先
1	プリントサーバーのセットアップ (Quick Setup)	プリントサーバーの「プリントサーバーソフトウェアCD-ROM」	プリントサーバーセットアップガイド
2	プリントサーバーの詳細なセットアップ (Web Setup)	不要	プリントサーバーセットアップガイドまたはオンラインマニュアル
3	NEC Print Server Portのインストール	プリントサーバーの「プリントサーバーソフトウェアCD-ROM」	プリントサーバーセットアップガイドまたはオンラインマニュアル
4	プリンタードライバのインストール	プリンターの「ソフトウェアCD-ROM」	Windows Vista : 57ページ Windows XP/2000/Server 2003 : 61ページ

「Quick Setup」「Web Setup」および「NEC Print Server Port」のインストールとポートのセットアップについては、「参照先」に記載のマニュアルを参照してください。

なお、プリンタードライバのインストールには何種類かの方法がありますが、本書では以下の条件で行う場合について説明します。

- ネットワークの構築を完了していること
- 上表の項番1～3の作業を完了していること
- 上表の項番3では、NEC Print Server Portの設定までが完了していて、LPR (Line Printer Remote)プロトコルで仮に「123.123.123.123:lp」という名前のポート名が作成されていること

Windows Vista 日本語版の場合

MultiCoder 500L3の場合を例にあげて説明します。MultiCoder 500L6をご使用の場合はMultiCoder 500L3を読み替えてください。

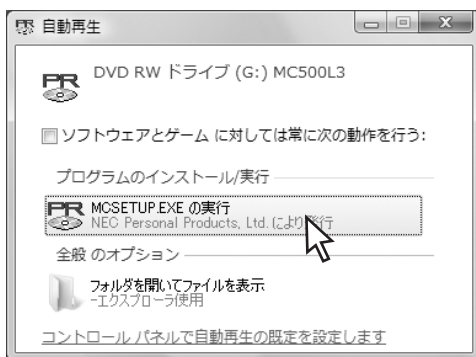
- ① コンピューターの電源をONにし、Windows Vista 日本語版を起動します。

- ② ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

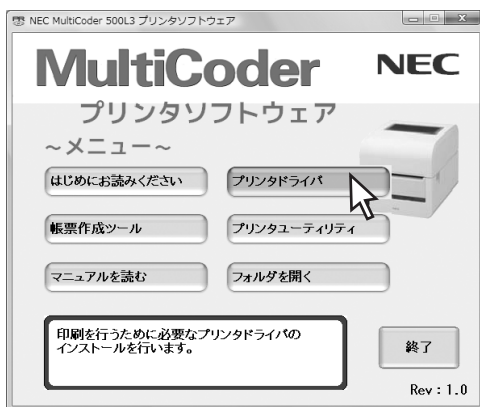
〔自動再生〕ダイアログボックスが起動します。

- ③ [MCSETUP.EXEの実行] をクリックします。

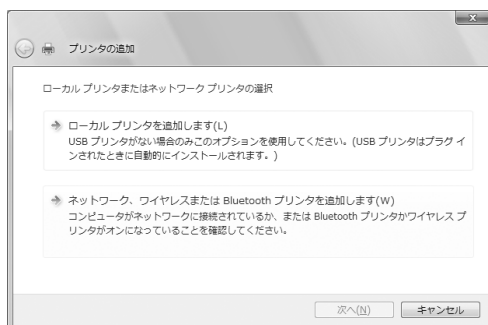
〔プリンタソフトウェア〕ダイアログボックスが起動します。



- ④ [プリンタドライバ] ボタンをクリックします。



- ⑤ プリンターの接続先を指定します。



- 有線LANまたは無線LANのネットワークを使用している場合

〔ローカルプリンタを追加します〕をクリックします。→⑦へ

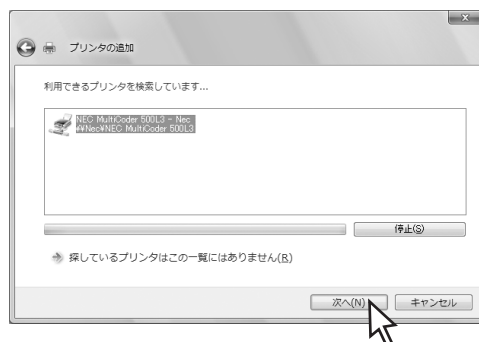
- ネットワーク上の共有プリンタを使用する場合

〔ネットワーク プリンタ、ワイヤレスまたは Bluetoothプリンタを追加します〕をクリックします。→⑥へ

- USBインターフェースを使用している場合

〔ローカルプリンタを追加します〕をクリックします。→⑦へ

- ⑥ 検索されたプリンターの一覧から目的のプリンターを選択します。



- 目的のプリンターが表示された場合

一覧から目的のプリンターアイコンを選び、〔次へ〕をクリックします。→⑪へ (59ページ)
(一部手順が省略されます。説明を読み飛ばしてください。)

• 目的のプリンターが表示されなかった場合

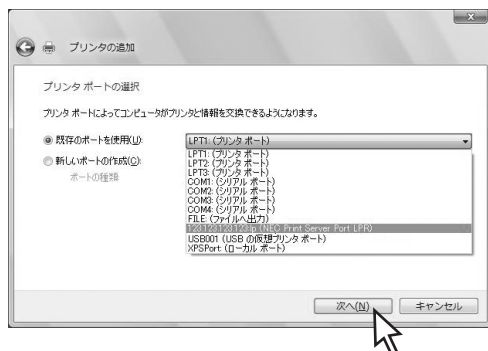
[探しているプリンタはこの一覧にはありません] をクリックします。

→以降は OS の取扱説明書を参照してプリンターの接続先を設定した後、⑪へ (59ページ)

7 [既存のポートを使用] を選び、一覧から [123.123.123.123:lp] を選択して [次へ] をクリックします。

“123.123.123.123:lp” はプリントサーバーのセットアップで事前に作成したポート名です。セットアップの際に付けたポート名と読み替えてください。

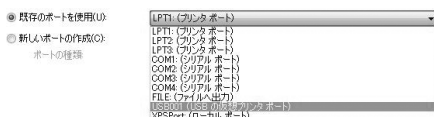
目的のポートが一覧にない場合は、[新しいポートの作成] を選び、[ポートの種類] から [NEC Print Server Port] を選択して [次へ] をクリックしてください。その後の手順はプリントサーバーの「セットアップガイド」を参照してください。ポートの作成を完了したら、手順⑧まで進んでください。



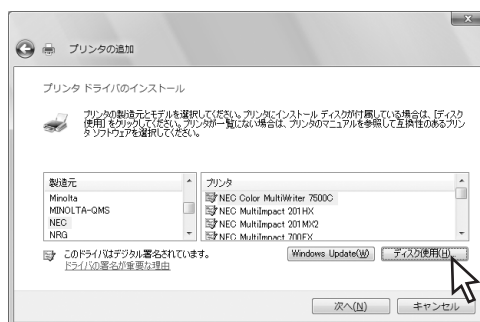
✓ チェック

USBのプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。

初めてUSB接続で本プリンターを使用する場合は「プラグ・アンド・プレイによるインストール」(65ページ)を参照してください。プラグ・アンド・プレイによるインストールができなかった場合は、ここで [既存のポートを使用] から [USBnnn (USBの仮想プリンタポート)] を選択して⑧へ進んでください (“nnn” は001から任意の3桁の数字です)。



8 [ディスク使用] をクリックします。



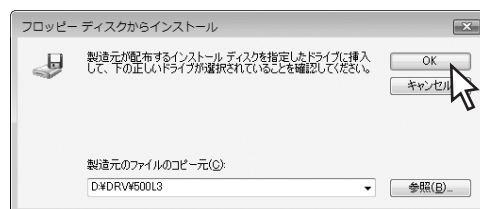
9 [製造元のファイルのコピー元] を設定します。

[製造元のファイルのコピー元] に、「(ソフトウェアCD-ROMのセットされている) ドライブ名」、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて次の内容を入力し、[OK] をクリックします。

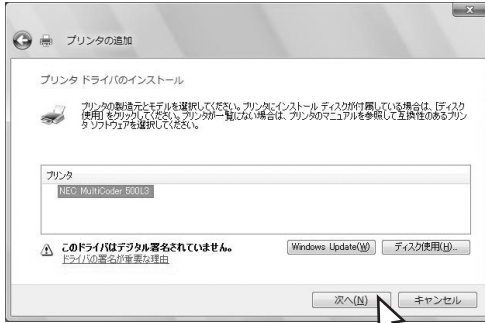
または、[参照] をクリックし、[ファイルの場所] ダイアログボックスを開き、CD-ROMを挿入したドライブの次の内容の場所にあるセットアップ情報 (* .inf) ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

入力する内容はお使いの機種によって異なります。

- MultiCoder 500L3シリーズをお使いの場合
「DRV¥500L3」
- MultiCoder 500L6シリーズをお使いの場合
「DRV¥500L6」



- 10 [プリンタ] に表示されたリストの中からお使いのプリンター名 ([NEC MultiCoder 500L3]) を選択し、[次へ] をクリックします。

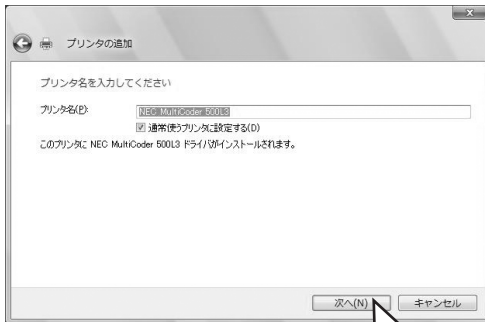


✓ チェック

インストールしようとしているコンピューターにこのプリンターのプリンタードライバーがインストール済みの場合は、この後にドライバーを置き換えるかどうかを確認する画面が表示されます。[現在のドライバを置き換える] を選んで次へ進んでください。

- 11 必要に応じてプリンターに任意の名前を付け、[次へ] をクリックします。

お使いのMultiCoderを簡単に識別できる名前を付けてください (例: NEC MultiCoder 500L3)。

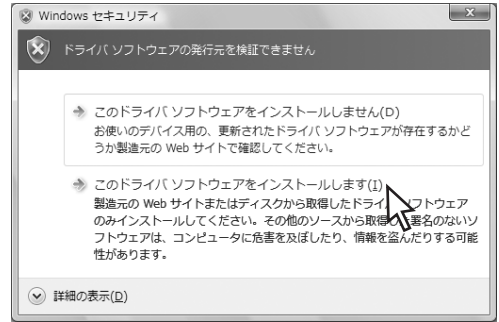


✓ チェック

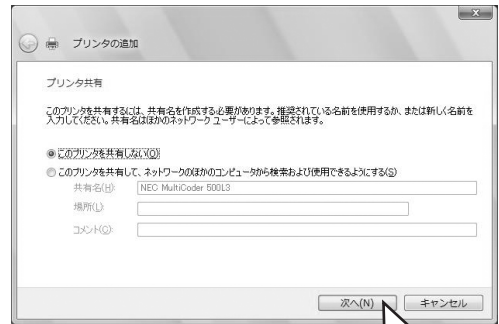
- 同じプリンター名を複数台接続する場合は、各プリンターを識別できるように設定してください。また、プリンター名は重複しないようにしてください。
- 以前に他のプリンタードライバーをインストールしている場合は、通常使うプリンターとして使用するかどうかを選択してください。

- 12 [このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

一度このプリンタードライバーをインストールしている場合は表示されないことがあります。

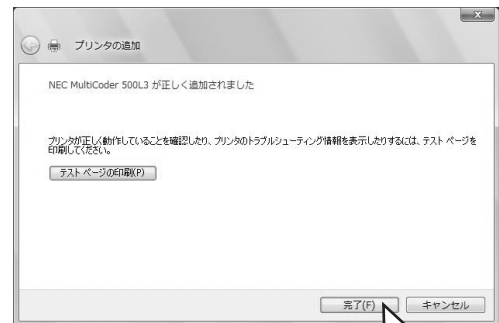


- 13 ネットワーク上でMultiCoderを他のユーザーと共有するかを選択し、[次へ] をクリックします。



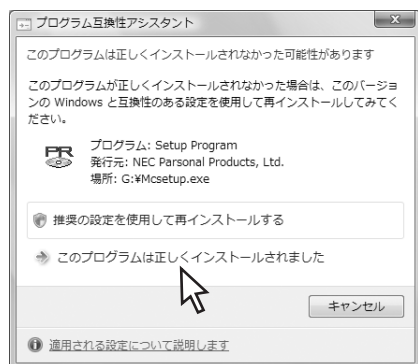
- 14 [完了] をクリックします。

[テストページの印刷] をクリックしないでください。



15 [プリンタソフトウェア] ダイアログボックスの[終了] ボタンをクリックします。

[プログラム互換性アシスタント]が表示された場合は、[→ このプログラムは正しくインストールされました]をクリックしてダイアログボックスを閉じてください。



16 [コントロールパネル] の[ハードウェアとサウンド]にある[プリンタ] クリックして表示される一覧にインストールされたプリンタのアイコンが表示されたことを確認します。

これでインストールは完了です。プリンタードライバーに関する詳細な説明はプリンタソフトウェアCD-ROM内のオンラインマニュアルを参照してください。

Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 日本語版の場合

Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2003のインストールの手順はほぼ同じです。ここでは、Windows XPでのインストール方法を例に説明しています。

Windows 2000またはWindows Server 2003をお使いの方は、Windows XPをWindows 2000またはWindows Server 2003に読み替えてお使いください。

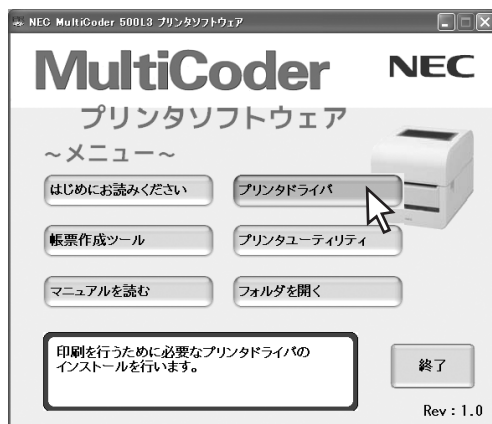
MultiCoder 500L3の場合を例にあげて説明します。MultiCoder 500L6をご使用の場合はMultiCoder 500L3を読み替えてください。

① コンピューターの電源をONにし、Windows XPを起動します。

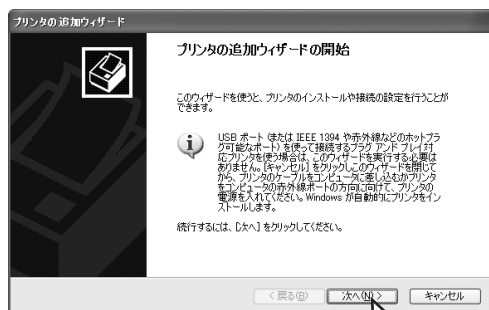
② ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

[プリンタソフトウェア] ダイアログボックスが起動します。

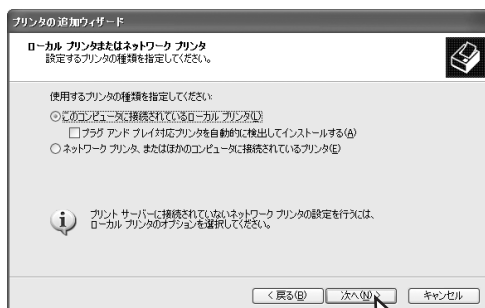
③ [プリンタドライバ] ボタンをクリックします。



④ [次へ] をクリックします。



⑤ プリンターの接続先を設定します。



• 有線LANまたは無線LANのネットワークを使用している場合

[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択して、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外し、[次へ] をクリックします。

→⑧へ

• ネットワーク上の共有プリンターを使用する場合

[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択して、[次へ] をクリックします。→⑥へ

チェック

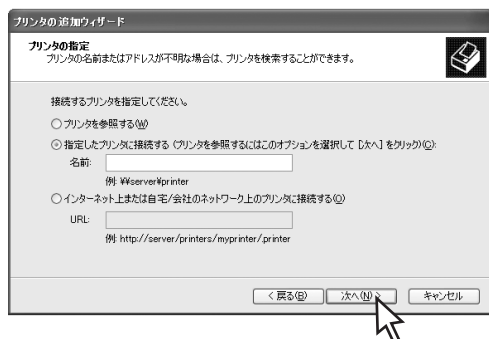
- 使用しているネットワーク環境により [次へ] をクリックしたときに表示される画面が異なります。手順⑥以外の画面が表示された場合は、OSの取扱説明書を参照してプリンターの接続先を設定してください。
- [プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックは外してください。

• USBインターフェースを使用している場合

[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択して、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外し、[次へ] をクリックします。

→⑧へ

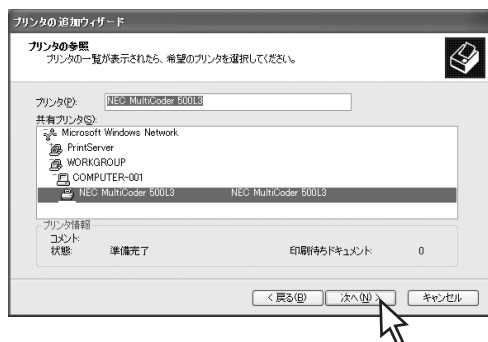
6 プリンターを検索します。



- ネットワーク上のプリンター名をダイアログボックスに直接入力し、[次へ] をクリックした場合
→ 12へ (63ページ)
(一部手順が省略されます。説明を読み飛ばしてください。)

- ネットワーク上のプリンター名を入力しないで、[次へ] をクリックした場合 → 7へ

7 ネットワーク上のプリンター名を [プリンタ] に直接入力するか、[共有プリンタ] 一覧から指定し、[次へ] をクリックします。



12へ (63ページ) へ進んでください。

8 [既存のポートを使用] を選び、一覧から [123.123.123.123:lp] を選択して [次へ] をクリックします。

“123.123.123.123:lp” はプリントサーバーのセットアップで事前に作成したポート名です。セットアップの際に付けたポート名と読み替えてください。

目的のポートが一覧にない場合は、[新しいポートの作成] を選び、[ポートの種類] から [NEC Print Server Port] を選択して [次へ] をクリックしてください。その後の手順はプリントサーバーの「セットアップガイド」を参照してください。ポートの作成を完了したら、手順 9 まで進んでください。



チェック

USBのプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。

初めてUSB接続で本プリンターを使用する場合は「プラグ・アンド・プレイによるインストール」(65ページ)を参照してください。プラグ・アンド・プレイによるインストールができなかった場合は、ここで [既存のポートを使用] から [USBnnn (USBの仮想プリンタポート)] を選択して 9 へ進んでください (“nnn” は 001から任意の3桁の数字です)。



9 [ディスク使用] をクリックします。



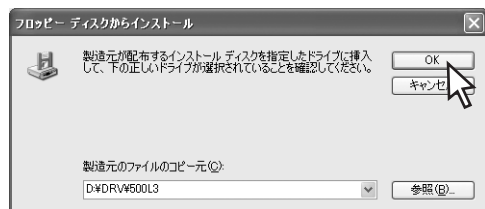
10 [製造元のファイルのコピー元] を設定します。

[製造元のファイルのコピー元] に、「(ソフトウェア CD-ROMのセットされている) ドライブ名」、コロ
ン (:), 円記号 (¥) に続けて次の内容を入力し、
[OK] をクリックします。

または、[参照] をクリックし、[ファイルの場所]
ダイアログボックスを開き、CD-ROMを挿入したド
ライブの次の内容の場所にあるセットアップ情報 (*
.inf) ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

入力する内容はお使いの機種によって異なります。

- MultiCoder 500L3シリーズをお使いの場合
「DRV¥500L3」
- MultiCoder 500L6シリーズをお使いの場合
「DRV¥500L6」



11 [プリンタ] に表示されたリストの中からお使いのプリンター名 ([NEC MultiCoder 500L3]) を選択し、[次へ] をクリックします。

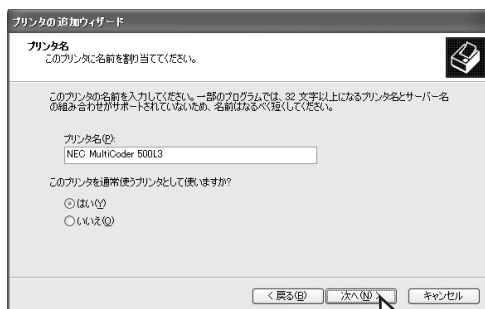


チェック

インストールしようとしているコンピューター
にこのプリンターのプリンタードライバーがイン
ストール済みの場合は、この後にドライバーを
置き換えるかどうかを確認する画面が表示され
ます。[新しいドライバに置き換える] を選んで
次へ進んでください。

12 必要に応じてプリンターに任意の名前を付
け、[次へ] をクリックします。

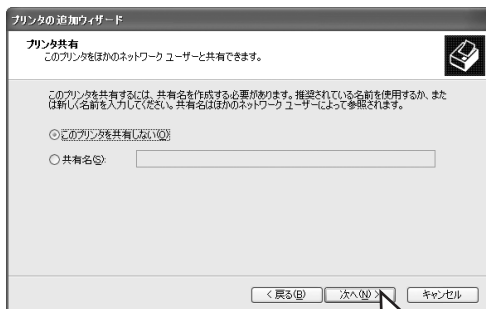
お使いのMultiCoderを簡単に識別できる名前を付け
てください (例 : NEC MultiCoder 500L3)。



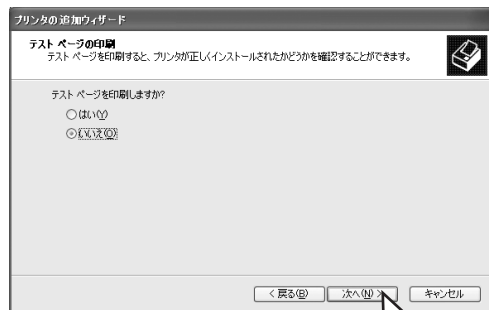
チェック

- 同じプリンター名を複数台接続する場
合は、各プリンターを識別できるように設定
してください。また、プリンター名は重複
しないようにしてください。
- 以前に他のプリンタードライバーをイン
ストールしている場合は、通常使うプリンター
として使用するかどうかを選択してください。

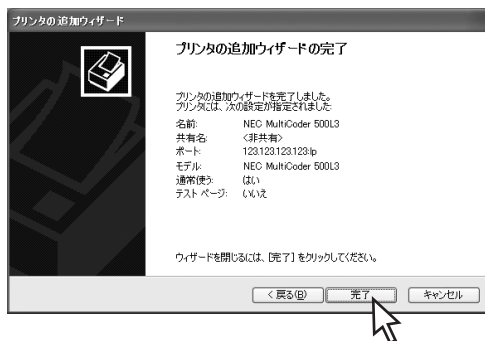
- 13 ネットワーク上でMultiCoderを他のユーザーと共有するかを選択し、[次へ] をクリックします。



- 14 [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。
[はい] を選択しないでください。

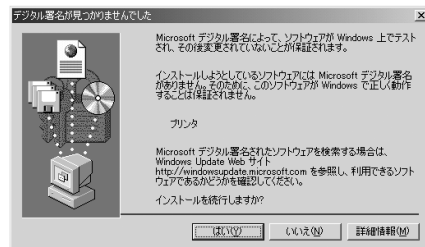
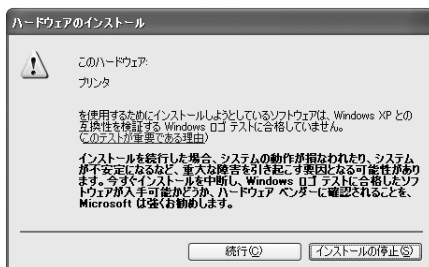


- 15 [完了] をクリックします。



チェック

次のいずれかのダイアログボックスが表示される場合がありますが、[続行] または [はい] をクリックしてインストールを続けてください。



- 16 [プリンタとFAX] または [プリンタ] フォルダ内にインストールされたプリンターのアイコンが表示されたことを確認します。



これでインストールは完了です。

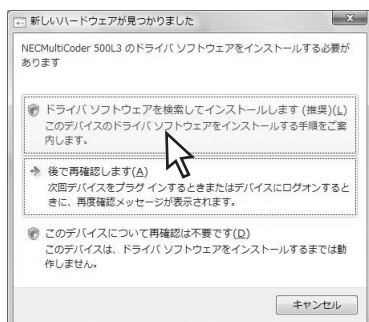
プラグ・アンド・プレイによるインストール

Windowsの「プラグ・アンド・プレイ」機能を利用したプリンタードライバーのインストール方法について説明します。

Windows Vista 日本語版

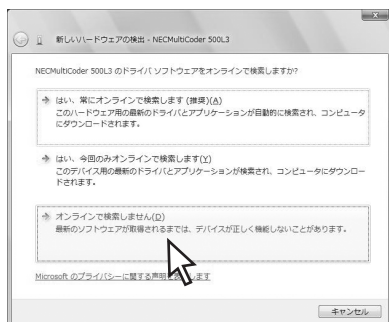
プラグ・アンド・プレイでのインストールの手順は次のとおりです。なお、Windows Vistaの基本的な操作およびセットアップについては、Windows Vistaに添付のマニュアルなどをご覧ください。

- 1 コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認します。
- 2 プリンターの電源スイッチをONにします。
- 3 コンピューターの電源をONにし、Windows Vistaを起動します。
- 4 [新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログボックスが表示されたら、[ドライバソフトウェアを検索してインストールします] をクリックします。



このダイアログボックスが表示されない場合は、「インストーラーを使う」(56ページ)を参照してインストールしてください。

- 5 [オンラインで検索しません] をクリックします。

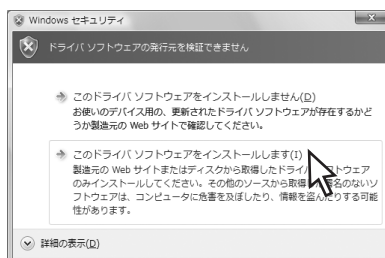


- 6 以下の画面が表示されたら、ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットして[次へ]をクリックします。

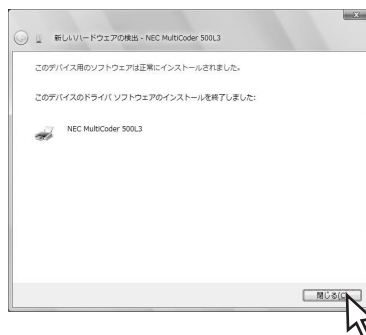


- 7 [このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

一度このプリンタードライバーをインストールしている場合は表示されないことがあります。



- 8 [閉じる] をクリックします。



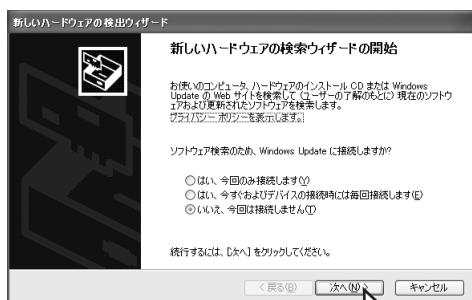
以上で完了です。

Windows XP/Windows Server 2003 日本語版

Windows XPまたはWindows Server 2003のインストールの手順は同じです。ここでは、Windows XPでのインストール方法を例にしています。Windows Server 2003をお使いの方は、Windows XPをWindows Server 2003に読み替えてお使いください。

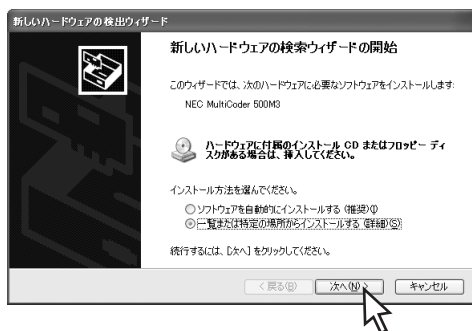
なお、Windows XP またはWindows Server 2003の基本的な操作およびセットアップについては、Windows XPまたはWindows Server 2003に添付のマニュアルなどをご覧ください。

- 1 コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認します。
- 2 プリンターの電源スイッチをONにします。
- 3 コンピューターの電源をONにし、Windows XPを起動します。
- 4 次の画面が表示された場合は、[いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] をクリックします。



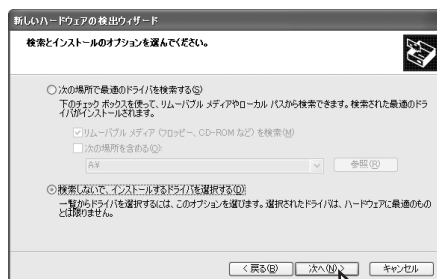
表示されない場合は、次へ進んでください。

- 5 [新しいハードウェアの検出ウィザード] ダイアログボックスが表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] をクリックします。

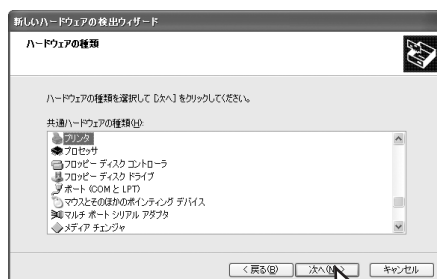


このダイアログボックスが表示されない場合は、「(インストーラーを使う) (56ページ)」を参照してインストールしてください。

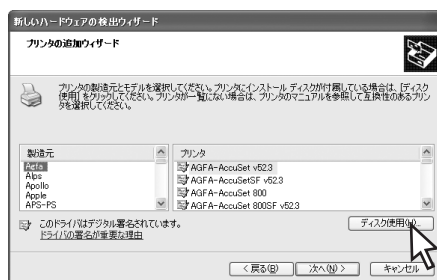
- 6 [検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選択し、[次へ] をクリックします。



次の画面が表示された場合は、[共通ハードウェアの種類] から [プリンタ] を選択し、[次へ] をクリックしてください。



- 7 [ディスク使用] をクリックします。



[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。

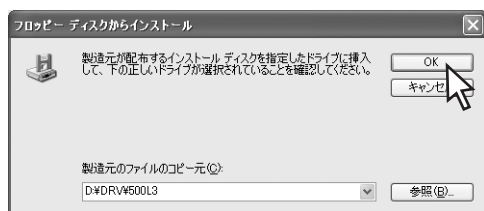
8 「製造元のファイルのコピー元」を設定します。

「製造元のファイルのコピー元」に、「(ソフトウェア CD-ROMのセットされている)ドライブ名」、コロン(:)、円記号(¥)に続けて次の内容を入力し、[OK] をクリックします。

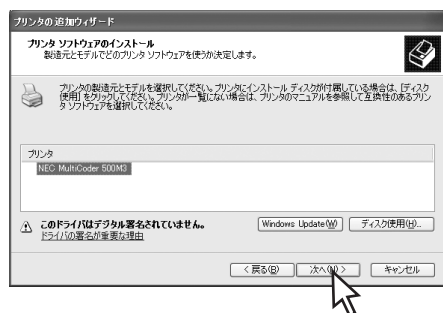
または、[参照] をクリックし、[ファイルの場所] ダイアログボックスを開き、CD-ROMを挿入したドライブの次の内容の場所にあるセットアップ情報(*.inf) ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

入力する内容はお使いの機種によって異なります。

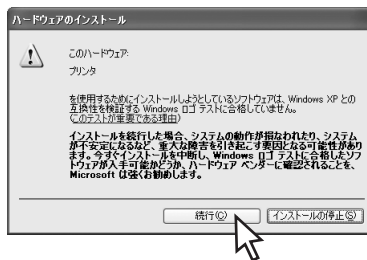
- MultiCoder 500L3シリーズをお使いの場合
「DRV¥500L3」
- MultiCoder 500L6シリーズをお使いの場合
「DRV¥500L6」



9 「プリンタ」に表示されたリストの中からお使いのプリンター名（「NEC MultiCoder 500L3」）を選択し、[次へ] をクリックします。



「ハードウェアのインストール」ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。



10 「完了」 をクリックします。



11 「プリンタとFAX」フォルダー内にインストールしたアイコンが表示されていることを確認します。



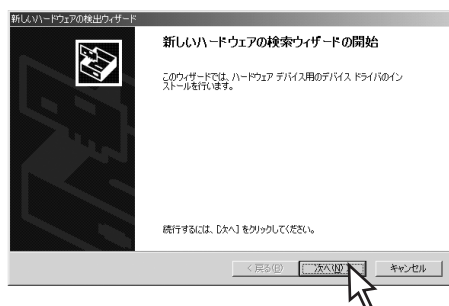
プリンターアイコンが表示されていればインストール完了です。

Windows 2000 日本語版

Windows 2000でのプラグ・アンド・プレイによるインストール手順について説明します。

なお、Windows 2000の基本的な操作およびセットアップについては、Windows 2000に添付のマニュアルなどをご覧ください。

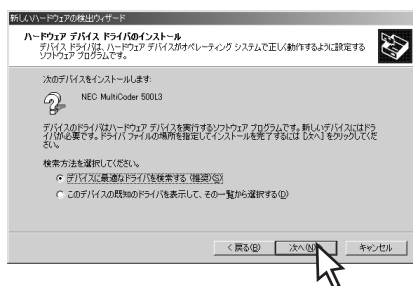
- 1 コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで正しく接続されていることを確認します。
- 2 プリンターの電源スイッチをONにします。
- 3 コンピューターの電源をONにし、Windows 2000を起動します。
- 4 [新しいハードウェアの検出ウィザード] ダイアログボックスが表示されたら、[次へ]をクリックします。



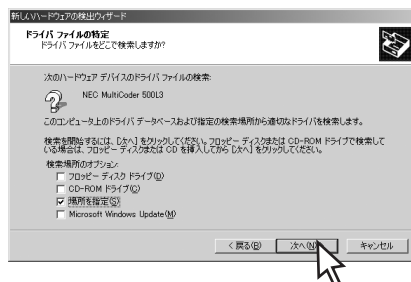
✓ チェック

このダイアログボックスが表示されない場合は、「インストーラーを使う」(56 ページ)を参照してインストールしてください。

- 5 [デバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[次へ]をクリックします。



- 6 [検索場所のオプション]の中から[場所を指定]のみを選んで、[次へ]をクリックします。



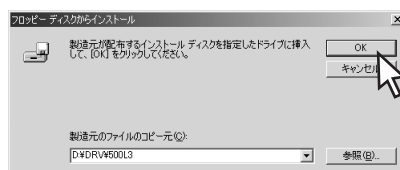
- 7 [製造元のファイルのコピー元]を設定します。

[製造元のファイルのコピー元]に、「(ソフトウェア CD-ROMのセットされている) ドライブ名」、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて次の内容を入力し、[OK] をクリックします。

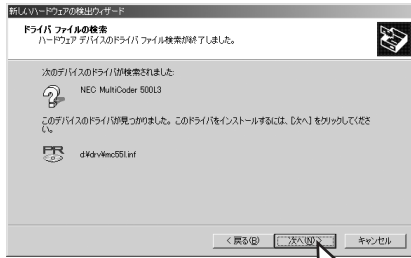
または、[参照] をクリックし、[ファイルの場所] ダイアログボックスを開き、CD-ROMを挿入したドライブの次の内容の場所にあるセットアップ情報 (* .inf) ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

入力する内容はお使いの機種によって異なります。

- MultiCoder 500L3シリーズをお使いの場合
「DRV¥500L3」
- MultiCoder 500L6シリーズをお使いの場合
「DRV¥500L6」



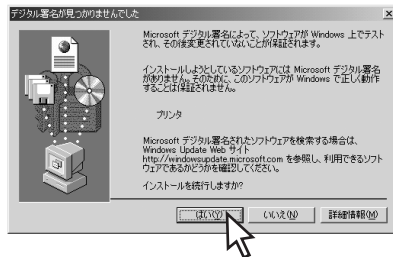
8 [次へ] をクリックします。



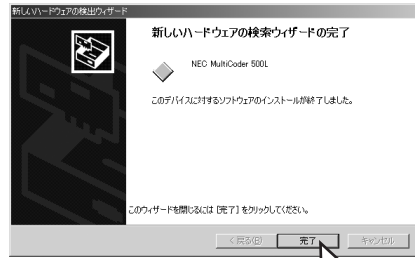
プリンタードライバーのインストールを開始します。

— **✓チェック** —

次のダイアログボックスが表示される場合があります。[はい] をクリックしてインストールを継続してください。



9 [完了] をクリックします。



10 [プリンタ] フォルダー内にインストールしたアイコンが表示されていることを確認します。



プリンターアイコンが表示されていればインストール完了です。

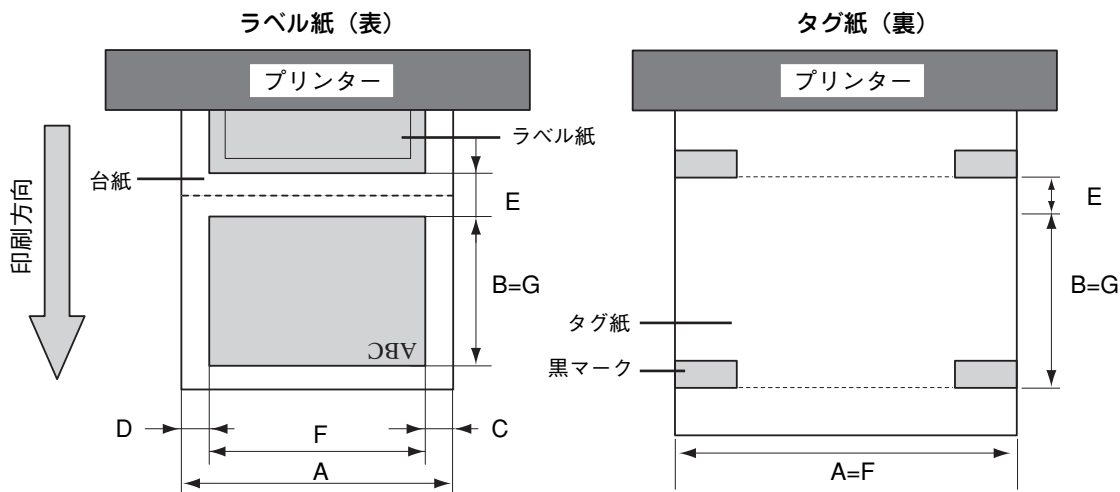
プラグ・アンド・プレイの注意点

- USBのプリンターポートは初期状態では存在しません。プリンターとコンピューターを接続してプラグ・アンド・プレイをすることで自動的に作成されます。
- 本プリンターは一度、プラグ・アンド・プレイによるインストールを行うと、以降[新しいハードウェアの検出]ウィザードは表示されません。*
コンピューターのどのUSBポートに接続しても、そのままお使いいただけます。

* 別のプリンター装置を接続すると、[新しいハードウェアの検出]ウィザードが表示されますので、再度、プラグ・アンド・プレイによるインストールを行ってください。

プリンタードライバーの用紙サイズについて

本プリンタードライバーがサポートする用紙サイズは次のとおりです。



用紙名	単位	A	B	C	D	E* 1	F	G
		(用紙幅)	(用紙高さ)	(右余白)	(左余白)	(ラベルギャップ)	(印刷可能幅)	(印刷可高さ)
105×76mm	mm	108.00	76.00	1.50	1.50	3.00	105.00	76.00
	インチ	4.25	2.99	0.05	0.06	0.12	4.13	2.99
105×76mm (タグ紙)	mm	105.00	73.00	0.00	0.00	3.00	105.00	73.00
	インチ	4.13	2.87	0.00	0.00	0.12	4.13	2.87
2×4インチ	mm	53.80	101.60	1.50	1.50	3.00	50.80	101.60
	インチ	2.12	4.00	0.06	0.06	0.12	2.00	4.00
4×4インチ	mm	104.60	101.60	1.50	1.50	3.00	101.60	101.60
	インチ	4.12	4.00	0.06	0.06	0.12	4.00	4.00
4×6インチ	mm	104.60	152.40	1.50	1.50	3.00	101.60	152.40
	インチ	4.12	6.00	0.06	0.06	0.12	4.00	6.00
検体ラベル50×32mm	mm	53.00	32.00	1.50	1.50	3.00	50.00	32.00
	インチ	2.09	1.25	0.06	0.06	0.12	1.97	1.25
検体ラベル50×32mm (タグ紙)	mm	50.00	29.00	0.00	0.00	3.00	50.00	29.00
	インチ	1.97	1.14	0.00	0.00	0.12	1.97	1.14
検体ラベル50×35mm	mm	53.00	35.00	1.50	1.50	3.00	50.00	35.00
	インチ	2.09	1.38	0.06	0.06	0.12	1.97	1.38
検体ラベル50×35mm (タグ紙)	mm	50.00	32.00	0.00	0.00	3.00	50.00	32.00
	インチ	1.97	1.25	0.00	0.00	0.12	1.97	1.25
カルテメモラベル83×32.5mm	mm	86.00	32.50	1.50	1.50	3.00	83.00	32.50
	インチ	3.39	1.28	0.06	0.06	0.12	3.25	1.28
カルテメモラベル83×32.5mm (タグ紙)	mm	83.00	29.50	0.00	0.00	3.00	83.00	29.50
	インチ	3.25	1.16	0.00	0.00	0.12	3.25	1.16
ユーザ定義サイズ (最小) *2	mm	25.00	3.00	0.00	0.00	2.00	25.00	3.00
	インチ	0.98	0.12	0.00	0.00	0.12	0.98	0.12
ユーザ定義サイズ (最大) *2*3	mm	118.00	996.90	6.15	6.15	2.00	105.70	996.90
	インチ	4.65	39.25	0.25	0.25	0.12	4.16	39.25

* 1 ラベルの場合、ラベルギャップはラベルとラベルの間の長さとなります。タグ紙の場合、ラベルギャップは黒マークの長さとなります。センサーなしで使用する場合も、ラベルギャップは2.0mm以上設定してください。

* 2 ユーザ定義ラベルの用紙の作り方、登録の方法は「ユーザー定義用紙サイズの登録」(次ページ)を参照してください。

* 3 ユーザー定義サイズの最大は、用紙高さでラベルギャップを合わせて999.0mmです。



2011年7月現在でのプリンタドライバーが登録している用紙は以上ですが、追加する場合があります。

ユーザー定義用紙サイズの登録

Windowsであらかじめ登録されている用紙サイズ以外の用紙サイズに印刷する場合は、「ユーザー定義用紙サイズ」として事前に登録します。

ここではWindows Vista 日本語版の環境でユーザー定義用紙サイズを登録する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で登録できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

① [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開きます。

Windows Vistaの場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[[ハードウェアとサウンド]、[プリンタ] の順にクリックすると開きます。

Windows XP ProfessionalまたはWindows Server 2003の場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [プリンタとFAX] をクリックすると開きます。

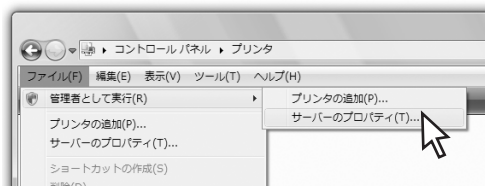
Windows XP Home Editionの場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [設定] - [プリンタ] をクリックすると開きます。

② [サーバーのプロパティ] 画面を表示させます。

Windows Vistaの場合は [ファイル] メニューから [管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] の順にクリックします。

Windows XP、Windows 2000、またはWindows Server 2003の場合は [ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] をクリックすると開きます。



重要

- Windows Vistaの利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンタのプロパティなどWindows Vistaのシステムの変更に關わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [サーバーのプロパティ] を選んでもプリンタのプロパティは表示されますが、用紙サイズの定義（追加・削除・変更）は変更できません。

③ [用紙] シートで [新しい用紙を作成する] をチェックします。

④ [用紙名] に用紙の名前を設定します。

チェック

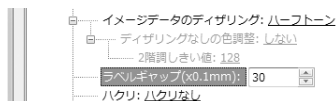
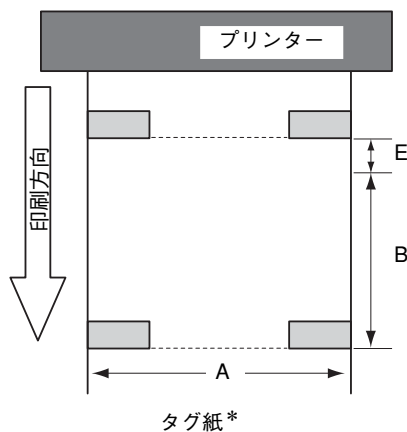
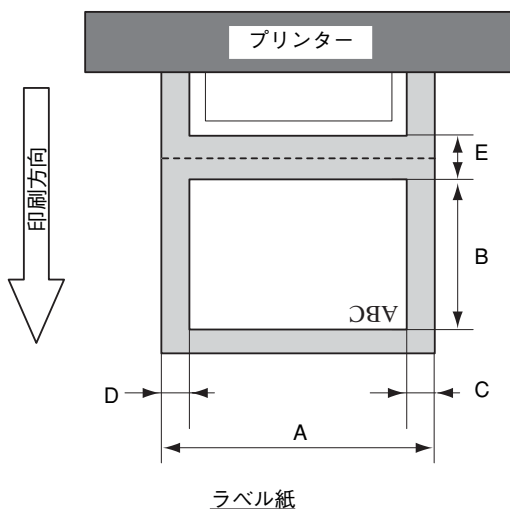
すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

5 [単位] を指定して [用紙サイズ] と [余白] を設定します。



下図と合わせて以下の表の説明を参考に設定してください。

項目	説明
幅 (A)	ラベルの台紙を含む大きさ
高さ (B)	ラベルの台紙を含まない大きさ
左右の余白 (CとD)	台紙とラベルの間
上下の余白	“0”としてください。
ラベルギャップ (下図E)	プリンタードライバーの「詳細オプション」ダイアログボックスの「ラベルギャップ」で設定してください (詳細はオンラインマニュアル参照)。



* タグ紙の場合、ラベルギャップは黒マークの長さとなります。

6 [用紙の保存] をクリックします。

- ✓ チェック
- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
 - 本プリンタードライバーで設定できる用紙サイズについては3章の「用紙規格と印刷範囲」(90ページ)を参照してください。

7 [用紙] 一覧に新しい用紙が表示されたことを確認します。

8 [閉じる] をクリックします。



プリンタードライバーの削除（アンインストール）

プリンタードライバーの削除（アンインストール）方法を説明します。

MultiCoder 500L3の場合を例にあげて説明します。MultiCoder 500L6をご使用の場合はMultiCoder 500L3を読み替えてください。

① [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタと FAX] フォルダーを開きます。

Windows Vistaの場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[[ハードウェアとサウンド]、[プリンタ] の順にクリックすると開きます。

Windows XP ProfessionalまたはWindows Server 2003の場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [プリンタとFAX] をクリックすると開きます。

Windows XP Home Editionの場合、[プリンタと FAX] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックすると開きます。

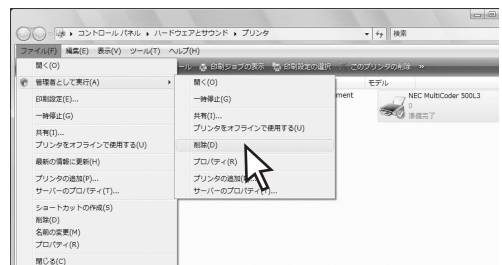
Windows 2000の場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [設定] - [プリンタ] をクリックすると開きます。

② 削除する本プリンター（[NEC MultiCoder 500L3]）のアイコンをクリックします。

③ [ファイル] メニューの [削除] をクリックします。

Windows Vistaの場合は [ファイル] メニューから [管理者として実行] - [削除] の順にクリックします。

Windows XP、Windows 2000、またはWindows Server 2003の場合は [ファイル] メニューの [削除] をクリックします。



④ [はい] をクリックします。

プリンタードライバーが削除されます。



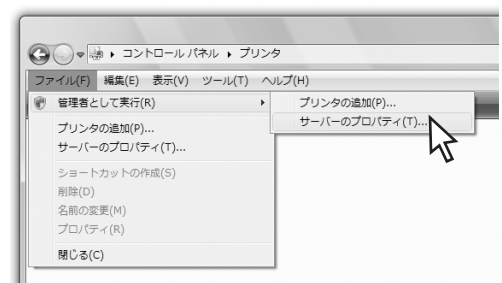
プリンタードライバーのファイルを削除したい場合

Windows Vista/Windows XP/2000/Server 2003 日本語版では、プリンタードライバーを削除してもプリンタードライバーのファイルは削除されずに残っています。プリンタードライバーのファイルを削除したい場合は、次の手順で削除してください。

① [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタと FAX] フォルダーから [サーバーのプロパティ] 画面を表示させます。

Windows Vistaの場合は [ファイル] メニューから [管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] の順にクリックします。

Windows XP、Windows 2000、またはWindows Server 2003の場合は [[ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] をクリックすると開きます。



② [ドライバ] タブをクリックします。

③ [インストールされたプリンタドライバ] 一覧から本プリンター ([NEC MultiCoder 500L3]) をクリックし、[削除] をクリックします。



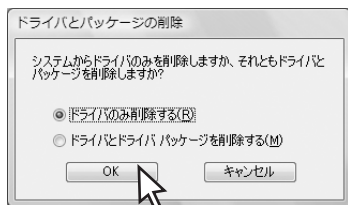
Windows Vistaの場合は④へ、その他のOSの場合は⑤へ進んでください。

✓チェック

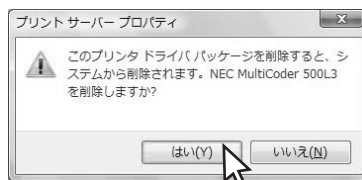
削除できないことを示す画面が表示された場合は、いったん作業を取りやめた後、OSを再起動してください。その後、はじめからやり直してください。

④ 削除する内容を選択して [OK] をクリックします。

プリンタードライバのみを削除するか、プリンタードライバに関連する情報ファイルなど「ドライバパッケージ」を含む一式を削除するかを選択します。[プリンタドライバのみ削除する] を選んで [OK] をクリックした場合はドライバを削除して完了します。[ドライバとドライバパッケージを削除する] を選んだ場合は次へ進んでください。



⑤ [はい] をクリックします。

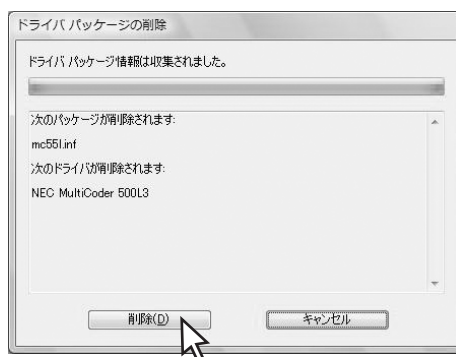


Windows Vistaの場合はコンピュータ内から削除するプリンタードライバやドライバパッケージの収集を開始します。⑥へ進んでください。

その他のOSの場合は[インストールされたプリンタドライバ] 一覧からファイルが削除されます。⑧へ進んでください。

⑥ [削除] をクリックします。

[インストールされたプリンタドライバ] 一覧から [NEC MultiCoder 500L3] が削除されます。



⑦ [OK] をクリックします。



⑧ [インストールされたプリンタドライバ] 一覧から本プリンター ([NEC MultiCoder 500L3]) が削除されたことを確認し、プロパティ画面を閉じます。

リモートパネル

「リモートパネル*1」とは、本プリンターの操作部から行う各種設定をご使用のコンピュータの画面上で実行できるように作成されたソフトウェアです。リモートパネルでは次のようなことができます。

- プリンターの設定を変更する（パラメーターの設定や各種微調整の設定、IPアドレスの設定など）
- プリンターの設定を工場出荷時の設定に戻す
- テスト印刷をする
- DIP SW状態の表示をする

リモートパネルでは下のような画面上で容易にプリンターの設定を変更することができます。



リモートパネルをご使用になる際の注意事項

機種ごとに専用のリモートパネルが用意されています。他のプリンターに対して使用しないでください。リモートパネルを異なるプリンターに対して使用すると、プリンターの設定が正しく行われず、正しく印刷できなくなる場合があります。

リモートパネルのインストール

お使いのコンピュータでリモートパネルをご使用になる場合、コンピュータにリモートパネルをインストールしてください。



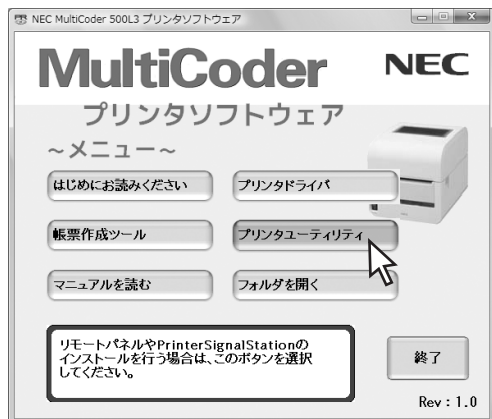
- 添付のソフトウェアCD-ROMに収録されているリモートパネルはWindows Vista 日本語版、Windows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版で動作します。
- リモートパネルを動作させるためにはプリンタードライバーが必要です。

*1 リモートパネルの操作方法の詳細は、オンラインマニュアルをご覧ください。
リモートパネルは MultiCoder 500L3 と MultiCoder 500L6 で共通で使用できます。

- ① ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

「プリンタソフトウェア」ダイアログボックスが起動します。

- ② 「プリンタユーティリティ」ボタンをクリックします。



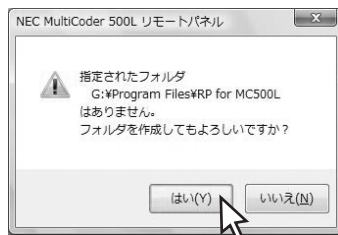
- ③ 「リモートパネル」ボタンをクリックします。



- ④ インストール先のフォルダを指定し、「OK」をクリックします。



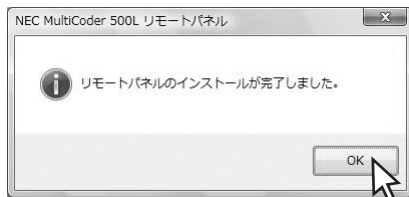
下の画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。フォルダが作成されます。



- ⑤ 「OK」をクリックします。



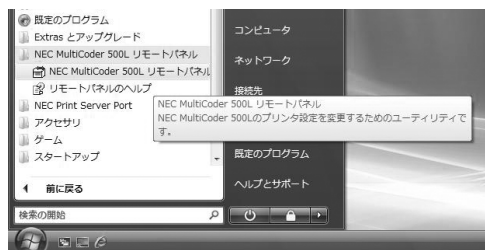
- ⑥ 「OK」をクリックします。



- ⑦ リモートパネルのヘルプを表示する場合は「はい」を、表示しない場合は「いいえ」をクリックします。



「スタート」メニューの「すべてのプログラム」または「プログラム」に「NEC MultiCoder 500L リモートパネル」の表示が出ていればインストール完了です。



リモートパネルの削除（アンインストール）

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

① [コントロールパネル] フォルダを開きます。

Windows Vista/XP/Server 2003の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [設定] - [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

② [プログラムのアンインストール] をクリックします。(Windows Vistaの場合)



[プログラムの追加と削除] をクリックします。(Windows XP/Server 2003の場合)



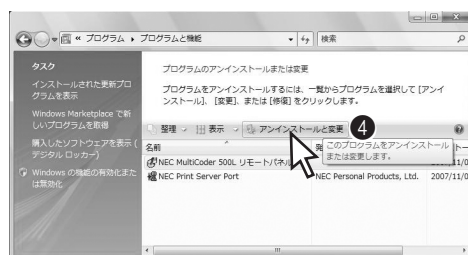
[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。(Windows 2000の場合)



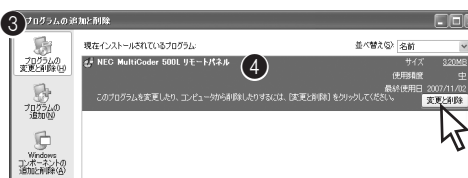
③ [プログラムの変更と削除] をクリックします。

Windows Vistaの場合はこの手順を飛ばして次へ進んでください。

④ 「NEC MultiCoder 500Lリモートパネル」を選択し、[アンインストールと変更] (Windows Vistaの場合) [変更と削除] または [変更/削除] (Windows Vista以外の場合) をクリックします。

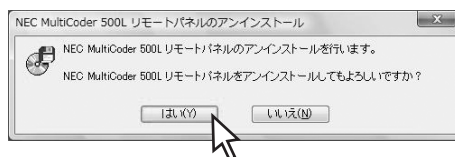


Windows Vistaの場合の表示例



Windows XPの場合の表示例

⑤ [はい] をクリックします。



⑥ [OK] をクリックします。



アンインストールの完了です。

PrinterSignalStation for ラベルプリンタ

PrinterSignalStation for ラベルプリンタ（以下、PrinterSignalStation）は、プリンターの状態をコンピュータ上から監視するためのユーティリティソフトウェアです。容易な操作でローカルプリンターやネットワークプリンターの状態を確認することができます。

PrinterSignalStationには、次のような特長があります。

- プリンターの状態変化に対する反応が速い
- Windows OSに対する負荷が軽い
- すべての監視プリンターの状態を一覧表示可能
- ユーティリティからプリンターフォルダーを呼び出し可能
- ユーティリティからリモートパネルを呼び出し可能*¹
- ターミナルサービス環境で動作可能
- 公開インターフェースを使用することにより、プリンタ装置の状態変化を取得するユーザーアプリケーションを作成可能*²

PrinterSignalStationでは、次のようなことができます。

- プリンターの印刷完了やエラー発生を、タスクトレイのバルーン表示でお知らせします。
- プリンターの詳細な状態をダイアログボックスで確認できます。

PrinterSignalStationを正しく動作させるには、次のいずれかが必要となります。それ以外では正しく動作しない場合があります。

- プリントサーバー（PR-NP-08/PR-NP-09）
- USBプリンターケーブル



チェック

- 上記以外のLANボードおよびUSB プリンターケーブル、プリンター切替器、プリンター共有器、およびプリンターバッファなどを接続した場合は、PrinterSignalStationは正しく動作しない場合があります。
- **PrinterSignalStationをご使用になる際の注意事項**
PrinterSignalStationをご使用になる際は、PrinterSignalStationに対応したプリンタドライバを先にインストールしておく必要があります。プリンタードライバーのインストールは、「プリンタードライバーのインストール」（55ページ）を参照してください。
プリンターを監視するには、プリンターのプロパティの［ポート］シートの［印刷するポート］で、USBポート、NEC Print Server Port、またはStandard TCP/IP Portを選択する必要があります。ネットワーク共有プリンターを監視するには、PrinterSignalStationをサーバーコンピュータとクライアントコンピュータの両方にインストールしてください。

ここではPrinterSignalStationのインストールとアンインストールの手順を説明します。詳しい説明についてはオンラインマニュアルを参照してください。

* 1 別途、リモートパネルのインストールが必要です。

* 2 PrinterSignalStationのAPI説明書はソフトウェアCD-ROMの「MANUAL」フォルダー内に収録されています。

PrinterSignalStationのインストール

お使いのコンピュータでPrinterSignalStationをご使用になる場合、コンピュータにリモートパネルをインストールしてください。

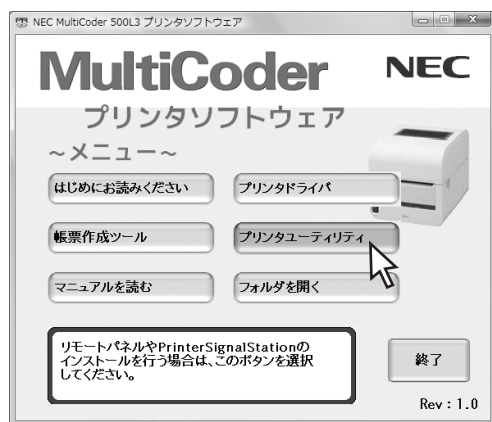


- 添付のソフトウェアCD-ROMに収録されているPrinterSignalStationはWindows Vista 日本語版、Windows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版で動作します。
- PrinterSignalStationを動作させるためにはプリンタードライバーが必要です。

① ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

［プリンタソフトウェア］ダイアログボックスが起動します。

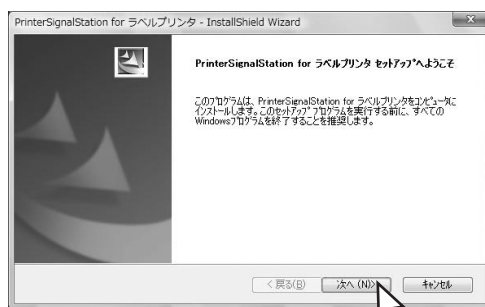
② 「プリンタユーティリティ」ボタンをクリックします。



③ 「PrinterSignalStation」ボタンをクリックします。

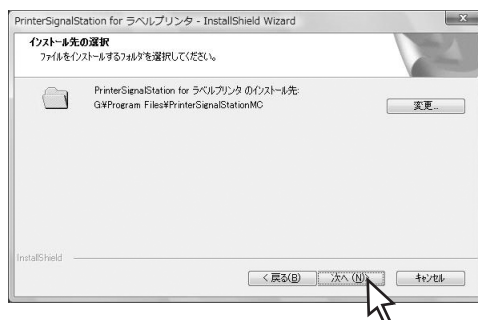


④ 「次へ」をクリックします。



⑤ 次の画面が表示された場合は、「次へ」をクリックします。

表示されなかった場合は、次の手順へ進んでください。



インストール先の初期設定はWindowsの起動ドライブの「¥Program Files¥PrinterSignalStationMC」です。インストール先を変更したい場合は、「変更」をクリックして、インストール先を設定してください。

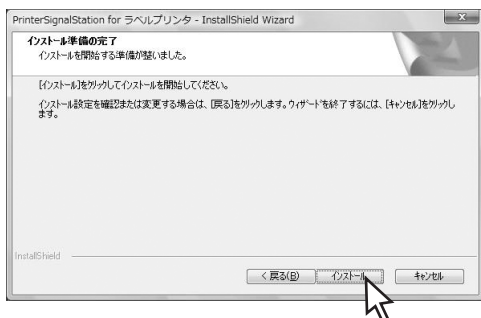


- ⑥ インストールするコンポーネントを選択し、**「次へ」**をクリックします。

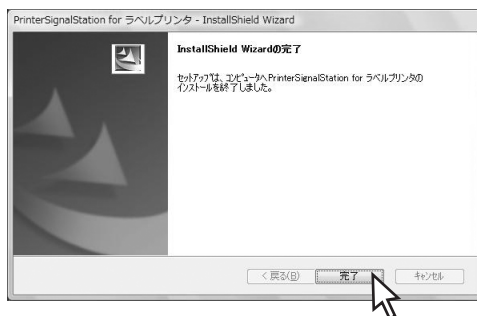
高度監視を行う場合に選択してください。



- ⑦ **「インストール」**をクリックします。



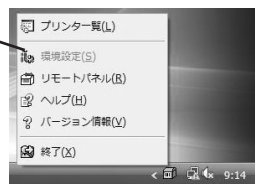
- ⑧ **「完了」**をクリックします。



インストールが完了し、PrinterSignalStationが起動します。

PrinterSignalStationのインストール後、Windows VistaではPrinterSignalStationの**「環境設定」**メニューを使用できるようにするための設定を行ってください（この手順はWindows Vistaの場合のみ必要です）。

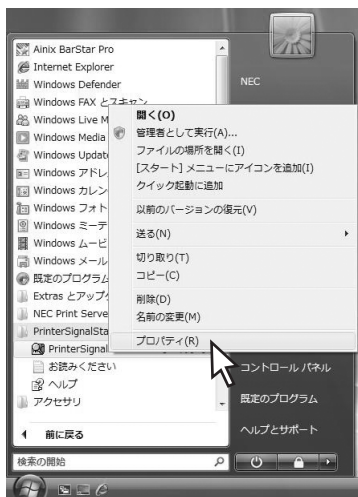
インストール直後の状態では**「環境設定」**を使用できません



- ① Administrators（コンピューターの管理者）権限でWindows Vistaを起動します。

- ② **「スタート」**メニューから、**「すべてのプログラム」**、**「PrinterSignalStation」**の順にクリックして**「PrinterSignalStation」**を右クリックして表示されるメニューから**「プロパティ」**をクリックします。

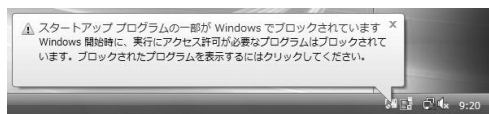
「PrinterSignalStation for ラベルプリンタ」のプロパティダイアログボックスが表示されます。



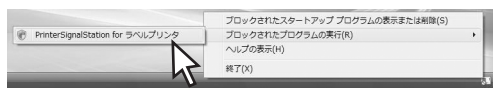
- ③ [互換性] シートで、[特権レベル] グループの [管理者としてこのプログラムを実行する] にチェックを入れて [OK] をクリックします。



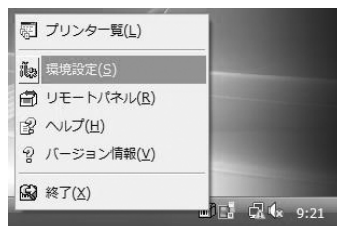
以降、Windows Vistaの起動時に以下のメッセージが表示されます。



タスクトレイのアイコン “” をクリックして、[ブロックされたプログラムの実行] から [PrinterSignalStation for ラベルプリンタ] をクリックしてください。



以上でPrinterSignalStationのメニューにある [環境設定] を選択することができるようになります。



PrinterSignalStationの削除（アンインストール）

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

- ① [コントロールパネル] フォルダを開きます。

Windows Vista/XP/Server 2003の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [設定] - [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

- ② [プログラムのアンインストール] をクリックします。(Windows Vistaの場合)



- [プログラムの追加と削除] をクリックします。(Windows XP/Server 2003の場合)



【アプリケーションの追加と削除】をダブルクリックします。(Windows 2000の場合)



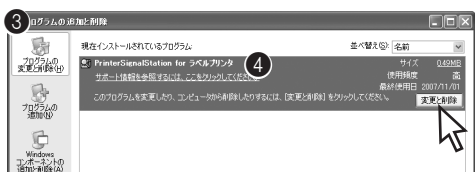
③ 【プログラムの変更と削除】をクリックします。

Windows Vistaの場合はこの手順を飛ばして次へ進んでください。

④ 「PrinterSignalStation for ラベルプリンタ」を選択し、[アンインストールと変更] (Windows Vistaの場合)、[変更と削除] または [変更/削除] (Windows Vista以外の場合) をクリックします。



Windows Vistaの場合の表示例



Windows XPの場合の表示例

⑤ 【削除】を選択し、[次へ] をクリックします。



[変更] を選択した場合は、コンポーネントの追加と削除を行います (プリンタソフトウェアCD-ROMが必要です)。

[修正] を選択した場合は、コンポーネントの再インストールを行います。

⑥ 以下のメッセージボックスが表示されたら、[はい] をクリックします。



⑦ 【完了】をクリックします。

PrinterSignalStationの削除 (アンインストール) が完了します。



BarStar Pro

「バーコード作成ソフトウェア(Ainix BarStar Pro for Windows)」(以下、BarStar Pro)は、Windows上で動作するバーコード作成専用のソフトウェアです。

リニアバーコード、スタック型二次元コード、マトリックス型二次元コード、郵便コード、省スペースシンボルRSS ファミリー (GS1 DataBar と呼ばれています)、および次世代省スペース標準流通シンボルEAN.UCC Compositeなど多彩なバーコードを生成することができます。

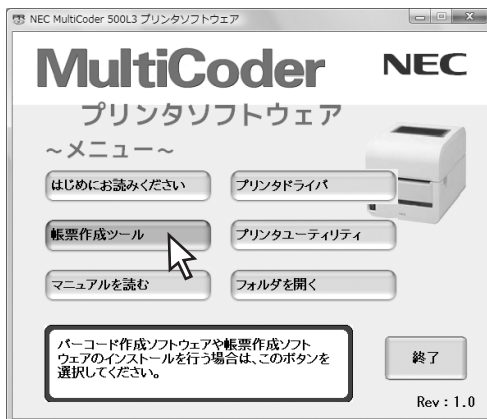
BarStar Proのインストール

BarStar Proのインストール手順について以下に手順を説明します。

- 1 ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

[プリンタソフトウェア] ダイアログボックスが起動します。

- 2 [帳票作成ツール] ボタンをクリックします。



- 3 [BarStar Pro] ボタンをクリックします。



- 4 [次へ] をクリックします。



- 5 インストール先のフォルダを確認して [次へ] をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックしてインストール先のフォルダを選択してください。[ディスク領域] をクリックすると、インストール先のハードディスクドライブの空き容量を調べることができます。



6 [次へ] をクリックします。

[次へ] をクリックするとインストールを開始します。



7 [OK] をクリックします。



プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているBarStar Proは「プロダクト登録」をするまで評価版として動作します。プロダクト登録を行うには、[名前]、[所属] の欄に入力し、プロダクトキーを入力してください。



8 [OK] をクリックします。

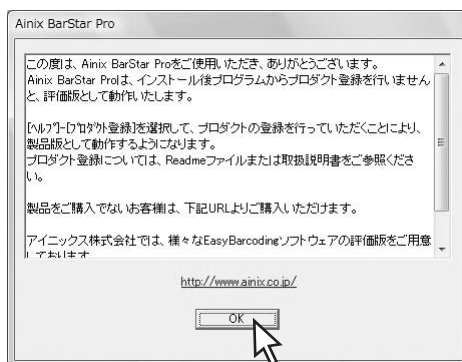


9 [閉じる] をクリックします。

以上でインストールは完了です。



BarStar Proはプロダクト登録を完了するまで、起動時に以下のメッセージを表示します。[OK] をクリックすると評価版として起動します。



BarStar Proの取り扱いを詳しく説明している取扱説明書がソフトウェア CD-ROM の「¥APP¥BARSTAR」内にあります。ご覧ください。

BarStar Proの削除（アンインストール）

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

① [コントロールパネル] フォルダを開きます。

Windows Vista/XP/Server 2003の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[コントロールパネル] フォルダは、[スタート] から [設定] - [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

② [プログラムのアンインストール] をクリックします。(Windows Vistaの場合)



[プログラムの追加と削除] をクリックします。(Windows XP/Server 2003の場合)



[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。(Windows 2000の場合)



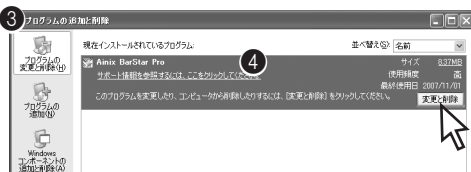
③ [プログラムの変更と削除] をクリックします。

Windows Vistaの場合はこの手順を飛ばして次へ進んでください。

④ 「Ainix BarStar Pro」を選択し、[アンインストール] (Windows Vistaの場合)、[変更と削除] または [変更/削除] (Windows Vista以外の場合) をクリックします。



Windows Vistaの場合の表示例



Windows XPの場合の表示例

⑤ [はい] をクリックします。

BarStar Proの削除（アンインストール）が完了します。



LabelStar Lite

「バーコードラベル作成ソフトウェア (LabelStar Lite for Windows)」(以下、「LabelStar Lite」)は、Microsoft Windowsで動作するラベル作成専用のソフトウェアです。

LabelStar Liteでは、ラベルに印刷する文字列、およびバーコード化する文字列をキーボードを使って入力、設定することはもちろん、外部のテキストファイルを入力し、設定することができます。

また、ラベルのデザインに必要なさまざまなデザインツールを備えており、効率的なラベルの作成を可能にします。

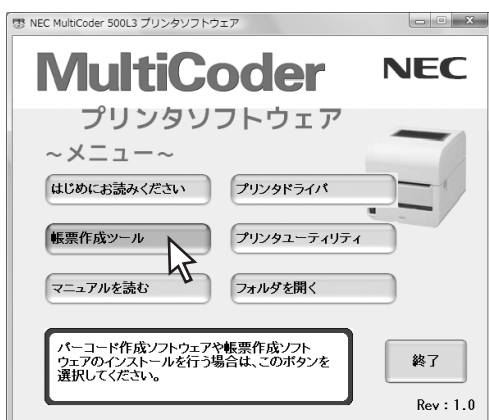
LabelStar Liteのインストール

LabelStar Liteのインストール手順について以下に手順を説明します。

- 1 ソフトウェアCD-ROMをドライブにセットします。

[プリンタソフトウェア] ダイアログボックスが起動します。

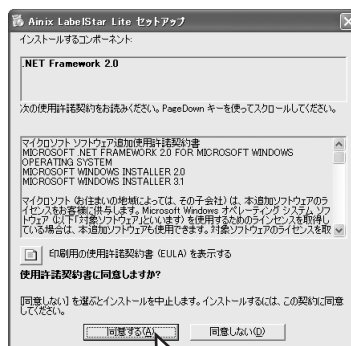
- 2 [帳票作成ツール] ボタンをクリックします。



- 3 [LabelStar Lite] ボタンをクリックします。



- 4 LabelStar Liteが動作するためには.NET Framework 2.0以上が必要です。.NET Frameworkがインストールされていない環境では、次の画面が表示されますので、使用許諾契約の記載内容をよく読んでから[同意する]をクリックし、.NET Frameworkのインストールを行ってください。



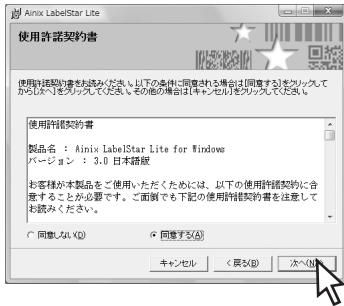
- 5 [次へ] をクリックします。



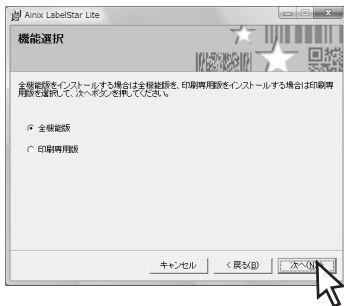
- 6 [次へ] をクリックします。



- 7 使用許諾契約の記載内容をよく読んでから
[同意する] を選択し、[次へ] をクリックし
ます。

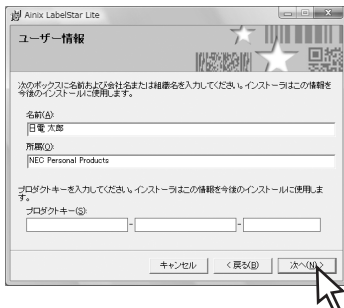


- 8 「全機能版」を選択し、[次へ] をクリックし
ます。



LabelStar Liteでは印刷専用版は使用できません。

- 9 [名前]、[所属]の欄を入力し、[プロダクト
キー]の欄にプロダクトキーを入力してくだ
さい。



- 10 インストール先のフォルダーを確認して [次
へ] をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[参照] をクリック
してインストール先のフォルダーを選択してください。



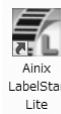
[次へ] をクリックするとインストールを開始しま
す。

- 11 [閉じる] をクリックします。



以上でインストールは完了です。

[スタート] メニューの [すべてのプログラム] に
[Ainix LabelStar Lite] の項目が追加されます。ま
た、デスクトップにもショートカットアイコンが追
加されます。



LabelStar Liteを初めて使う場合の解説書
(ファーストステップガイド) や取り扱いを詳
しく説明している取扱説明書がソフトウェア
CD-ROM の「¥APP¥LABELSTAR¥Docs」
内にあります。ご覧ください。

LabelStar Liteの削除（アンインストール）

次の手順で削除（アンインストール）を行ってください。

① [コントロールパネル] フォルダーを開きます。

Windows XP/Server 2003の場合、[コントロールパネル] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[コントロールパネル] フォルダーは、[スタート] から [設定] — [コントロールパネル] をクリックすると開きます。

② [プログラムの追加と削除] をクリックします。（Windows XP/Server 2003の場合）



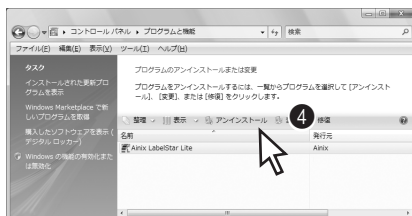
[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。（Windows 2000の場合）



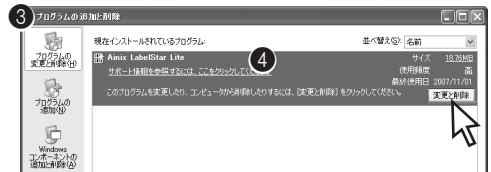
③ [プログラムの変更と削除] をクリックします。

Windows Vistaの場合はこの手順を飛ばして次へ進んでください。

④ 「Ainix LabelStar Lite」を選択し、[アンインストール]（Windows Vistaの場合）、[変更と削除]または[変更/削除]（Windows Vista以外）をクリックします。

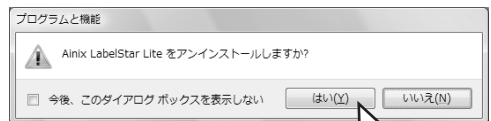


Windows Vistaの場合の表示例

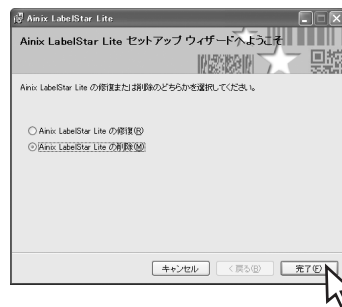


Windows XPの場合の表示例

⑤ [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。



下記の画面が表示された場合は、「Ainix LabelStar Liteの削除」を選択して、[完了] をクリックします。



[閉じる] をクリックします。

LabelStar Liteの削除（アンインストール）が完了します。



3章

用紙の取り扱いと印刷

この章では、本プリンターが使用できる用紙と印刷範囲、用紙長の微調整の方法などについて説明します。タイプ別の代表として、感熱タイプの説明にはMultiCoder 500L3D、熱転写+感熱タイプの説明にはMultiCoder 500L3T、MultiCoder 500L6Tを掲載していますが、それぞれの9モデルは同じ規格です。

自動用紙先頭位置合わせ機能

トップカバーを開けて用紙交換後、コンピューターから印刷すると、設定したセンサー〔透過センサーまたは反射センサー〕を使用してプリンターは自動で用紙先頭位置を合わせてから印刷を行います。用紙交換後、FEEDスイッチを押して用紙先頭位置を合わせる必要がありません。用紙先頭位置が合っているかどうかを意識せずに印刷を行うことができます。



チェック

- プリンターの電源をOFFにしてから、トップカバーを開けて用紙交換をしたときは、FEEDスイッチで用紙を送って先頭位置を合わせてください。
- リモートパネルで機能の有効／無効を切り替えることができます。
- プリンタードライバーやDIP SWで用紙頭出しセンサーを「センサー無視」に設定しているときは、本機能は無効になります。

使用できる用紙

本プリンターで使用できる用紙はラベル紙とタグ紙の2種類です。それぞれの用紙の詳細は1章の「用紙一覧」（19ページ）をご覧ください。

糊（のり）部をカットする場合：PR-T500-L11をご使用ください。（15ページ参照）

糊（のり）部をカットしない場合：PR-T500-L01をご使用ください。

（15ページ参照。ラベルの糊（のり）部をカットしないでください。）

重要

- 本プリンターはNECが指定する用紙を使用時に、印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の用紙を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、用紙はNEC指定品のご使用をお勧めします。
- 黒ベタおよび黒の面積が大きいパターンの連続印刷を行うと、スループットが遅くなったり、印刷品位が損なわれたり、リボンが切れたりする場合がありますので行わないでください。
- サーマルヘッドの高温エラー「H」が起きた後、サーマルヘッドの温度が印刷できる温度まで下がると、印刷は自動的に再開されますが、印刷を再開した印字位置から約20mmの部分の印刷品位が損なわれることがあります。

用紙規格と印刷範囲

使用できる用紙と印刷方式別に本プリンターが保証する印刷範囲を以下に示します。

プリンタードライバーの用紙サイズについては70ページを参照してください。

使用する用紙	印刷方式	参照先			
		500L3D タイプ	500L3DX タイプ	500L3T/ 500L6T タイプ	500L3TX タイプ
ラベル紙	連続印刷（自動カット送り対応）	92ページ		100ページ	
	連続印刷（自動カット送り非対応）	93ページ		101ページ	
	カット印刷（フルカット）*1	96ページ		104ページ	
	ハクリ印刷	99ページ	—	107ページ	—
タグ紙	連続印刷（自動カット送り対応）	94ページ		102ページ	
	連続印刷（自動カット送り非対応）	95ページ		103ページ	
	カット印刷（フルカット）*1	97ページ		105ページ	
	カット印刷（パーシャルカット）*1	98ページ	—	106ページ	—

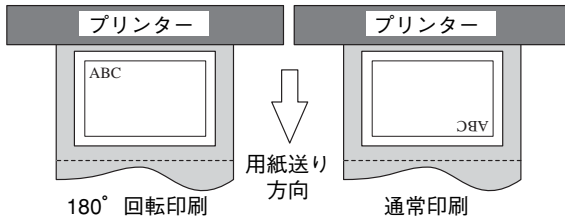
* 1 「フルカット」および「パーシャルカット」についての詳しい説明は 113 ページ、148 ページ、167 ページをご覧ください。

PR-T500L-11 / PR-T500L6-11 カッターモジュールではパーシャルカットはできません。

用紙規格と印刷範囲に対する印刷品質の保証範囲を108ページに記載しています。

■□ 用紙の排出方向と印刷イメージ（向き） □■

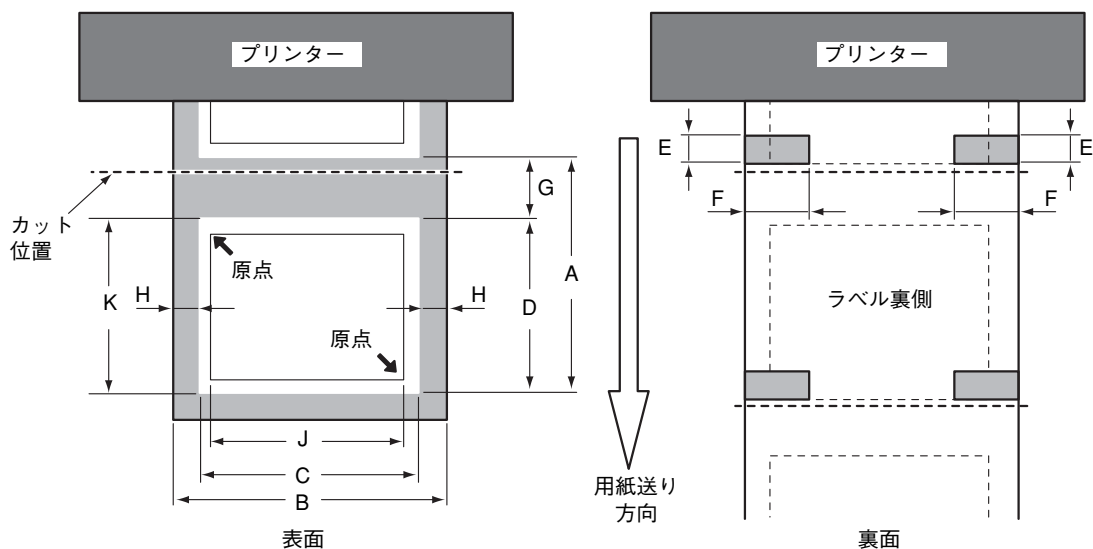
次ページ以降の図中の「原点」に示す用紙排出方向と印刷イメージはすべてのラベルとタグに適用されます。



180° 回転印刷 : プリンター前面から見て正しく読める向きでの印刷。

通常印刷 : 印刷データの先頭から印刷し、プリンター前面から見て印刷結果がさかさまになる印刷。

連続印刷（自動カット送り対応）ラベル紙（MultiCoder 500L3D/500L3DX）



符 号	項 目	仕 様	
		500L3D タイプ	500L3DX タイプ
A	用紙ピッチ	30～457mm	
B*1	ラベル台紙幅	28～118mm	28～110mm
C*1	ラベル上紙幅	25～115mm	25～107mm
D	ラベル長	27～454mm	
E	黒マーク長	3～10mm	
F	黒マーク幅	15mm以上	
G	ギャップ長	3～10mm	
H	ラベル端ギャップ	1.5mm*2	
J*1	最大印刷幅	105.7mm	
K	有効印刷長	27～454mm	
—	用紙厚さ	80*3 ～200 μm	
—	最大ロール径	φ 110mm	
—	ラベル巻	外巻き（内巻き）*4	
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm	
—	芯管	内径 φ 40±0.3mm	

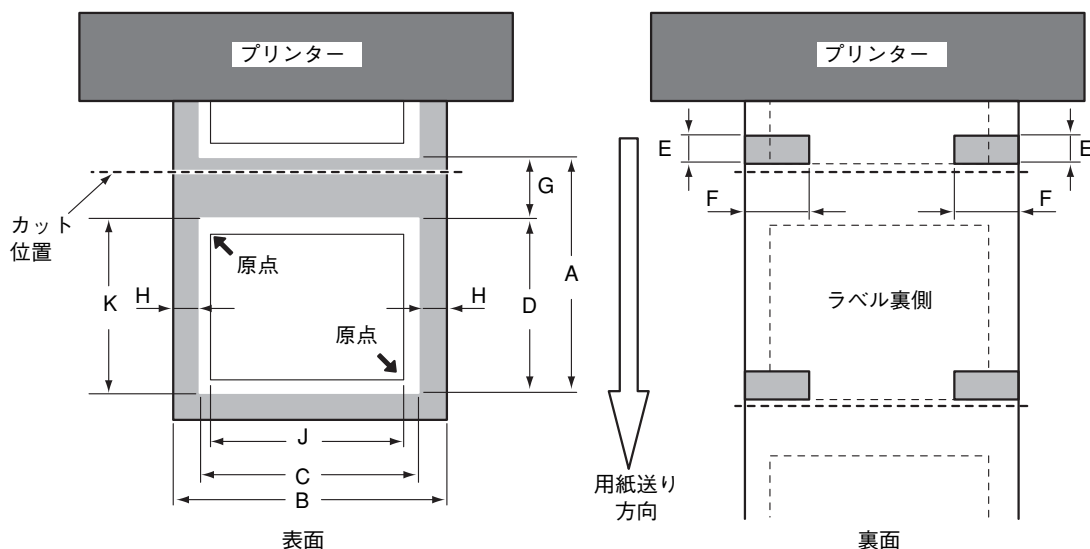
* 1 横方向は用紙の中央を基準とします。

* 2 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。

* 3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 4 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

連続印刷（自動カット送り非対応）ラベル紙（MultiCoder 500L3D/500L3DX）



符 号	項 目	仕 様	
		500L3D タイプ	500L3DX タイプ
A	用紙ピッチ	5～457mm	
B* ¹	ラベル台紙幅	28～118mm	28～110mm
C* ¹	ラベル上紙幅	25～115mm	25～107mm
D	ラベル長	3～454mm	
E	黒マーク長	3～10mm	
F	黒マーク幅	15mm以上	
G	ギャップ長	2～10mm	
H	ラベル端ギャップ	1.5mm* ²	
J* ¹	最大印刷幅	105.7mm	
K	有効印刷長	3～454mm	
—	用紙厚さ	80* ³ ～200 μm	
—	最大ロール径	φ 110mm	
—	ラベル巻	外巻き（内巻き）* ⁴	
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm	
—	芯管	内径 φ 40±0.3mm	

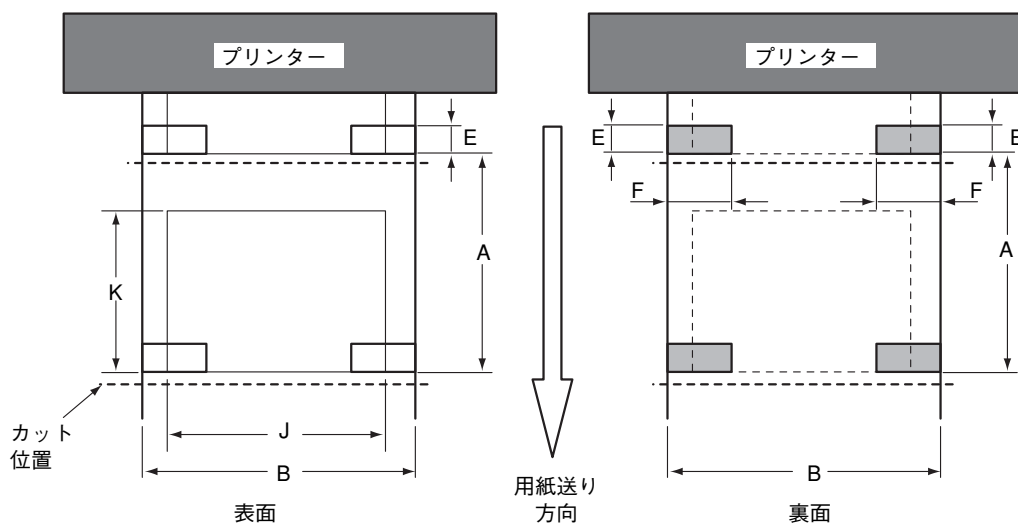
* 1 横方向は用紙の中央を基準とします。

* 2 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。

* 3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 4 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

連続印刷（自動カット送り対応）タグ紙（MultiCoder 500L3D/500L3DX）

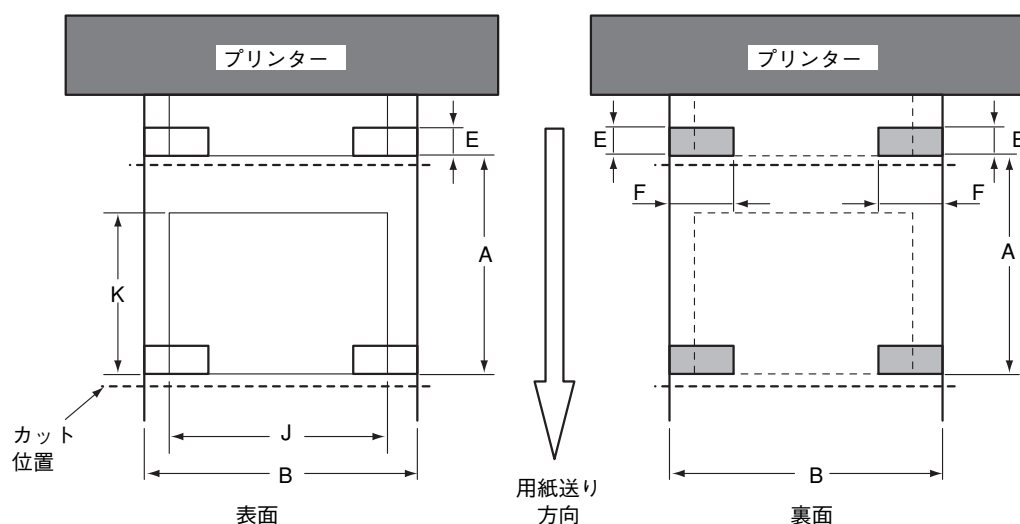


符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	30～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	27～454mm
—	用紙厚さ	80 ^{*1} ～200 μ m
—	最大ロール径	ϕ 110mm
—	ラベル巻	外巻き（内巻き） ^{*2}
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径 ϕ 40 $\pm$ 0.3mm

* 1 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「自動カット送り非対応」を推奨します。

* 2 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

連続印刷（自動カット送り非対応）タグ紙（MultiCoder 500L3D/500L3DX）

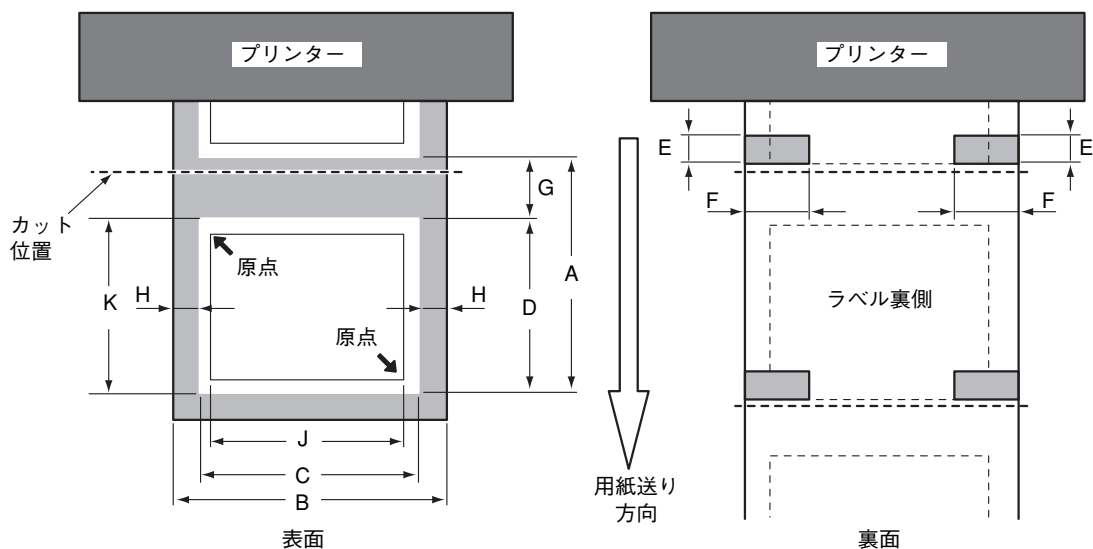


符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	5～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	3～454mm
—	用紙厚さ	80 ^{*1} ～200μm
—	最大ロール径	φ110mm
—	ラベル巻	外巻き（内巻き） ^{*2}
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径φ40±0.3mm

* 1 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 2 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

カット印刷（フルカット）ラベル紙（MultiCoder 500L3D/500L3DX）



符 号	項 目	仕 様	
		500L3D タイプ	500L3DX タイプ
A	用紙ピッチ	23～457mm	
B*1	ラベル台紙幅	28～118mm	28～110mm
C*1	ラベル上紙幅	25～115mm	25～107mm
D	ラベル長	20～454mm	
E	黒マーク長	3～10mm	
F	黒マーク幅	15mm以上	
G	ギャップ長	3～10mm	
H	ラベル端ギャップ	1.5mm*2	
J*1	最大印刷幅	105.7mm	
K	有効印刷長	20～454mm	
—	用紙厚さ	80*3 ～200 μm	
—	最大ロール径	φ 110 mm	
—	ラベル巻	外巻き（内巻き）*4	
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm	
—	芯管	内径 φ 40±0.3mm	

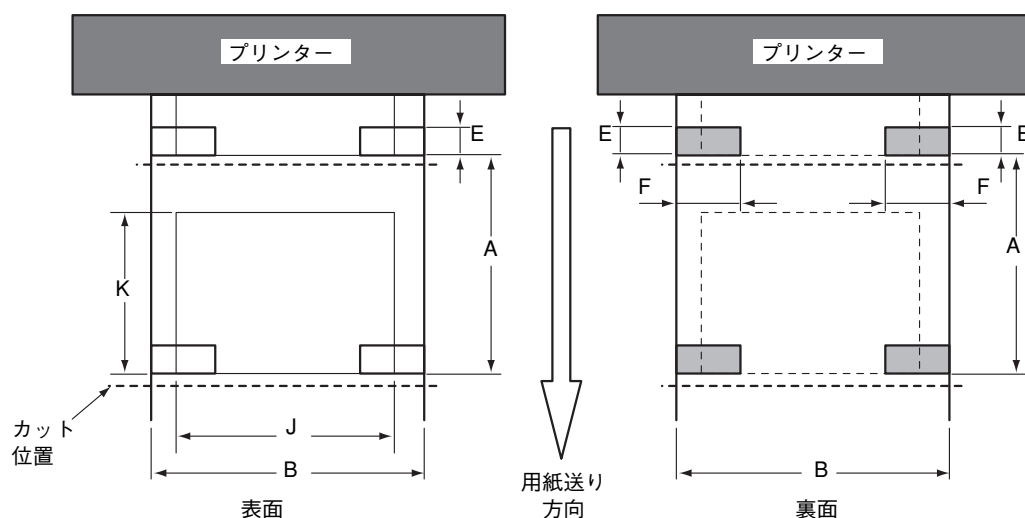
* 1 横方向は用紙の中央を基準とします。

* 2 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。

* 3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 4 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

カット印刷（フルカット）タグ紙（MultiCoder 500L3D/500L3DX）

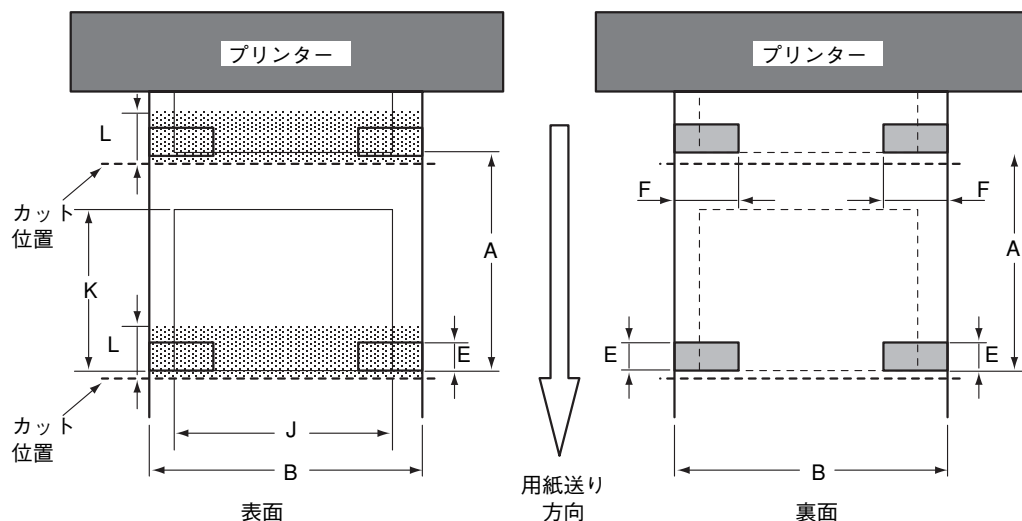


符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	23～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	20～454mm
—	用紙厚さ	80 ^{*1} ～200 μ m
—	最大ロール径	ϕ 110mm
—	ラベル巻	外巻き（内巻き） ^{*2}
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径 ϕ 40 $\pm$ 0.3mm

* 1 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。用紙厚の薄い用紙でカットする場合は、「パーシャルカット」を推奨します。

* 2 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

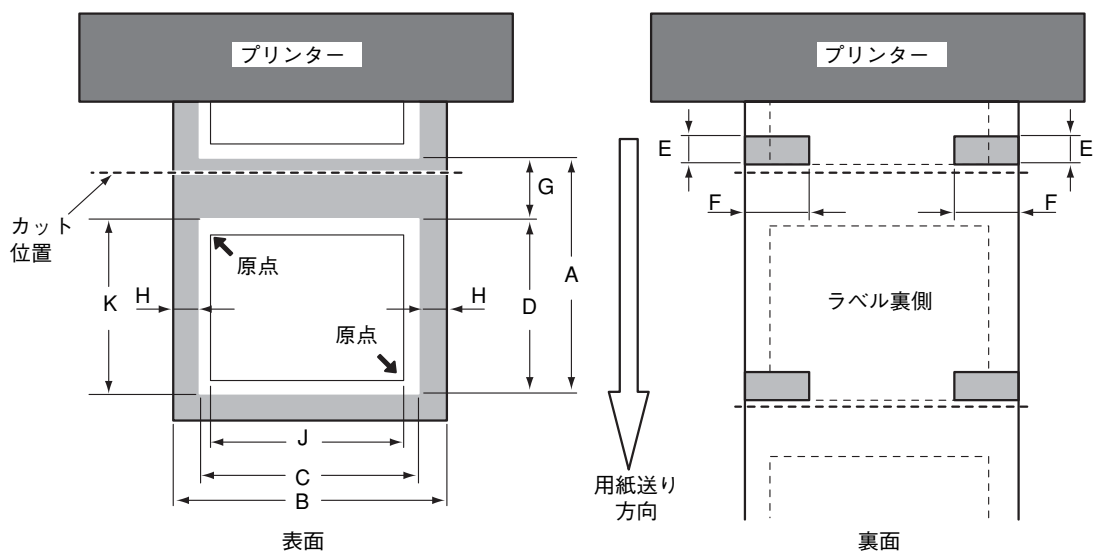
カット印刷（パーシャルカット）タグ紙（MultiCoder 500L3D）



符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	41～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長* ¹	38～454mm
L	印刷不可長さ	18mm
—	用紙厚さ	80* ² ～200 μ m
—	最大ロール径	ϕ 110mm
—	ラベル巻	外巻き（内巻き）* ³
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径 ϕ 40 $\pm$ 0.3mm

- * 1 パーシャルカット時は用紙のバックフィードができません。
カット位置から 18mm（符号L）は印刷できない範囲となります。
- * 2 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。
- * 3 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

ハクリ印刷ラベル紙 (MultiCoder 500L3D)



符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	23~457mm
B* ¹	ラベル台紙幅	28~118mm
C* ¹	ラベル上紙幅	25~115mm
D	ラベル長	20~454mm
E	黒マーク長	3~10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
G	ギャップ長	3~10mm
H	ラベル端ギャップ	1.5mm* ²
J* ¹	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	20~454mm
—	用紙厚さ	80* ³ ~200 μm
—	最大ロール径	φ110mm
—	ラベル巻	外巻き (内巻き)* ⁴
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径φ40±0.3mm

* 1 横方向は用紙の中央を基準とします。

* 2 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。

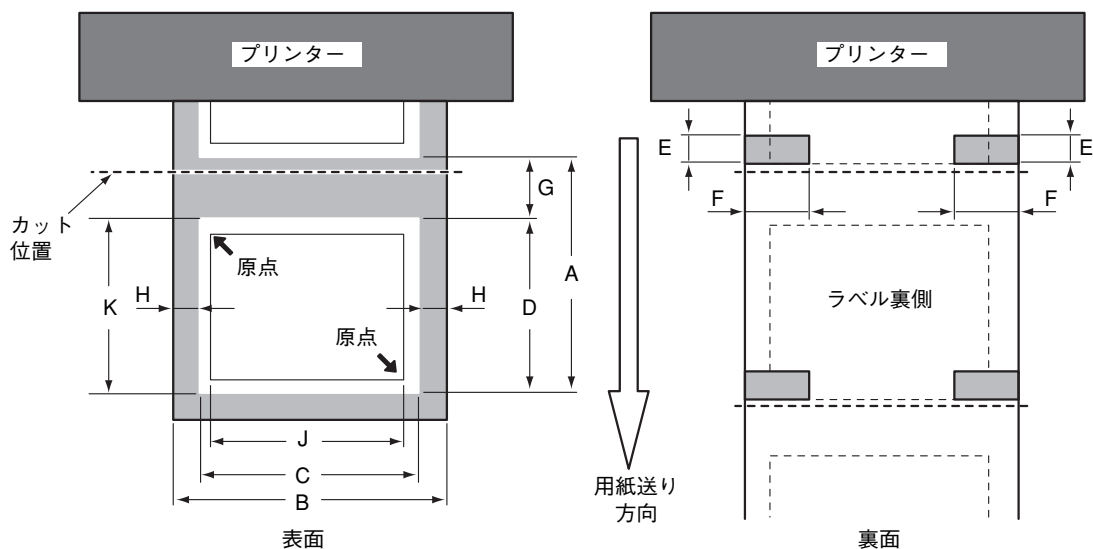
* 3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 4 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

3

用紙の取り扱いと印刷

連続印刷（自動カット送り対応）ラベル紙（MultiCoder 500L3T/ 500L3TX/500L6T）



符 号	項 目	仕 様	
		500L3T/500L6T タイプ	500L3TX タイプ
A	用紙ピッチ	30～457mm	
B*1	ラベル台紙幅	28～118mm	28～110mm
C*1	ラベル上紙幅	25～115mm	25～107mm
D	ラベル長	27～454mm	
E	黒マーク長	3～10mm	
F	黒マーク幅	15mm以上	
G	ギャップ長	3～10mm	
H	ラベル端ギャップ	1.5mm*2	
J*1	最大印刷幅	105.7mm	
K	有効印刷長	27～454mm	
—	用紙厚さ	80*3 ～200 μm	
—	最大ロール径	φ 110 mm	
—	ラベル巻	外巻き（内巻き）*4	
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm	
—	芯管	内径 φ 40±0.3mm	

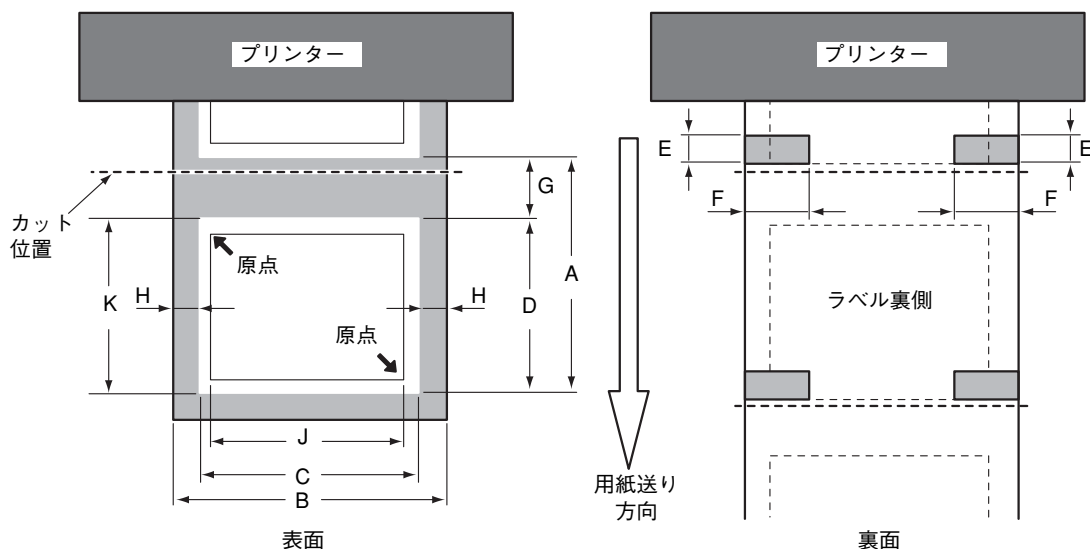
* 1 横方向は用紙の中央を基準とします。

* 2 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。

* 3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 4 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

連続印刷（自動カット送り非対応）ラベル紙（MultiCoder 500L3T/500L3TX/500L6T）



符 号	項 目	仕 様	
		500L3T/500L6T タイプ	500L3TX タイプ
A	用紙ピッチ	5～457mm	
B*1	ラベル台紙幅	28～118mm	28～110mm
C*1	ラベル上紙幅	25～115mm	25～107mm
D	ラベル長	3～455mm	
E	黒マーク長	2～10mm	
F	黒マーク幅	15mm以上	
G	ギャップ長	2～10mm	
H	ラベル端ギャップ	1.5mm*2	
J*1	最大印刷幅	105.7mm	
K	有効印刷長	3～454mm	
—	用紙厚さ	80*3～200 μm	
—	最大ロール径	φ 110mm	
—	ラベル巻	外巻き（内巻き）*4	
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm	
—	芯管	内径 φ 40±0.3mm	

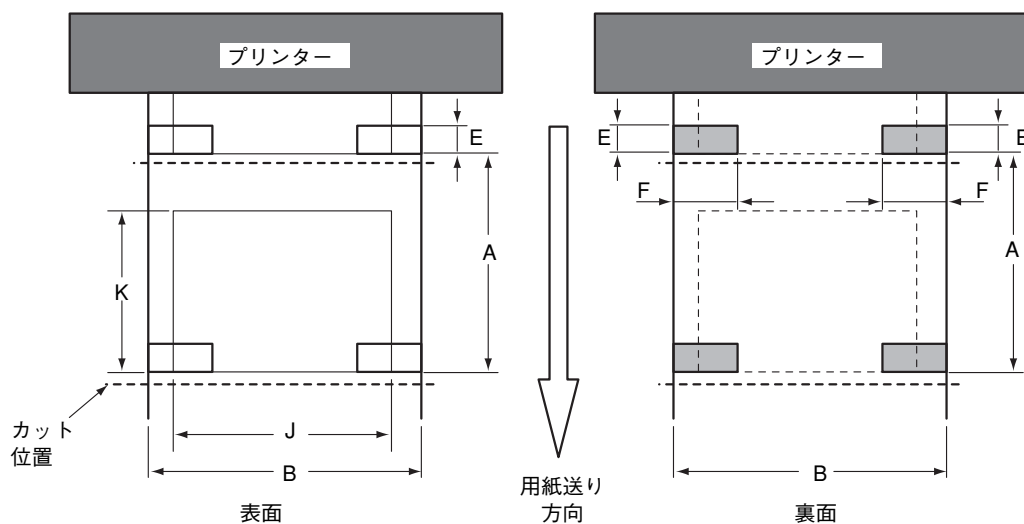
* 1 横方向は用紙の中央を基準とします。

* 2 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。

* 3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 4 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

連続印刷（自動カット送り対応）タグ紙（MultiCoder 500L3T/500L3TX/500L6T）

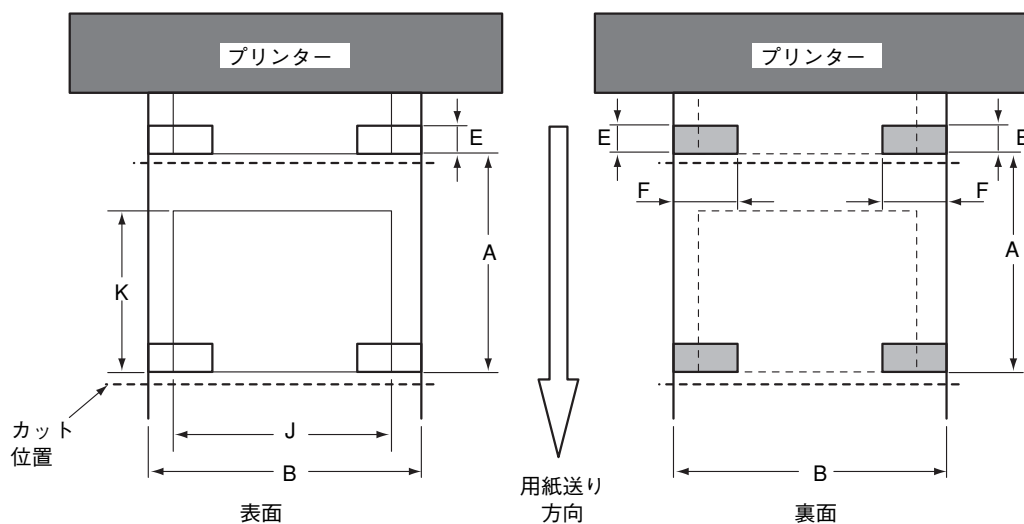


符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	30～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	27～454mm
—	用紙厚さ	80 ^{*1} ～200 μ m
—	最大ロール径	ϕ 110mm
—	ラベル巻	外巻き（内巻き） ^{*2}
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径 ϕ 40 $\pm$ 0.3mm

* 1 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「自動カット送り非対応」を推奨します。

* 2 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

連続印刷（自動カット送り非対応）タグ紙（MultiCoder 500L3T/500L3TX/500L6T）

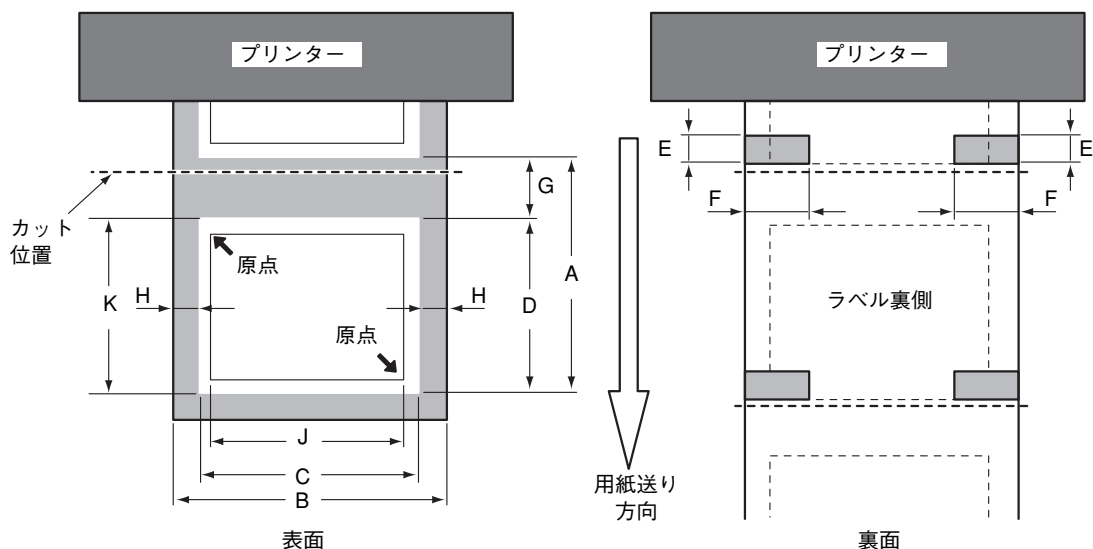


符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	5~457mm
B	タグ幅	25~118mm
E	黒マーク長	3~10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	3~454mm
—	用紙厚さ	80 ^{*1} ~200 μ m
—	最大ロール径	ϕ 110mm
—	ラベル巻	外巻き（内巻き） ^{*2}
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径 ϕ 40 $\pm$ 0.3mm

* 1 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 2 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

カット印刷（フルカット）ラベル紙（MultiCoder 500L3T/500L3TX/500L6T）



符 号	項 目	仕 様	
		500L3T/500L6T タイプ	500L3TX タイプ
A	用紙ピッチ	23～457mm	
B* ¹	ラベル台紙幅	28～118mm	28～110mm
C* ¹	ラベル上紙幅	25～115mm	25～107mm
D	ラベル長	20～454mm	
E	黒マーク長	3～10mm	
F	黒マーク幅	15mm以上	
G	ギャップ長	3～10mm	
H	ラベル端ギャップ	1.5mm* ²	
J* ¹	最大印刷幅	105.7mm	
K	有効印刷長	20～454mm	
—	用紙厚さ	80* ³ ～200 μm	
—	最大ロール径	φ 110mm	
—	ラベル巻	外巻き（内巻き）* ⁴	
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm	
—	芯管	内径 φ 40±0.3mm	

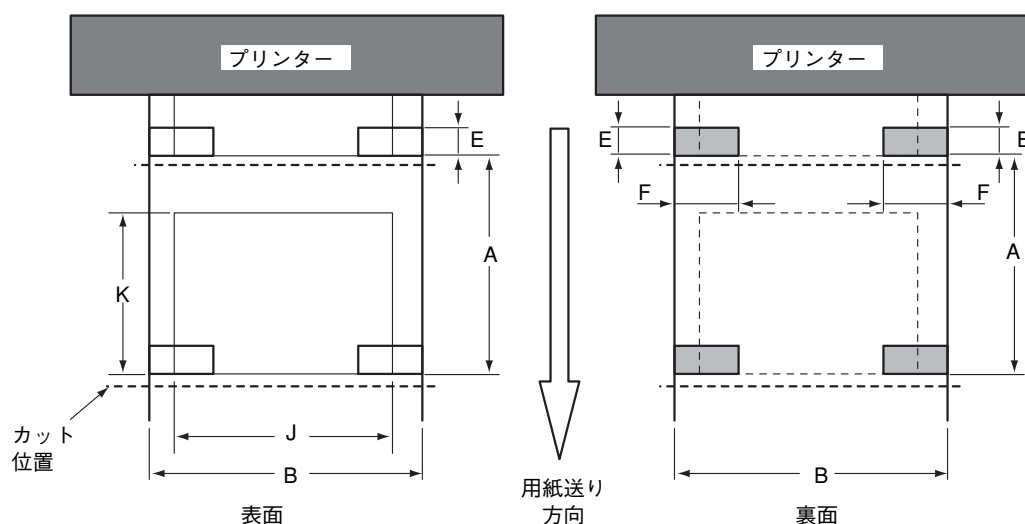
* 1 横方向は用紙の中央を基準とします。

* 2 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。

* 3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 4 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

カット印刷（フルカット） タグ紙（MultiCoder 500L3T/500L3TX/500L6T）

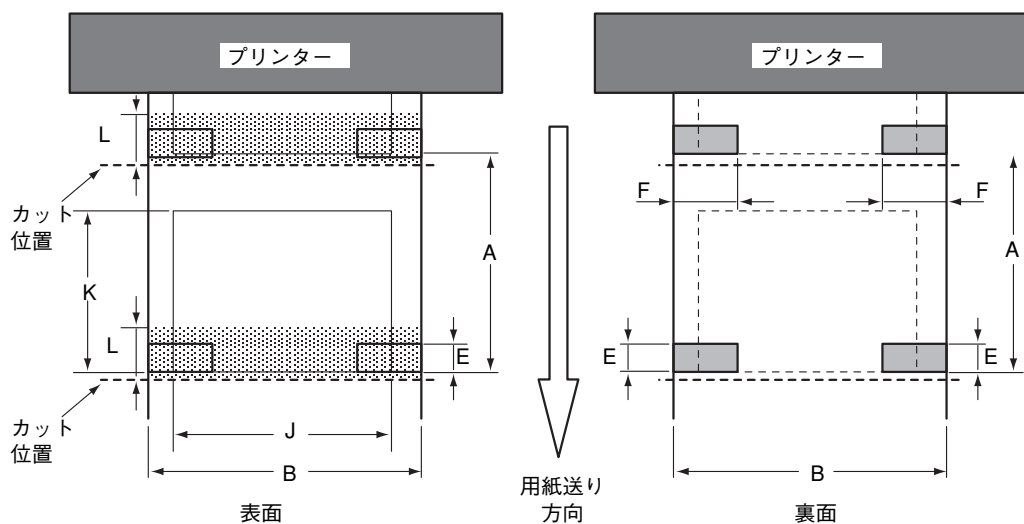


符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	23～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	20～454mm
—	用紙厚さ	80 ^{*1} ～200μm
—	最大ロール径	φ110mm
—	ラベル巻	外巻き（内巻き） ^{*2}
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径φ40±0.3mm

* 1 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。用紙厚の薄い用紙でカットする場合は、「パーシャルカット」を推奨します。

* 2 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

カット印刷（パースシャルカット）タグ紙（MultiCoder 500L3T/500L6T）



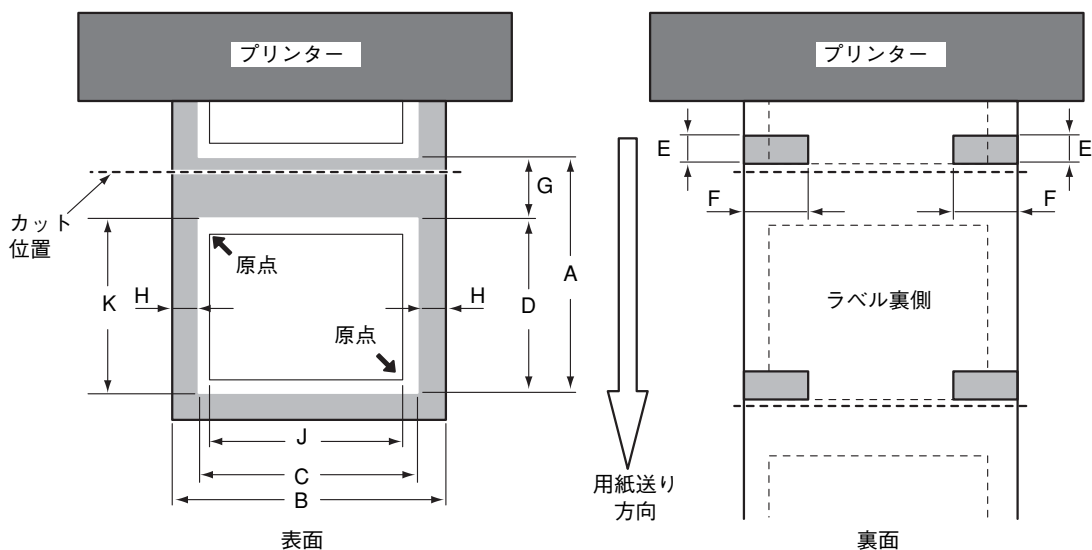
符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	41～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長* ¹	38～454mm
L	印刷不可長さ	18mm
—	用紙厚さ	80* ² ～200 μm
—	最大ロール径	φ110mm
—	ラベル巻	外巻き（内巻き）* ³
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径φ40±0.3mm

* 1 パーシャルカット時は用紙のバックフィードができません。
カット位置から 18mm（符号L）は印刷できない範囲となります。

* 2 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 3 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

ハクリ印刷ラベル紙 (MultiCoder 500L3T/ 500L6T)



符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	23~457mm
B*1	ラベル台紙幅	28~118mm
C*1	ラベル上紙幅	25~115mm
D	ラベル長	20~454mm
E	黒マーク長	3~10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
G	ギャップ長	3~10mm
H	ラベル端ギャップ	1.5mm*2
J*1	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	20~454mm
—	用紙厚さ	80*3 ~200 μm
—	最大ロール径	φ110mm
—	ラベル巻	外巻き (内巻き)*4
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径φ40±0.3mm

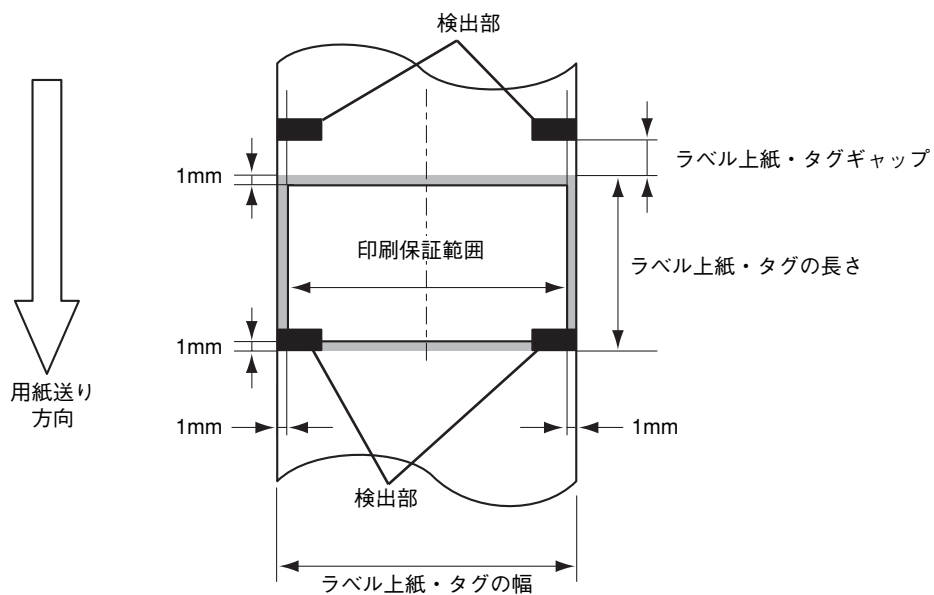
* 1 横方向は用紙の中央を基準とします。

* 2 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。

* 3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

* 4 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

タグ・ラベルの有効印刷部

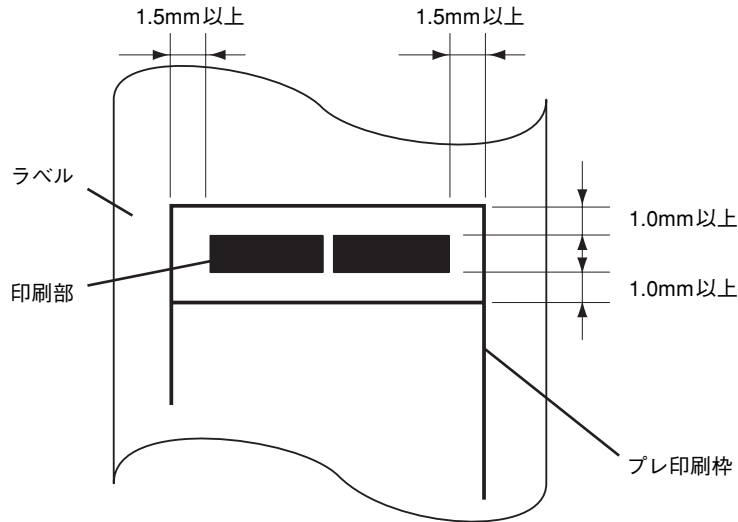


上図において、網かけ部（）での印刷品質は保証できません。
この部分に印刷をすると、リボンじわが起これり印刷保証領域での印刷品質も損なわれるおそれがあります。

プレ印刷用紙に関する注意

プレ印刷用紙とは、書式があらかじめ印刷されている用紙のことです。

- プレ印刷に使用するインクには炭酸カルシウムやカオリンなどの硬度の高い原料が含まれていないインクを使用してください。ヘッド寿命を縮めるおそれがあります。
- プレ印刷は印刷位置のばらつきを考慮して印刷を行う部分より1.5mm以上離れた部分に行ってください。
- なおラベル紙のラベル長が3mm未満の場合やタグ紙の有効印刷長が5mm未満の場合は印刷できない場合があります。



- プレ印刷の種類によってはラベル位置が正しく補正されず、紙送りが正しく行われないことがあります。このような場合は1章の「11 センサーしきい値を調整する」(47ページ)を参照してしきい値の設定を行ってください。
- プレ印刷の内容は、しきい値が設定できるようにラベルのギャップ（透過センサーの場合）または黒マーク（反射センサーの場合）がはっきりと認識できるように薄い色にすることをお勧めします。
- プレ印刷を行ってインクが塗布されたエリアではプリンターによる印刷が正しく行われず、印刷品質が損なわれることがあります。

印刷濃度推奨設定

印刷濃度はプリンタードライバーで設定することができます（詳細はオンラインマニュアルを参照してください）。また、プリンター本体の基本設定をリモートパネルまたは操作部のボリュームによって変更することができます。「印刷濃度調整」については5章の「ボリューム」（143ページ）を参照してください。

印刷が薄い場合は、印刷濃度のトーンを上げるか、または印刷速度を遅くしてご使用ください。

ここでは印刷方式と印刷する際に使用する用紙類やリボンの組み合わせから適正となるプリンターの設定値を参考に記載します。

<感熱印刷>

MultiCoder 500L3Dタイプ／500L3Tタイプ

用紙	推奨設定値
一般感熱紙（タグ）	0
一般感熱紙（ラベル）	4
耐保存感熱紙	4
合成紙	4

MultiCoder 500L6Tタイプ

用紙	推奨設定値
一般感熱紙（タグ）	-9
一般感熱紙（ラベル）	-3
耐保存感熱紙	-3
合成紙	-3

<熱転写印刷>

MultiCoder 500L3Tタイプ

用紙類 リボン	コート紙	タグ紙	合成紙	白 PET	銀 PET	リストバンド
ワックスリボン	0	2	—	—	—	—
ワックスレジンリボン	3	5	-1	0	0	—
レジンリボン	—	—	6	5	5	—
リストバンドリボン	—	—	—	—	—	7

MultiCoder 500L6Tタイプ

用紙類 リボン	コート紙	タグ紙	合成紙	白 PET	銀 PET
ワックスリボン	-5	0	—	—	—
ワックスレジンリボン	5	9	-2	-2	1
レジンリボン	—	—	9	8	8

- 上記推奨設定は目安であり、用紙の表面加工やご使用条件により一致しない場合があります。十分な試し印刷をして、その印刷結果により印刷濃度の微調整を行ってください。
- 印刷結果がかすれる場合には印刷濃度を+方向に、つぶれる場合には-方向に微調整を行ってください。
- 印刷速度などの設定値や、印刷パターンの変更により印刷結果が変わることがありますので、そのような場合には再度印刷濃度の微調整を行ってください。

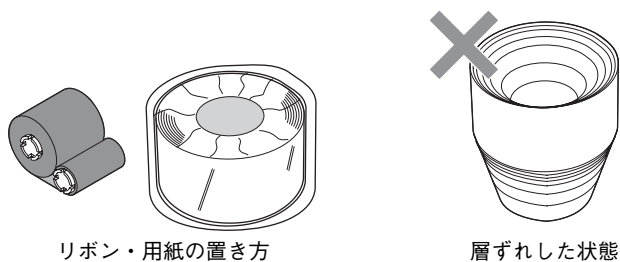


チェック

- 印刷濃度の工場出荷設定は「0」になっています。印刷確認の際は上記推奨値への変更をお試しください（工場出荷設定のままでは、印刷品位を満足しない可能性があります）。
プリンターに添付の用紙およびリボン（MultiCoder 500L3Tタイプ、MultiCoder 500L6Tタイプ）は次のとおりです。
 - － MultiCoder 500L3Dタイプ
用紙：一般感熱紙
 - － MultiCoder 500L3Tタイプ、MultiCoder 500L6Tタイプ
用紙：タグ紙
リボン：ワックスリボン
- リボンから用紙に転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあるため、ご注意ください。

用紙・リボンの保管上の注意

- 印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください（用紙の規格については「使用できる用紙」（90ページ）または「用紙規格と印刷範囲」（90ページ）で説明しています）。規格に合った用紙を使うことは印刷品質を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。
- 用紙を持つときは層ずれを起こさないよう注意してください。
- 残った用紙は包装袋に包み、直射日光を避けて保管してください。用紙が変形しないように平らな場所に置いてください。
- 使用したリボンをプリンターから取り外して保管する場合は袋や箱に入れ固定し、巻きが乱れないようにしてください。
- 用紙やリボンは高温、多湿を嫌います。涼しい場所に保管してください。また直射日光が当たるような場所は避けて保管してください。
- 用紙やリボンにほこりや紙粉が付着しないように気を付けてください。
- 用紙やリボンは下図の向きにして置いてください。正しい向きにして置いていないと、巻きが乱れて用紙やリボンがずれる場合があります。



- 用紙やリボンには使用期限が設定されたものがあります。使用期限内に使い終わるようにお願いいたします。

印刷の指示

コンピューターで作成したデータを本プリンターに対して印刷する方法について説明します。印刷はコンピューターのアプリケーションから行います。印刷の詳しい手順についてはお使いのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

各モードの詳細な設定は4章またはソフトウェアCD-ROMに収められているオンラインマニュアルを参照してください。

印刷の種類と方法

本プリンターは次の印刷方法をサポートしています。

- **連続印刷（自動カット送り対応）**

印刷データを連続して用紙に印刷します。

印刷終了後、印刷された用紙を手動で切り離せる位置まで排出します（DIP SW8により機能の有効／無効を切り替えることができます）。

- **カット印刷（フルカット）**

印刷された用紙を1枚ごとに切り離す方法です。

この機能を使うためにはカッターモジュールが装着されている必要があります。対応モデルについてはvページを参照してください。また、カッターモジュールはオプションとしても用意しています。

- **カット印刷（パースシャルカット）**

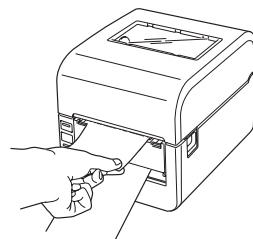
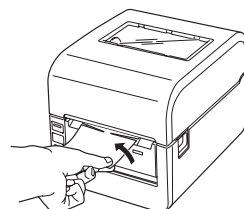
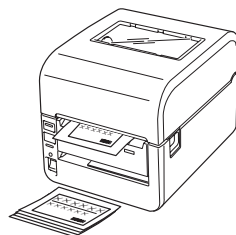
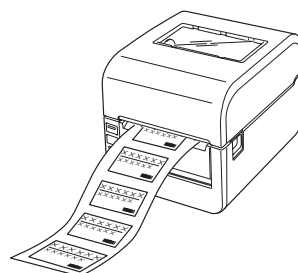
紙の中央を切らない方法です。

この機能を使うためにはカッターモジュールが装着されている必要があります。対応モデルについてはvページを参照してください。また、カッターモジュールはオプションとしても用意しています。

PR-T500L-11／PR-T500L6-11（カッターモジュール）は、パースシャルカットはできません。

- **ハクリ印刷**

印刷された用紙を台紙から剥離します。この機能を使うためにはハクリモジュールが装着されている必要があります。対応モデルについてはvページを参照してください。また、ハクリモジュールはオプションとしても用意しています。



連続印刷をする

連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。

ここでは例として、感熱方式で用紙裏側に黒マークが印刷されているタグ紙を連続印刷する方法について説明します。カッターモジュールおよびハクリモジュールを装着している場合に連続印刷したい場合もこの設定になります。

ハクリモジュール装着時は用紙のセット方法がハクリ印刷のときと異なります。6章の「用紙のセット」(174ページ)を参照してください。

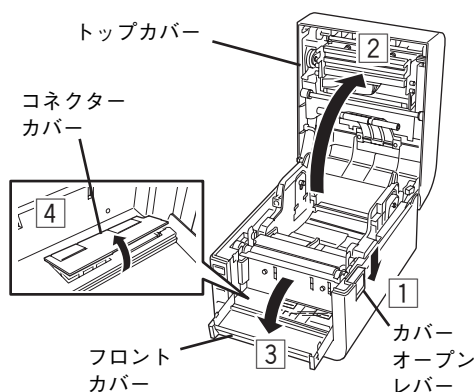
また、リストバンドは連続印刷のみで行えます。

✓チェック

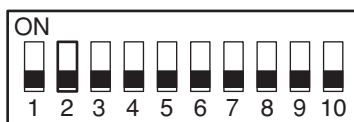
プリンターを動作させる際は1章の「8 用紙をセットする」(35ページ)を参照して必ず用紙をセットしてください。

プリンタードライバーの設定を使用する場合

- 1 電源をOFFにします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



- 3 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW2をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。

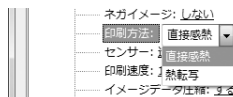


- 4 コネクターカバーを取り付けます。
- 5 プリンターの電源スイッチをONにします。
- 6 用紙をセットします。

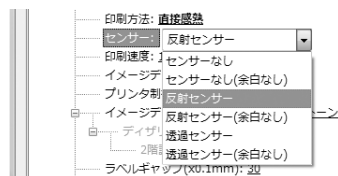
- 7 フロントカバーを閉じます。
- 8 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- 9 プリンタードライバーの「用紙サイズ」を使用する用紙サイズにします。



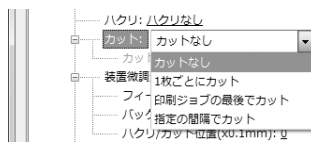
- 10 プリンタードライバーの「印刷方式」を「直接感熱」にします。



- ⑪** プリンタードライバーの [センサー] を [反射センサー] にします。



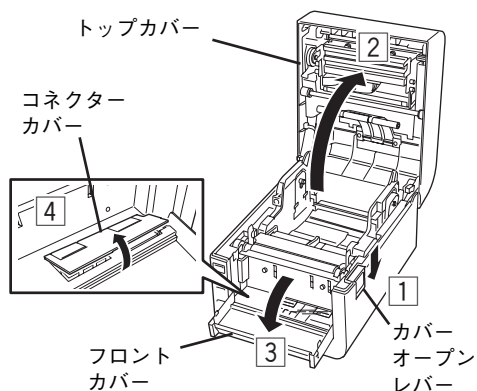
- 12 〈カッターモジュール装着時のみ〉
プリンタードライバーで「カット」を「カットなし」に設定します。



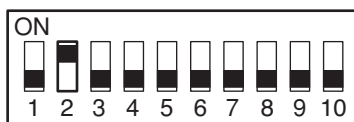
- ⑬ コンピューターから印刷を行います。

プリンタードライバーの設定を使用しない場合

- 1 電源をOFFにします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



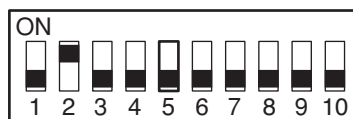
- ③ DIP SW2をONにしてプリンタードライバの設定を無効にします。



- ④ DIP SW3と4をOFFにして連続印刷モードにします。

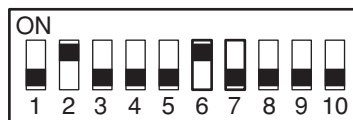


- ⑤ DIP SW5をOFFにして感熱方式にします。



MultiCoder 500L3Dタイプ (感熱タイプ) は ON/OFFの機能を見捨てて感熱方式で動作します。

- ⑥ DIP SW6をON、SW7をOFFにして反射センサーにします。

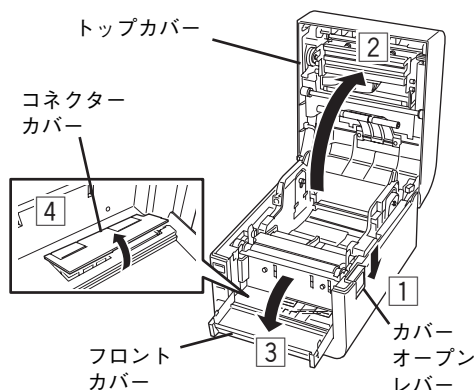


- ⑦ コネクターカバーを取り付けます。
- ⑧ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑨ 用紙をセットします。
- ⑩ フロントカバーを閉じます。
- ⑪ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- ⑫ コンピューターから印刷を行います。

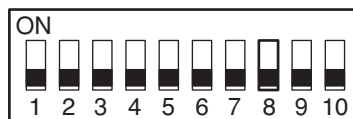
自動カット位置送り機能の使用方法

印刷終了後に自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。連続印刷のときのみはこの機能を使うと用紙をプリンターの外で切ることができます。ただし、用紙長が27mm未満の場合は使用できません。

- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



- ③ 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW8をOFFにして自動カット位置送り機能の設定を有効にします。

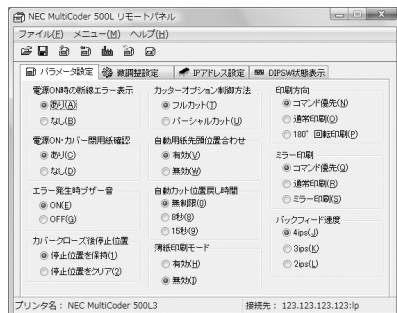


- ④ コネクターカバーを取り付けます。
- ⑤ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑥ 用紙をセットします。
- ⑦ フロントカバーを閉じます。
- ⑧ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- ⑨ コンピューターから印刷を行います。

■□ カット位置から印刷開始位置へ戻る時間の設定方法 □■

- ① リモートパネルで自動カット位置戻し時間を選びます。

工場設定値は「無制限」となっているため、余裕を持って用紙の切り取りができます。



- ② コンピューターから印刷を行います。

しばらくすると、用紙がフロントパネルまで送られます。ここで用紙を切り取ります。

- ③ 設定時間が経過すると、用紙が印刷開始位置まで戻ります。

設定時間が経過する前に次の印刷データを受信すると、用紙が印刷開始位置まで戻ってから印刷を行います。

カット印刷をする

カット印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。
詳細は6章の「カッターモジュール」(158ページ)を参照してください。

—  チェック —
リストバンドはカット印刷をすることはできません。

ハクリ印刷をする

ハクリ印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。
詳細は6章の「ハクリモジュール」(170ページ)を参照してください。

—  チェック —
リストバンドはハクリ印刷をすることはできません。

印刷速度の設定

本プリンターでは印刷速度を切り替えて使用することができます。機能の切り替えはプリンタードライバーのプロパティの「詳細オプション」ダイアログボックスで行います。

MultiCoder 500L3D／500L3Tタイプ

- [50.8mm/秒 (2インチ/秒)]
- [101.6mm/秒 (4インチ/秒)]
- [152.4mm/秒 (6インチ/秒)]

MultiCoder 500L6Tタイプ

- [50.8mm/秒 (2インチ/秒)]
- [76.2mm/秒 (3インチ/秒)]
- [101.6mm/秒 (4インチ/秒)]



印刷速度を速くすれば、印刷作業もはかどり業務時間を短縮させることができますが、使用する用紙や印刷データの内容によっては印刷位置のずれやかすれなど印刷品質に問題が起きることがあります。
万一、印刷品質に問題がある場合は、もう1段階印刷速度を遅くするか、または印刷濃度のトーンを上げて印刷を試みてください。

4章

リストバンドの印刷方法

この章ではリストバンドの印刷方法を説明します。

リストバンドは病院などで患者さんの腕に着けるなどさまざまな用途で使うことができます。詳細はMultiCoderのホームページ（<http://www.nec.co.jp/products/label>）を参照するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

リストバンドに印刷できるモデルとリストバンドの種類

リストバンドに印刷できるモデルは次のとおりです。

モデル名	型番
MultiCoder 500L3T	PR-T500L3T
MultiCoder 500L3TL	PR-T500L3TL
MultiCoder 500L3TW	PR-T500L3TW

その他のモデルについては、お買い求めの販売店にご相談ください。

リストバンドの種類は次のとおりです。

セット*1	内 容	品 名	型 番	リストバンド仕様（1本）	説 明
Bセット	リストバンド・ リボン（2本）*2	リストバンド・ リボンセットB	PR-T500- SAAA001	(印刷部幅×印刷部長さ) 26*3×70mm	リボンと印刷部が太いバ ンドのセットです。 リストバンドを留める ホック（白）も同梱して います。
	リストバンド Bタイプ（10ロール （500本））			(バンド部幅×全体の長さ) 13×288mm	
Nセット	リストバンド・ リボン（2本）*2	リストバンド・ リボンセットN	PR-T500- SAAA002	(印刷部幅×印刷部長さ) 13*3×70mm	リボンと印刷部が細いバ ンドのセットです。 リストバンドを留める ホック（白）も同梱して います。
	リストバンド Nタイプ（10ロール （500本））			(バンド部幅×全体の長さ) 13×288mm	

*1 1セットでの販売の他、リストバンドBタイプ/Nタイプ、リボン、ホックをそれぞれ個別で販売しています。詳しくは、MultiCoder のホームページ（<http://www.nec.co.jp/products/label>）を参照するか、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

*2 リボン1本に対してリストバンドは5ロールが使用目安です。

*3 印刷部の幅です。印刷内容を保証する幅ではありません。

リストバンドの印刷方法

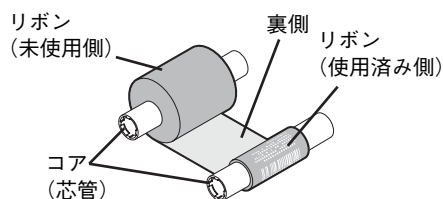
リストバンドへの印刷方法について説明します。

⚠ 注意

- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。
- トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの間に指を挟まないように注意してください。
- インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。

🔑 重要

- リストバンドをカッターモジュールでカットすることはできません。カッターモデルやオプションのカッターモジュールでカットしないでください。リストバンドがカッター部でつまったり、カッターモジュールを破損させたりするおそれがあります。
- リストバンドセット用のリボンのみ使用することができます。それ以外のリボンを使用した場合は印刷品質の保証はできません。
- 本プリンターはNEC指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、リボンはNEC指定品を使用することを推奨します。
- リボンには裏と表（インク面）があります（右図を参照）。注意して取り付けてください。逆に取り付けて印刷すると、印刷できないばかりか、サーマルヘッドの交換（有償）が必要になります。
- 途中まで使用したリボンの未使用側／使用済み側の見分け方は、右図を参照してください。新しいリボンの場合は、径の太い方が未使用側です。
- 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。
- リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。お客様の判断において廃棄してください。リボンに残る印刷内容について、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

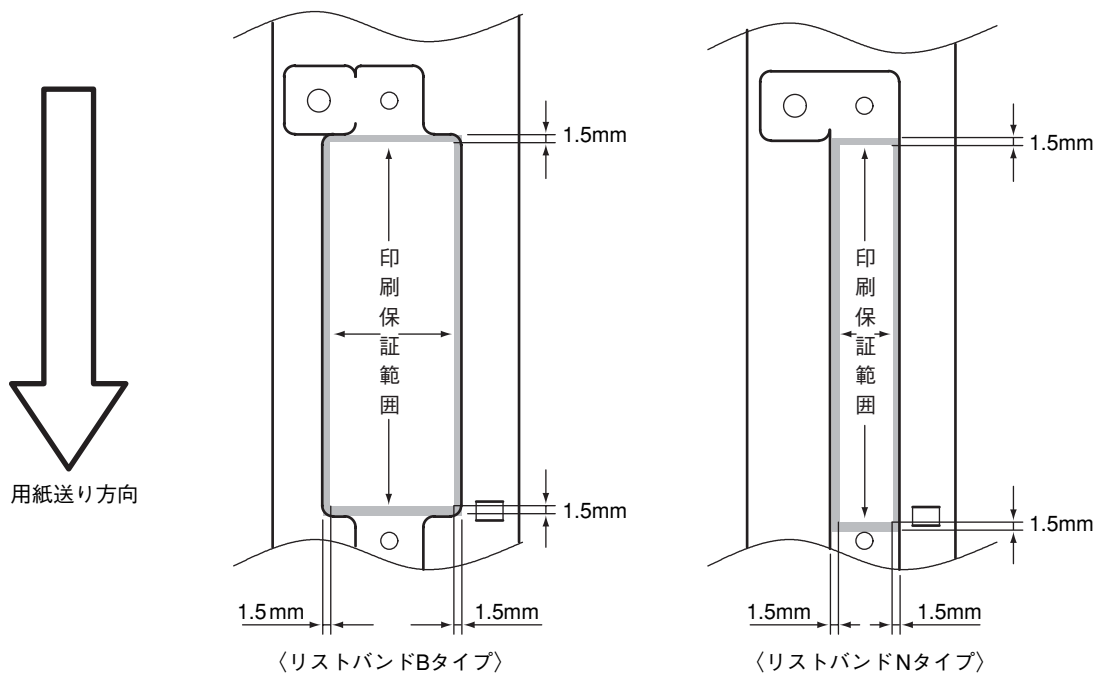


✓ チェック

- NEC指定以外のリボンを取り付けて印刷した場合、その結果に対しては責任を負いかねます。
- リボンからリストバンドに転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあります。特にプリンタードライバーの「ネガイメージ」を選択して印刷する際はご注意ください。
- ご使用になるリストバンドの厚さに合わせてセンサーの感度調整を行ってください。「センサーしきい値を調整する」（131ページ）を参照して補正設定を行ってください。

リストバンドの有効印刷部

下図において網かけ部（■）での印刷品質は保証できません。この部分に印刷すると、印刷保証範囲の領域での印刷品質も損なわれるおそれがあります。



ユーザー定義用紙サイズの登録

ユーザー定義の用紙サイズで印刷するには、本プリンターのプリンタードライバーがインストールされている必要があります。

リストバンドの用紙サイズは、Windowsには登録されていないため、「ユーザー定義用紙サイズ」として事前に登録します。

ここではWindows Vista 日本語版の環境でユーザー定義用紙サイズを登録する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で登録できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

① [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開きます。

Windows Vistaの場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド]、[プリンタ] の順にクリックすると開きます。

Windows XP ProfessionalまたはWindows Server 2003の場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [プリンタとFAX] をクリックすると開きます。

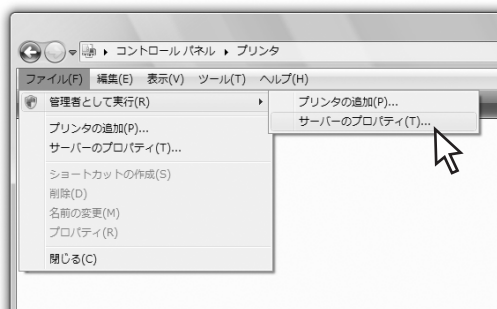
Windows XP Home Editionの場合、[プリンタとFAX] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックすると開きます。

Windows 2000の場合、[プリンタ] フォルダーは、[スタート] から [設定] - [プリンタ] をクリックすると開きます。

② [サーバーのプロパティ] 画面を表示させます。

Windows Vistaの場合は [ファイル] メニューから [管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] の順にクリックします。

Windows XP、Windows 2000、またはWindows Server 2003の場合は [ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] をクリックすると開きます。



重要

- Windows Vistaの利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどWindows Vistaのシステムの変更に關わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [サーバーのプロパティ] を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、用紙サイズの定義（追加・削除・変更）は変更できません。

③ [用紙] シートで [新しい用紙を作成する] をチェックします。

④ [用紙名] に用紙の名前を設定します。

ここでは、例として「リストバンドNタイプ」という名前で設定します。

チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

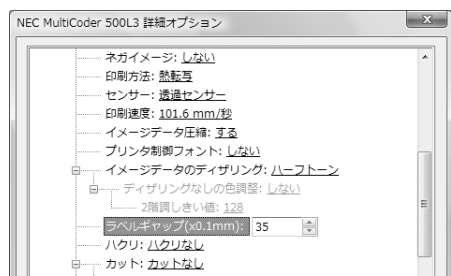
- 5 [単位] を指定して [用紙サイズ] と [余白] を設定します。



下図と合わせて以下の表の説明を参考に設定してください。

項目	説明
幅 (A)	ラベルの台紙を含む大きさ
高さ (B)	ラベルの台紙を含まない大きさ
左右の余白 (CとD)	台紙とラベルの間
上下の余白	“0” としてください。
ラベルギャップ (下図E)	プリンタードライバーの [詳細オプション] ダイアログボックスの「ラベルギャップ」で設定してください (詳細はオンラインマニュアル参照)。

リストバンドBタイプ／Nタイプに印刷する場合は、ラベルギャップは [35] (3.5mm) に設定します。



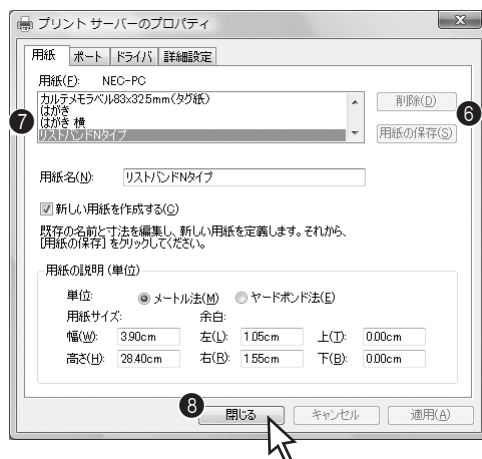
- 6 [用紙の保存] をクリックします。

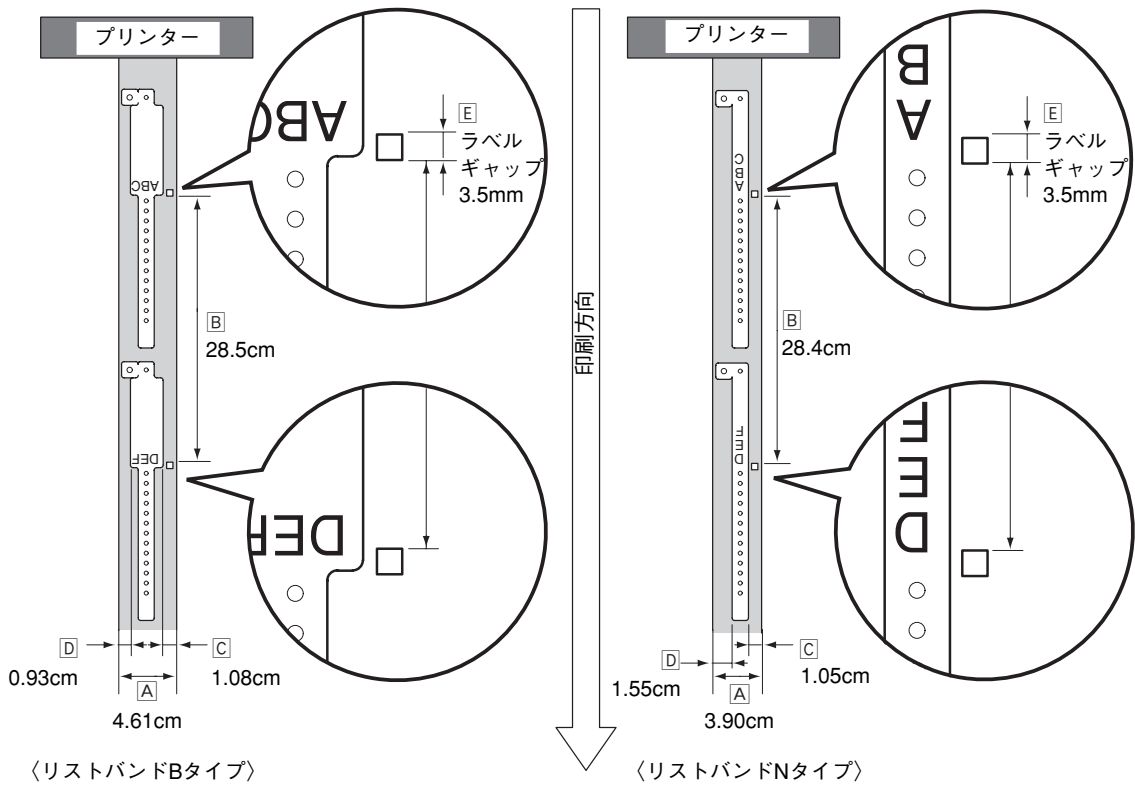
✓ チェック

すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。

- 7 [用紙] 一覧に新しい用紙が表示されたことを確認します。

- 8 [閉じる] をクリックします。

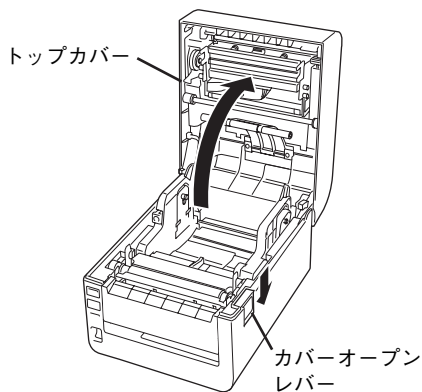




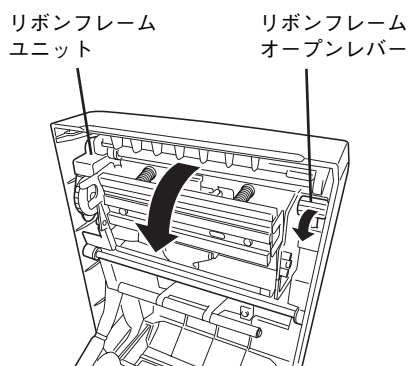
本プリンターがサポート（2011年7月現在）しているリストバンドでの設定例です。サポートしているその他のリストバンドについても上図を参考に登録してください。

リボンを取り付ける

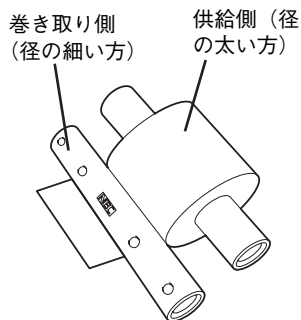
- ① カバーオープンレバーを押して、トップカバーを開きます。



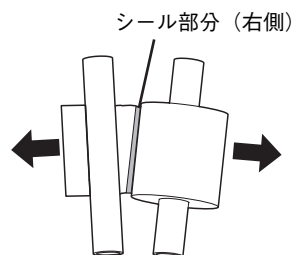
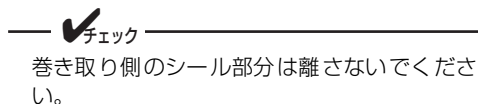
- ② リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



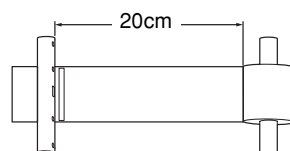
- ③ リボンを袋から取り出します。



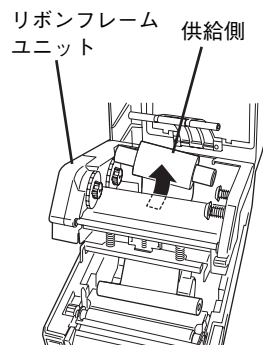
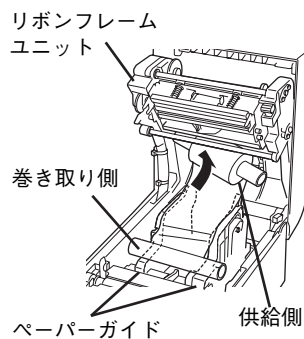
- ④ 両手で供給側のシール部分（右側）を離します。



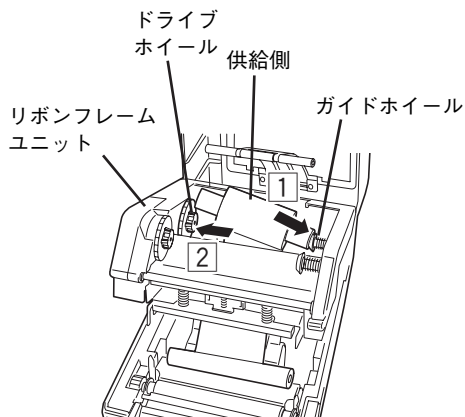
- ⑤ 透明な部分を20cm位広げます。



- ⑥ 巻き取り側をペーパーガイド手前の上に仮置きして、供給側をリボンフレームユニットの下にくぐらせます。

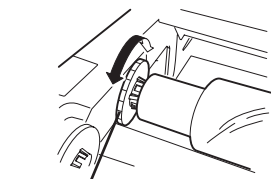


- ⑦ 右側のガイドホイールにリボンを取り付けます。
- ⑧ 左側のドライブホイールにリボンを取り付けます。



チェック

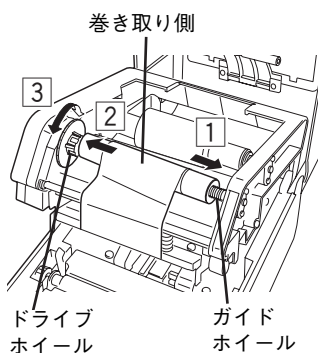
ドライブホイールに入らないときは前後に回しながら入れます。



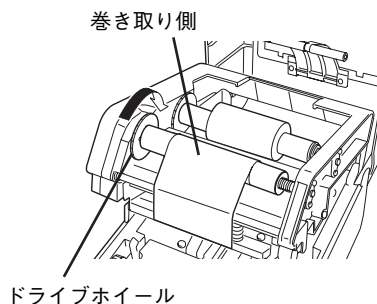
ドライブホイール

- ⑨ リボンの巻き取り側をガイドホイールに取り付けた後、ドライブホイールに取り付けます。

前述の「チェック」と同じようにドライブホイールに入れづらいときは前後に回しながら入れてください。



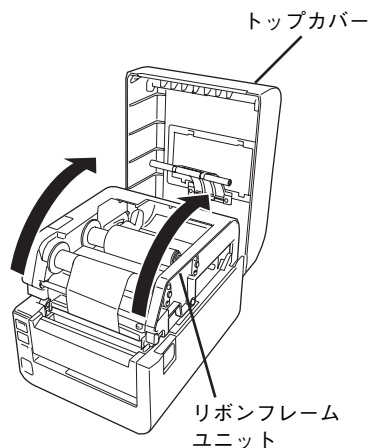
- ⑩ ドライブホイールをプリンター奥側へ回して印刷できる部分（黒い部分）までリボンを巻き取ります。



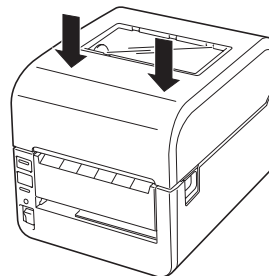
チェック

途中まで使用していたリボンを取り付ける場合は、たるみがなくなるまで巻き取ってから使用してください。

- ⑪ リボンフレームユニットをトップカバーにロックします。



- ⑫ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

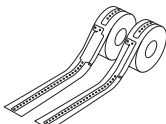
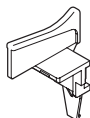


以上で完了です。

リストバンド（用紙）をセットする

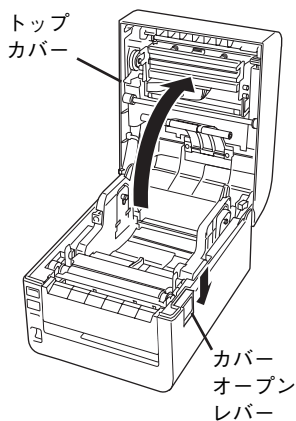
センターリブの確認

リストバンドは外巻き用のセンターリブを使用します。下表を参照してプリンターに取り付けているセンターリブを確認してください。

用 紙	センターリブ	色	説 明
外巻き 		ブラック	装置にはじめから装着されています。

リストバンドのセット

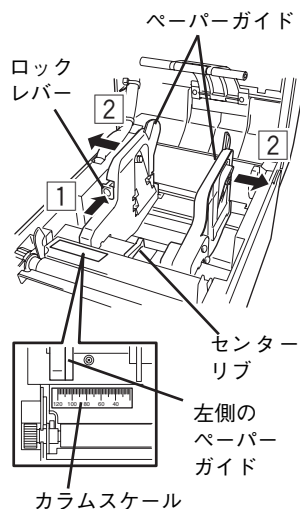
- 1 プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



- 3 ロックレバーを押しながらペーパーガイドを広げます。

コラムスケールを参照して、左側のペーパーガイドの内側をセットするリストバンドの幅と同じ値のメモリに合わせます。

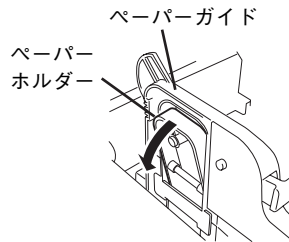
左右のガイドは中央にあるセンターリブを基準に両側に伸縮します。





チェック

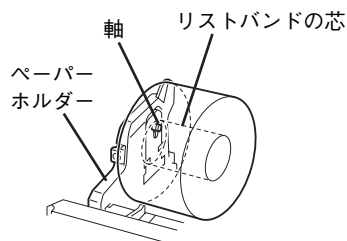
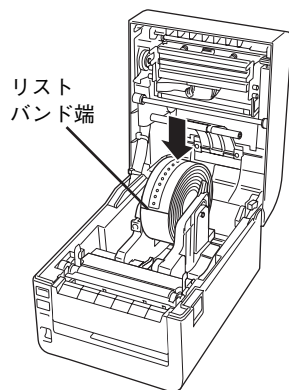
左右のペーパーガイドにあるペーパーホルダーを手で外側に倒します。



- ④ リストバンド端が手前側にくるようにしてリストバンドを持ちます。

- ⑤ リストバンドをそのまま垂直に下ろしてペーパーホルダーの軸がリストバンドの芯に入るようにセットします。

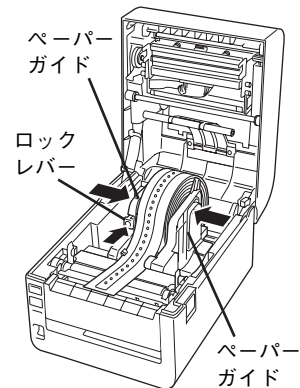
ペーパーホルダーが内側に格納されます。格納されなかったり、軸から外れたりした場合はもう一度やり直してください。



チェック

〈リストバンドのロール外径が小さい場合〉
ロールの芯にペーパーホルダーの軸が入らない場合はペーパーホルダーを外側から押してセットしてください。

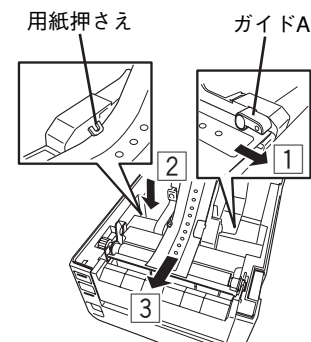
- ⑥ ロックレバーを押しながらペーパーガイド内側とリストバンドがぴったりと付くように幅を合わせます。



チェック

リストバンドが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

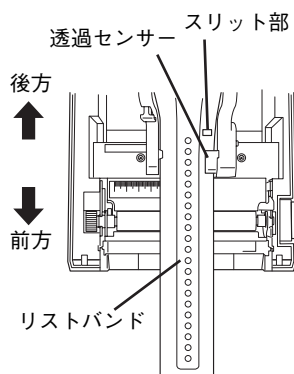
- ⑦ リストバンドをガイドAの下にくぐらせた後(①)、用紙押さえの上からリストバンドを押して(②)、用紙押さえの下にリストバンドが通るようにセットします(③)。



4

リストバンドの印刷方法

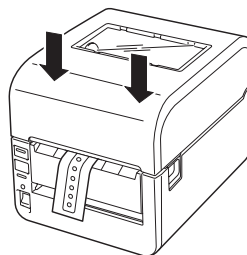
- ⑧ リストバンドのスリット部が透過センサーの位置より後方になるように位置を調整します。



✓ チェック

- スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1枚損失します。
- リストバンドが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑨ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



以上でリストバンドのセットは完了です。

センサーしきい値を調整する

リストバンドを印刷する際、印刷位置を一定に保つために透過センサーを使用します。透過センサーによりリストバンドのスリット部でリストバンドの頭出し位置を検出します。

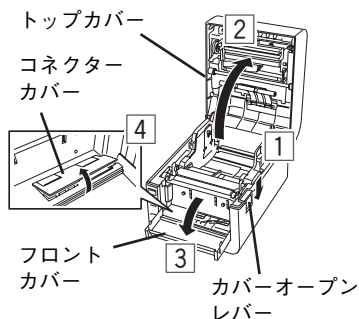
✓チェック

- NEC推奨のリストバンドBタイプまたはNタイプを交換した場合は、初めに使用するタイプを1回センサーしきい値調整するだけでリストバンドを交互に使用することができます。
- リストバンドの種類によってスリット部の位置や厚さが異なる場合があります。使用するリストバンドを変更した場合は、センサーしきい値の調整をしてください。

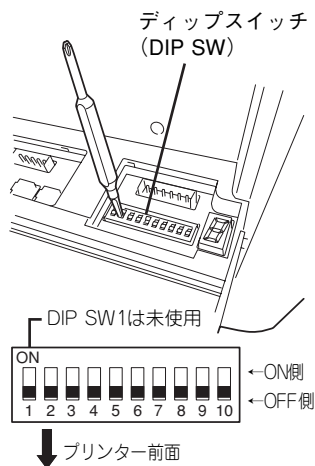
ここでは、使用するリストバンドに合わせたセンサーのしきい値調整をする手順を説明します。

① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



本体内部には、プリンターの設定を変更するディップスイッチ（DIP SW）があります。装置に添付の調整ドライバーを使ってスイッチを変更してください。



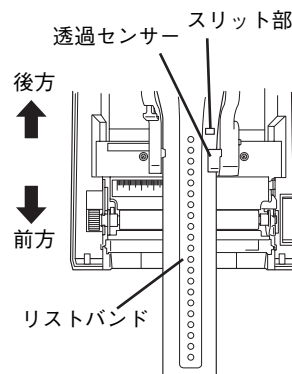
③ 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SWの設定を変更します。

DIP SW2をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。
DIP SW3と4をOFFにして連続印刷に設定します。
DIP SW5をONにして熱転写方式にします。
DIP SW6をOFF、DIP SW7をONにして透過センサーにします。



④ リストバンドをセットします。

リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください。



⑤ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

⑥ プリンターの電源スイッチをONにします。

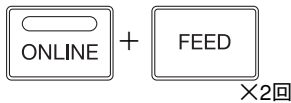
- ⑦ ONLINEスイッチを押してプリンターをオフライン状態にします。

ONLINEランプが消灯した状態です。



- ⑧ ONLINEスイッチを押しながらFEEDスイッチを2回押して調整します。

リストバンドがフィードされます。フィード中にしきい値が調整されます。



- ⑨ フィードが止まったら、ONLINEスイッチを押してONLINE状態にします。

ONLINEランプが点灯した状態です。



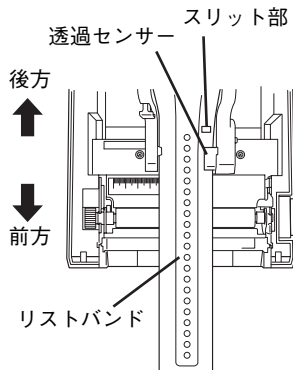
- ⑩ フィードしたリストバンドを巻き取ります。

手で巻き取る場合は、電源をONにしたままトップカバーを開きます（ブザーが鳴ります）。その後、リストバンドを巻き取ります。

リストバンドを巻き取る際、リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください。



スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1枚損失します。



- ⑪ プリンターの電源をOFFにします。

- ⑫ DIP SWの設定を使用する前の設定に戻します。

センサーしきい値を調整する前の状態に戻す場合は、133ページを参照してください。

- ⑬ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

以上で設定は完了です。

コンピューターから印刷を実行すると、自動用紙先頭位置合わせ機能により、リストバンドの先頭から印刷を行うことができます。



しきい値が設定できなかった場合は、7セグLEDに“E”を表示し、エラーランプが点滅します（ブザーを鳴らす設定をしている場合はブザーも鳴ります）。

連続印刷でリストバンドに印刷する

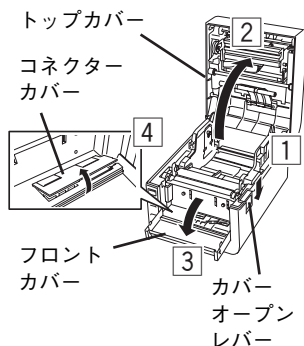
リストバンドはカッターモジュールでカットできません。カッターモデルやオプションのカッターモジュールでカットしないでください。リストバンドがカッター部に入り込んだり、カッターモジュールを破損したりするおそれがあります。連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。



プリンターを動作させる際は必ずリストバンドをセットしてください。

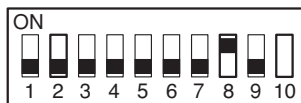
プリンタードライバーの設定を使用する場合

- 1 電源をOFFにします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



- 3 DIP SWの設定を変更します。

DIP SW2をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。
DIP SW8をONにして自動カット位置送り機能を無効にします。
DIP SW10はお使いの環境に合わせて設定してください。



DIP SW10

OFF：プリントサーバー

ON：USBインターフェース

- 4 コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。
- 5 プリンターの電源スイッチをONにします。

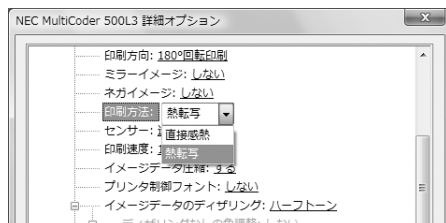
- 6 リストバンドをセットします。

リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください（130ページの手順⑧参照）。

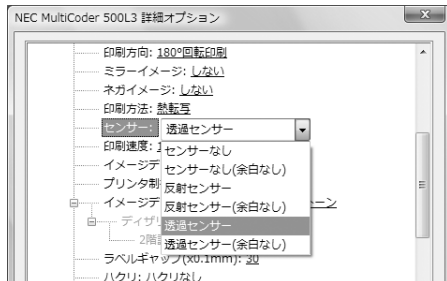
- 7 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- 8 プリンタードライバーの「用紙サイズ」から使用するリストバンドに合ったユーザー定義用紙サイズを選択します。



- 9 プリンタードライバーの「印刷方式」を「熱転写」にします。



- ⑩ プリンタードライバーの「センサー」を「透過センサー」にします。



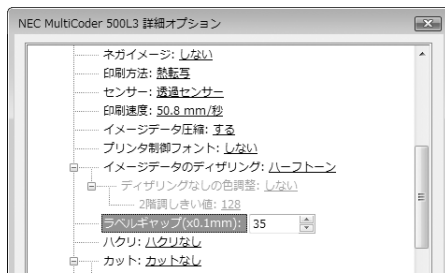
- ⑪ プリンタードライバーの「印刷速度」を「50.8mm/秒」にします。



- ⑫ ラベルギャップの値を指定します。

ラベルギャップの説明は、124ページの表の説明と図を参照してください。

なお、124ページのリストバンドへ印刷する場合のラベルギャップは「35」(3.5mm)に設定します。

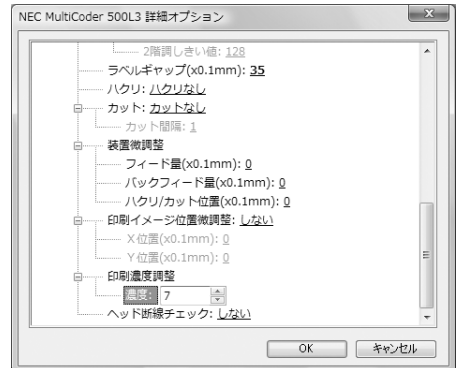


- ⑬ 必要に応じて印刷濃度を設定します。

推奨設定値は「7」です。

設定値はプリンタードライバーでの値と、リモートパネルまたは操作盤の調整ボリュームでの値の合計値です。

〈プリンタードライバーでの 設定画面〉

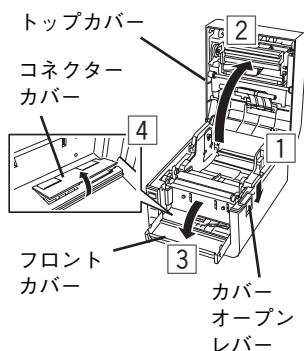


- ⑭ コンピューターから印刷を行います。

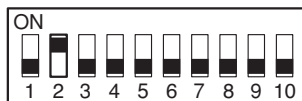
プリンタードライバーの設定を使用しない場合

DIP SWで設定できる項目は、「印刷モード」「印刷方式」「センサー種別」です。その他の設定はプリンタードライバーで行ってください。

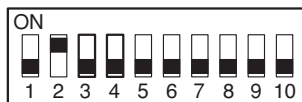
- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



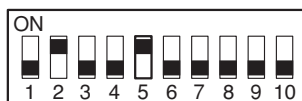
- ③ DIP SW2をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



- ④ DIP SW3と4をOFFにして連続印刷モードにします。



- ⑤ DIP SW5をONにして熱転写方式にします。



- ⑥ DIP SW6をOFF、SW7をONにして透過センサーにします。



- ⑦ DIP SW8をONにして自動カット位置送り機能を無効にします。

DIP SW10はお使いの環境に合わせて設定してください。



- ⑧ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。
- ⑨ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑩ リストバンドをセットします。

リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するよう調整してください（130ページの手順⑧参照）。

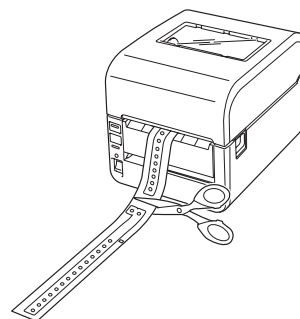
- ⑪ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

用紙サイズとラベルギャップはプリンタードライバーで設定します。

- ⑫ コンピューターから印刷を行います。

必要に応じて印刷濃度を設定してください。

- ⑬ 印刷した後は、はさみで切り取ってください。



リストバンドの印刷濃度推奨設定

「リストバンド」と「リストバンドリボン」の組み合わせでの推奨設定は「7」です。

印刷濃度はプリンタードライバーで設定することができます（詳細はオンラインマニュアルを参照してください）。また、プリンター本体の基本設定をリモートパネルまたは操作部のボリュームによって変更することができます。「印刷濃度調整」については5章の「操作部とプリンターの設定」（137ページ）を参照してください。

- 上記推奨設定は目安であり、リストバンドの表面加工やご使用条件により一致しない場合があります。十分な試し印刷をして、その印刷結果により印刷濃度の微調整を行ってください。
- 印刷結果がかすれる場合には印刷濃度を+方向に、つぶれる場合には-方向に微調整を行ってください。
- 印刷速度などの設定値や、印刷パターンの変更により印刷結果が変わることがありますので、そのような場合には再度印刷濃度の微調整を行ってください。

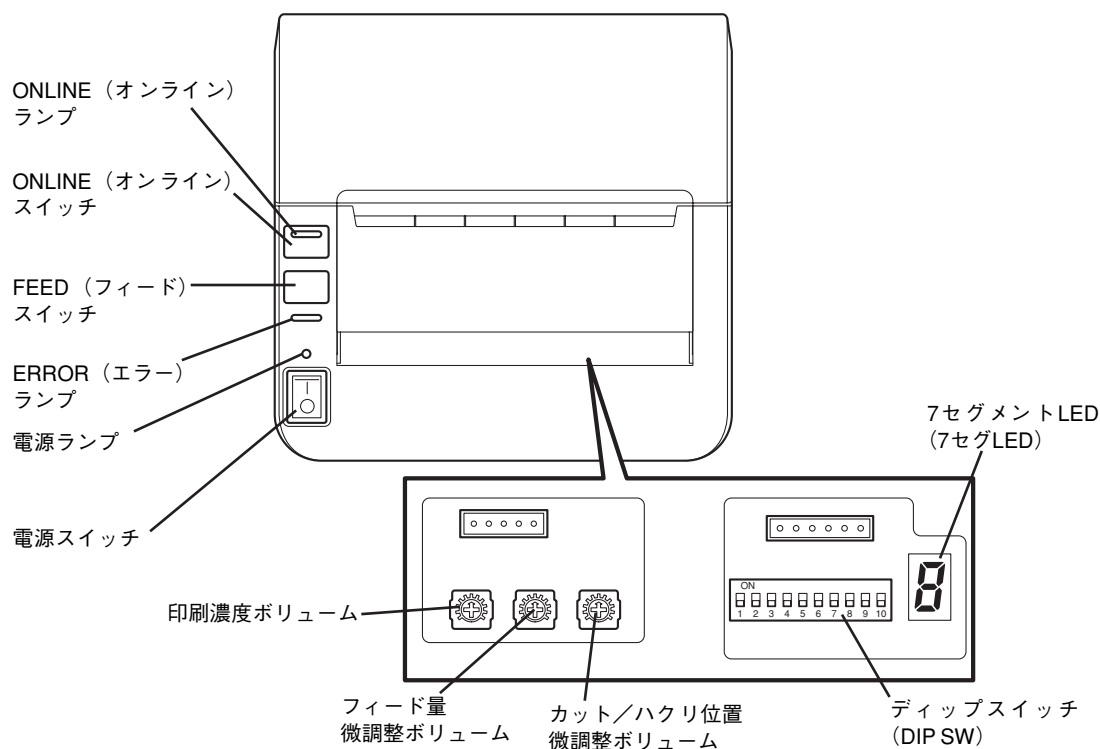
5章

操作部とプリンター の設定

この章では、操作部を使ってプリンターの操作と7セグメントLED、および操作部ボリュームの設定について説明しています。

操作部には、3つのスイッチ、3つのランプ、3つのボリューム、10個のディップスイッチ (DIP SW)、および1個の7セグメントLEDがあります。プリンターのさまざまな設定をしたり、変更したりします。7セグメントLEDとランプはプリンターの状態やエラーを知らせます。

操作部の外観と各部の名称は次のとおりです。



スイッチ

操作部には3個のスイッチがあります。各スイッチの機能は下表のとおりです。

名 称	機 能
電源スイッチ	本プリンターの電源をON/OFFします。 : ON ○ : OFF
ONLINEスイッチ	- スイッチは押してから放したときに有効になります。 - 押すごとにデータを受信できる状態（オンライン状態）とできない状態（オフライン状態）を交互に切り替えます。 - 印刷中に押すと、ページ間で一時停止を行います。再度押すと、印刷を再開します。 - テスト印刷の機能を持っています。 〈テスト印刷をするには〉 プリンターの電源がOFFの状態、ONLINEスイッチを押しながら、電源スイッチをONにします（1章の「10 テスト印刷をする」（45ページ）参照）。
FEEDスイッチ	- スイッチは押してから放したときに有効になります。 - オフライン状態時のみ有効です。 - 現在の用紙先頭位置から次の先頭位置まで用紙を送って停止します（用紙を1枚分紙送りする）。 用紙の先頭位置を検知するセンサーはDIP SW6とSW7による組み合わせで選択されます。DIP SW6とSW7がOFF（センサー無視）の設定の場合はプリンタードライバーの用紙サイズ設定値に従って用紙を送ります。 - センサーしきい値調整の機能を持っています。 〈センサーしきい値調整をするには〉 プリンターの電源がONおよびオフライン（オフラインランプ消灯）の状態、ONLINEスイッチを押しながら、FEEDスイッチを2回続けて押します（1章の「11 センサーしきい値を調整する」（47ページ）参照）。

ランプ

操作部には3個のランプがあります。これらのランプは点灯、点滅、または消灯することでプリンターの状態を知らせます。

ランプ	色	状態	表示の意味
オンラインランプ	緑	点灯	オンラインで印刷可能な状態です。
		点滅	印刷中の一時停止状態です。
		消灯	オフライン状態です。
エラーランプ	赤	点灯	復旧不可能なエラーが発生している状態です。
		点滅	復旧可能なエラーが発生している状態です。
		消灯	エラーが発生していない状態です。
電源ランプ	緑	点灯	電源がONの状態です。
		消灯	電源がOFFの状態です。

7セグメントLED

操作部にある7セグメントLEDは、1文字の英数字（コード）を表示します。プリンターが通常の状態（オンライン状態またはオフライン状態）の間はなにも表示せず、特殊な場合にコードを表示してその状態を知らせます。

コード	表示の意味
 (消灯)	- プリンターの電源がOFFの状態です。 - プリンターの電源がONで、オンライン状態、オフライン状態、または印刷を一時停止中の状態です。
	プリンターの初期化中です。
	センサーのしきい値調整が失敗しました。
  	点灯：テスト印刷中です。 点滅：テスト印刷の準備を完了しました（ONLINEスイッチを1回押すと開始します）。
その他	プリンターにエラーが発生しています。8章の「エラー表示が出ているときは」（194ページ）を参照して問題を解決してください。

ディップスイッチ (DIP SW)

「ディップスイッチ (DIP SW)」は10個の機械的なスイッチから構成されています。

スイッチには本プリンターの機能が割り当てられていて、1つのスイッチで切り替えをするものと複数のスイッチによるON/OFFの組み合わせで設定されるものがあります。

本プリンターのDIP SWによって7つの機能を設定することができます。

重要

- DIP SWを変更する場合はプリンターの電源をOFFにしてください。
- 未使用のDIP SWの設定は工場出荷時のままとして変更しないでください。

チェック

変更したDIP SWの設定はプリンターの電源をONにした後、有効となります。

スイッチ番号	機 能	工場設定															
1	未使用	OFF															
2	プリンタードライバー設定の有効／無効 OFF： 設定を有効とします。 ON： 設定を無効とします。	OFF															
3*1	発行モード切り替え	OFF															
4*1	<table><tr><th>DIP SW3</th><th>DIP SW4</th><th>モード</th></tr><tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>連続印刷</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>ハクリ印刷</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>ハクリ印刷</td></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>カット印刷</td></tr></table>	DIP SW3	DIP SW4	モード	OFF	OFF	連続印刷	OFF	ON	ハクリ印刷	ON	OFF	ハクリ印刷	ON	ON	カット印刷	OFF
DIP SW3	DIP SW4	モード															
OFF	OFF	連続印刷															
OFF	ON	ハクリ印刷															
ON	OFF	ハクリ印刷															
ON	ON	カット印刷															
5*1	印刷方式 OFF： 感熱式とします。 ON： 熱転写式とします。	OFF															
6*1	用紙頭出しセンサーの選択	OFF															
7*1	<table><tr><th>DIP SW6</th><th>DIP SW7</th><th>モード</th></tr><tr><td>OFF</td><td>OFF</td><td>センサー無視</td></tr><tr><td>ON</td><td>OFF</td><td>反射センサー</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ON</td><td>透過センサー</td></tr><tr><td>ON</td><td>ON</td><td>設定禁止</td></tr></table>	DIP SW6	DIP SW7	モード	OFF	OFF	センサー無視	ON	OFF	反射センサー	OFF	ON	透過センサー	ON	ON	設定禁止	OFF
DIP SW6	DIP SW7	モード															
OFF	OFF	センサー無視															
ON	OFF	反射センサー															
OFF	ON	透過センサー															
ON	ON	設定禁止															
8	自動カット位置送り機能 OFF： 機能を有効とします。 ON： 機能を無効とします。	OFF															
9	調整値設定のリモートパネル／操作部ボリューム設定の切り替え OFF： リモートパネル設定を有効とします。 ON： 操作部ボリューム設定を有効とします。	OFF															
10	プリントサーバー装着時のインターフェースの切り替え OFF： プリントサーバーを有効とします（USBは無効とします）。 ON： プリンター本体の USB を有効とします（プリントサーバーは無効とします）。	OFF															

* 1 DIP SW2 が“ON”の場合に機能します。DIP SW2 は DIP SW3～7 に割り当てられた 3 つの機能の有効／無効を切り替えるスイッチです。これら 3 つの機能はプリンタードライバーからも設定できるため、DIP SW2 でどちらの設定を有効にするか指定します。

DIP SW2 プリンタードライバー設定の有効／無効

プリンタードライバーの設定を有効にするか無効にするかを切り替えます。

出荷時の設定は「有効」です。

「無効」の場合、発行モード、印刷方式、センサーの選択はDIP SWの設定に従います。

DIP SW3、SW4 発行モード切り替え

発行モードを切り替えます。

出荷時の設定は「連続印刷」です。

連続印刷は印刷を途中で止めることなく連続して印刷します。

ハクリ印刷は剥離しながら用紙を送ります。剥離したラベルを取らない限り、次の印刷を行いません。

カット印刷はカットしながら用紙を送ります。

DIP SW5 印刷方式

印刷方式を切り替えます。

出荷時の設定は「感熱方式」です。

感熱方式はリボンを使用しません。リボンを装着していないことを確認してください。

熱転写方式はリボンを使用します。リボンを装着していることを確認してください。装着していない場合はエラーとなります。

✓**チェック**

MultiCoder 500L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を無視して感熱方式で動作します。

DIP SW6、SW7 用紙頭出しセンサーの選択

用紙頭出しに使用するセンサーのタイプを選択します。

出荷時の設定は「センサー無視（プリンタードライバーの設定値に従う）」です。

✓**チェック**

DIP SW6、SW7の両方をONに設定しないでください。

センサー無視はどのセンサーも見ずにプリンタードライバーで設定した用紙長で用紙をフィードします。

反射センサーは用紙裏側に印刷されている黒マークを検出し、黒マークの位置を停止位置とするように用紙をフィードする方式です。

透過センサーはラベルギャップ（ラベルとラベルの間の台紙）を判断し、次のラベル位置を停止位置とするように用紙をフィードする方式です。

DIP SW8 自動カット位置送り機能

自動カット位置送り機能を有効にするか無効にするかを切り替えます。
出荷時の設定は「有効」です。

自動カット送りとは、印刷終了後に自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。
プリンタードライバやDIP SW3、SW4で連続印刷を指定したときのみ有効となります。

自動カット位置まで送られた用紙を元の位置に戻すまでの時間はリモートパネル（8秒・15秒・無限）で切り替えることができます。時間を指定すると、一定時間経過後に用紙を後方へ戻します。初期値は〔無限〕となっているため、あわてずに用紙を切り取ることができます。
時間経過前に次の印刷データを受信すると、元の位置（後方）へ戻します。

用紙がセンサーから外れている場合は、用紙なしエラーとなります。



用紙をカット位置に送り出した状態で電源をOFFにしても、次の印刷で用紙を後方へ戻してから印刷することができます。

DIP SW9 調整値設定のリモートパネル／操作部ボリューム設定の切り替え

リモートパネル設定を有効にするか、ボリューム設定を有効にするかを切り替えます。
出荷時の設定は「リモートパネル設定を有効」です。

OFFにした場合は、印刷濃度、フィード量微調整、カット／ハクリ位置微調整についてリモートパネル設定を有効にします（ボリューム設定は無効にします）。
設定値は、リモートパネル設定値＋プリンタードライバ設定値を足した値です。
ONに設定した場合は、印刷濃度、フィード量微調整、カット／ハクリ位置微調整についてボリューム設定を有効にします（リモートパネル設定は無効にします）。
設定値は、操作部ボリューム設定値＋プリンタードライバ設定値を足した値です。



- 合計した設定値が最大値を超えている場合は、最大値で設定されます。
 - 調整後にDIP SW9の「リモートパネル設定」の調整値を切り替えても、もう一方の「ボリューム設定」の調整値には「リモートパネル設定」の調整値として反映されません。
「リモートパネル設定」変更後は、「ボリューム設定」の調整値も設定し直しをしてください。
また、逆の場合の「ボリューム設定」の調整値を切り替えても、もう一方の「リモートパネル設定」の調整値には「ボリューム設定」の調整値として反映されません。
「ボリューム設定」変更後は、「リモートパネル設定」の調整値も設定し直しをしてください。
-

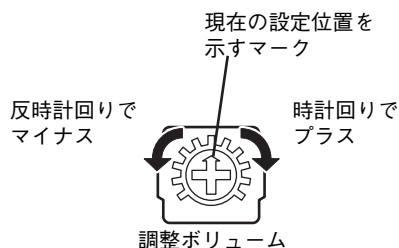
DIP SW10 プリントサーバー（無線LANボード／LANボード）装着時のインターフェースの切り替え

プリントサーバー装着時、プリンター本体側のUSBを有効にするか、プリントサーバーを有効にするかを切り替えます。プリントサーバーを装着しているが、USB接続で使用したい場合に切り替えます。
出荷時の設定は「プリントサーバーが有効」です。
プリントサーバーが装着されていない場合は、本設定は無効となります。

ボリューム

3個の調整ボリュームがあります。装置に添付の調整ドライバーで回して調整します。DIP SW9をONにしたときのみ有効です。

ボリューム名	機 能
印刷濃度	印刷濃度を調整します。マイナスの設定で薄くなり、プラスの設定で濃くなります。
フィード量 微調整	用紙の頭出し位置（用紙端からの第1印字行）を調整します。マイナスの設定で基準位置から用紙先端方向へ、プラスの設定で基準位置から用紙内側方向へ調整されます。
カット／ハクリ 位置微調整	用紙のカットまたは剥離をする位置を調整します。マイナスの設定で基準位置から用紙先端方向へ、プラスの設定で基準位置から用紙内側方向へ調整されます。プリンターに装着しているモジュール（カッターまたはハクリ）に対する設定です。



「印刷濃度」「フィード量」「カット／ハクリ位置」の調整は、調整ボリュームの他にプリンタードライバーおよび装置に添付のソフトウェアCD-ROMにある「リモートパネル」からも設定できます。プリンタードライバーおよびリモートパネルの設定値と本ボリュームによる設定値の関係は次のとおりです。

- 調整ボリュームとプリンタードライバー**
 調整ボリュームとプリンタードライバーで設定したそれぞれの値の合計が設定値となります。ただし、最大値を超えている場合は最大値を設定値とします。切り替えはDIP SW9（ON）で行います。値はDIP SW2（プリンタードライバー設定の有効／無効）の設定に関係なく合算されます。
- リモートパネルとプリンタードライバー**
 リモートパネルとプリンタードライバーで設定した値を加えた合計が設定値となります。ただし、最大値を超えている場合は最大値を設定値とします。切り替えはDIP SW9（OFF）で行います。値はDIP SW2（プリンタードライバー設定の有効／無効）の設定に関係なく合算されます。

DIP SW9 調整値の切り替え

DIP SW9で本体の調整ボリュームとリモートパネルユーティリティのどちらの調整値を使用するかを切り替えます。

DIP SW9	機 能
OFF	リモートパネルの設定を有効にします。調整ボリュームの設定値は無効です。
ON	調整ボリュームの設定を有効にします。リモートパネルによる設定値は無効です。

✓ チェック

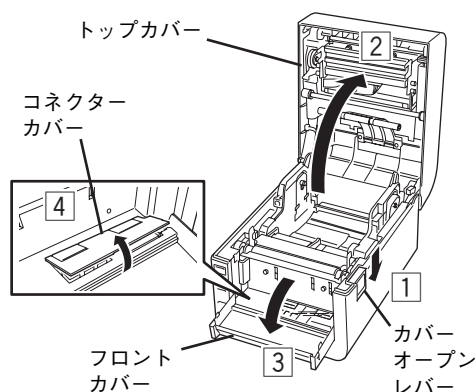
調整した値は調整ボリュームとリモートパネル間で引き継がれません。調整後にディップスイッチを切り替えたら、切り替えた方（調整ボリュームまたはリモートパネル）で調整し直す必要があります。

設定手順

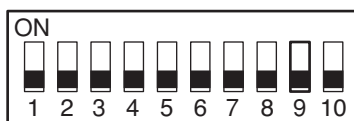
調整はリモートパネルを使用する方法と、ボリュームを使用する方法があります。調整手順を以下に示します。ここでは、例として印刷濃度を調整する方法を説明します。フィード量微調整およびカット／ハクリ位置微調整も同じ要領で設定してください。

リモートパネルで調整する方法

- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



- ③ 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW9をOFFにしてリモートパネルによる調整設定値を有効にします。



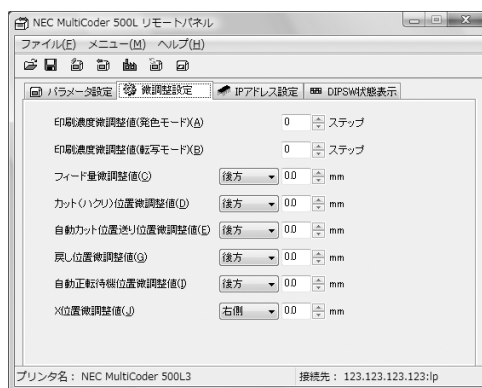
- ④ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑤ 用紙をセットします。
- ⑥ コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

- ⑦ リモートパネルを起動し、印刷濃度を調整します。

リモートパネルの使用方法は添付のCD-ROM内のオンラインマニュアルを参照してください。



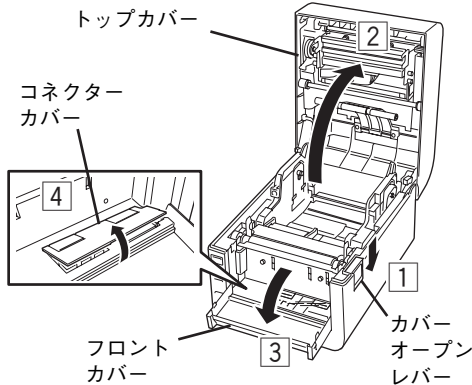
リモートパネルを使用するには、プリンタードライバーとリモートパネルのインストールが必要です。



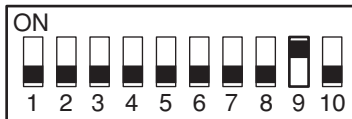
- ⑧ テスト印刷をして印刷結果を確認します。

調整ボリュームで調整する方法

- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



- ③ 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW9をONにして調整ボリュームによる調整設定値を有効にします。



- ④ 調整用ドライバーで印刷濃度ボリュームを調整します。

時計回りに回すと、「+」になり印刷濃度が濃くなります。反時計回りに回すと「-」になり印刷濃度が薄くなります。



- ⑤ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑥ 用紙をセットします。
- ⑦ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。
- ⑧ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

- ⑨ テスト印刷をして印刷結果を確認します。



リモートパネルの印刷濃度微調整、フィード量微調整、およびカット（ハクリ）位置微調整以外の設定はDIP SW9に関係なくリモートパネルの設定値が有効になります。

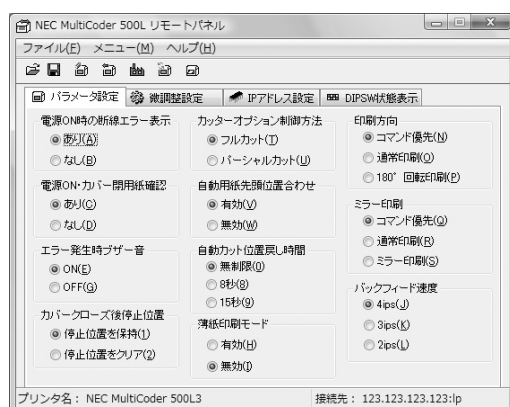
リモートパネル

リモートパネルは次の4つのプロパティシートを持っています。プロパティシートの切り替えは4つのタブまたは「メニュー」の中から切り替えることができます。

- パラメータ設定
- 微調整設定
- IPアドレス設定
- DIPSW状態表示

パラメータ設定

プリンターが行う動作や処理をリモートパネルから変更します。



項目名	説 明	パラメーター【既定値】
電源ON時の断線エラー表示	電源ON時に自動で断線チェックをするかどうかを設定します。 [あり]に設定しているときに断線チェックエラーを検出すると、プリンターのエラーランプを点滅させ、7セグメントLEDには“C”を表示します。	【あり】・なし
電源ON・カバー開閉用紙確認	電源ON時、またはカバークローズ動作時に用紙の有無を確認するかどうかを切り替えます。	【あり】・なし
エラー発生時ブザー音	エラーが発生したときにブザーを鳴らすかどうかを設定します。	【ON（鳴らす）】・OFF
カバークローズ後停止位置	用紙の停止位置を制御する方法を切り替えます。	【停止位置を保持】・停止位置をクリア
カッターオプション制御方法	カッター制御方法を切り替えます。 [フルカット]にした場合、用紙を完全に切り離します。 [パーシャルカット]は用紙の中央部分を少しだけ残してカットします。 ^{*1}	【フルカット】・パーシャルカット
自動用紙位置合わせ	自動用紙位置合わせをするかどうかを切り替えます。 [有効]にした場合、用紙位置合わせをします。	【有効】・無効

* 1 パーシャルカットについては、148 ページを参照してください。

項目名	説 明	パラメーター【既定値】
自動カット位置戻し時間	ラベル取り出し待ち時間の長さを切り替えます。 印刷したラベルを取り出しやすくするためにいったん用紙を排出口へ送ります。指定した時間を超えるとプリンターは次の印刷をするために用紙を印刷部へ引き戻します。 【無制限】に設定している場合は、プリンターのフィードスイッチを押すか、次の印刷データを受信すると用紙を印刷部へ戻します。	【無制限】・8秒・15秒
薄紙印刷モード*	カット位置からの戻し動作を行うかどうかを切り替えます。 無効の場合は、戻し動作を行います。 有効の場合は、カット位置からの戻し動作を行いません。また、センサーの設定に関わらず、センサー無しの動作となります。*1	有効・【無効】
印刷方向	印刷の向きを切り替えます。【コマンド優先】にした場合、プリンタードライバの設定に従います。	【コマンド優先】・通常印刷・180° 回転印刷
ミラー印刷	ミラー印刷をするかどうかを切り替えます。【コマンド優先】にした場合、プリンタードライバの設定に従います。	【コマンド優先】・通常印刷・ミラー印刷
バックフィード速度	用紙をプリンター内へ戻す（後ろに送る）バックフィードの速度（ips：インチ/秒）を切り替えます。印刷結果に汚れが目立つ場合は速度を落としてください。	【4ips】・3ips・2ips

* 1 薄紙印刷モードについては、149 ページを参照してください。

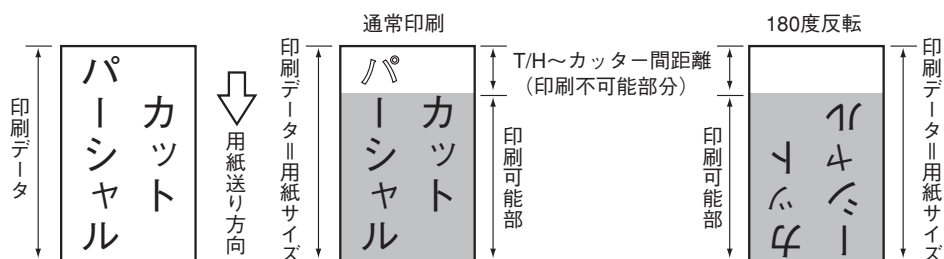
パーシャルカット

この機能はカッターモデルまたはカッターモジュール：PR-T500L-01／PR-T500L6-01を装着時に有効な機能です。カッターモジュール：PR-T500L-11／PR-T500L6-11はパーシャルカットができません。

パーシャルカットとは用紙の中央部分を少しだけ残してカットすることです。

ただし、カット後にバックフィードすると紙が切れてしまうため、以下の動作となります。

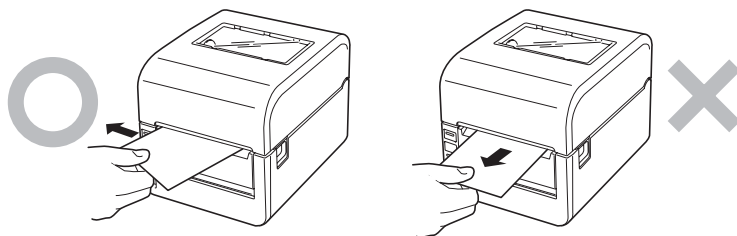
- カット直後は、次ページ用の紙先頭が「18mm±カット／ハクリ微調量」分送り出された状態となります。バックフィードできないため、次頁の印刷では、この送り出された分の印刷イメージを自動で削除します。
- このため、パーシャルカットで運用の際は、上余白に18mm±カット／ハクリ微調量を付加する必要があります。
- 正転、逆転とも自動カット位置送りおよび自動正転待機は行いません。



用紙のカット方法

パーシャルカットをした用紙を切る場合は、用紙を横方向に引いて切ってください。用紙を手前に引いて切ると、次の用紙の印刷位置がずれる場合があります。

また厚い用紙も印刷位置がずれる場合がありますので薄い用紙をご使用ください。

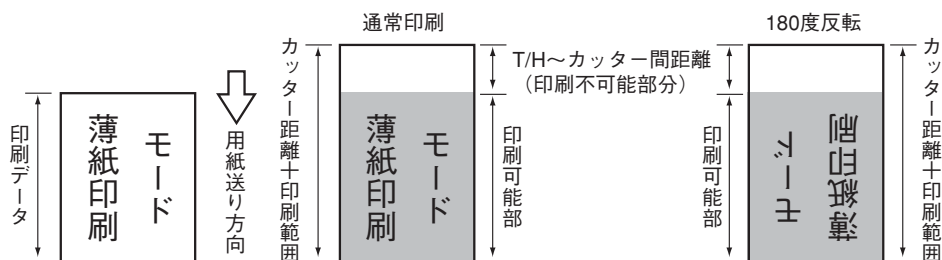


薄紙印刷モード

このモードは厚さ80 μm 以下（75 μm 程度）の用紙を印刷するときに使用する機能です。
印刷後のカット位置や、自動カット送り位置よりバックフィード動作を行いません。

- 用紙はタグ紙を使用してください。透過／反射センサーは動作しません。
- ハクリモジュール装着時は薄紙印刷モードの動作は行いません。

印刷範囲は通常印刷（フルカット時）と同じです。ただし、上部に18mm±カット／ハクリ微調量の余白が付加されます。



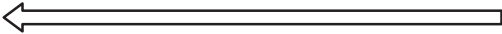
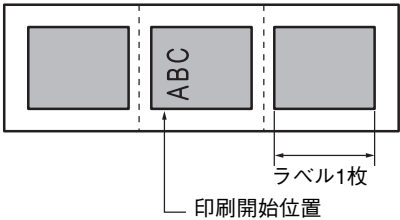
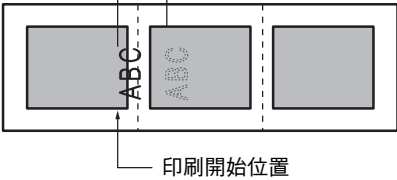
チェック

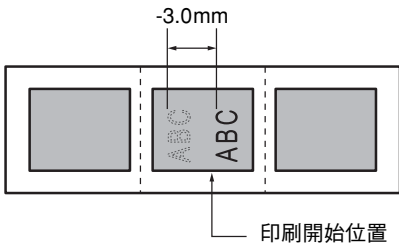
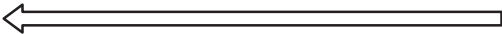
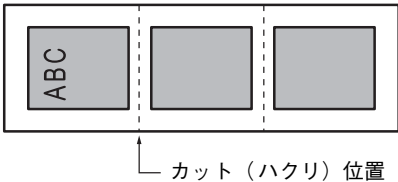
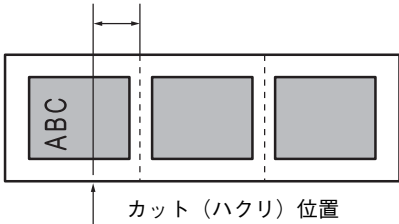
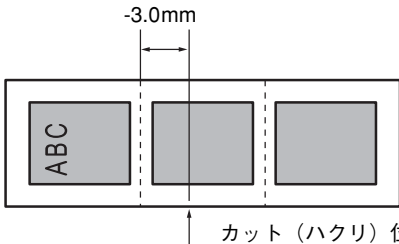
レシートのような可変長のデータの場合は、プリンタードライバーの用紙を十分な長さに設定し、センサー種別を「センサーなし（余白なし）」に設定することで、可変長の印刷を行うことができます。

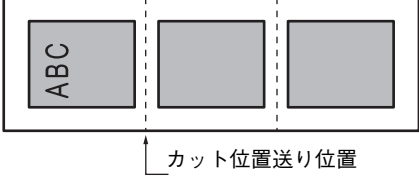
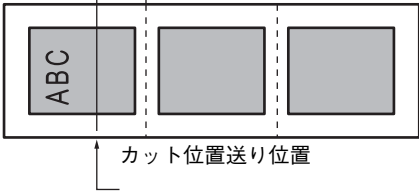
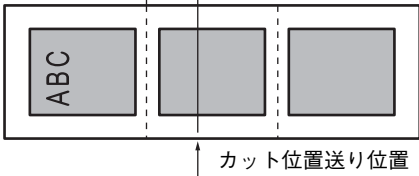
微調整設定

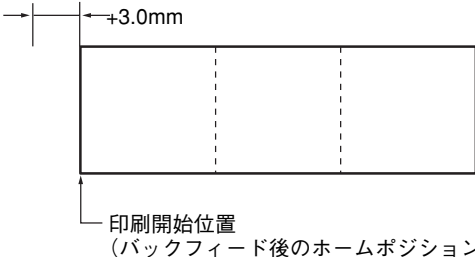
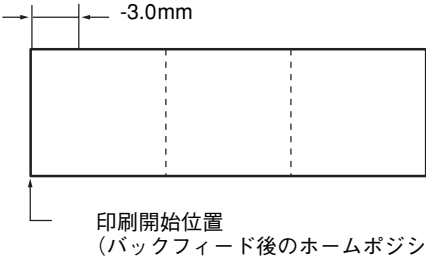
プリンター本体のフィード量やカット位置など印刷のための微調整をリモートパネルから行うことができます。

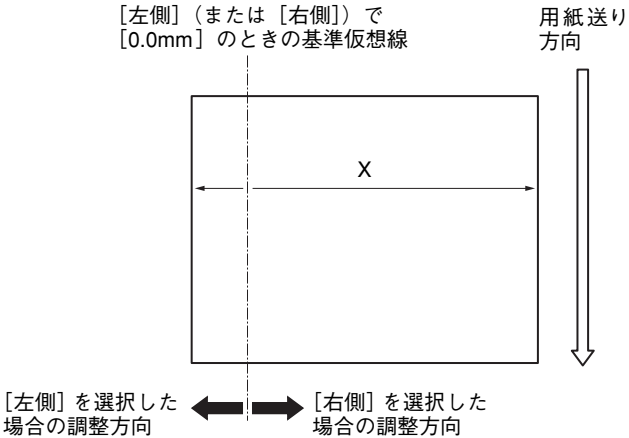


項目名	説 明	パラメーター【既定値】
印刷濃度微調整 (発色モード)	感熱印刷での印刷濃度を設定します（1ステップ単位）。	-10～【0】～10
印刷濃度微調整 (転写モード)	リボンを使った熱転写印刷での印刷濃度を設定します（1ステップ単位）。	-10～【0】～10
フィード量微調整値*1 (次ページに続く)	プリンターのスイッチまたはソフトウェアのコマンドによってラベル1枚分を送った（フィード）後の印刷開始位置を微調整します。設定は用紙送り方向に対して「前方」と「後方」へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。 用紙送り方向  ① 「前方」（または「後方」）の【0.0mm】での印刷結果例  ② ①から「後方」の【3.0mm】にした場合の印刷結果例 	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9 (次ページに続く)

項目名	説 明	パラメーター【既定値】
フィード量微調整値* ¹ (続き)	② ①から「前方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例 	(続き)
カット（ハクリ）位置 微調整値* ¹	カット位置（ハクリ位置）を微調整します。設定は用紙送り方向に対して「前方」と「後方」へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。 用紙送り方向  ① 「前方」（または「後方」）の「0.0mm」での印刷結果例  ② ①から「後方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例  ② ①から「前方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例 	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9

項目名	説 明	パラメーター【既定値】
自動カット位置送り位置微調整値	手でカットをする場合に印刷済みの用紙を排出する位置を微調整します。設定は用紙送り方向に対して「前方」と「後方」へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。 用紙送り方向  ① 「前方」（または「後方」）の「0.0mm」での印刷結果例  ② ①から「後方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例 +3.0mm  ② ①から「前方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例 -3.0mm 	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9

項目名	説 明	パラメーター【既定値】
戻し位置微調整値*1	カット、ハクリ、自動カット位置送り、または自動正転待機動作後、印刷開始位置（ホームポジション）まで用紙を戻す位置を微調整します。設定は用紙送り方向に対して「前方」と「後方」へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。 バックフィード動作は、条件によって正転した距離と同じ距離だけバックフィードしても、元の位置まで戻らない場合があります。バックフィードして元の位置まで戻らないことによるエラーを起こさないよう微調整してください。 用紙送り方向 ← ① 「前方」（または「後方」）の「0.0mm」での印刷結果例  ② ①から「後方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例  ③ ①から「前方」の「3.0mm」にした場合の印刷結果例 	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9
自動正転待機位置微調整値	自動正転待機の際の停止位置の微調整をします（カッターモジュールを装着している場合にのみ有効です）。「自動正転待機」とはジョブの最終ラベルを印刷終了後、2秒間経っても次のジョブを受信しない時に自動で数mm（装置カッター部まで）の正転フィードを行う動作です。これにより長時間放置した後に印刷したとき、カッターユニット部への巻き込みを防ぎます。 設定は用紙送り方向に対して「前方」と「後方」へそれぞれ0.1mm単位で設定できます。	方向：【後方】・前方 微調整値：【0.0】～9.9

項目名	説 明	パラメーター【既定値】
X位置微調整値	横方向位置の微調整をします。微調整は0.1mm単位で設定できますが、用紙の印刷幅の範囲内で調整してください。用紙幅を超えた設定をしても、微調整値は用紙幅の中で最も可能な最大値で位置決めをします。 [左側]（または [右側]）で [0.0mm] のときの基準仮想線  [左側]を選択した場合の調整方向 [右側]を選択した場合の調整方向	方向：【右側】・左側 微調整値：【0.0】～105.7

- * 1 カット印刷／ハクリ印刷時は設定可能な微調整量が制限されるため、設定値どおりの位置決めができない場合があります。十分な試し印刷をした上でご利用ください。

IPアドレス設定

プリンターをネットワークプリンターとして使用する 場合のIPアドレスやゲートウェイアドレスなどをリモートパネルで設定します。



項目名	説 明	パラメーター【既定値】
DHCP/BOOTP機能設定	DHCP/BOOTP機能の無効／有効を設定します。	DHCP/BOOTP機能無効・【DHCP/BOOTP機能有効】
RARP機能設定	RARP機能の無効／有効を設定します。	RARP機能無効・【RARP機能有効】
IPアドレス	プリンターのIPアドレスを設定します。	【0.0.0.0】～255.255.255.255
サブネットマスク	プリンターのサブネットマスクを設定します。	【0.0.0.0】～255.255.255.255
ゲートウェイ	プリンターのゲートウェイアドレスを設定します。	【0.0.0.0】～255.255.255.255
ソケット通信ポート設定	使用する通信ポート番号を設定します。	10000～【12000】～65525

リモートパネルの設定手順

ここでは例としてパーシャルカットへの変更手順を示します。

✓チェック

- リモートパネルは、対応機種のパリンタードライバーがインストールされていない場合、起動できません。対応機種のパリンタードライバーをインストールしてから、再度リモートパネルを起動してください。
- 設定を変更するには、プリンターとコンピューターがUSB ケーブルまたはLANで正しく接続されている必要があります。また、プリンタードライバーのポートが正しく設定されている必要があります。
- リモートパネルから設定値を送信する場合、接続先を確認し、正しい接続先になっていることを確認してから送信してください。また、コンピューターと送信先プリンターが正しく接続されていることを確認し、誤って他のプリンターに送信しないように注意してください。詳細はオンラインマニュアルを参照してください。

1 設定を変えたいプリンターかどうか確認します。

ステータスバーでプリンター名で確認してください。もし希望のプリンターでない場合はツールバーの「プリンタの選択」ボタンをクリックするか「ファイル」メニューから「プリンタの選択」を選んで変更します。



✓チェック

プリンターの変更はMultiCoder 500L3プリンタードライバーが複数インストールされている場合のみ可能です。

- 2 「パラメータ設定」タブをクリックします。
- 3 「カッターオプション制御方法」で「パーシャルカット」のラジオボタンをONにします。

4 変更した設定内容をプリンターに書き込む。

ツールバーの「設定値をプリンタへ送信」ボタンをクリックするか「ファイル」メニューから「設定値をプリンタへ送信」を選択します。



5 「ファイル」メニューから「終了」を選択し、リモートパネルを終了します。



これでリモートパネルの設定変更は終了です。

6章

オプション

本プリンター用として提供される別売品（オプション）により、本プリンターの機能を拡張させることができます。

オプションを装着できる装置と標準でオプションが装着済みの装置があります。各モデルについてはvページを参照してください。

また、オプションの説明は1章の「オプション」（15ページ）を参照してください。

オプションの取り付け、取り外しをお客様ご自身で行わない場合はお買い求めの販売店または添付の「NEC サービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。有償で対応します。

カッターモジュール

カッターの切れ具合が悪くなった場合はカッターモジュールが寿命に達した事を示します（カッターモジュールは有償交換部品です）。

取り付け取り外しなどの説明イラストはPR-T500L-01ですが、PR-T500L-11、PR-T500L6-01、PR-T500L6-11も同じです。

リストバンドはカッターモジュールでカットできません。カッターモデルやオプションのカッターモジュールでカットしないでください。リストバンドがカッター部に入り込んだり、カッターモジュールを破損したりするおそれがあります。



電源コードを抜くときはぬれた手で電源プラグを持たないでください。感電のおそれがあります。



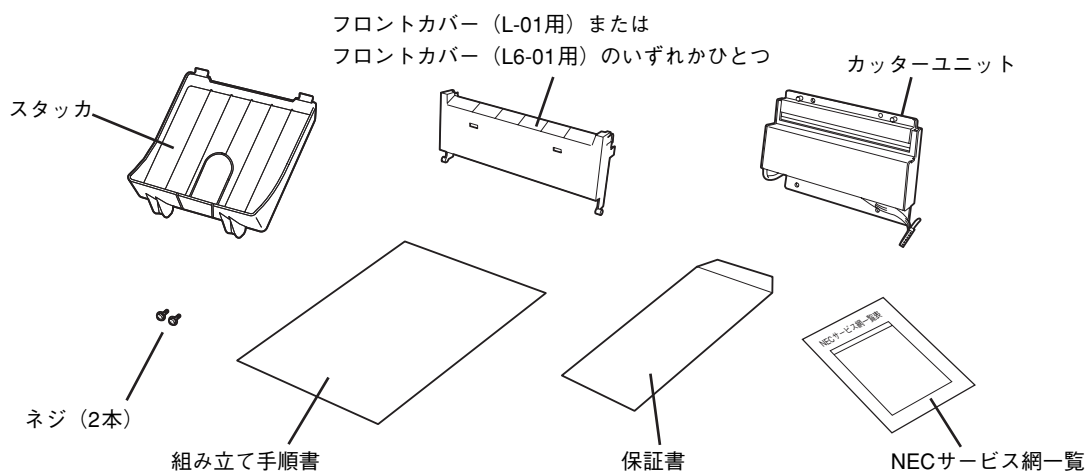
- 取り付け前にプリンターの電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
- プリンターの動作中に子供が近づかないよう注意してください。誤って手を入れるおそれがあります。
- カッターモジュールには鋭い刃が組み込まれています。取り付けの際、カッターに直接触れないでください。手を切るなどのけがのおそれがあります。
- カバーで指や手を挟まないよう注意して作業してください。
- 印刷直後はサーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷をするおそれがあります。
- トップカバーは静かに開いてください。勢いをつけて開くと、プリンターが転倒してけがや周囲のものを破損するおそれがあります。
- 長時間印刷した後は、カッターユニットが高温になっています。カッターユニットなどプリンター内部には手を触れないでください。

付属品

カッターモジュールの梱包箱の中には次の部品が入っています。すべてがそろっていること、また破損などがないことを確認してください。万一、不足している場合や破損がある場合は、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。

- MultiCoder 500L3シリーズ共通：PR-T500L-01（フロントカバー色：パステルグリーン）
- MultiCoder 500L6シリーズ共通：PR-T500L6-01（フロントカバー色：ヘイズグレー）

本プリンターにカッターモジュールを取り付けると印刷済みのラベルを自動的にカットすることができます。ラベルのカットには連続用紙から切り離す方式（フルカット方式）と完全にカットせず中央部分をつなげてカットする方式（パーシャルカット方式）があります。また、カットせずに連続印刷としてもご利用いただける専用オプションです。ラベルの糊（のり）部をカットしないでください。



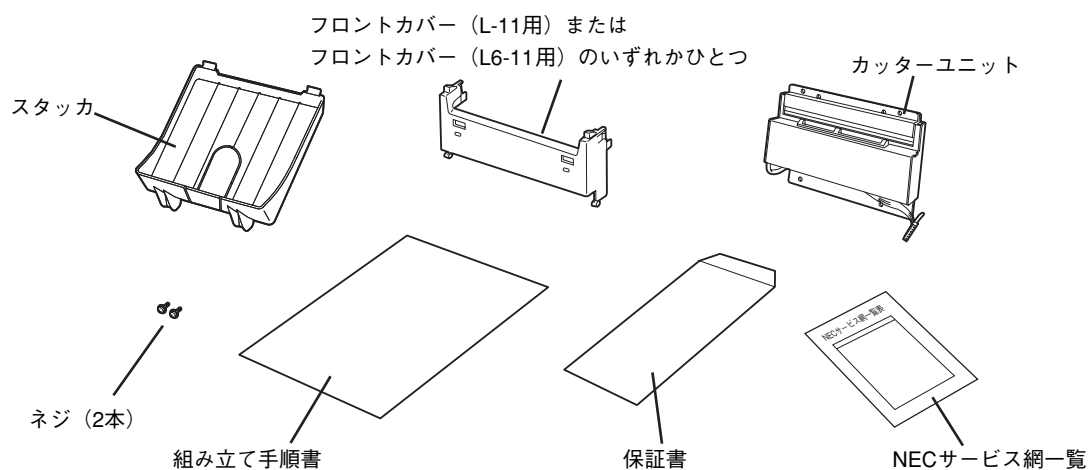
- MultiCoder 500L3シリーズ共通：PR-T500L-11（フロントカバー色：パステルグリーン）
- MultiCoder 500L6シリーズ共通：PR-T500L6-11（フロントカバー色：ヘイズグレー）

ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユニットです。フルカット方式を採用しているこのカッターモジュールを取り付けることで、プリンターは連続用紙から印刷済みのラベルを自動的にカットします。また、カットせずに連続印刷としてもご利用いただけます。パーシャルカットはできません。

<仕様>

切断方式： スライド式／フルカット
 切断用紙幅： 25～110mm
 用紙厚： 0.06～0.20mm

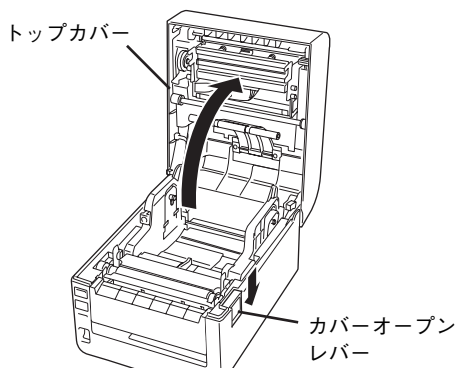
用紙種類： ラベル白紙、タグ紙
 寿命： 約13万カット（使用環境や使用状況により、多少異なる場合があります。）



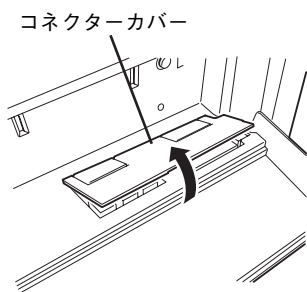
取り付け／取り外し手順

取り付け／取り外しの手順は次のとおりです。

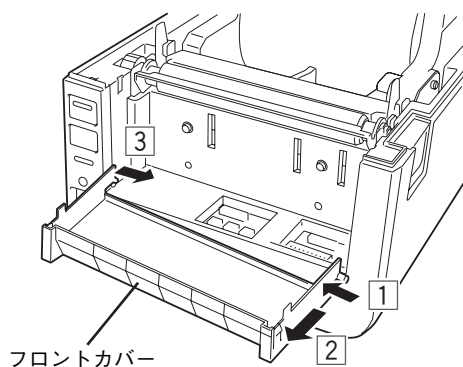
- ① プラスドライバーを用意します。
- ② プリンターの電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。
- ③ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



- ④ 本体前面のフロントカバーを開きます。
- ⑤ コネクターカバーを取り外します。

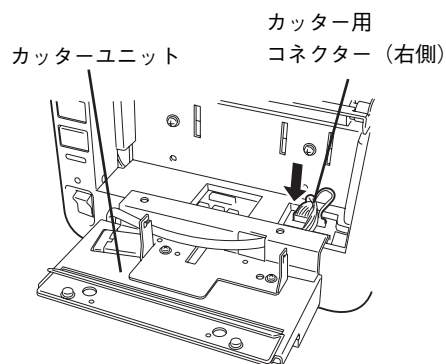


- ⑥ 右側のフロントカバーの根元を内側に押して手前に引き出し、左側の突起部を右にずらして取り外します。

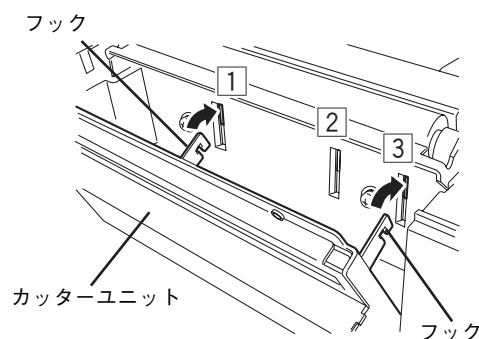


- ⑦ カッターユニットのケーブルをプリンターのカッター用コネクター（右側）に接続します。

✓ **チェック**
コネクターを逆向きに差さないでください。

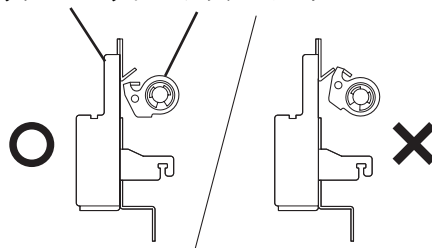


- ⑧ フックをプリンターの①・③のフック穴に差し込みます。

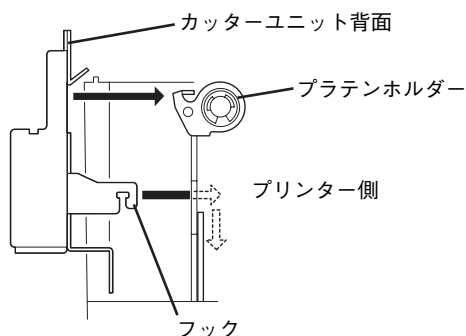


✓ **チェック**
カッターユニットを取り付ける際は、プラテンホルダーが下がっていることを確認してください。プラテンホルダーが上がったままカッターユニットを取り付けると、トップカバーを正常に閉じることができません。

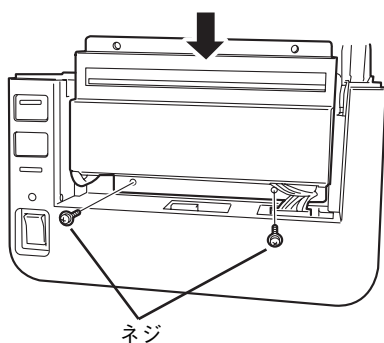
カッターユニット プラテンホルダー



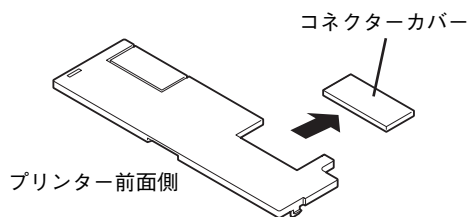
- ⑨ カッターユニット背面がプラテンホルダーに突き当たるまでフックを水平に差してから垂直に下げて取り付けます。



- ⑩ カッターユニットを上から押さえ、ネジ2本をカッターユニット両端の穴に取り付けてカッターユニットを固定します。



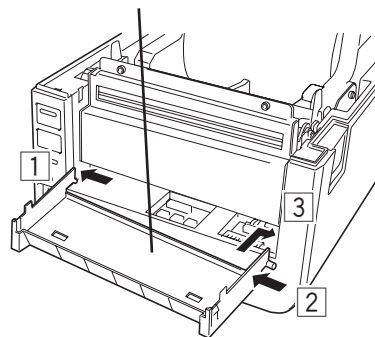
- ⑪ コネクターカバーのカッターユニット用の溝を手ではぎ取り、ケーブル用穴を作ります。



- ⑫ フロントカバー（カッター）を取り付けます。

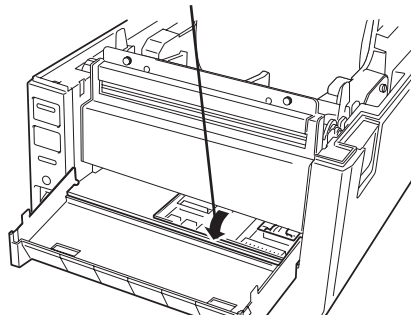
左側突起部をプリンターの穴に差し、右側の根元を内側に押しながら右側の突起部を差し込みます。

フロントカバー（カッター）

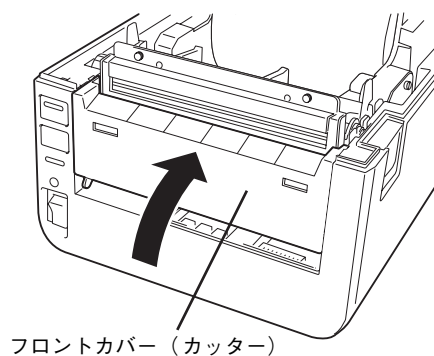


- ⑬ コネクターカバーを取り付けます。

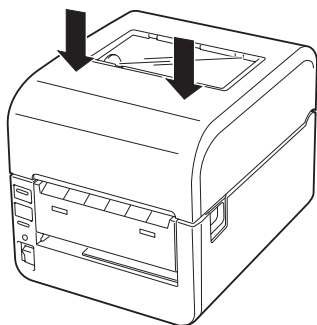
コネクターカバー



- ⑭ フロントカバー（カッター）を閉じます。

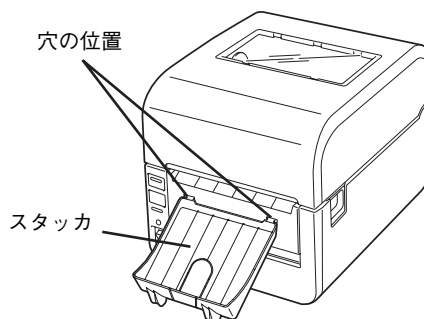


- ⑮ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。



- ⑯ フロントカバー（カッター）の穴にスタッカを突き当て、手前に回転させて取り付けます。

使用する用紙によっては切り取られた用紙を正しくスタックする（積み重ねる）ことができない場合があります。その場合は、取り外して使用してください。



以上で取り付けは完了です。

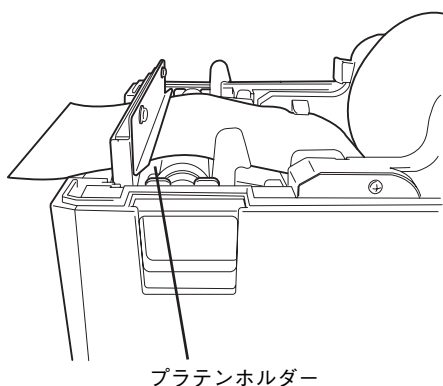
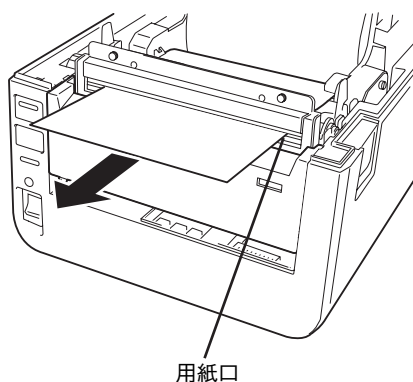
取り外しは逆の手順で外してください。

用紙のセット

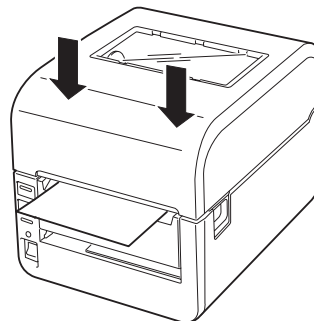
用紙をカッターモジュールに通します。用紙のセットについては1章の「8 用紙をセットする」(35ページ)を参照してください。

カッタースタッカーを装着している場合は、取り外してからセットしてください。

- ① プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。
- ③ 用紙をプラテンホルダーとカッターユニットの用紙口の間に通し、引き出します。



- ④ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。



以上で用紙のセットは完了です。

プリンターの設定

カッターモジュールを使用するときは次の方法でプリンターの設定を変更してください。

印刷方法には、カット印刷をする方法と連続印刷をする方法があります。また、それぞれの設定には「プリンタードライバー設定」を使用する方法と使用しない方法があります。

ここでは例として、熱転写方式でラベルに印刷し、1枚ごとにカットする方法について説明します。カッタースタッカーを装着している場合は、取り外してから設定してください。



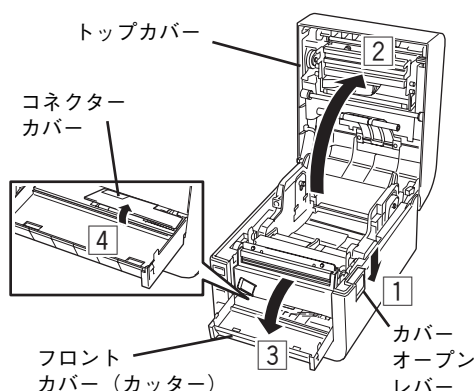
チェック

- プリンターを動作させる際は1章の「8 用紙をセットする」(35ページ)を参照して必ず用紙をセットしてください。
- リストバンドはカット印刷をすることはできません。

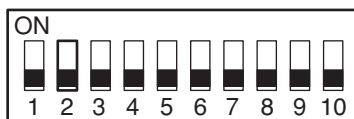
カット印刷をする

プリンタードライバーの設定を使用する場合

- 1 電源をOFFにします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（カッター）を開き、コネクターカバーを取り外します。

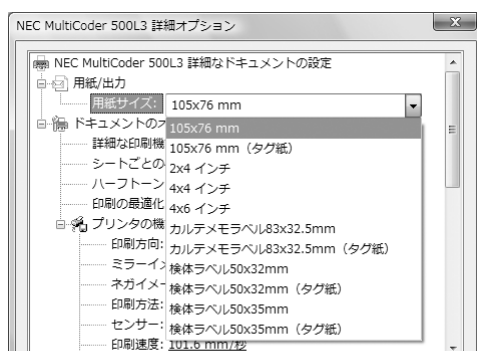


- 3 DIP SW2をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。

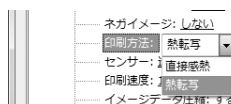


- 4 コネクターカバーを取り付けます。
- 5 プリンターの電源スイッチをONにします。

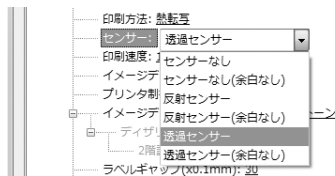
- 6 用紙をセットします。
- 7 フロントカバー（カッター）を閉じます。
- 8 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- 9 プリンタードライバーの「用紙サイズ」を使用する用紙サイズにします。



- 10 プリンタードライバーの「印刷方式」を「熱転写」にします。

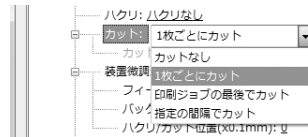


- ⑪ プリンタードライバーの「センサー」を「透過センサー」にします。



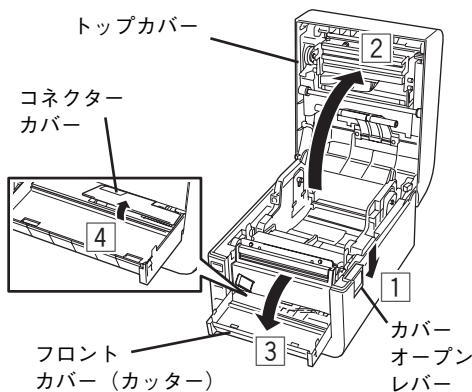
- ⑫ プリンタードライバーの「カット」を「1枚ごとにカット」にします。

詳細はオンラインマニュアルを参照してください。

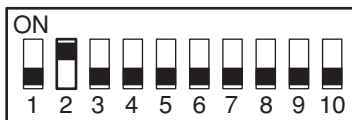


プリンタードライバーの設定を使用しない場合

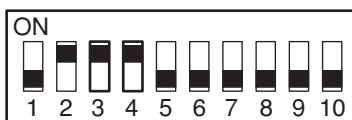
- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（カッター）を開き、コネクターカバーを取り外します。



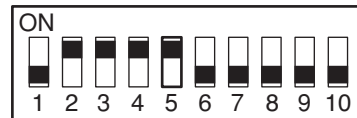
- ③ DIP SW2をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



- ④ DIP SW3と4をONにしてカット印刷モードにします。

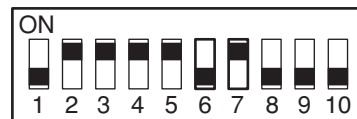


- ⑤ DIP SW5をONにして熱転写方式にします。



MultiCoder 500L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を見捨て感熱方式で動作します。

- ⑥ DIP SW6をOFF、SW7をONにして透過センサーにします。



- ⑦ コネクターカバーを取り付けます。
- ⑧ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑨ 用紙をセットします。
- ⑩ フロントカバー（カッター）を閉じます。
- ⑪ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- ⑫ コンピューターから印刷を行います。



プリンターのDIP SW3と4で「発行モード」を「カット印刷」に設定した場合は、1枚ごとにカットされます。指定の間隔でカット、または印刷ジョブの最後でカットを行いたい場合は、プリンタードライバーの設定を使用してください。

パーシャルカットを使用する場合

「パーシャルカット」とは、用紙をすべて切らずに中央部分を少し残して切る方式のことです。用紙がばらばらにならないため、印刷の前ページと次ページを見るときなどに利用できます。印刷済みの用紙どうしは手で簡単に離すことができます。設定はリモートパネルで行います。詳細は5章の「パーシャルカット」(148ページ) 参照。

PR-T500L-11/PR-T500L6-11 (カッターモジュール) はパーシャルカットはできません。

- 1 コンピューターとプリンターを接続し、リモートパネルを起動します。

チェック

リモートパネルを使用するには、プリンタードライバーとリモートパネルのインストールが必要です。

- 2 リモートパネルで「カッターオプション制御方法」を「パーシャルカット」に設定します。



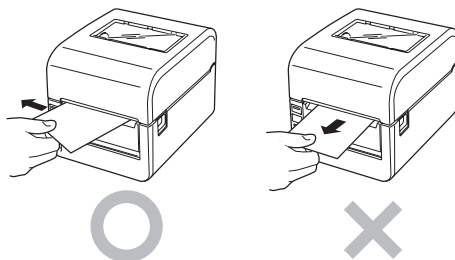
- 3 プリンターに設定値を送信します。

リモートパネルの使用方法是添付のCD-ROM内のオンラインマニュアルを参照してください。

■□ 用紙のカット方法 □■

パーシャルカットをした用紙を切る場合は、用紙を横方向に引いて切ってください。用紙を手前に引いて切ると、次の用紙の印刷位置がずれる場合があります。

また、厚い用紙も印刷位置がずれる場合がありますので、薄い用紙をご使用ください。



連続印刷をする

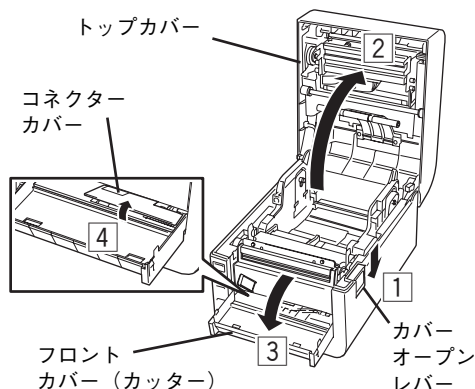
連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。

ここでは例として、感熱方式で用紙裏側に黒マークが印刷されているタグ紙を連続印刷する方法について説明します。

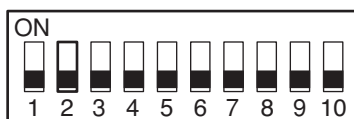
また、リストバンドは連続印刷でのみ行えます。

プリンタードライバーの設定を使用する場合

- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（カッター）を開き、コネクタカバーを取り外します。

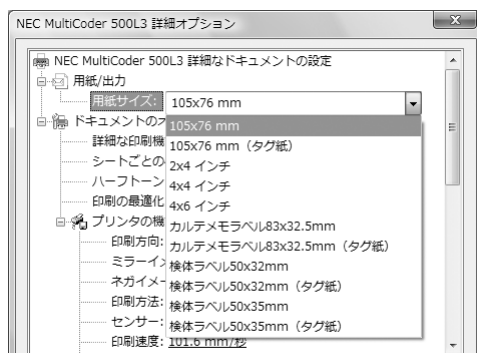


- ③ 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW2をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。

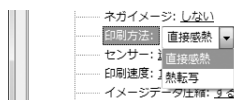


- ④ コネクタカバーを取り付けます。
- ⑤ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑥ 用紙をセットします。
- ⑦ フロントカバー（カッター）を閉じます。
- ⑧ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

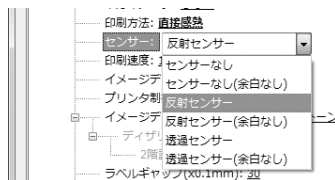
- ⑨ プリンタードライバーの「用紙サイズ」を使用する用紙サイズにします。



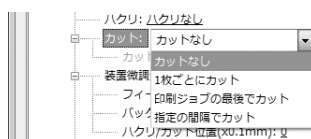
- ⑩ プリンタードライバーの「印刷方式」を「直接感熱」にします。



- ⑪ プリンタードライバーの「センサー」を「反射センサー」にします。



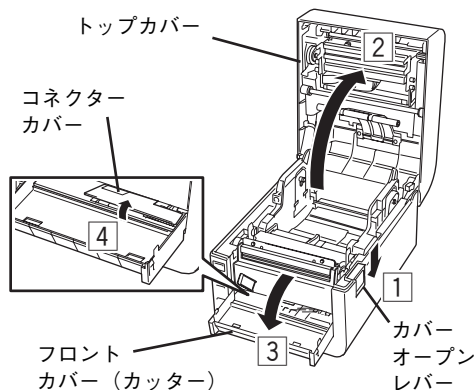
- ⑫ プリンタードライバーで「カット」を「カットなし」にします。



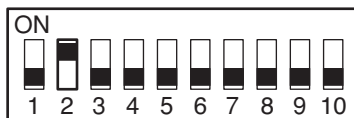
- ⑬ コンピューターから印刷を行います。

プリンタードライバーの設定を使用しない場合

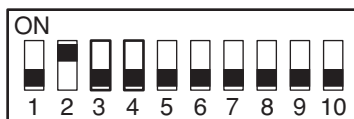
- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（カッター）を開き、コネクタカバーを取り外します。



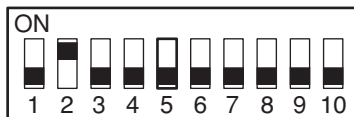
- ③ DIP SW2をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



- ④ DIP SW3と4をOFFにして連続印刷モードにします。

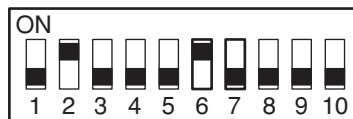


- ⑤ DIP SW5をOFFにして感熱方式にします。



MultiCoder 500L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を無視して感熱方式で動作します。

- ⑥ DIP SW6をON、SW7をOFFにして反射センサーにします。



- ⑦ コネクタカバーを取り付けます。
- ⑧ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑨ 用紙をセットします。
- ⑩ フロントカバー（カッター）を閉じます。
- ⑪ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- ⑫ コンピューターから印刷を行います。

ハクリモジュール

ハクリモジュールを取り付けた本プリンターは印刷済みのラベルを自動的に台紙から剥離（はくり）し、台紙からはがしやすくします。また連続印刷としてもご利用いただける専用オプションです。台紙からラベルが正常に剥離できなくなったり、各種ハクリ調整を行っても改善されなかったりする場合は、ハクリモジュールが寿命に達したことを示します（ハクリモジュールは有償交換部品です）。



警告

電源コードを抜くときはぬれた手で電源プラグを持たないでください。感電のおそれがあります。



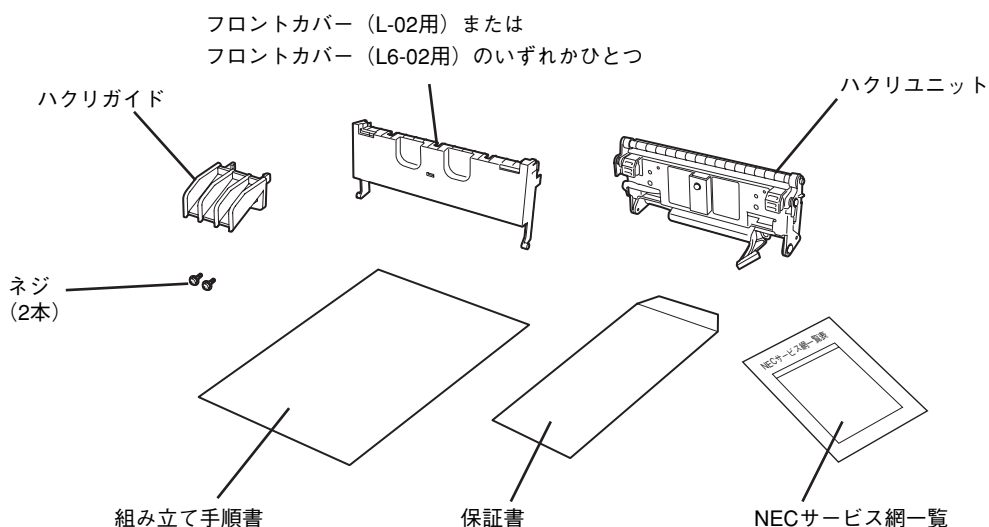
注意

- 取り付け前にプリンターの電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
- カバーで指や手を挟まないよう注意して作業してください。
- 印刷後はサーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷をするおそれがあります。
- トップカバーは静かに開いてください。勢いをつけて開くと、プリンターが転倒してけがや周囲のものを破損するおそれがあります。

付属品

ハクリモジュールの梱包箱の中には次の部品が入っています。すべてがそろっていること、また破損などがないことを確認してください。万一、不足している場合や破損がある場合は、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。

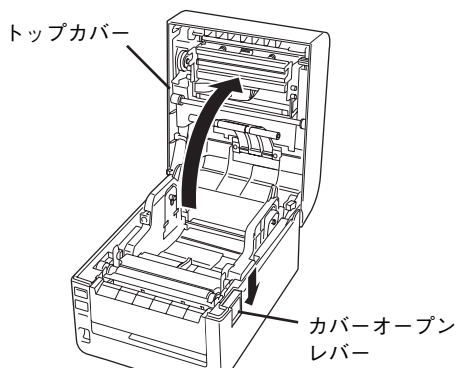
- MultiCoder 500L3シリーズ共通：PR-T500L-02（フロントカバー色：パステルグリーン）
- MultiCoder 500L6シリーズ共通：PR-T500L6-02（フロントカバー色：ヘイズグレー）



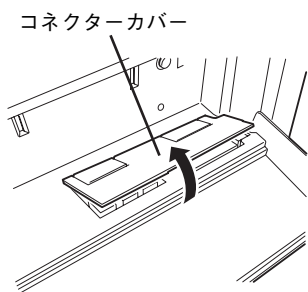
取り付け／取り外し手順

取り付け／取り外しの手順は次のとおりです。

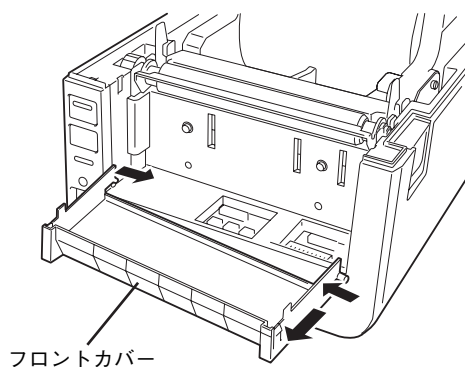
- ① プラスドライバーを用意します。
- ② プリンターの電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。
- ③ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



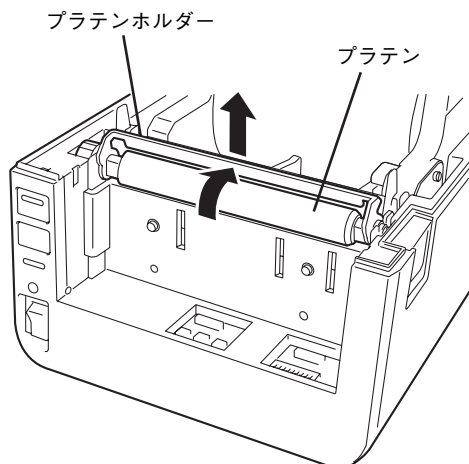
- ④ 本体前面のフロントカバーを開きます。
- ⑤ コネクターカバーを取り外します。



- ⑥ 右側のフロントカバーの根元を内側に押して手前に引き出し、左側の突起部を右にずらして取り外します。

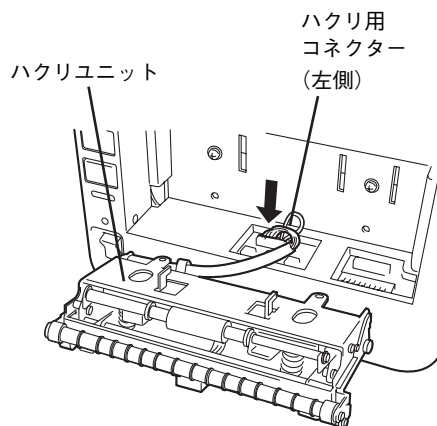


- ⑦ プラテンホルダーを上に戻してプラテンを外し、近くに仮置きしておきます。



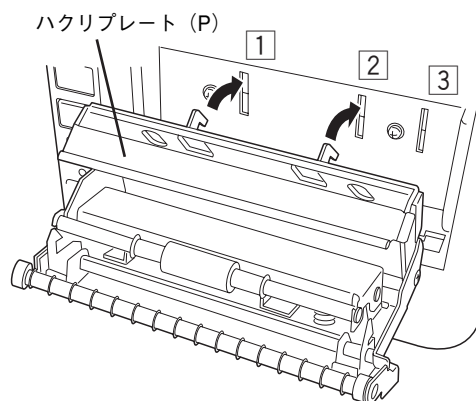
- ⑧ ハクリユニットのケーブルをプリンターのハクリ用コネクター（左側）に接続します。

✓ **チェック**
コネクターを逆向きに差さないでください。

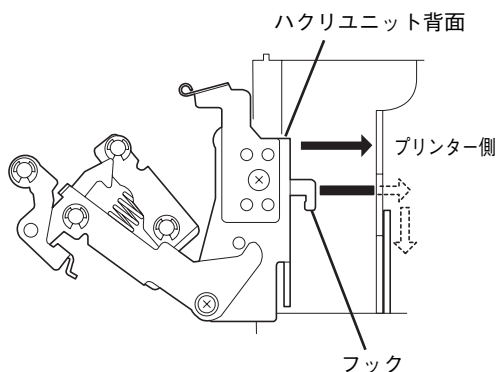


- ⑨ ハクリプレート (P) の両端を手で持ちながらフックをプリンターの①・②のフック穴に差し込みます。

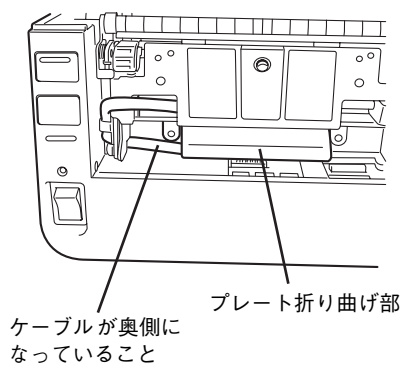
このときケーブルはハクリユニットのネジ穴の下を通し、手前側にしてください。



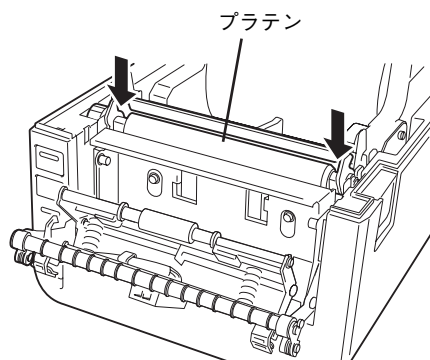
- ⑩ ハクリユニット背面がプリンター側に突き当たるまでフックを水平に差してから垂直に下げて取り付けます。



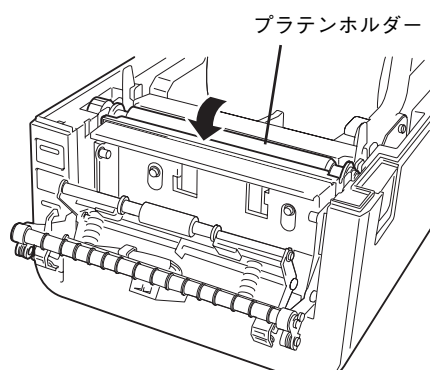
- ⑪ ハクリユニットを差した後、ケーブルがネジ穴とプレート折り曲げ部の間に収まっていることを確認してください。



- ⑫ プラテンの垂直な面を手前にして軸受けに差し込みます。



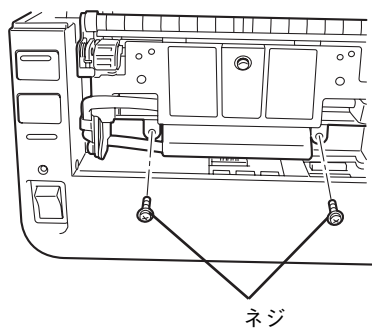
- ⑬ プラテンホルダーを水平にします。



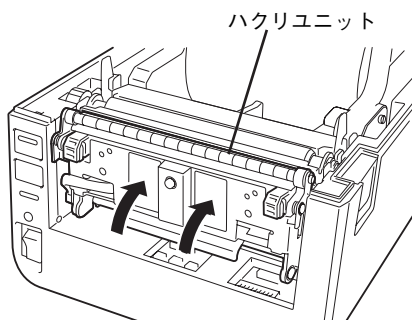
- ⑭ ハクリユニットを手で軽く押さえながらネジ2本でハクリユニットを固定します。



ケーブルを挟まないように注意しながら取り付けてください。

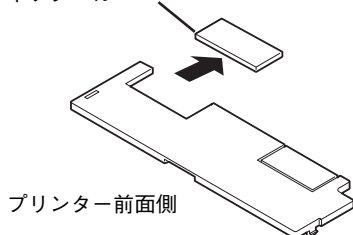


- 15 「PUSH閉じる」と記されたラベル部（2か所）を押してハクリユニットを確実に閉じます。



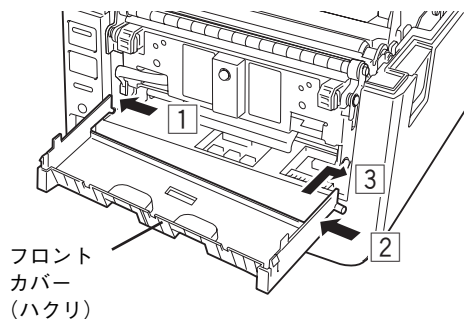
- 16 コネクターカバーのハクリユニット用の溝を手ではぎ取り、ケーブル用穴を作ります。

コネクターカバー

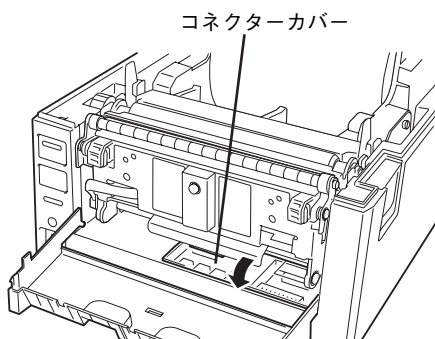


- 17 フロントカバー（ハクリ）を取り付けます。

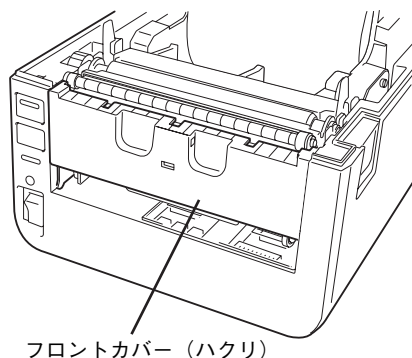
左側突起部をプリンターの穴に差し、右側の根元を内側に押しながら右側の突起部を差し込みます。



- 18 コネクターカバーを取り付けます。

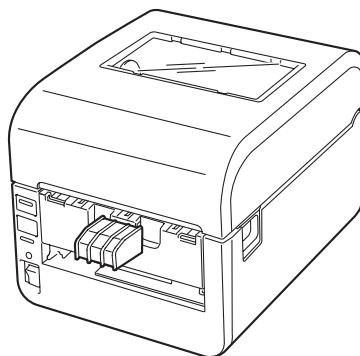


- 19 フロントカバー（ハクリ）を閉じます。



- 20 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。

- 21 フックを引っ掛けてハクリガイドを取り付けます。



✓ チェック

使用する用紙によっては剥離されたラベルがはがしにくくなる場合があります。その場合は、取り外してください。

以上で取り付けは完了です。実際に使用する前に、リボンを使った印刷をする場合は「7 リボンを取り付ける」(32ページ)を参照して準備を済ませておいてください。

なお、取り外しは逆の手順で外してください。

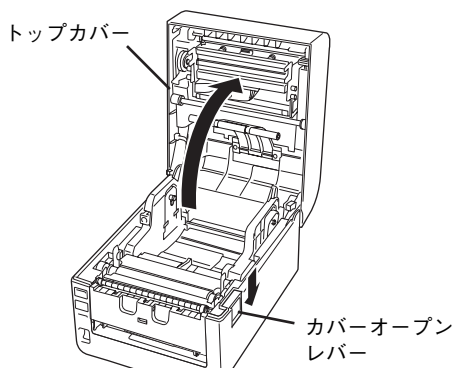
用紙のセット

用紙をハクリモジュールに通します。用紙のセットについては1章の「8 用紙をセットする」(35ページ)を参照してください。用紙の通し方にはハクリ印刷の場合と連続印刷の場合があります。ハクリガイドを装着している場合は、取り外してからセットしてください。

ハクリ印刷の場合

- ① プリンターの電源スイッチを押して、電源をONにします。

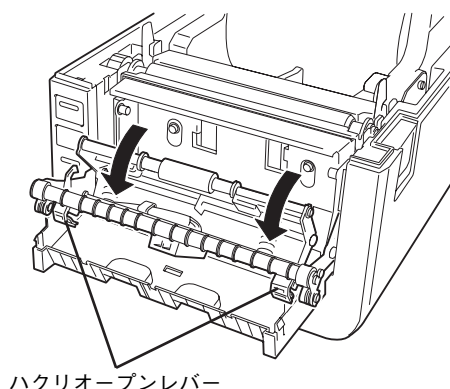
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



- ③ 用紙先端から何枚かのラベルをはがし、台紙だけの部分を約200mm用意します。

- ④ フロントカバー（ハクリ）を開きます。

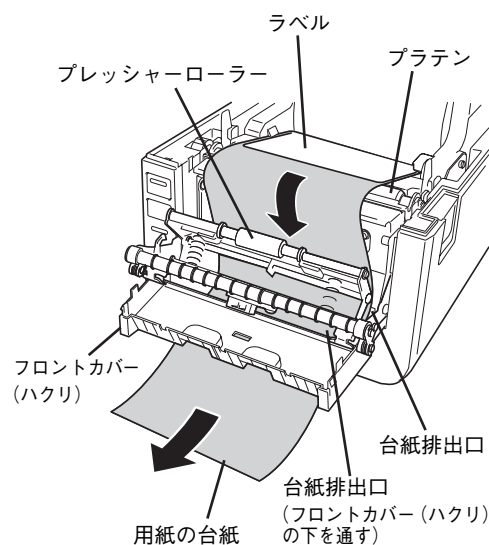
- ⑤ ハクリオープンレバーを押してハクリユニットを開きます。



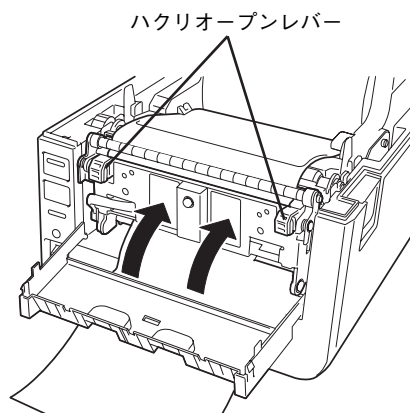
- ⑥ 用紙をプレッシャーローラーと台紙排出口の間に通します。

- ⑦ フロントカバー（ハクリ）の下の台紙排出口に通します。

このときラベルがプラテンの上にくるようにセットします。

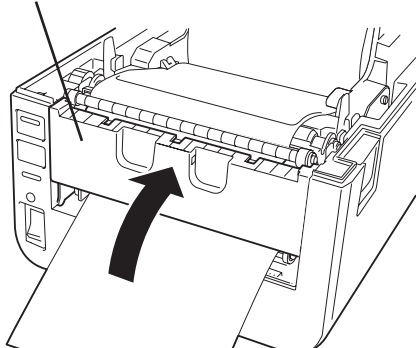


- ⑧ 「PUSH閉じる」と記されたラベル部（2か所）を押してハクリユニットを確実に閉じます。



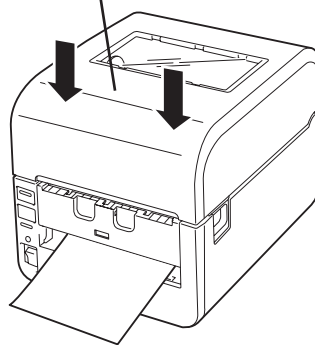
- ⑨ フロントカバー（ハクリ）を閉じます。

フロントカバー（ハクリ）



- ⑩ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。

トップカバー



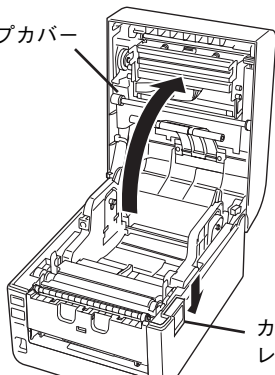
以上で用紙のセットは完了です。

連続印刷の場合

- ① プリンターの電源スイッチを押して、電源をONにします。

- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

トップカバー

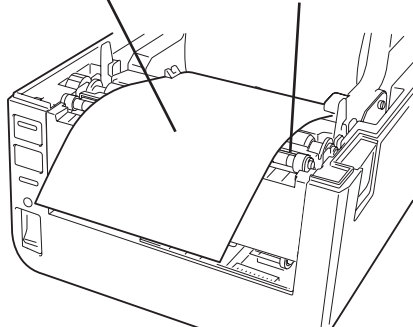


カバーオープン
レバー

- ③ 用紙をサポートローラーの上に通します。

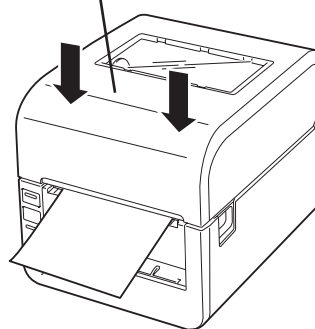
用紙

サポートローラー



- ④ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。

トップカバー



以上で用紙のセットは完了です。

プリンターの設定

次の方法でプリンターの設定を変更してください。

印刷方法には、ハクリ印刷をする方法と連続印刷をする方法があります。また、それぞれ設定には「プリンタードライバー設定」を使用する方法と使用しない方法があります。

ここでは例として、熱転写方式でラベルに印刷する方法について説明します。ハクリガイドを装着している場合は、取り外してから設定してください。

ハクリ印刷をする

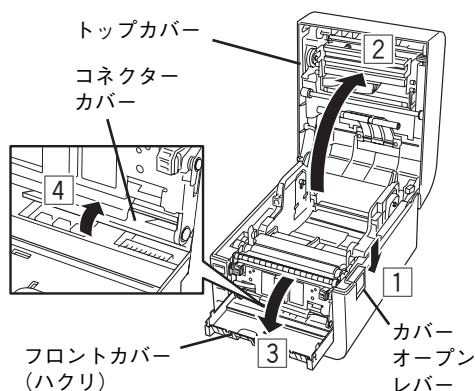


- プリンターを動作させる際は1章の「8 用紙をセットする」(35ページ)を参照して必ず用紙をセットしてください。
- リストバンドはハクリ印刷をすることはできません。

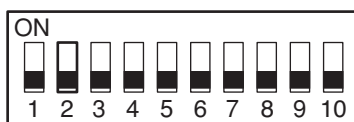
プリンタードライバーの設定を使用する場合

① 電源をOFFにします。

② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（ハクリ）を開き、コネクタカバーを取り外します。



③ 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW2をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。



④ コネクタカバーを取り付けます。

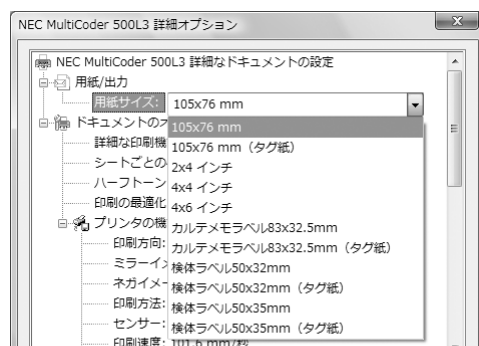
⑤ プリンターの電源スイッチをONにします。

⑥ 用紙をセットします。

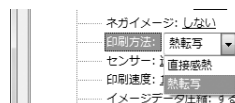
⑦ フロントカバー（ハクリ）を閉じます。

⑧ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

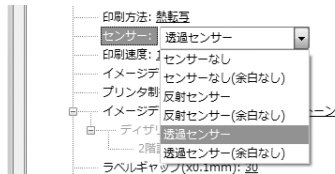
⑨ プリンタードライバーの「用紙サイズ」を使用する用紙サイズにします。



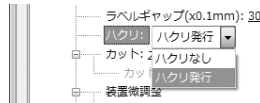
⑩ プリンタードライバーの「印刷方式」を「熱転写」にします。



- ⑪ プリンタードライバーの「[センサー]」を「透過センサー」にします。

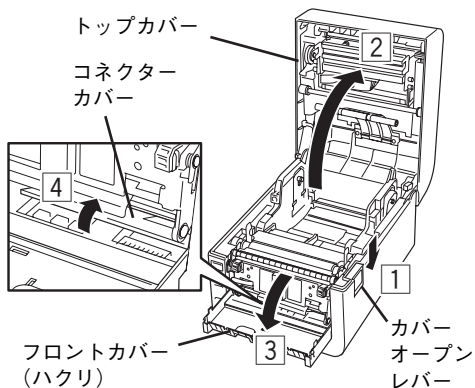


- ⑫ プリンタードライバーの「[ハクリ]」を「ハクリ発行」に設定し、コンピュータから印刷を行います。

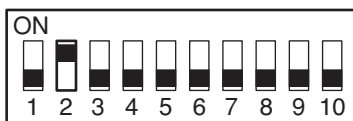


プリンタードライバーの設定を使用しない場合

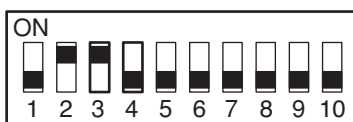
- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（ハクリ）を開き、コネクターカバーを取り外します。



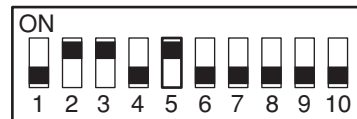
- ③ DIP SW2をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



- ④ DIP SW3をON、SW4をOFFにしてハクリ印刷モードにします。



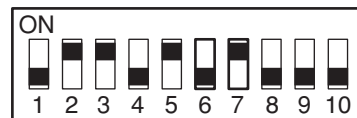
- ⑤ DIP SW5をONにして熱転写方式にします。



✓チェック

MultiCoder 500L3Dタイプ (感熱タイプ) は ON/OFFの機能を無視して感熱方式で動作します。

- ⑥ DIP SW6をOFF、SW7をONにして透過センサーにします。



- ⑦ コネクターカバーを取り付けます。
- ⑧ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑨ 用紙をセットします。
- ⑩ フロントカバー（ハクリ）を閉じます。
- ⑪ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- ⑫ コンピューターから印刷を行います。

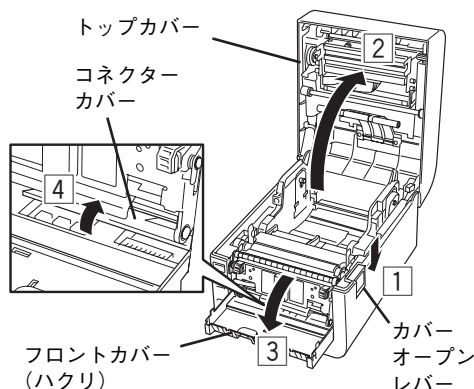
連続印刷をする

連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。

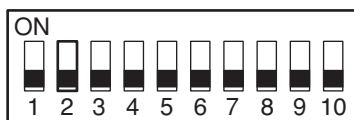
ここでは例として、感熱方式で用紙裏側に黒マークが印刷されているタグ紙を連続印刷する方法について説明します。また、リストバンドは連続印刷でのみ行えます。

プリンタードライバーの設定を使用する場合

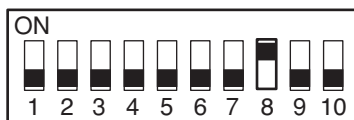
- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（ハクリ）を開き、コネクターカバーを取り外します。



- ③ DIP SW2をOFFにしてプリンタードライバーの設定を有効にします。



- ④ DIP SW8をONにして自動カット位置送り機能を無効にします。

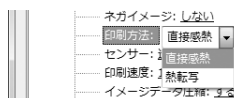


自動カット位置送り機能（DIP SW8）をOFFにして使用することはできません。OFFで使った場合、紙づまりになることがあります。

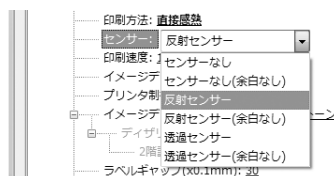
- ⑤ コネクターカバーを取り付けます。
- ⑥ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑦ 用紙をセットします。
- ⑧ フロントカバー（ハクリ）を閉じます。
- ⑨ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- ⑩ プリンタードライバーの「用紙サイズ」を使用する用紙サイズにします。



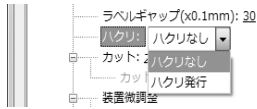
- ⑪ プリンタードライバーの「印刷方式」を「直接感熱」にします。



- ⑫ プリンタードライバーの「センサー」を「反射センサー」にします。

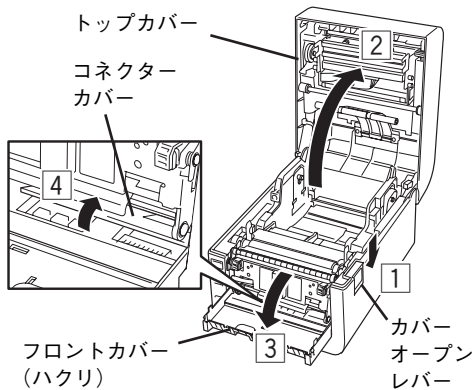


- 13 プリンタードライバーの「ハクリ」を「ハクリなし」にしてコンピューターから印刷を行います。

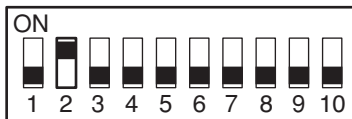


プリンタードライバーの設定を使用しない場合

- 1 電源をOFFにします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバー（ハクリ）を開き、コネクターカバーを取り外します。



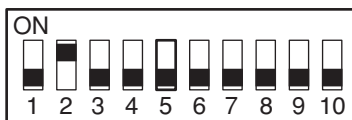
- 3 DIP SW2をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。



- 4 DIP SW3と4をOFFにして連続印刷モードにします。



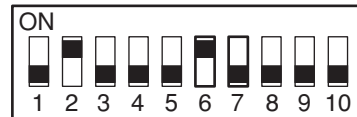
- 5 DIP SW5をOFFにして感熱方式にします。



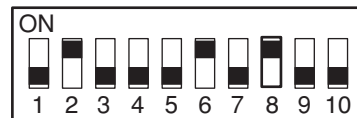
✓チェック

MultiCoder 500L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を見捨て感熱方式で動作します。

- 6 DIP SW6をON、SW7をOFFにして反射センサーにします。



- 7 DIP SW8をONにして自動カット位置送り機能を無効にします。



✓チェック

自動カット位置送り機能（DIP SW8）をOFFにして使用することはできません。OFFで使った場合、紙づまりになることがあります。

- 8 コネクターカバーを取り付けます。
- 9 プリンターの電源スイッチをONにします。
- 10 用紙をセットします。
- 11 フロントカバー（ハクリ）を閉じます。
- 12 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- 13 コンピューターから印刷を行います。

プリントサーバー

LANボード

1台のプリンターを複数のユーザーで共有することができるネットワークプリンターとして利用するときにプリンターのサーバーとなる製品です。

- 品名：PR-NP-08

無線+LANボード

1台のプリンターを複数のユーザーで共有することができるネットワークプリンターとして利用するときにプリンターのサーバーとなる製品です。

プリンターとコンピューターを無線LANまたは有線LANで通信することができます。

- 品名：PR-NP-09

取り付け方法は、プリンターまたはプリントサーバー専用の箱に同梱されているセットアップガイドをご覧ください。

7章

日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品と消耗部品の交換、およびプリンターの清掃について説明します。清掃はプリンターを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

清 掃

いつもきれいな印刷が得られるように、定期的（用紙またはリボン交換ごと）に本プリンターの清掃を行ってください。

特にサーマルヘッドやプラテンには汚れがつきやすいので、次の手順で清掃してください。サーマルヘッドの清掃が不十分な場合にはサーマルヘッドの寿命が短くなるおそれがあります。



警告

水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないでください。内部に水が入ると、火災・感電のおそれがあります



注意

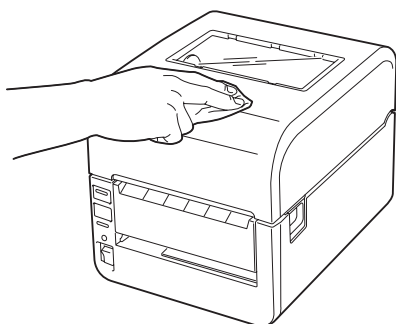
- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類で拭かないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

カバーを清掃する

① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

② カバーの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。

特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



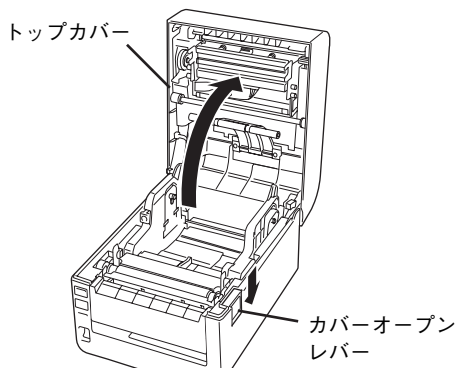
重要

シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カバーの変色の原因となります。また、プラスチック部品の破損の原因となります。

サーマルヘッド／リボンローラー／プラテンを清掃する

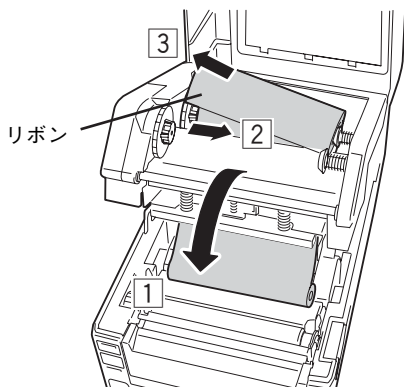
① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

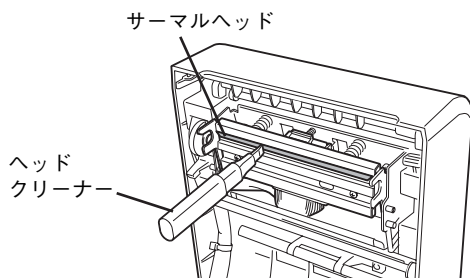


③ 用紙がセットされているときは用紙を取り除きます。

④ <MultiCoder 500L3T / 500L6Tタイプのみ>
リボンがセットされているときは、リボンを取り外します。

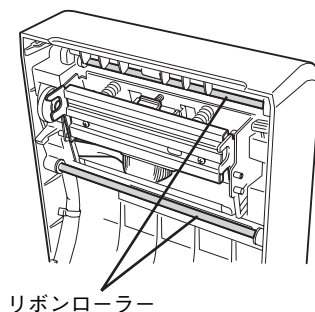


⑤ サーマルヘッドの発熱部（網掛け部分）の汚れは、装置に添付のヘッドクリーナーで拭き取ります。その後、静電気の起きない乾いた布などで乾拭きをしてください。

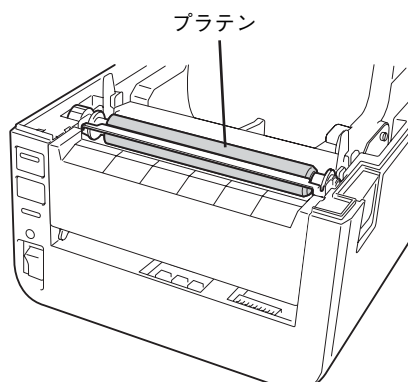


ヘッドクリーナーはお買い上げの販売店へご注文ください（17ページ参照）。

⑥ <MultiCoder 500L3T / 500L6Tタイプのみ>
リボンローラーに付着しているリボンの汚れを柔らかい布で拭き取ります。



⑦ プラテンの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。

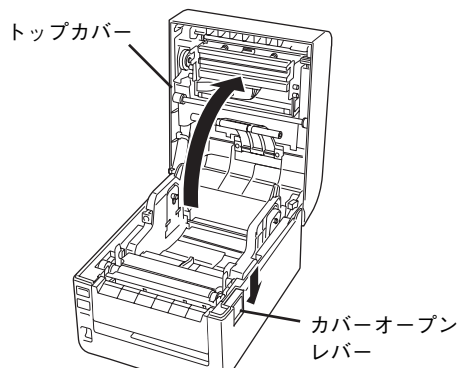


- サーマルヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印刷不良や故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印刷不良や故障の原因となります。
- サーマルヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、サーマルヘッドが破損することがあります。

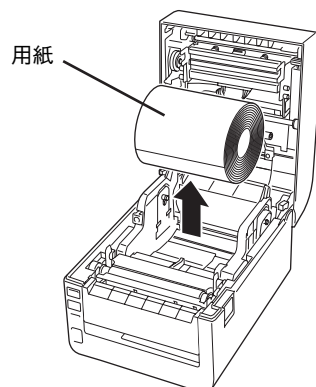
用紙収納部を清掃する

① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

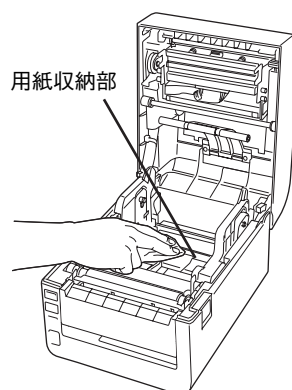
② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



③ 用紙を取り出します。



④ 用紙収納部の紙粉やホコリは、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



ハクリモジュールを清掃する

ハクリモジュールはローラー部分とセンサーを清掃します。

⚠ 注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

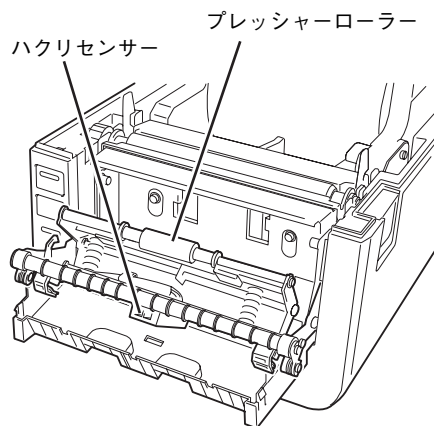
② トップカバー、フロントカバー（ハクリ）、ハクリユニットの順に開きます。

詳しい手順は6章の「用紙のセット」（174ページ）を参照してください。

③ 用紙を取り除きます。

④ プレッシャーローラーを無水エタノールで湿らせた柔らかい布または綿棒で拭きます。

⑤ ハクリセンサーをチェックして紙粉やほこりが付着している場合は、市販のOAクリーナーで取り除きます。



⑥ ハクリユニットを閉じてからプリンターを元の状態に戻します。

消耗品の交換

リボンや用紙など使用する回数が多い用品の交換手順についての説明は1章の「7 リボンを取り付ける」(32ページ) や1章の「8 用紙をセットする」(35ページ) を参照してください。

消耗部品の交換

消耗部品の交換手順について説明します。

サーマルヘッドを交換する

プリンター操作部の7セグLED “■” が表示された場合は、プリンターのサーマルヘッドに異常が起きたか、寿命になったことを示します（サーマルヘッドは消耗部品です）。

お買い求めの販売店またはNECサービス窓口に連絡して新しいサーマルヘッドブロックを購入してください。

型番 PR-T500L3-TH01：MultiCoder 500L3シリーズ用

PR-T500L6-TH01：MultiCoder 500L6シリーズ用

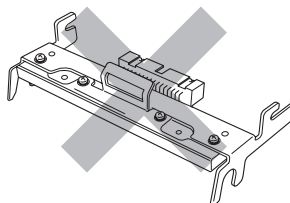
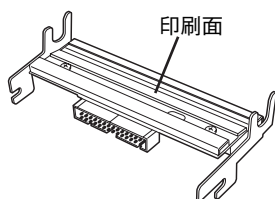
説明のイラストはPR-T500L3-TH01ですがPR-T500L6-TH01も同じです。

注意

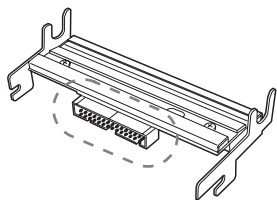
- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で交換すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

重要

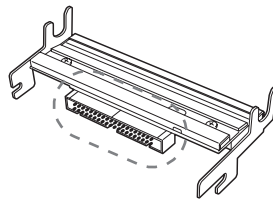
- サーマルヘッドは静電気によって故障するおそれがあります。故障を未然に防止するため、サーマルヘッドに触れる前に身近な金属（アルミサッシやドアのノブなど）に手を触れて静電気を取り除いてから扱ってください。
- サーマルヘッドの印刷面に硬いものを当てないでください。傷ついて印刷ができなくなったり破損したりします。
- 新旧のサーマルヘッドを机の上などに置くときは、印刷面を上に向けて置いてください。印刷面を下に向けておくと、印刷品質の低下の原因となったり、印刷できなくなったりすることがあります。



PR-T500L3-TH01 :
MultiCoder 500L3シリーズ用



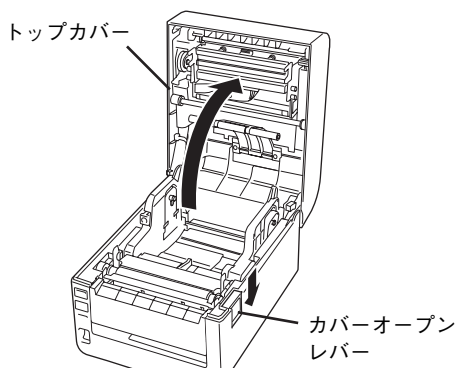
PR-T500L6-TH01 :
MultiCoder 500L6シリーズ用



PR-T500L3-TH01 と PR-T500L6-TH01 ではコネクターのピン数が異なります。

次の手順で交換します。

- ① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

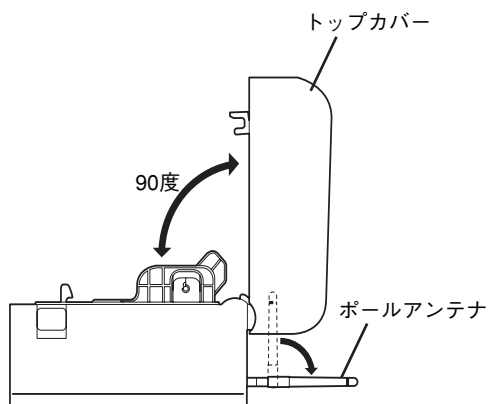


重要

- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

- ③ リボンがセットされている場合は、いったん取り外します。

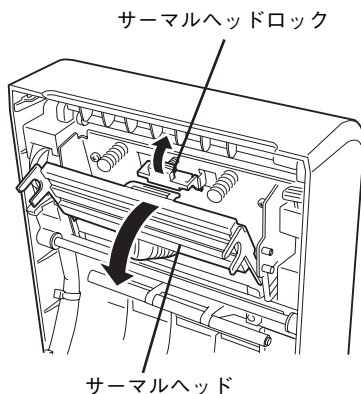
- ④ トップカバーとリボンフレームユニットの角度が90度になっている状態で取り外します。



重要

- 手前に傾けた場合、サーマルヘッドが自然に落下しますのでご注意ください。
- 無線LANを装備している場合は、ポールアンテナを倒し、トップカバーを開けたときに、当たらないようにしてください。

- ⑤ サーマルヘッドロックを奥側に押してサーマルヘッドを外します。



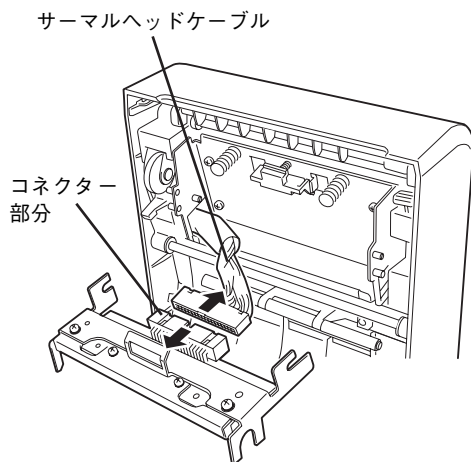
- ⑥ サーマルヘッドを持ちながらサーマルヘッドケーブルを抜きます。

⚠ 注意

サーマルヘッドを持つときは、凹凸の部分があるため、手を切らないよう注意しながら取り扱ってください。

🔑 重要

ケーブルを持たずにサーマルヘッドを引っぱりながら外そうとすると、ケーブルが断線してしまいます。コネクタ部分を持ってケーブルを外してください。



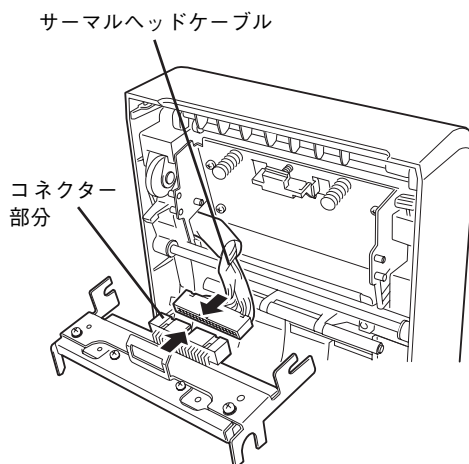
- ⑦ 新しいサーマルヘッドを持ち、サーマルヘッドケーブルを根元まで確実に差し込みます。

⚠ 注意

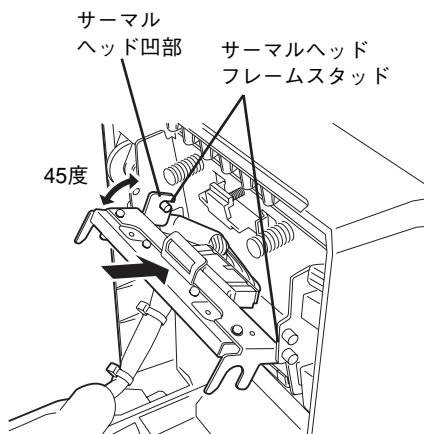
サーマルヘッドにケーブルを確実に差し込んでください。ケーブルを逆向きに差したり、中途半端に接続したままプリンターの電源をONにすると、サーマルヘッドの破損の原因となったり、印刷が正しくできなかったりするおそれがあります。

🔑 重要

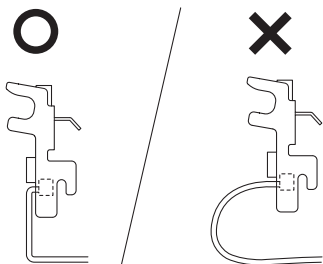
サーマルヘッドの印刷面には触らないように注意してください。印刷不良の原因となります。



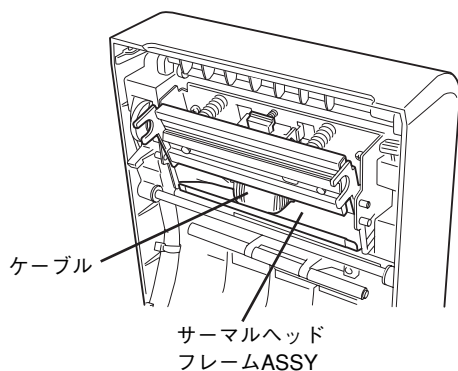
- ⑧ サーマルヘッドを45度にして持ちながら凹部をサーマルヘッドフレームスタッドに差し込みます。



ケーブルがサーマルヘッドフレームASSYの中に収まっていることを確認してください。もし、収まっていない場合やふくらんでいる場合は、手で押して平らになるように形作りま。ふくらんでいる場合は、リボンに接触し、印刷に支障をきたすおそれがあります。

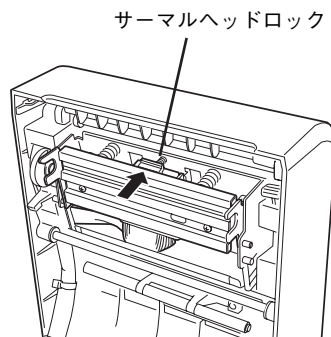


横から見たT/Hケーブル図



- ⑨ サーマルヘッドを向こう側に押して取り付けます。

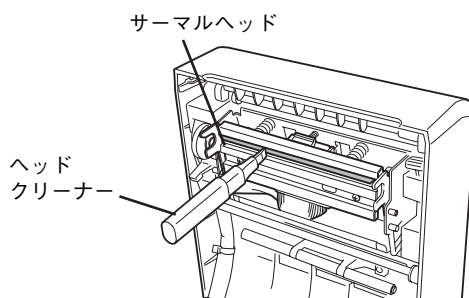
サーマルヘッドロックが「パチン」と音がするまで押します。



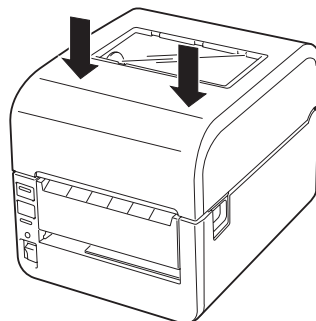
- ⑩ サーマルヘッドの発熱部（網かけ部）の汚れを装置に添付のヘッドクリーナーでふき取ります。その後、静電気の起きない乾いた布などで乾拭きをしてください。



ヘッドクリーナーはお買い上げの販売店へご注文ください（17ページ参照）。



- ⑪ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。



以上で交換は完了です。

プラテンブロックを交換する

ひんぱんに用紙づまりが起きたり、印刷位置を微調整したにもかかわらずに印刷するたびに印刷位置がずれたりする場合は、プラテンブロックが寿命になったことを示します（プラテンブロックは消耗部品です）。

お買い求めの販売店またはNECサービス窓口にご連絡して新しいプラテンブロックを購入してください。

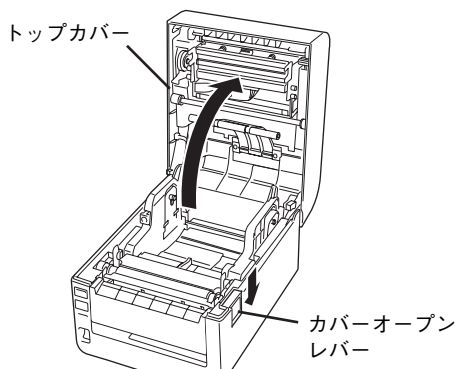
型番：PR-T500L-PB01

⚠ 注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で交換すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

- ① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



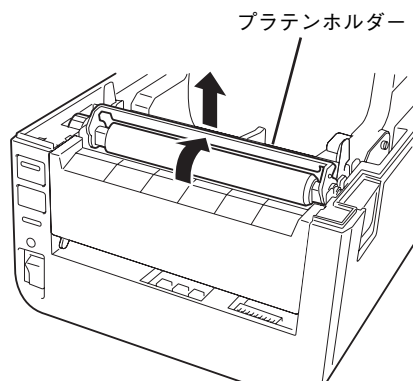
🔑 重要

- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

- ③ 用紙を取り除きます。

- ④ カッターユニットを装着している場合は取り外します（「カッターモジュール（取り付け／取り外し手順）」（161ページ）参照）。ハクリユニットを装着している場合は開きます。

- ⑤ プラテンホルダーを垂直に立ててプラテンを上を持ち上げます。

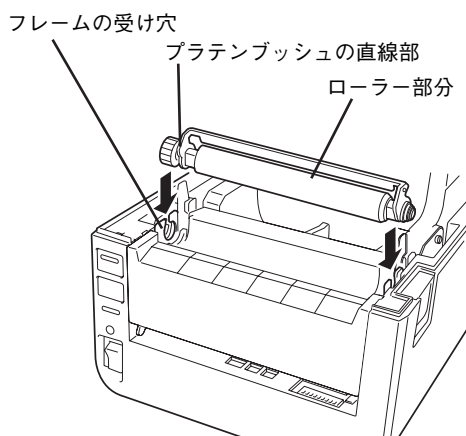


⑥ 新しいプラテンに交換します。

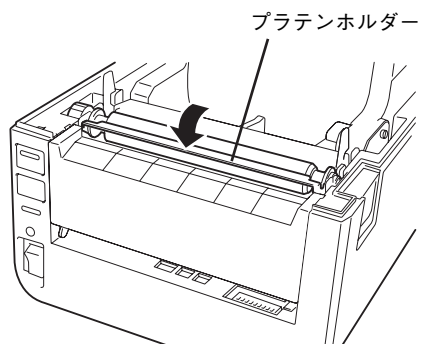
プラテンブッシュの直線部が手前を向くようにプラテンを持ち、プラテンホルダーを立てたままプラテンをフレームの受け穴に垂直に差し込みます。

重要

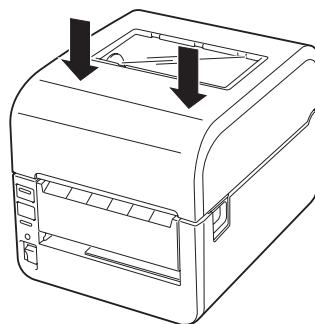
プラテンブロックのローラー部分には触れないように注意してください。印刷不良の原因となります。



⑦ プラテンホルダーを「パチン」と音がするまで手前に水平に倒します。



⑧ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。



以上で交換は完了です。

8章

故障かな？と思ったら

ここでは、プリンターにエラーが発生した場合の対処方法について説明します。

操作部のアラームランプが点灯しているときは、この後の「エラー表示が出ているときは」（194ページ）の表をご覧ください。エラー表示が出ていないときは、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（196ページ）の表をご覧ください。

処置が終了したら、必要に応じ、1章の「10 テスト印刷をする」（45ページ）に従ってプリンターが正しく動作することを確認してください。表に示された処置を行ってもプリンターが回復しない場合は、お近くの販売店あるいは保守サービス会社にご相談ください。

エラー表示が出ているときは

プリンターに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になった場合は、主なエラーであれば7セグLEDの表示からその原因を知ることができます。

本プリンターのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです。処置を行っても回復しない場合はプリンターの故障が考えられます。お近くの販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。

なお、リモートパネルでブザー設定を有効にしている場合はブザーが「ピッピッピッ」と3回鳴るエラーと電源をOFFにするまでブザーが鳴り続けるエラーがあります。ブザーを鳴らせないように設定したい場合は、装置に添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルを参照してください。

エラー表示一覧（1 / 2）

7 セグ表示	ブザー	原 因	処 置
	3回鳴る	カバーが開いています。	カバーを確実に閉じてください。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
	3回鳴る	紙づまりが発生しています。	つまった用紙を取り除いて用紙を正しくセットします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		〈透過センサー選択時〉 ラベルのギャップが検出でませんでした。	ラベルギャップのある用紙をセットします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		〈反射センサー選択時〉 黒マークが検出でませんでした。	用紙の右側の裏側に黒マークのある用紙をセットします。
		透過センサーまたは反射センサーのしきい値の設定が用紙に合いません。	センサーのしきい値を正しく設定してください。（→47ページ参照）
	3回鳴る	用紙がありません。	新しい用紙をセットします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
	3回鳴る	〈印刷方式が熱転写方式のとき〉 リボンを使い切っています。 リボンが途中で切れています。	リボンを交換します。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		〈印刷方式が熱転写方式のとき〉 リボンにたるみがあります。	リボンを張った状態にします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		リボンモーター用のセンサーが故障しています。	お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口ご連絡してください。
	3回鳴る	サーマルヘッドの発熱体の一部が断線しています。	ONLINEスイッチを押すと、そのまま印刷を続けることができますが、正しく印刷されないおそれがあります。早急にサーマルヘッドを交換することをお勧めします（7章の「サーマルヘッドを交換する」（186ページ）参照）。
	3回鳴る	ハクリ印刷で一定量フィードしても用紙を一度も検出でませんでした。	つまった用紙を取り除いて用紙を正しくセットし、カバーを閉じてください。
	3回鳴る	正しくない印刷コマンドを受信しました。	コンピューターで印刷をキャンセルしてください。 ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。

エラー表示一覧（2 / 2）

7 セグ表示	ブザー	原 因	処 置
	鳴り続け	カッターユニット、ハクリユニット両方の接続ケーブルが接続されています。	プリンターの電源をOFFにしてからどちらか一方のユニットの接続ケーブルのみプリンターに接続してください。
		電源ONの状態でユニットの接続ケーブルを抜き差ししました。	プリンターの電源をOFFにしてからユニットの接続ケーブルを接続してください。
	3回鳴る	サーマルヘッドの温度が使用範囲の上限に達しました。	しばらくお待ちください。温度が使用範囲内まで下がると自動的に印刷を再開します。 温度が下がった後、再開した印字位置から約20mmの部分の印刷品位が損なわれることがあります。
	3回鳴る	センサーのしきい値調整中にエラーが発生しました。	用紙を正しくセットし直して調整し直します。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
	鳴り続け	プリンターにエラーが発生しました。	プリンターの電源をOFFにして、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口に連絡してください。

エラー表示が出ていないのにおかしいときは

エラー表示が出ていないのに、プリンターが思うように動作しなかったり印刷の状態が悪くなかったりしたときは、次の表でプリンターの症状に当てはまる項目を探し、確認作業を行ったうえでそれぞれの処置方法に従ってください。

プリンターの症状一覧（１ / ２）

現 象	原 因	処 置
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
	停電がコンセントまで電気がきていない。	他の電気器具で電気がきているか確認してください。電気がきていない場合は、最寄りの電力会社にご相談ください。
	建物のヒューズやブレーカーが切れている。	ヒューズやブレーカーを点検してください。 電源スイッチをOFFにした後は、約5秒ほど待ってからONにしてください。
用紙が正しく送られない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットし直してください。
用紙に印刷されない。	感熱印刷方式を選択しているのに、感熱用紙がセットされていない。	感熱用紙をセットしてください。
	熱転写印刷方式を選択しているのに、リボンがセットされていない。	リボンをセットしてください。
	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。
	リボンが正しくセットされていない。	リボンを正しくセットしてください。
	コンピュータから印刷データが送られていない。	印刷データを送信してください。
印刷がかすれる。	NEC指定の用紙を使用していない。	NEC指定の用紙に交換してください。
	NEC指定のリボンを使用していない。	NEC指定のリボンに交換してください。
	印刷濃度が薄い設定になっている。	3章の「印刷濃度推奨設定」（110ページ）を参照して、印刷濃度を調整してください。
	印刷の設定が正しくされていない。	印刷設定を見直してください（→3章の「印刷濃度推奨設定」（110ページ）参照）。
印刷結果がつぶれている。	印刷の設定が正しくされていない。	印刷設定を見直してください（→3章の「印刷濃度推奨設定」（110ページ）参照）。
印刷が汚れる。	感熱用紙を熱転写方法の指定で使用している。	使用したい印刷方式に従ってリボンと用紙をセットしてください。（→32ページ、35ページ参照）
ドット抜けする。	サーマルヘッドが汚れている。	サーマルヘッドを清掃してください。（→183ページ参照）
きれいにカットされない。 （カッターモジュール装着時）	カッターの刃が汚れている。	お買い求めの販売店または添付の「NEC サービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口に連絡してください。
うまくラベルを剥離できない。 （ハクリモジュール装着時）	使用している用紙の種類・サイズに対する適切な設定をしていない。	プリンタードライバーまたはリモートパネルで正しく設定してください。

プリンターの症状一覧（2 / 2）

現 象	原 因	処 置
DIP SWの設定どおりに動作しない。	プリンタードライバーの設定を有効にしている。	DIP SW2でプリンタードライバーとDIP SWの設定のどちらを有効にするかを設定することができます（OFFでプリンタードライバー設定が有効）。
調整ボリュームの設定が反映されない。	リモートパネルの設定を有効にしている。	DIP SW9でリモートパネルとDIP SWの設定のどちらを有効にするかを設定することができます（ONで操作部ボリューム設定が有効）。
印刷データを受信しない。 プラグ・アンド・プレイでプリンターが認識されない。	DIP SWの設定で有効にしているインターフェースと異なるインターフェースで通信しようとしている。	DIP SW10で本体のUSBポートとLANボードのどちらのインターフェースを有効にするかを設定することができます（OFFでLANインターフェースが有効）。
センサーしきい値調整機能が働かない。	DIP SWの設定で用紙頭出しセンサーの選択を「センサー無視」にしている。	DIP SW6とSW7でセンサーを選択してください。

プリンタードライバーに関する問題一覧

現 象	原 因	処 置
プリンタードライバーの設定ができない。	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
プリンタードライバーに使用したい用紙サイズが登録されていない。	Windows OSおよびプリンタードライバーが用意した用紙サイズ以外の用紙を使用したい場合は、ユーザー定義サイズを設定することができます。	ユーザー定義サイズの設定方法については、2章の「ユーザー定義用紙サイズの登録」（71ページ）をご覧ください。
用紙サイズのユーザー定義サイズが設定できない。	Windows OSおよびプリンタードライバーが用意した用紙サイズ以外の用紙を使用したい場合は、ユーザー定義サイズを設定することができます。	ユーザー定義サイズの設定方法については、2章の「ユーザー定義用紙サイズの登録」（71ページ）をご覧ください。
印刷されない。	ポートの設定が正しくない。	接続を確認し、ポートの設定を確認してください。
	プリンターでエラーが発生している。	ONLINE状態でないと印刷できません。エラーを解除してオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。

リモートパネルに関する問題一覧（1 / 2）

現 象	原 因	処 置
リモートパネルが起動しない。	プリンターフォルダーに必要なプリンタードライバーが登録されていません。	プリンタードライバーをインストールしてください。
	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。

リモートパネルに関する問題一覧（ 2 / 2 ）

現 象	原 因	処 置
リモートパネルでプリンターへの設定ができない。	プリンターに対するユーザー権限がありません。	コンピューターの管理者に権限を確認してください。
	プリンターがポーズ状態です（ディセレクト状態）。	ONLINE状態でないプリンターの設定ができません。ONLINEスイッチを押してください。
	プリンターが印刷中です。	印刷中はプリンターに設定できません。印刷終了をお待ちください。
	プリンターと接続されていません。	USBケーブル、LANケーブルでコンピューターとプリンターを接続し、プリンタードライバのポートを設定してください。
リモートパネルでプリンターから設定値を読み込むことができない。	プリンターと接続されていません。	USBケーブル、LANケーブルでコンピューターとプリンターを接続し、プリンタードライバのポートを設定してください。
	プリンターが印刷中です。	印刷中はプリンターに設定できません。印刷終了をお待ちください。

PrinterSignalStationに関する問題一覧

現 象	原 因	処 置
PrinterSignalStationがインストールできない。	PrinterSignalStation が対応していないOSにはインストールできません。	PrinterSignalStationのサポートOSは、Windows Vista/XP/2000、およびWindows Server 2003です。ご使用になっているOSをご確認ください。
	インストール先のハードディスクの空き容量がありません。	PrinterSignalStationは約2MBの容量を使用します。2MB以上の空き容量があるハードディスクにインストールしてください。
PrinterSignalStationが起動しない。	PrinterSignalStationが正しくインストールされていません。	PrinterSignalStationが正しくインストールされていない可能性があります。いったんアンインストールし、再度インストールしてください。
PrinterSignalStationが自動起動してしまう／自動起動されない。	PrinterSignalStationが自動起動する、または自動起動しないに設定されています。	[環境設定] ダイアログボックスの [通知の設定] シートで、[ユーザーログオン時に通知を開始する] の設定をご確認ください。 チェックされていない場合は、OSにログオンしても起動されません。
起動時に「PrinterSignalServiceが開始されていません。」と表示され、終了してしまう。	プリンターが印刷中です。	1. コンピューターを再起動し、PrinterSignalStationが正しく起動するかをご確認ください。 2. PrinterSignalStationをいったんアンインストールし、再度インストールし直すことで正しく起動するかをご確認ください。
上記以外	—	装置に添付のソフトウェアCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルを参照してください。

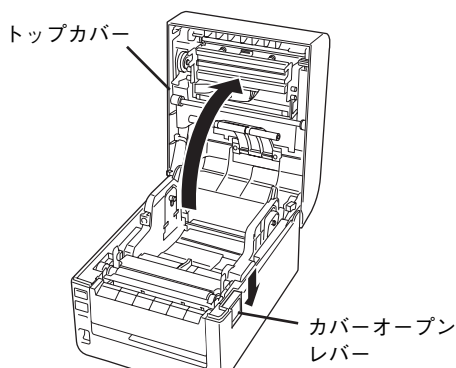
用紙がつまったとき

本プリンターの内部で用紙がつまったときは、次の手順に従って取り除いてください。

⚠ 注意

- トップカバーは後方へ倒すように全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- カッターモジュールにはカッター（刃）が組み込まれています。たいへん危険ですので、用紙がつまったときには電源をOFFにしてお買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

- ① カバーオープンレバーを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にします。



- ② つまっている用紙を取り除きます。

カッターユニットを装着している場合は、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口に連絡してください（お客様ご自身で取り除かないでください）。

- ③ 用紙をセットし直します。

1章の「8 用紙をセットする」（35ページ）を参照してください。

🔑 重要

- サーマルヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印刷不良や故障の原因になります。
- サーマルヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、サーマルヘッドが破損するおそれがあります。

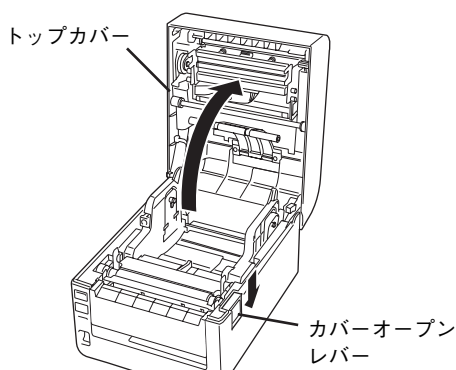
リボンが途中で切れたとき

リボンが途中で切れたときは、次の手順で貼り合わせてください（これは応急処置の場合です）。
新しいリボンがあるときは、リボンを交換してください（1章の「7 リボンを取り付ける」（32ページ）を参照）。

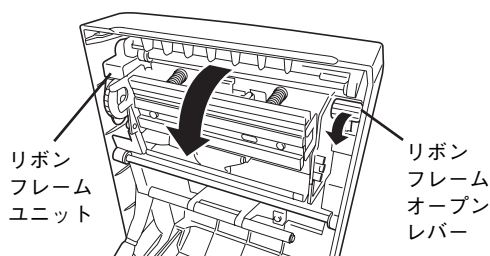
⚠ 注意

- トップカバーは後方へ倒すように全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

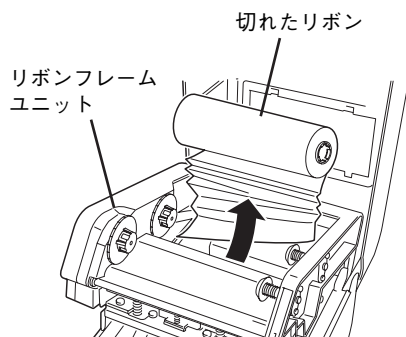
- ① カバーオープンレバーを押し、トップカバーを開きます。



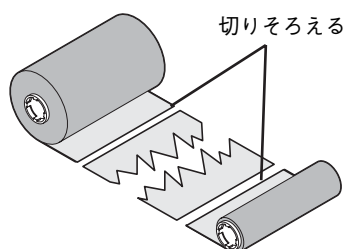
- ② リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



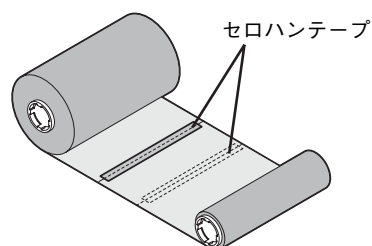
- ③ 切れたリボンを取り外します。



- ④ 切れた部分をきれいに切りそろえます。



- ⑤ 左右がズレないようにリボンを重ね合わせ、合わせ目をセロハンテープでしっかり止めます。



- ⑥ 使用済み側の方にリボンを2～3周ほど巻き取り、ガイドホイールとドライブホイールの間にセットし直します。

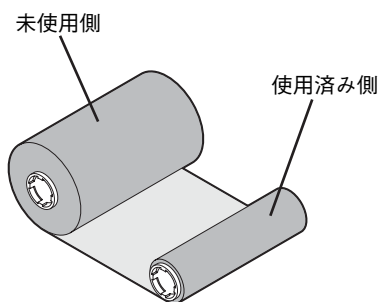
1章の「7 リボンを取り付ける」（32ページ）を参照してください。

リボンの巻きが乱れたとき

リボンの保管が悪かったり、リボンの取り付け時にリボンを落として巻きが乱れたときは、次の手順で巻き戻してください（これは応急処置の場合です）。

新しいリボンがあるときは、リボンを交換してください（1章の「7 リボンを取り付ける」（32ページ）を参照）。

- ① 二人でリボンの両側を持ち、リボンを張った状態で左右がズレないように巻き戻します。

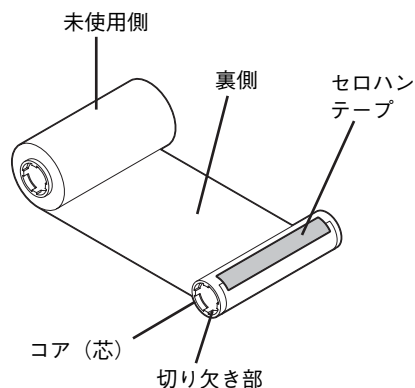


重要

リボンを強く引っ張らないでください。
必要以上に強く引っ張ると、リボンが切れます。

- ② どうしても上手に巻き戻せないときは、使用済み側のリボンを切断します。

- ③ 使用済み側のコア（芯）に未使用側のリボンをセロハンテープでしっかり貼り付け、2～3周ほど巻き取ります。



重要

リボンはコア（芯）と水平になるよう貼り付けてください。斜めに貼り付けると、リボンにシワが発生する原因となります。

- ④ リボンをセットし直します。

1章の「7 リボンを取り付ける」（32ページ）を参照してください。

保証および修理の依頼について

お客様登録の方法

お客様登録をして、電話問い合わせの際に必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる時に必要な「ログインID」を取得してください。ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

ご登録については装置に添付のNECサービス網一覧表を参照してください。

保証について

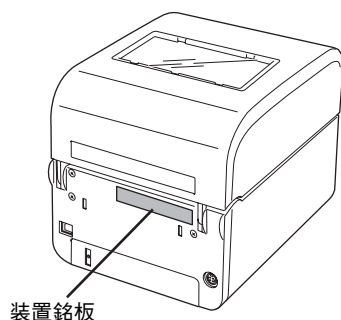
本製品には『保証書』が付いてます。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、この後の「保守サービスについて」(203ページ)をご覧ください。プリンターをお買い求めになった販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。

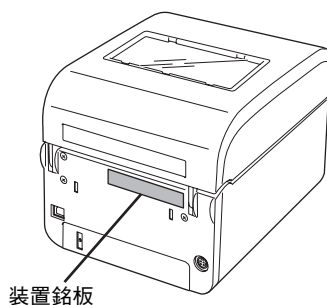


チェック

本体の背面に、製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一、プリンターが保証期間に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご相談ください。



MultiCoder 500L3Tタイプ
MultiCoder 500L6Tタイプ



MultiCoder 500L3Dタイプ

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

- ① 電源プラグ、電源コードおよびインターフェースケーブル（無線LANの場合を除く）などが正しく接続されていることを確認します。
- ② リボンや用紙の取り付けが確実に行われていることを確認します。
- ③ 「エラー表示が出ているときは」（194ページ）、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（196ページ）を参照し、該当する症状があれば記載されている処置を行います。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、この後の「保守サービスについて」をご覧ください。また、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し込みください。



チェック

- 問い合わせをする際、7セグLEDの表示内容やランプの状態（点灯または点滅）をご確認ください。故障時の7セグLEDの表示、ランプの表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
- プリンターをお持ち込みいただくときは「プリンターを運搬するときは」（205ページ）の手順に従ってプリンターを梱包してください。

保守サービスについて

プリンターの問題はプリンター自身に起因するものばかりでなくパソコンなど関連商品にも起因する場合があります。マニュアルの記載どおり処置を行っても、なお問題が解決しない場合はプリンターに添付のNECサービス網一覧表をご覧ください。保守サービスをご利用ください。

プリンターの寿命について

本プリンターの製品寿命は使用年数5年です。その後も継続して使用される場合は、必ず販売店またはサービス窓口にご相談ください（損耗状態によっては継続して使用できない場合があります）。なおサーマルヘッドとプラテンプロックは消耗部品（有償）です。

補修用部品について

本プリンターの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

マニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお買い求めください。ユーザーズマニュアル（コピー版）を再度購入することができます。

品名 MultiCoder 500Lシリーズ ラベルプリンター ユーザーズマニュアル

なお、マニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

NEC PCマニュアルセンター

URL : <http://pcm.nec-dp.co.jp/>

FAX : 03-5471-3996

受付時間 24時間（いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。）

情報サービスについて

NEC製品に関する最新情報を下記で提供しています。

インターネットのWeb ページ	NEC コーポレートサイト (http://www.nec.co.jp/)
-----------------	---

プリンターを運搬するときは

本プリンターを引っ越しや修理などで移動するときは、次の手順に従って付属品などを取り外し、梱包してください。

- ① プリンターの電源スイッチをOFFにします。
取り外します。
- ② 電源コードのプラグをコンセントから抜きます。
- ③ プリンターにインターフェースケーブルを接続している場合は、ケーブルを取り外します。
- ④ 用紙を取り出します。
- ⑤ リボンを取り外します。
1章の「7 リボンを取り付ける」(32ページ)を参照してください。
- ⑥ スタッカまたはハクリガイドを取り付けている場合は取り外します。
- ⑦ オプションを外します。
オプションを取り付けている場合、取り外してください。取り外し方は5章をご覧ください。
- ⑧ 梱包します。
「4 保護用部品を取り除く」(28ページ)を参照して印刷機構部分を柔らかい用紙などで保護してから梱包材を取り付けてプリンターおよび付属品を箱に入れます。
これでプリンターを運搬する準備ができました。

プリンターの廃棄とリボンの処理について

プリンターの廃棄について

プリンターおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

また、NECでも法人のお客様に販売したプリンターを対象として、NECグループの物流ネットワークを効率的に活用し、使用済みとなったプリンターを有償でお客様から回収して再資源化拠点で処理しております。詳しくは、<http://www.nec.co.jp/eco/ja/>をご覧ください。

✓ チェック

プリンターの廃棄の際は、他の装置への転用を防ぐために、プリンターに添付されていた電源コードも一緒に廃棄してください。

規格に合っていない装置に使用すると、感電や火災の原因となることがあります。

リボンの廃棄について

使用済みのリボンを廃棄するときは各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。

また、NECでも資源の有効利用と地域環境保全を目的に使用済みのNEC製リボンの回収を行っております。恐れ入りますが、使い終わりましたリボンがございましたら、全国のサービス窓口のカウンターにお持ち頂き、回収にご協力をお願いいたします。

詳しくは、<http://www.nec.co.jp/eco/ja/>をご覧ください。

仕様

項 目		MultiCoder				
		500L3D	500L3DL	500L3DW	500L3DC	500L3DCL
印刷方式		感熱方式（直接発色）				
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）				
	発熱体ピッチ	0.0834mm				
	ドット総数	1296ドット				
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒				
フィード方向		順方向または逆方向				
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒				
印刷方法	連続印刷	可能				
	カット印刷	—	—	—	可能	可能
	ハクリ印刷	—	—	—	—	—
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き（内巻き）*1				
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）				
排紙方式		装置前面排紙のみ				
	カットしながらの印刷	—	—	—	可能	可能
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）				
ブザー		あり（設定により消音可能）				
有効印刷幅		最大105.7mm				
用紙種類*2	ラベル	一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙				
	タグ	一般感熱紙*3				
インターフェース	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース（通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ）				
	LAN*4	—	IEEE 802.3 準拠 Ethernet インターフェース（10Base-T/100Base-TX）		—	IEEE 802.3 準拠 Ethernet インターフェース（10Base-T/100Base-TX）
	無線LAN*4	—	—	IEEE 802.11b/g 準拠 Ethernet インターフェース	—	—
ホスト接続		PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT 100%互換機				
外形寸法		188(W)×245(D)×170(H)mm				
質量*5		約2.4kg	約2.6kg	約2.6kg	約2.7kg	約2.9kg
消費電力	動作時最大*6	137W（2.4A）				
	待機時	13W（0.3A）				
	スリープモード	あり				
製品寿命		5年				

項 目	MultiCoder				
	500L3D	500L3DL	500L3DW	500L3DC	500L3DCL
温度範囲	使用時：5～38℃ 保管時：－ 25～60℃				
湿度範囲	使用時：10～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし、結露しないこと）				
有償交換部品（消耗部品）*7	サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km プラテンブロック 寿命（目安）：25km				
	－	－	－	カッターモジュール寿命（目安）： 薄紙30万カット	
バンドルソフトウェア	プリンタードライバー リモートパネル LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN-8/13、UPC- A/ E、JAN/EAN/UPC Add-On、ITF14/16/6、 Interleaved 2 of 5、Code 2 of 5、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5、Code11、 Code39、Code39 Full ASCII、 Codabar（NW-7）、Code93、Code128、UCC/EAN-128、BC412、 MSI/Plessey、RSS 〈サポート2次元コード〉 PDF417、Micro-PDF417、QRCode（モデル1&2）、Micro-QRCode、 DataMatrix、MaxiCode、EAN.UCC Composite、AztecCode、Code49、 PostNet、カスタマバーコード PrinterSignalStation for ラベルプリンタ				

*1 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

*2 用紙の保管は装置の使用環境温湿度内です。

*3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。

*4 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムやCATV など）へ直接接続することは許可されていません。

*5 本体のみの質量です（用紙を除く）。

*6 Duty33％、印刷濃度推奨設定最大時。

*7 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

項 目		MultiCoder			
		500L3DCW	500L3DS	500L3DSL	500L3DSW
印刷方式		感熱方式（直接発色）			
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）			
	発熱体ピッチ	0.0834mm			
	ドット総数	1296ドット			
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒			
フィード方向		順方向または逆方向			
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒			
印刷方法	連続印刷	可能			
	カット印刷	可能	—	—	—
	ハクリ印刷	—	可能	可能	可能
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き（内巻き）*1			
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）			
排紙方式		装置前面排紙のみ			
	カットしながらの印刷	可能	—	—	—
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）			
ブザー		あり（設定により消音可能）			
有効印刷幅		最大105.7mm			
用紙種類*2	ラベル	一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙			
	タグ	一般感熱紙*3			
インターフェース	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース（通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ）			
	LAN*4	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）	—	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）	
	無線LAN*4	IEEE 802.11b/g準拠 Ethernet インターフェース	—	—	IEEE 802.11b/g準拠 Ethernet インターフェース
ホスト接続		PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT 100%互換機			
外形寸法		188(W)×245(D)×170(H)mm			
質量*5		約2.9kg	約2.7kg	約2.9kg	約2.9kg
消費電力	動作時最大*6	137W（2.4A）			
	待機時	13W（0.3A）			
	スリープモード	あり			
製品寿命		5年			
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：— 25～60℃			
湿度範囲		使用時：10～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし、結露しないこと）			
有償交換部品（消耗部品）*7		サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km プラテンブロック 寿命（目安）：25km			
		カッターモジュール寿命（目安）：薄紙30万カット	ハクリモジュール寿命（目安）：15km		

項 目	MultiCoder			
	500L3DCW	500L3DS	500L3DSL	500L3DSW
バンドルソフトウェア	プリンタードライバー リモートパネル LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN-8/13、UPC- A/ E、JAN/EAN/UPC Add-On、ITF14/16/6、 Interleaved 2 of 5、Code 2 of 5、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5、Code11、 Code39、Code39 Full ASCII、 Codabar (NW-7)、Code93、Code128、UCC/EAN-128、BC412、 MSI/Plessey、RSS 〈サポート2次元コード〉 PDF417、Micro-PDF417、QRCode (モデル 1 & 2)、Micro-QRCode、 DataMatrix、MaxiCode、EAN.UCC Composite、AztecCode、Code49、 PostNet、カスタマバーコード PrinterSignalStation for ラベルプリンタ			

- * 1 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。
- * 2 用紙の保管は装置の使用環境温湿度内です。
- * 3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。
- * 4 LAN (有線/無線) インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備 (ADSL モデムやCATV など) へ直接接続することは許可されていません。
- * 5 本体のみの質量です (用紙を除く)。
- * 6 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。
- * 7 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル/タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

項 目		MultiCoder				
		500L3T	500L3TL	500L3TW	500L3TC	500L3TCL
印刷方式		感熱方式（直接発色）、熱転写方式（リボン転写）				
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）				
	発熱体ピッチ	0.0834mm				
	ドット総数	1296ドット				
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒				
フィード方向		順方向または逆方向				
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒				
印刷方法	連続印刷	可能				
	カット印刷	—	—	—	可能	可能
	ハクリ印刷	—	—	—	—	—
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き（内巻き）*1				
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）				
排紙方式	装置前面排紙のみ					
	カットしながらの印刷	—	—	—	可能	可能
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）				
ブザー		あり（設定により消音可能）				
有効印刷幅		最大105.7mm				
用紙種類*2	ラベル	感熱：一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙 熱転写：コート紙、合成紙、白PET、銀PET				
	タグ	感熱：一般感熱紙*3 熱転写：タグ紙				
リストバンド		リストバンドリボン／リストバンドBタイプ・Nタイプ				
リボン種類*2		ワックスリボン、ワックスレジンリボン、レジンリボン				
インターフェース	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ）				
	LAN*4	—	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）		—	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）
	無線LAN*4	—	—	IEEE 802.11b/g準拠Ethernetインターフェース	—	—
ホスト接続		PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT 100%互換機				
外形寸法		188(W)×245(D)×190(H)mm				
質量*5		約2.9kg	約3.0kg	約3.0kg	約3.2kg	約3.3kg
消費電力	動作時最大*6	137W（2.4A）				
	待機時	13W（0.3A）				
	スリープモード	あり				
製品寿命		5年				
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：— 25～60℃				
湿度範囲		使用時：10～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし、結露しないこと）				

項 目	MultiCoder				
	500L3T	500L3TL	500L3TW	500L3TC	500L3TCL
有償交換部品（消耗部品）*7	サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km プラテンブロック 寿命（目安）：25km				
	—	—	—	カッターモジュール寿命（目安）： 薄紙30万カット	
バンドルソフトウェア	プリンタードライバー リモートパネル LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN-8/13、UPC- A/ E、JAN/EAN/UPC Add-On、ITF14/16/6、 Interleaved 2 of 5、Code 2 of 5、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5、Code11、 Code39、Code39 Full ASCII、 Codabar（NW-7）、Code93、Code128、UCC/EAN-128、BC412、 MSI/Plessey、RSS 〈サポート2次元コード〉 PDF417、Micro-PDF417、QRCode（モデル 1 & 2）、Micro-QRCode、 DataMatrix、MaxiCode、EAN.UCC Composite、AztecCode、Code49、 PostNet、カスタマバーコード PrinterSignalStation for ラベルプリンタ				

- *1 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。
- *2 用紙、リボンの保管は装置の使用環境温湿度内です。
- *3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。
- *4 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムやCATV など）へ直接接続することは許可されていません。
- *5 本体のみの質量です（用紙、リボンを除く）。
- *6 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。
- *7 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグ／リストバンドの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

項 目		MultiCoder			
		500L3TCW	500L3TS	500L3TSL	500L3TSW
印刷方式		感熱方式（直接発色）、熱転写方式（リボン転写）			
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）			
	発熱体ピッチ	0.0834mm			
	ドット総数	1296ドット			
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒			
フィード方向		順方向または逆方向			
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒			
印刷方法	連続印刷	可能			
	カット印刷	可能	—	—	—
	ハクリ印刷	—	可能	可能	可能
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き（内巻き）*1			
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）			
排紙方式		装置前面排紙のみ			
	カットしながらの印刷	可能	—	—	—
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）			
ブザー		あり（設定により消音可能）			
有効印刷幅		最大105.7mm			
用紙種類*2	ラベル	感熱：一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙 熱転写：コート紙、合成紙、白PET、銀PET			
	タグ	感熱：一般感熱紙*3 熱転写：タグ紙			
リストバンド		リストバンドリボン／リストバンドBタイプ・Nタイプ			
リボン種類*2		ワックスリボン、ワックスレジンリボン、レジンリボン			
インターフェース	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ）			
	LAN*4	IEEE 802.3準拠 Ethernet インターフェース（10Base-T/100Base-TX）	—	IEEE 802.3準拠 Ethernet インターフェース（10Base-T/100Base-TX）	
	無線LAN*4	IEEE 802.11b/g 準拠 Ethernet インターフェース	—	—	IEEE 802.11b/g 準拠 Ethernet インターフェース
ホスト接続		PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT 100%互換機			
外形寸法		188(W)×245(D)×190(H)mm			
質量*5		約3.3kg	約3.2kg	約3.3kg	約3.3kg
消費電力	動作時最大*6	137W（2.4A）			
	待機時	13W（0.3A）			
	スリープモード	あり			
製品寿命		5年			
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：— 25～60℃			
湿度範囲		使用時：10～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし、結露しないこと）			

項 目	MultiCoder			
	500L3TCW	500L3TS	500L3TSL	500L3TSW
有償交換部品（消耗部品）*7	サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km プラテンブロック 寿命（目安）：25km			
	カッターモジュール 寿命（目安）：薄紙 30万カット	ハクリモジュール寿命（目安）：15km		
バンドルソフトウェア	プリンタードライバ リモートパネル LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN-8/13、UPC- A/ E、JAN/EAN/UPC Add-On、ITF14/16/6、 Interleaved 2 of 5、Code 2 of 5、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5、Code11、 Code39、Code39 Full ASCII、 Codabar（NW-7）、Code93、Code128、UCC/EAN-128、BC412、 MSI/Plessey、RSS 〈サポート2次元コード〉 PDF417、Micro-PDF417、QRCode（モデル 1 & 2）、Micro-QRCode、 DataMatrix、MaxiCode、EAN.UCC Composite、AztecCode、Code49、 PostNet、カスタマバーコード PrinterSignalStation for ラベルプリンタ			

- * 1 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。
- * 2 用紙、リボンの保管は装置の使用環境温湿度内です。
- * 3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。
- * 4 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムやCATV など）へ直接接続することは許可されていません。
- * 5 本体のみの質量です（用紙、リボンを除く）。
- * 6 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。
- * 7 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグ／リストバンドの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

項 目		MultiCoder				
		500L6T	500L6TL	500L6TW	500L6TC	500L6TCL
印刷方式		感熱方式（直接発色）、熱転写方式（リボン転写）				
印刷ヘッド	ドット密度	24ドット/mm（≒610dpi）				
	発熱体ピッチ	0.0417mm				
	ドット総数	2592ドット				
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒				
フィード方向		順方向または逆方向				
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒				
印刷方法	連続印刷	可能				
	カット印刷	—	—	—	可能	可能
	ハクリ印刷	—	—	—	—	—
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き（内巻き）*1				
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）				
排紙方式	装置前面排紙のみ					
	カットしながらの印刷	—	—	—	可能	可能
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）				
ブザー		あり（設定により消音可能）				
有効印刷幅		最大105.7mm				
用紙種類*2	ラベル	感熱：一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙 熱転写：コート紙、合成紙、白PET、銀PET				
	タグ	感熱：一般感熱紙*3 熱転写：タグ紙				
リボン種類		ワックスリボン、ワックスレジンリボン、レジンリボン				
インターフェース	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ）				
	LAN*4	—	IEEE 802.3 準拠 Ethernet インターフェース （10Base-T/100Base-TX）		—	IEEE 802.3 準拠 Ethernet インターフェース （10Base-T/100Base-TX）
	無線LAN*4	—	—	IEEE 802.11b/g 準拠 Ethernet インターフェース	—	—
ホスト接続		PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT 100%互換機				
外形寸法		188(W)×245(D)×190(H)mm				
質量*5		約2.9kg	約3.0kg	約3.0kg	約3.2kg	約3.3kg
消費電力	動作時最大*6	86W（1.6A）				
	待機時	13W（0.3A）				
	スリープモード	あり				
製品寿命		5年				
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：－25～60℃				
湿度範囲		使用時：10～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし、結露しないこと）				

項 目	MultiCoder				
	500L6T	500L6TL	500L6TW	500L6TC	500L6TCL
有償交換部品（消耗部品）*7	サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km プラテンブロック 寿命（目安）：25km				
	—	—	—	カッターモジュール寿命（目安）： 薄紙30万カット	
バンドルソフトウェア	プリンタードライバー リモートパネル LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN-8/13、UPC- A/ E、JAN/EAN/UPC Add-On、ITF14/16/6、 Interleaved 2 of 5、Code 2 of 5、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5、Code11、 Code39、Code39 Full ASCII、 Codabar（NW-7）、Code93、Code128、UCC/EAN-128、BC412、 MSI/Plessey、RSS 〈サポート2次元コード〉 PDF417、Micro-PDF417、QRCode（モデル 1 & 2）、Micro-QRCode、 DataMatrix、MaxiCode、EAN.UCC Composite、AztecCode、Code49、 PostNet、カスタマバーコード PrinterSignalStation for ラベルプリンタ				

- *1 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。
- *2 用紙の保管は装置の使用環境温湿度内です。
- *3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。
- *4 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムやCATV など）へ直接接続することは許可されていません。
- *5 本体のみの質量です（用紙を除く）。
- *6 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。
- *7 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

項 目		MultiCoder			
		500L6TCW	500L6TS	500L6TSL	500L6TSW
印刷方式		感熱方式（直接発色）、熱転写方式（リボン転写）			
印刷ヘッド	ドット密度	24ドット/mm（≒610dpi）			
	発熱体ピッチ	0.0417mm			
	ドット総数	2592ドット			
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒			
フィード方向		順方向または逆方向			
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒			
印刷方法	連続印刷	可能			
	カット印刷	可能	—	—	—
	ハクリ印刷	—	可能	可能	可能
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き（内巻き）*1			
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）			
排紙方式		装置前面排紙のみ			
	カットしながらの印刷	可能	—	—	—
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）			
ブザー		あり（設定により消音可能）			
有効印刷幅		最大105.7mm			
用紙種類*2	ラベル	感熱：一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙 熱転写：コート紙、合成紙、白PET、銀PET			
	タグ	感熱：一般感熱紙*3 熱転写：タグ紙			
リボン種類*2		ワックスリボン、ワックスレジンリボン、レジンリボン			
インターフェース	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ）			
	LAN*4	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）	—	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース（10Base-T/100Base-TX）	
	無線LAN*4	IEEE 802.11b/g準拠 Ethernet インターフェース	—	—	IEEE 802.11b/g準拠 Ethernet インターフェース
ホスト接続		PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT 100%互換機			
外形寸法		188(W)×245(D)×190(H)mm			
質量*5		約3.3kg	約3.2kg	約3.3kg	約3.3kg
消費電力	動作時最大*6	86W（1.6A）			
	待機時	13W（0.3A）			
	スリープモード	あり			
製品寿命		5年			
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：— 25～60℃			
湿度範囲		使用時：10～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし、結露しないこと）			

項 目	MultiCoder			
	500L6TCW	500L6TS	500L6TSL	500L6TSW
有償交換部品（消耗部品）*7	サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km プラテンブロック 寿命（目安）：25km			
	カッターモジュール 寿命（目安）：薄紙 30万カット	ハクリモジュール寿命（目安）：15km		
バンドルソフトウェア	プリンタードライバ リモートパネル LabelStar Lite BarStar Pro 〈サポートバーコード〉 JAN/EAN-8/13、UPC- A/ E、JAN/EAN/UPC Add-On、ITF14/16/6、 Interleaved 2 of 5、Code 2 of 5、Matrix 2 of 5、NEC 2 of 5、Code11、 Code39、Code39 Full ASCII、 Codabar（NW-7）、Code93、Code128、UCC/EAN-128、BC412、 MSI/Plessey、RSS 〈サポート2次元コード〉 PDF417、Micro-PDF417、QRCode（モデル 1 & 2）、Micro-QRCode、 DataMatrix、MaxiCode、EAN.UCC Composite、AztecCode、Code49、 PostNet、カスタマバーコード PrinterSignalStation for ラベルプリンタ			

- *1 外巻きを推奨します。内巻きは、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。
- *2 用紙、リボンの保管は装置の使用環境温湿度内です。
- *3 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「カット印刷」の「パーシャルカット」もしくは「連続印刷」の「自動カット送り非対応」を推奨します。
- *4 LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムやCATV など）へ直接接続することは許可されていません。
- *5 本体のみの質量です（用紙、リボンを除く）。
- *6 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。
- *7 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグ／リストバンドの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

索引

英数字

7セグメントLED	139
ACアダプター	14
BarStar Pro	83
LabelStar Lite	86
LANケーブル	50
NEC PCマニュアルセンター	204
NECサービス網一覧	14
PrinterSignalStation for ラベルプリンタ	78
アンインストール	81
インストール	79
問題一覧	198
USBケーブル	49

ア

アンインストール	
BarStar Pro	85
LabelStar Lite	88
PrinterSignalStation for ラベルプリンタ	81
プリンタードライバー	73
リモートパネル	77
安全上のご注意	2
安全にお使いいただくために	1
一般感熱紙	19
印刷	
速度の設定	117
～の種類と方法	113
印刷機構部	23
印刷速度	117, 207, 209, 211, 213, 215, 217
印刷濃度	110
印刷濃度推奨設定 (リストバンド)	136
印刷範囲	90
印刷ヘッド	207, 209, 211, 213, 215, 217
印刷方式	207, 209, 211, 213, 215, 217
印刷方法	207, 209, 211, 213, 215, 217
インストーラー	56
インストール	
BarStar Pro	83
LabelStar Lite	86
PrinterSignalStation for ラベルプリンタ	79
プリンタードライバー	55
リモートパネル	75
インターフェース	207, 209, 211, 213, 215, 217
薄紙印刷モード	149
内巻き	18
運搬	205
エラー表示	194

お客様登録	202
オプション	15, 157
温度	208, 209, 211, 213, 215, 217

カ

外観	21
外形寸法	207, 209, 211, 213, 215, 217
各部の名前	21
カッターモジュール	
取り付け	161
プリンターの設定	165
カッターユニット	159, 160
カット印刷	113
感熱タイプ	v
給紙方式	207, 209, 211, 213, 215, 217
銀PET	19
警告ラベル	1
ケーブルカバー	14
取り付け	52
ケーブルロック	14
交換	
サーマルヘッド	186
プラテンロック	190
故障かな?と思ったときは	193
コート紙	19

サ

サーマルヘッド	
交換	186
サーマルヘッドブロック	17
湿度	208, 209, 211, 213, 215, 217
質量	207, 209, 211, 213, 215, 217
自動用紙先頭位置合わせ機能	89
寿命	204, 207, 209, 211, 213, 215, 217
使用できる用紙	90
消費電力	207, 209, 211, 213, 215, 217
情報サービス	204
消耗品	18
～の交換	186
消耗部品	17
白PET	19
推奨設定	110
スイッチ	138
電源	31
スタッカ	14
寸法	207, 209, 211, 213, 215, 217
清掃	
カバー	182
サーマルヘッド	183
ハクリモジュール	185
プラテン	183
用紙収納部	184
リボンローラー	183

接続	
ACアダプター	29
LANケーブル	50
USBケーブル	49
電源コード	29
設置場所	12
設定	
印刷速度	117
カッターモジュール	165
ハクリモジュール	176
センサーしきい値	47
センサーしきい値 (リストバンド)	131
センターリブ	14
操作部	137
装置銘板	202
外巻き	18
ソフトウェアCD-ROM	14
ソフトウェアのご使用条件	14

タ

耐保存感熱紙	19
タグ紙	19
タグ・ラベルの有効印刷部	108
正しく使用するために	13
調整ドライバー	14
ディップスイッチ (DIP SW)	140
適合表	20
テスト印刷	45
テスト用紙	14
テスト用リボン	14
電源コード	
～を接続する	29
電源スイッチ	31
電源のON/OFF	31
特長	xii
取り付け	
カッターモジュール	161
ハクリモジュール	171
用紙	35
リボン	32

ナ

日常の保守	181
熱転写+感熱タイプ	vii, ix

ハ

パーシャルカット	113, 148
廃棄	206
排紙方式	207, 209, 211, 213, 215, 217
ハクリ印刷	113

ハクリガイド	14
ハクリモジュール	
取り付け	171
プリンターの設定	176
ハクリユニット	170
箱の中身	14
初めてお使いになるとき	11
バックフィード速度	207, 209, 211, 213, 215, 217
バンドルソフトウェア	208, 210, 212, 214, 216, 218
表示方式	207, 209, 211, 213, 215, 217
フィード方向	207, 209, 211, 213, 215, 217
ブザー	207, 209, 211, 213, 215, 217
付属品	
カッターモジュール	159
ハクリモジュール	170
プラグ・アンド・プレイ	65
Windows 2000 日本語版	68
Windows Vista 日本語版	65
Windows XP/Windows Server 2003 日本語版	66
ブラテンプロック	17
交換	190
プリンターソフトウェアのインストール	53
プリンタードライバー	208, 210, 212, 214, 216, 218
アンインストール	73
インストール	55
～の削除	73
問題一覧	197
用紙サイズ	70
プリンターの症状一覧	196
プリントサーバー	180
フルカット	113
ブレ印刷	48
ブレ印刷用紙	109
ヘッドクリーナー	14, 17, 183, 189
別売品	15
保護用部品	28
補修用部品	204
保守サービス	203
保証	202
ホスト接続	207, 209, 211, 213, 215, 217
ボリューム	143

マ

マニュアルの構成	xi
マニュアルの再購入	204
モデル	v, vii, ix

ヤ

有効印刷幅	207, 209, 211, 213, 215, 217
有効印刷部 (リストバンド)	122
ユーザーズマニュアル	14
ユーザー定義用紙サイズ	71
リストバンド	123

有償交換部品.....	208, 209, 212, 214, 216, 218
用紙.....	18
～がつまったとき.....	199
～のセット（カッターモジュール）.....	164
～のセット（ハクリモジュール）.....	174
～の取り扱いと印刷.....	89
保管上の注意.....	112
～をセットする.....	35
～をセットする（リストバンド）.....	128
用紙一覧.....	19
用紙規格.....	90
用紙種類.....	207, 209, 211, 213, 215, 217
用紙とリボンの適合表.....	20

ラ

ランプ.....	138
リストバンド.....	18
印刷できるモデル.....	120
印刷方法.....	121
種類.....	120
～セットする.....	128
センサーしきい値.....	131
有効印刷部.....	122
ユーザー定義用紙サイズの登録.....	123
リストバンドセッター一覧.....	20
リボン.....	18
～が途中で切れたとき.....	200
取り付け（リストバンド用）.....	126
～の廃棄.....	206
～の巻きが乱れたとき.....	201
幅.....	20
保管上の注意.....	112
～を取り付ける.....	32
リボン一覧.....	19
リボン種類マーキング色一覧.....	19
リボン幅.....	32

リモートパネル.....	75
DHCP/BOOTP機能設定.....	155
IPアドレス.....	155
IPアドレス設定.....	155
RARP機能設定.....	155
X位置微調整値.....	154
印刷濃度微調整（転写モード）.....	150
印刷濃度微調整（発色モード）.....	150
印刷方向.....	147
薄紙印刷モード.....	147
エラー発生時ブザー音.....	146
カッターオプション制御方法.....	146
カット（ハクリ）位置微調整値.....	151
カバークローズ後停止位置.....	146
ゲートウェイ.....	155
サブネットマスク.....	155
自動カット位置戻し時間.....	147
自動カット位置送り位置微調整値.....	152
自動正転待機位置微調整値.....	153
自動用紙位置合わせ.....	146
設定手順.....	156
ソケット通信ポート設定.....	155
電源ON・カバー閉用紙確認.....	146
電源ON時の断線エラー表示.....	146
～のインストール.....	75
～の削除.....	77
バックフィード速度.....	147
微調整設定.....	150
フィード量微調整値.....	150, 151
ミラー印刷.....	147
戻し位置微調整値.....	153
問題一覧.....	197
レジンリボン.....	19
連続印刷.....	113, 114
連続印刷（リストバンド）.....	133

ワ

ワックスリボン.....	19
ワックスレジンリボン.....	19

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両波性-
第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力
電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波
環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、
交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会 (社団法人日本電子工業振興協会) のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下ガイド
ラインに基づく表示)

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でのご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内
での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出
した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直
接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

LANインターフェースでネットワークへ接続される場合、電気通信事業法で定められた電気通信業者の通信設備（ADSL
モデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

